

ダイハツ純正

取扱説明書

8 インチ ハイエンド メモリーナビ

ダイハツ純正型番 (品番)

NSZP-X68D

(08545-K9114)

ワイド ハイエンドメモリーナビ

ダイハツ純正型番 (品番)

NSZP-W68D

(08545-K9117)

Bluetooth 接続や Wi-Fi 接続については
こちらの「通信接続設定」をご覧ください。



地図更新

**最新地図への更新方法は
こちらをご覧ください。**

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ

その他

地図更新

ダイハツ工業株式会社

安全にお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



絵表示の例：この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

安全上のご注意



自動車の運転中に地点登録・地点検索などの操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。



ナビゲーションによるルート案内時は、実際の交通規則に従って走行してください。



安全走行のために

警告

運転中に操作をしない



運転者は運転中に本機の操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作を行うときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。

運転中に画像を注視しない



運転者は運転中に、画像を注視しないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。

運転中にテレビやビデオを見ない



運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させて、サイドブレーキをかけてください。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。故障したときは、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

異常のまま使用しない



万一、内部に異物が入った・水がかかった・煙が出る・変なおいがするなど異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

本機に水や異物を入れない



本機の内部に水や異物を入れないでください。発煙・発火・感電の原因となります。

注意

モニターの開閉時に手や指をはさまれないように注意する



手を挟まれないよう注意

モニターの開閉や角度調整時に手や指、衣服をはさまれないように注意してください。

使用時以外はディスクを取り出す



ディスクを本機内に入れたまま長期間放置しておく、高温などのためにディスクを傷める原因となります。

エンジンを停止したまま長時間使用しない



エンジンを停止したまま長時間ご使用になると、車のバッテリー上がりの原因となります。

適正な音量や明るさで使用する



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。また、画面は適切な明るさでご使用ください。

実際の交通規制に従って走行する



ナビゲーションによるルート案内時も、必ず実際の交通規則に従って走行してください。ナビゲーションによるルート案内だけに従って走行しますと実際の交通規制に反する場合があります。交通事故の原因となります。

液晶パネルが割れたときは内部の液体には絶対触れない



パネル内部の液体に触れてしまうと、皮膚の炎症などの原因となります。

- 万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師にご相談ください。
- 目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で十分に洗浄した後、医師にご相談ください。

液晶パネルを強く押ししたり、強い衝撃を与えない



液晶パネルが破損し、ケガの原因となります。



走行中に運転者がナビゲーションの画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると、大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。

走行中はナビゲーションの操作をしない

走行中に運転者が操作するのは、絶対におやめください。

走行中に制限される機能の操作は

安全な場所に車を止めてから操作してください。

安全のため、走行中はルート探索の設定などの複雑な操作ができないように設計されています。(操作しようとすると、「走行中は操作できません」とメッセージが表示されます。)

また、本機は、安全のため走行中にテレビなどの映像を見ることができないようになっています。(走行中は、以下のようなメッセージが表示されます。)また、一部のメニュー操作はできません。

(例) テレビを見ようとしたとき



走行中のため、映像表示をOFFにします。

交通規則に従って走行する

ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。曜日、時刻規制などの交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。

なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

画面に表示される情報は実際と異なる場合があります。

ナビゲーションの画面に表示される情報や建物や道路などの形状は実際と異なる場合があります。

グローブボックス内収納ケーブル使用上のご注意

グローブボックス内に収納しているケーブルは、グローブボックス内でご使用ください。

グローブボックスから外に出してご使用になると、グローブボックスの開閉時にケーブルを挟み込んでしまい故障の原因となる場合があります。

また、グローブボックス内に荷物を詰め込みすぎている状態などでは、ケーブルがグローブボックス裏側へ落下してしまうおそれがあります。ご注意ください。



ご使用上のご注意

取扱説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、当社は責任を負いかねますので、ご注意ください。正しく取り扱わなかった場合や常識を逸脱した使いかたをされた場合などは保証の対象外となりますので正しくご使用ください。

モニターの開閉について



本機は、エンジンスイッチをOFF（本機の電源をOFF）にするとモニターが自動的に閉じます。エンジンを切るときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。

△注意

- SDカード出し入れ時などのモニターが完全に開いた状態では、エンジンスイッチをOFF（本機の電源をOFF）にしても自動的にモニターが閉じることはありません。
- AT車/CVT車の場合
 - ディスクを取り出す際、Pレンジでモニターとシフトレバーが接近または干渉する場合は、指などを挟むおそれがありますので、Nレンジに切り換えてから操作してください。（コラムATの場合は、PまたはNレンジで操作してください。）
 - チルト位置を設定する際、PまたはR、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。）
- MT車の場合
 - ディスクを取り出す際、1・3・5（R）ポジションで干渉する場合はニュートラルに切り換えてから操作してください。
 - チルト位置を設定する際、1・3・5（R）ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。

ナビゲーションの電源について



ナビゲーションの電源スイッチはありません。

モニターの操作について



モニターを開閉するときは、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。ケガの原因となることがあります。

△注意

- 本機を使用していないときは、モニターを閉じた状態にしてください。
- モニターの開閉を手動または工具を使って無理に行わないでください。モニターに強い力が加わると故障することがあります。
- モニターの開閉をするときに、物を挟まないようにご注意ください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉してください。

Discの使用について

△注意

8 cmディスクには対応しておりません。また、アダプターを装着した8 cmディスクも絶対に使用しないでください。

SDカードの使用について

△注意

- SDカードの出し入れを無理に行うと、本機やSDカードが破損する恐れがあります。ご注意ください。
- SDカードスロットには、SDカード以外のものを挿入しないでください。コインなどの金属物を挿入した場合、内部回路が破損し故障の原因となります。
- 安全のため、走行中はSDカードの出し入れをしないでください。
- SDカードが完全に挿入されていない状態で**CLOSE**にタッチしないでください。カードを破損させる恐れがあります（SDカードの挿入位置が正しくないまま**CLOSE**にタッチすると、モニターにメッセージが表示され、音声による案内が行われます）。

Bluetooth機器（携帯電話）について

△注意

Bluetooth対応端末でも、機種によっては本機との接続に制限が発生する場合があります。
(⇒P8の「本機と接続可能な通信機器について」)をご覧ください。

ご使用前に知っておいていただきたいこと

緊急施設の検索やルート案内について

病院、消防署、警察署など、緊急施設の検索やルート案内については、本機に依存せず、各施設に直接ご確認ください。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっているときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

メモ

環境保護のため、必要以上の停車中のアイドルリングは避けましょう。

バッテリーを外すときのご注意

点検などでバッテリーを外すと、各AVソースの再生モード、渋滞情報などの設定が工場出荷時の状態に戻ります。必要な情報は事前に控えておいてください。

本機と接続可能な通信機器について

- 本機と通信機器を接続すると、専用サーバーやインターネット経由でさまざまな情報を入力することができます。
 - Bluetooth (PAN-NAP) 対応機器
 - Wi-Fi (インターネット共有/テザリング) 対応機器
- 携帯電話、iPhoneやスマートフォンと本機をBluetooth接続すると、ハンズフリー通話をご利用できます。また、携帯電話が通信機能やBluetooth Audio機能に対応している場合は、その機能もご利用できます。

SDカードについて

- 本機はすべてのSDカードの動作を保証するものではありません。
- SDカードへのアクセス中は、SDカードを抜かないでください。また、車のキースイッチ位置を変更しないでください。データが破損する恐れがあります。そのような行為において破損した場合、補償できません。
- SDカードは寿命があります。普通に使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。
- 本機でSDカードを使う場合は、専用フォーマットソフトでフォーマットを行ったSDカードを使用することをお勧めします。専用フォーマットソフトについてはSDアシエーションのホームページで確認ください。
< <https://www.sdcard.org/jp/> >
- パソコンの標準機能などでフォーマットしたSDカードは、本機が認識しない場合があります。
- SDカードにデータが保存されている場合、フォーマットを行うとデータが消去されます。フォーマット前にはデータのバックアップを作成することをお勧めします。
- フォーマット作業によるSDカードの不具合修復を当社が保証するものではありません。また、本作業により、SDカードのデータ消失並びに、その他損害が発生した場合は、当社として責任を負えません。フォーマットソフトの説明書などをよくお読みになり、あくまで、お客様の判断・責任のもとでフォーマット作業を実行してください。

著作権

次に記載するデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、別途規定されている場合を除いて、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。

- 本製品に収録されたデータ及びプログラム
- WEBやインターネット接続機器からダウンロードされたデータ及びプログラム

お客様が保存されたデータについて

- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。
- 本機の地図更新および修理において、お客様の登録されたデータの保証については、ご容赦ください。
- ナビゲーションに登録された電話帳・各種機能設定などの内容は、事故や故障・修理・その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

その他

- 製品の性能改善などを目的として、本機には動作履歴情報（測位結果など）を記録する機能があります。動作履歴情報にお客様の個人情報には含まれません。また、この情報は弊社指定の拠点および弊社指定の業務委託先でのみ解析ができるしくみになっており、お客様の同意をいただけた場合に限り使用いたします。
- 当社は、本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本取説で使用しているiPhoneまたはスマートフォン画面や仕様は、バージョンや機種によって異なる場合があります。
- 製品の操作、地図更新方法に関しましては、販売店へお問い合わせください。

👍 こんな機能が使えます

はじめに

本機をより便利にお使いいただくために、事前に行っていただきたい設定や登録作業などがあります。

マイセットアップ

➔P130

リアルタイム
プローブ設定

➔P104

ナビゲーション

地図操作、検索、ルート案内、渋滞情報の活用など多彩なナビゲーション機能をお使いいただけます。

地図
表示/操作

➔P41

ルート案内
検索

➔P71

渋滞対応

➔P94

リアルタイムプローブ

他のお客様から寄せられる走行履歴データや画像情報の取得が可能。VICS では配信されていない独自の道路情報が活用できます。

リアルタイム
プローブとは

➔P104

渋滞情報表示

➔P103

AV

多彩なメディアに対応。
CD を聴いている間に SD カードへ録音することも可能です。

テレビ

➔P183

ミュージック
サーバー

➔P201

Bluetooth
Audio

➔P240

その他
AVソース

➔P244

地図更新、その他

最新の道路情報を反映可能。

各種通信機器の接続やバックモニターもお使いいただけます。



地図更新

➔P347



通信機器
携帯電話

➔P138



ライブインフォ

➔P252



その他
対応機器

➔P259

目次

はじめに

本書の見かた	14	初回起動時に設定が必要です	16
本機の使いかたを調べるには	15	連携アプリについて	17

基本操作 (P18)

本機の操作	19	メニューの基本操作	31
画面の基本操作	25	文字の入力操作	38

ナビゲーション (P40)

地図画面の操作	41	セキュリティ設定をする	159
場所を探す	57	案内音声出力先設定	161
場所を探し終わると	70	パーキングブレーキアラーム・ 速度超過アラームの設定	161
ルート探索と案内	71	車両情報設定	162
ルート案内の中止	81	起動時の画像と音の設定	165
ルート情報	82	タッチパネルのタッチ位置を 調整する < NSZP-W68D >	167
ルート編集	86	設定初期化	168
渋滞情報の利用	94	各種情報の利用	170
通信で渋滞情報を取得する	103		
場所 (地点) の登録と編集	109		
その他のデータ編集	117		
地図表示のカスタマイズ	119		
ナビゲーション機能の設定メニュー	122		
マイセットアップ	130		
通信接続設定	138		

オーディオ (P174)

オーディオ基本操作.....	175	SD/USB を使う.....	219
ラジオを聴く.....	180	録音情報の編集・消去.....	228
交通情報を聴く.....	182	タイトル情報の取得.....	233
テレビを見る.....	183	iPod を使う.....	235
音楽 CD や ROM-Audio (WMA/ MP3/AAC ファイル) を聴く.....	197	Bluetooth® Audio を使う.....	240
音楽 CD を録音する (MSV/SD) ...	201	HDMI 機器を使う < NSZP-X68D >	244
映像ディスク (DVD/DVD-VR/ ROM-Video) を見る.....	205	オーディオ設定.....	245

その他 (P251)

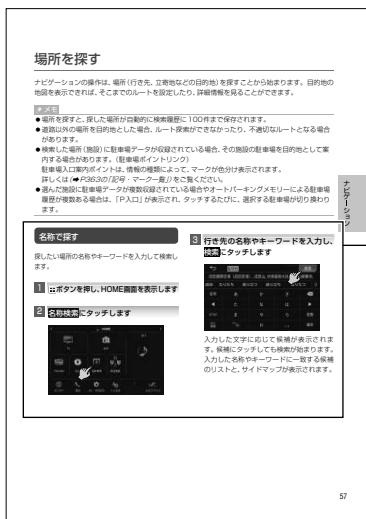
ライブインフォ.....	252	ナビゲーションのしくみ.....	310
カスタム機能.....	257	その他の情報.....	313
ETC2.0 ユニット.....	259	再生できるファイルとメディアの種類...	321
ETC ユニット.....	262	取り扱い上のご注意.....	325
携帯電話 (ハンズフリー).....	264	電波に関するご注意.....	329
バックモニター.....	273	仕様.....	330
後席モニター.....	280	VICS 情報有料放送サービス 契約約款.....	332
ドライブレコーダー.....	282	Gracenote® について.....	333
故障かな?と思ったら.....	293	商標・著作権など.....	335
メッセージと対処方法.....	302	索引.....	338
リセット.....	309		

地図更新 (P346)

地図更新について.....	347	専用アプリを使って地図更新を行う ...	356
ハガキによる申込みで地図更新を行う ...	349	地図更新に関する注意事項.....	359
Web ページから地図更新を行う.....	352		

本書の見かた

本書の表記のしかた



● 操作手順

番号の順に操作すると、目的の機能を使うことができます。

● 本体ボタン



ボタン ナビゲーション本体のボタンを表記しています。

● タッチキー / ファンクションキー



ジャンル 画面に表示される文字を表記しています。

● 指マーク



タッチするキーの場所を示しています。1つの画面で複数操作する場合は、丸数字で順番を表記しています。

● 参照

本文中：(⇒PXXの「〇〇」)

文末：⇒PXXの「〇〇」

参照していただきたい箇所を表記しています。

PXX：参照箇所のページ

「〇〇」：参照箇所のタイトル

● 注意



注意 機能を使う際の注意事項を表記しています。

● メモ



メモ 操作手順の補足情報を表記しています。

メモ

- 各メニュー画面は工場出荷時の状態で表記しています。
- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本マニュアルに記載している製品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標です。

用語

- 本書では、SDメモリーカード、SDHCメモリーカードおよびSDXCメモリーカードを総称して「SDカード」と表記する場合があります。
- 本書では、microSDHCメモリーカード、microSDXCメモリーカードを総称して「microSDカード」と表記する場合があります。
- 本書では、iPodおよびiPhoneを総称して「iPod」と表記する場合があります。
- 本書では、「ミュージックサーバー」を「MSV/SD」と表記する場合があります。
- 本書では、Android™ OS搭載のスマートフォンを「スマートフォン」と表記します。

モデル別機能対応表

お使いのモデルによって、本書に記載された機能への対応・非対応が異なります。下表をご確認ください。

○：対応 ×：非対応

機能	NSZP-X68D	NSZP-W68D
タッチ位置調整 ➔P167の「タッチパネルのタッチ位置を調整する<NSZP-W68D>」	×	○
HDMI入力 ➔P244の「HDMI機器を使う<NSZP-X68D>」	○	×
車種や車形に応じた音響選択 ➔P245の「オーディオ設定」	車種選択	車形選択

本機の使いかたを調べるには

本書では、次の3つの探しかたで本機の使いかたを調べることができます。

■目次(➔P12～P13).....やりたい操作、使用目的から探せます。

■こんな機能が使えます(➔P10～P11)

.....本機の機能名から探せます。

■索引(➔P338～P345).....機能名やキーワードから探せます。

初回起動時に設定が必要です

本機をはじめて起動すると、次の設定画面が表示されます。

- 起動モード選択画面
- マイセットアップ画面

画面の表示に従って、設定を行いきましょう。

起動モードの設定

センサーの初期学習中にエンジンをかけると以下の画面が表示されます。**通常モード**にタッチし、次に**決定**にタッチしてください。



△注意

- **店頭展示モード**を選択しないでください。**店頭展示モード**を選択し**決定**にタッチしてしまった場合は、エンジンをかけ直してください。

メモ

- センサーの初期学習中とは、センサーを利用可能にするために車や取り付け状態に合わせて学習を開始している状態のことです。センサーが利用可能になると、初期学習は終了します。
- センサー学習について、詳しくは(➡P170の「各種情報の利用」)をご覧ください。

続いて、マイセットアップ画面が表示されます。

マイセットアップの設定

本機の基本的な設定を画面の指示に従って簡単に行うことができます。**マイセットアップを始める**にタッチしてください。



各設定の詳細手順は、(➡P130の「マイセットアップ」)をご確認ください。

連携アプリについて

iPhoneまたはスマートフォンに専用アプリをダウンロードして、本機を便利に使うことができます。

地図更新専用アプリ 「モバイルナビオフィス」

「モバイルナビオフィス」は、iPhoneまたはスマートフォンを利用して、本機の地図更新（差分更新）を行うための専用アプリです。

インストール方法や使用方法は、(➡P356の「専用アプリを使って地図更新を行う」)をご確認ください。

メモ

動作環境および動作確認機種は次のホームページをご覧ください。

< http://pioneer.jp/support/soft/app_mobile_navioffice/jp.html >



NaviCon

NaviConはさまざまな連携アプリで探した行先を、ワンタッチでカーナビゲーションに転送し目的地に設定できるお出かけサポートアプリです。

NaviCon (iPhone版/Android版) は無料でご利用いただけます。

インストール方法はこちらをご覧ください。

NaviConサポートサイト：

< <http://navicon.com/> >



メモ

NaviConを使用するには、本機とiPhoneまたは、スマートフォンをBluetooth接続する必要があります。

➡P140の「Bluetooth対応端末の登録 (ペアリング)」

基本操作

本機の基本操作	19
各部の名称とはたらき	19
ディスクの入れかた・取り出しかた.....	22
SD カードの入れかた・取り出しかた.....	23
画面の基本操作	25
タッチパネルで操作する	25
音量を調整する.....	26
画質を調整する.....	27
モニターの角度を調整する	27
画面の切り換えかた.....	28
画面を一時的に消す (Display Off).....	29
リスト画面の操作.....	29

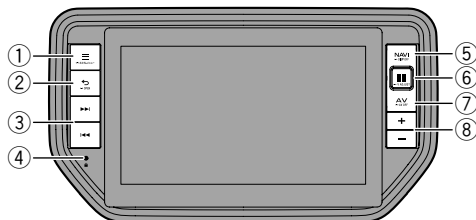
メニューの基本操作	31
メニュー画面を切り換える	31
地図画面でインスタントメニュー 画面を表示する.....	32
HOME 画面	32
NAVI メニュー	33
AV メニュー	33
Live Info メニュー.....	34
AV・本体設定	34
ナビ設定	35
携帯電話メニュー.....	35
メニュー画面のカスタマイズ	35
文字の入力操作	38

本機の操作

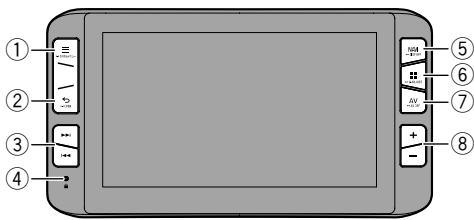
各部の名称とはたらき

■ NSZP-X68D

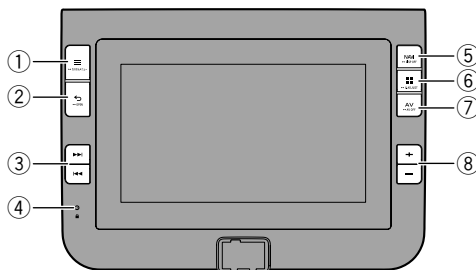
ムーヴ専用



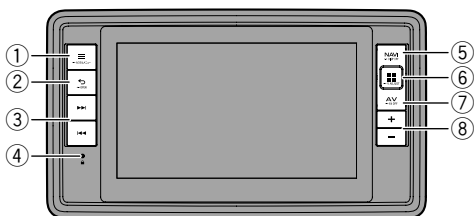
ムーヴ キャンパス専用



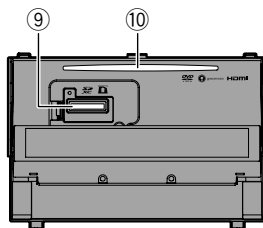
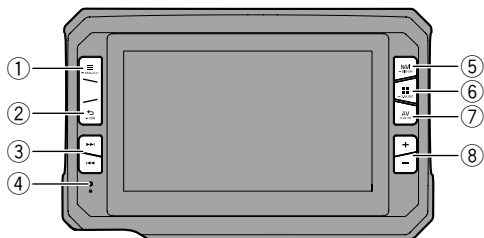
タント専用



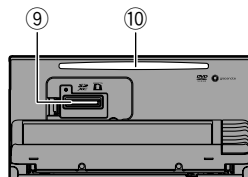
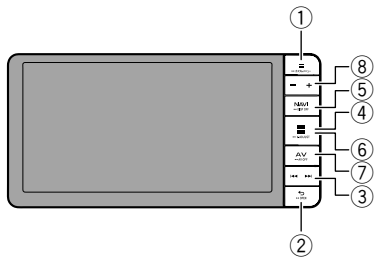
キャスト専用



ウェイク専用

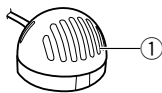


■ NSZP-W68D



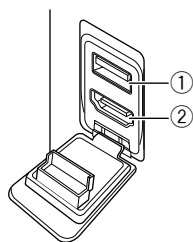
各部の名称		はたらき	
①		<ul style="list-style-type: none"> ● あらかじめ割り当てた機能を実行します (カスタムメニューダイレクト)。 ➔P257の「カスタム機能」 ● 長く押すと、カスタムメニュー画面を表示します。 	
②		モニターが閉じているとき	<ul style="list-style-type: none"> ● 左上にが表示された画面で押すと、前の画面に戻ります。 ● ディスク挿入時に長く押すと、モニターが開き、ディスクが出てきます。
		モニターが開いているとき	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターが閉じます。 ● ディスク挿入時に長く押すと、ディスクが出てきます。
③		<ul style="list-style-type: none"> ● 再生中の曲やチャプターを変更します。 ● 長く押すと、曲や映像の早戻し/早送りをします。 ● ラジオの周波数の調整や、テレビの放送局の変更をします。 	
④	セキュリティLED	<p>セキュリティ機能の設定をすると、本機の電源をOFFにしたときに点滅し、盗難を抑止します。</p> <p>➔P159の「セキュリティ設定をする」</p>	
⑤		<ul style="list-style-type: none"> ● 現在地画面を表示します。 ● 現在地画面を表示しているときは、表示中の地図のスケールを登録スケールにします。 ● 長く押すと、画面を消灯します。 	
⑥		<ul style="list-style-type: none"> ● HOME画面を表示します。 ● 長く押すと、画質調整画面を表示します。 	
⑦		AV画面表示中	<ul style="list-style-type: none"> ● AVメニューを表示します。 ● 長く押すと、AVソースをOFFにしたあと、ソースOFF画面を表示します。
		AV画面以外表示中	<ul style="list-style-type: none"> ● AVソース画面を表示します。 ● AVソースがOFFのときはAVメニューを表示します。 ● 長く押すと、AVソースをOFFにしたあと、ソースOFF画面を表示します。
⑧		<ul style="list-style-type: none"> ● AVソースの音量を調整します。 ● 着信中または通話中の音量を調整します。 	
⑨	メディア用SDカードスロット		
⑩	ディスク挿入口		

■音声認識用マイク



各部の名称		はたらき
①	集音部	音声認識用マイクに向かって話すことで、ハンズフリー通話やフリーワード音声検索を行います。

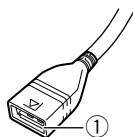
■ HDMI/USB接続部< NSZP-X68D >



	各部の名称	はたらき
①	USB接続端子	本機にUSBメモリーやiPodなどのUSB機器を接続する場合に使用します。
②	HDMI接続端子	本機にHDMI機器を接続する場合に使用します。

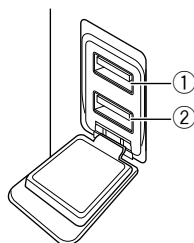
■ USB接続ケーブルまたはUSBアダプター（別売） < NSZP-W68D >

USB接続ケーブル



	各部の名称	はたらき
①	USB接続端子	本機にUSBメモリーやiPodなどのUSB機器を接続する場合に使用します。

USBアダプター
(別売)



	各部の名称	はたらき
①	USB接続端子 (NAVI)	本機にUSBメモリーやiPodなどのUSB機器を接続する場合に使用します。
②	USB接続端子 (充電専用)	USB機器を充電する場合に使用します。

メモ

- USB機器への給電電流は最大2.1 Aです。
- USBハブやハードディスクドライブなどのUSB機器接続には対応しておりません。
- USB接続ケーブルとUSBアダプター（別売）は、併用できません。どちらかの選択になります。

■ ステアリングスイッチ

ステアリングスイッチ搭載車では、ステアリングスイッチで次の操作ができます（車種によってボタンは異なります）。

</>	トラックのダウン/アップや早戻し/早送りなどのオーディオ操作を行います。
⏪/⏩	音量調整を行います。
MODE	AVソースを切り換えます。長く押しすと、AVソースをOFFにします。

ディスクの入れかた・取り出しかた

■ ディスクの入れかた

1  ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **EJECT/TILT** にタッチします

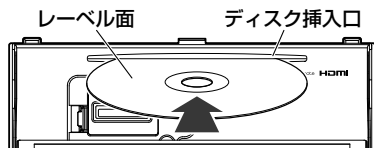


3  にタッチします



モニターが開きます。

4 ディスク挿入口にディスクを差し込みます



ディスクは途中まで差し込むと自動的に引き込まれ、モニターが開きます。

メモ

8 cmディスク (アダプター装着時も含む) は使用できません。

■ ディスクの取り出しかた

1  ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **EJECT/TILT** にタッチします



3  にタッチします





モニターが開き、ディスクが出てきます。

4 ディスクを取り出し、**CLOSE** にタッチします



モニターが閉じます。

メモ

- モニターが開いているときに ボタンを長く押し、ディスクが出てきます。
- モニターが閉じているときに ボタンを長く押し、モニターが開き、ディスクが出てきます。

SDカードの入れかた・取り出しかた

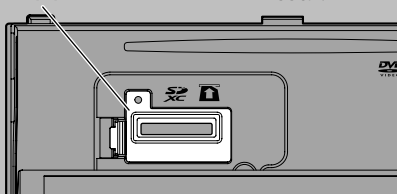
メモ

miniSD™ カード、microSD™ カードには、市販されている専用のアダプタが必要となります。

注意

地図SDカードスロット保護カバーは外さないでください。また、地図SDカードは取り出さないでください。地図SDカードを取り出すと、本機が正常に作動しなくなるおそれがあります。

地図SDカードスロット保護カバー



基本操作

SDカードの入れかた

1 **HOME** ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **EJECT/TILT** にタッチします

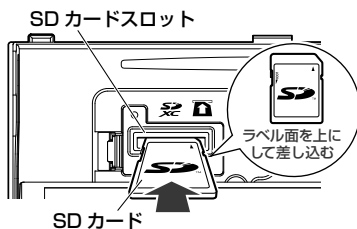


3 **MONITOR** にタッチします

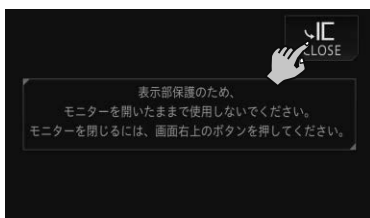


モニターが開きます。

4 “カチッ” と音がするまでSDカードを差し込みます



5 **CLOSE** にタッチします



モニターが閉じます。

■ SDカードの取り出しかた

△注意

- SDカードを取り出す場合は、必ず次の手順のとおりに操作してください。SDカード内のデータが破損する場合があります。
- 取り出したSDカードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお子様が飲み込むなどのことがないように、保管場所にもご配慮ください。

1  ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **EJECT/TILT** にタッチします

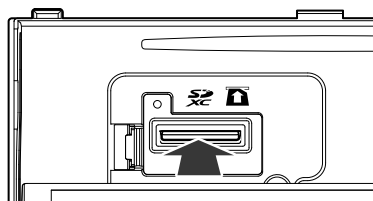


3  にタッチします

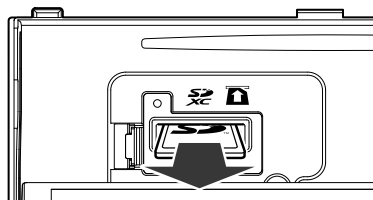


モニターが開きます。

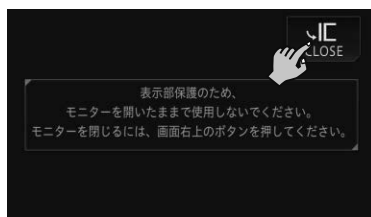
4 “カチッ” と音がするまでSDカードを押し込んで放します



SDカードが押し出されます。



5 SDカードをまっすぐ引き抜き、**CLOSE** にタッチします



モニターが閉じます。

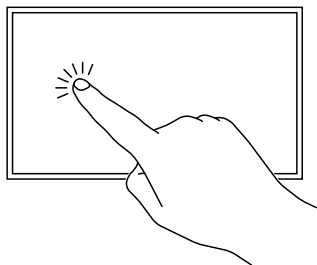
画面の基本操作

タッチパネルで操作する

タッチ、ドラッグ、フリックなど、表示している画面に応じてさまざまな操作が可能です。

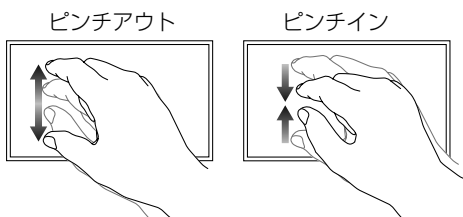
■タッチ

タッチキーやメニュー項目を指で軽くたたきます。



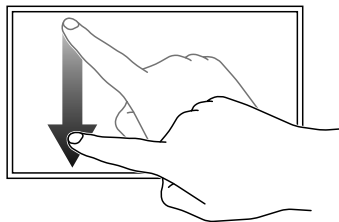
■ピンチアウト/ピンチイン

2本の指でタッチしたまま指を開きます/閉じます。



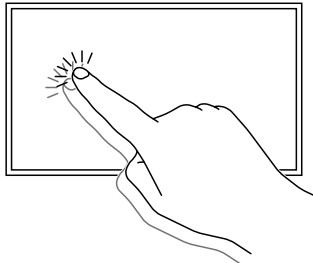
■ドラッグ

タッチしたまま、目的の場所まで指をスライドします。



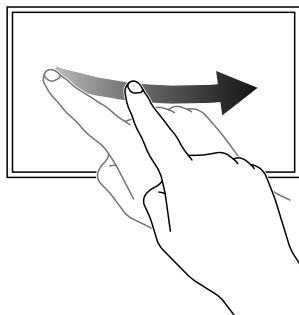
■ダブルタップ

指の位置を動かさずに2度指で軽くたたきます。



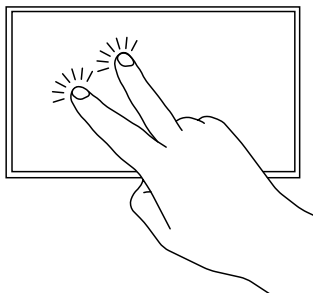
■フリック

タッチしたまま、移動したい方向へ指を軽くはじきます。



■2点タッチ

2本の指を離して軽くたたきます。



音量を調整する

■ナビゲーション(案内)・操作音

1  ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **AV・本体設定** にタッチします



3  **案内音量設定** にタッチします



4 案内音量と操作音を調整します



●案内音量

次の項目の音量を調整します。

- －ナビゲーション音声案内
- －操作音
- －ETCまたはETC2.0ユニット音声案内
- －ライブインフォ通知

●操作音

本機の操作音のON/OFFを設定します。

■AVソース

音量を調整する

1   ボタンを押します

+を押すと音量が上がり、-を押すと音量が下がります。

メモ

- AVソースごとの音量の差を調整することもできます。「ソースレベルアジャスター」の工場出荷時は「0」です。
→P245の「オーディオ設定」
- ナビゲーションの音声案内時などに、自動的にオーディオの音を消したり小さくすることもできます。「ミュート設定」の工場出荷時は「ATT」です。
→P245の「オーディオ設定」
- ステアリングスイッチ装着車ではステアリングスイッチでも音量の調整ができます。



音量を一時的に消す(ミュート)

1   ボタンを押します

2 **Mute** にタッチします



メモ

 または  ボタンを押すと、元の音量に戻ります。

画質を調整する

画面を見る角度や映像の種類、車のライトのON/OFF状態などに応じて、画質を調整できます。

1 設定ボタンを長く押しします

画質調整画面が表示されます。

2 調整したい項目にタッチします



3 ◀または▶にタッチして調整します



コントラスト

コントラストを調整できます。

色の濃さ

色の濃淡を調整できます。

色合い

色調を調整できます。

明るさ

明るさを調整できます。

色温度

暖色系や寒色系など色温度を調整できます。

メモ

- 表示中の画面により、調整項目は異なります。
- 「明るさ」以外の設定内容は、画面の種類ごとに別々に設定できます。
- 「コントラスト」と「明るさ」は、昼と夜で別々に設定できます。車のライトに連動して昼と夜の設定を自動で切り換えます。

モニターの角度を調整する

画面が見やすいようにモニターの角度を調整することができます。

1 設定ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 EJECT/TILTにタッチします



3 ◀または▶にタッチします



タッチするたびに、モニターの角度が変わります。

画面の切り換えかた

ナビゲーション画面（現在地画面）とAVソース画面をワンタッチで切り換えられます。

■ナビゲーション画面を表示しているとき

1 AVボタンを押します

- AVソースがONのとき
AVソース画面が表示されます。
- AVソースがOFFのとき
AVメニュー画面が表示されます。

■AVソース画面を表示しているとき

1 NAVIボタンを押します

ナビゲーション画面が表示されます。

■ルート案内やビーコンなどの割り込み情報の表示について

AVソース画面表示中に、次の情報を一時的に割り込み表示できます。

- 交差点案内表示
 - ビーコン情報
 - ルートアドバイザー情報
- 「AV画面への割り込み」の工場出荷時はすべて選択されている状態です。
→P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」

メモ

OFFに設定していても、以下の情報が割り込み表示される場合があります。

- VICS緊急情報
→P97
- ビーコン即時表示
→P99
- 案内地イラスト表示
→P74
- 新旧ルート選択
→P78

画面を一時的に消す (Display Off)

夜間の車内で画面がまぶしい場合など、一時的に画面を消すことができます。

1 NAVIボタンを長く押します

画面が一時的に消えます。

メモ

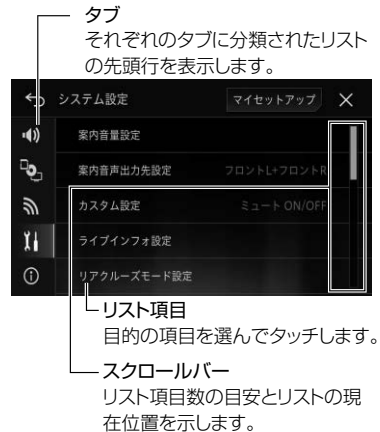
次の場合、Display Off画面が自動的に解除されます。

- 画面にタッチする
- [戻る]、[NAVI]、[AV]、[設定]、[メニュー]ボタンを押す
- 着信時やバックモニターの映像が表示されたときなど、割り込み表示が発生した場合
- Disc挿入やUSB接続時など、AVソースが変化した場合
- メッセージを表示した場合
- エラーが発生した場合
- 通信機能による通信開始時
- VICS緊急情報受信時
→ P97
- ビーコン即時表示時
→ P99
- 地上デジタルテレビの緊急警報放送受信時

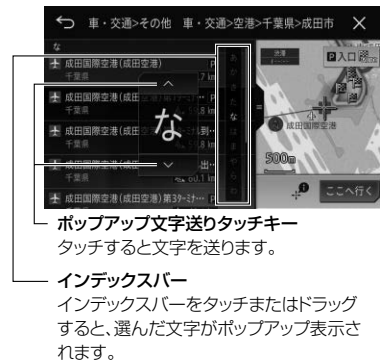
リスト画面の操作

本機では、使っている機能に応じていろいろなリスト画面が表示されます。それぞれの使いかたを覚えておくと便利です。

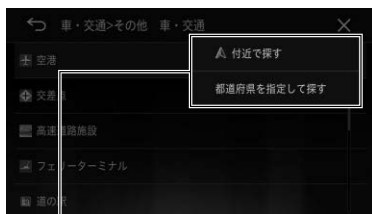
■基本的なリストの操作



■50音インデックス付きリスト



■ポップアップメニューの操作



ポップアップメニュー

選んだ項目に選択肢がある場合に
表示されます。

■並べ替えの操作



並べ替え

タッチすると並べ替えのポップアップメニュー
が表示されます。並べ替えの種類は、表示して
いる画面によって異なります。

■チェックタイプリストの操作



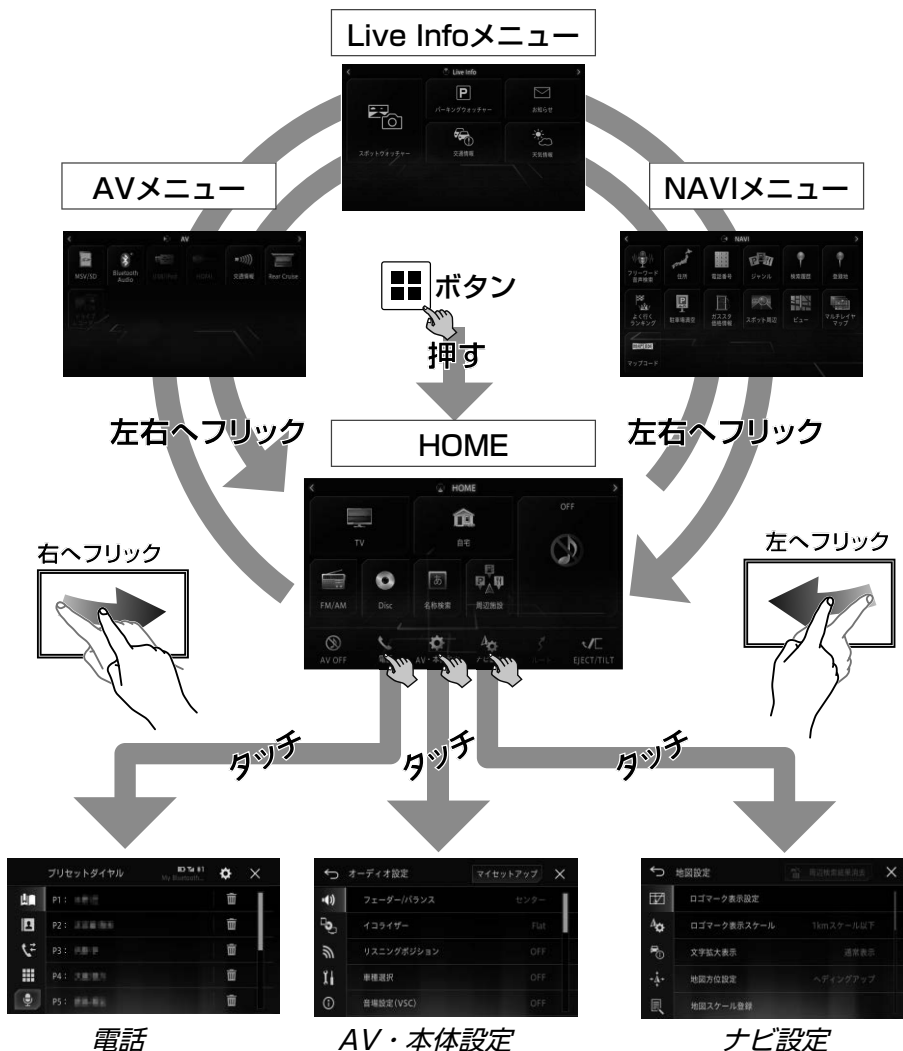
チェックマーク

タッチするとチェックマークが表示され、
選択中であることを示します。もう一度
タッチすると選択が解除されます。

メニューの基本操作

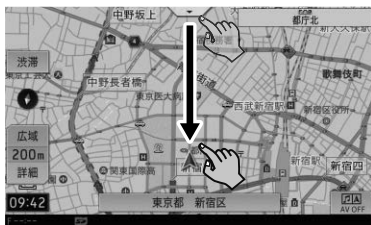
メニュー画面を切り換える

画面を左右にフリックすると、メニュー画面が切り換わります。
また、HOME画面から電話、AV・本体設定、ナビ設定のメニュー画面を表示できます。




地図画面でインスタントメニュー画面を表示する

地図画面表示中に画面上部中央のタブを下方方向にドラッグするとインスタントメニューを表示できます。



インスタントメニューからは次の操作ができます。

- よく行く
 - P63の「検索履歴・登録地・よく行くランキングから探す」
- ビュー
 - P53の「地図の表示モードを変える」
- マルチレイヤ
 - P44の「現在地画面に表示するタッチキーや表示物を設定する」、P98の「VICS情報の表示を設定する」、P119の「地図表示のカスタマイズ」
- ルート
 - P72の「案内開始画面の見かた」
- 
 - P35の「ナビ設定」

HOME画面

HOME画面では、AVやナビゲーション設定、電話のメニューなどが操作できます。また、好みに合わせてさまざまな機能をHOME画面に表示することもできます。

→ P35の「メニュー画面のカスタマイズ」



TV (AVメニュー)

地上デジタルテレビ放送を視聴できます。

自宅 (NAVIメニュー)

現在地やスクロール地点、検索結果地点などを、自宅として登録できます。登録済みの場合は自宅へのルート探索を行います。

FM/AM (AVメニュー)

FM/AMラジオを聴けます。

Disc (AVメニュー)

挿入されているディスク (DVD、CD、ROMなど) を再生できます。

名称検索 (NAVIメニュー)

施設の名称を入力して検索します。

周辺施設 (NAVIメニュー)

自車の位置または地図をスクロールさせた位置やルート周辺から特定の施設を検索します。

AV情報 (例: OFF、TVなど) (Live Infoメニュー)

現在再生中のAVソースの情報を表示します。

AV OFF

オーディオ機能の再生や視聴を中止することができます。

電話

電話をかけることができます。また、電話をかけるための設定ができます。

AV・本体設定

オーディオ機能や、製品本体のシステム・機能の設定ができます。

ナビ設定

ナビゲーション機能の設定ができます。

ルート

ルート再探索やルート消去などルートに関する操作ができます。

EJECT/TILT

ディスクやSDカードの挿入や取り出し、モニターの角度調整ができます。

NAVIメニュー

NAVIメニューでは、場所を探すためのさまざまなメニューを操作できます。

**フリーワード音声検索**

行き先を音声認識用マイクに向かって発話し、目的の場所を検索できます。

住所

住所を入力して検索します。

電話番号

電話番号を入力して検索します。

ジャンル

ジャンルから絞り込んで検索します。

検索履歴

今までに検索した場所の履歴から検索できます。日付順、自転車位置またはスクロール地点に近い順、ヨミ順などで検索できます。

登録地

登録した場所から検索します。日付順や自転車位置またはスクロール地点に近い順、ヨミ順などで検索できます。

よく行くランキング

ルートを設定し到着した回数が多い場所 10件の中から検索できます。

駐車場満空

通信機能を使って空いている駐車場を検索できます。

ガスタク価格情報

通信機能を使って価格の安いガソリンスタンドを検索できます。

スポット周辺

自転車位置または指定した場所周辺のトラフィックスポットを検索し、周辺の状況を画像で確認できます。

ビュー

地図の表示モードを変更できます。

マルチレイヤマップ

地図上にマーク、アイコン、ロゴマークや各種情報を表示する・しないを設定できます。

マップコード

目的地のマップコードを入力して検索します。

メモ

自宅、名称検索、周辺施設は、工場出荷時ではHOME画面に表示されません。

AVメニュー

AVメニューでは、音楽や映像などオーディオに関するメニューを操作できます。

**MSV/SD**

SDカードに保存した音楽・映像・画像ファイルを再生または表示できます。また、音楽CDから録音した音楽ファイルも再生できます。

Bluetooth Audio

Bluetooth機器内の音楽ファイルを再生できます。

USB/iPod

iPod/iPhoneの音楽ファイルや、USBメモリーに保存された音楽・映像・画像ファイルを再生または表示できます。

基本操作

HDMI< NSZP-X68D >

HDMI機器の映像や音声を再生できます。

交通情報

幹線道路などで放送されているAMの交通情報を聴くことができます。

Rear Cruise

後席モニターに出力するAVソースを設定できます。

ドライブレコーダー

ドライブレコーダーで録画した動画や静止画を再生できます。

メモ

FM/AM、Disc、TVは、工場出荷時ではHOME画面に表示されません。

Live Infoメニュー

Live Infoメニュー画面では、本機や専用サーバー、iPhoneやスマートフォンのアプリから取得した情報が表示されます。



スポットウォッチャー

ルート案内時に取得した交通状況の画像を表示します。

パーキングウォッチャー

取得した駐車場の満空情報を表示します。

お知らせ

取得したサービスに関するお知らせや地図更新時の情報などを表示します。

交通情報

ルート案内時に取得した、ルート前方の渋滞情報や規制情報を表示します。

天気情報

天気情報を取得し、現在地付近または目的地付近の天気を表示します。

メモ

AV情報は、工場出荷時ではHOME画面に表示されません。

AV・本体設定



	オーディオ機能の設定ができます。 ➔P245
	DVDやTVなどの設定、MSV/SDの録音設定などができます。 ➔P175
	Wi-FiとBluetooth接続の設定ができます。 ➔P138
	案内音量やライブインフォ、オプション品などの設定ができます。 ➔P252
	本機のプログラムや地図のバージョンや本機の接続状態など、本機に関するさまざまな情報を確認できます。 ➔P170

ナビ設定



	地図の表示設定を変更できます。 ➔P123
	ルートを設定する際のさまざまな条件や、ルートの案内方法を設定できます。 ➔P124
	交通情報を取得するための設定ができます。 ➔P94
	自転車位置の修正、道路種別の切り換えができます。 ➔P41
	登録地などナビゲーション本体に保存したデータの編集ができます。 ➔P109

携帯電話メニュー

携帯電話メニューでは、プリセットダイヤルや電話帳など携帯電話機能に関するメニューを操作できます。



	プリセットダイヤルに登録した電話番号（相手）に、リストから素早く発信できます。 ➔P265
	現在接続中の携帯電話の電話帳を表示し、選んだ相手に発信できます。 ➔P266
	本機と携帯電話が接続中に発信または着信された電話番号の履歴をリスト表示し、選んだ番号に発信できます。 ➔P266
	ダイヤル発信画面を表示し、10キーを使って電話番号を入力し、その番号に発信できます。 ➔P266
	iPhoneを接続したときのみ使えます。 Siriを呼び出し、携帯電話の電話帳に登録してある相手に発信できます。 ➔P266

メニュー画面のカスタマイズ

メニュー画面のファンクションキーをお好みに合わせてカスタマイズすることができます。

メモ

AV OFF、電話、AV・本体設定、ナビ設定、ルート、EJECT/TILTはカスタマイズできません。

■ファンクションキーの並べ替え

それぞれのメニュー画面内でファンクションキーの並び順を変更できます。

1 並べ替えたいメニュー画面を表示します

- 2** 移動させたいファンクションキーに長くタッチします



- 1** HOME画面に移動させたいファンクションキーを長くタッチします



- 3** 移動させたい位置までドラッグします



- 2** HOMEに移動にタッチします



- 4** 完了にタッチします



■ファンクションキーの移動

ファンクションキーは、各メニューとHOME画面間を移動することができます。各メニュー間での移動はできません。ここでは、HOME画面への移動を例に説明します。

メモ

HOME画面に空きスペースがない場合は、ファンクションキーを移動できません。

- 3** 完了にタッチします



■ファンクションキーのサイズ変更

HOME画面ではファンクションキーのサイズを変更できます。

メモ

- HOME画面に空きスペースがない場合は、ファンクションキーサイズの拡大はできません。
- 次のファンクションキーは、大、中の2パターンにサイズを変更できます。また、サイズを変更すると表示される情報の量が変わります。
 - 天気情報
 - お知らせ
 - スポットウォッチャー
 - パーキングウォッチャー
 - 交通情報
 - 検索履歴
 - 登録地
 - よく行くランキング
 - AV情報

■位置を初期化する

ファンクションキーの位置やサイズを工場出荷時の状態に戻すことができます。

1 ファンクションキーに長くタッチします



2 位置初期化にタッチします



3 はいにタッチします



初期化されます。

1 変更したいファンクションキーを長く

タッチし、キーの枠をドラッグします
ファンクションキーの枠に表示される○の部分に触れてからドラッグしてください。
サイズは大、中、小の3つのパターンに変更できます。



2 完了にタッチします



文字の入力操作

検索時や編集時に必要な、文字の入力操作について説明します。

メモ

- 入力項目により、使用できる文字の種類が制限されることがあります。
- 本機は、文字入力変換システムに富士ソフト株式会社の「FSKAREN®」を使用しています。

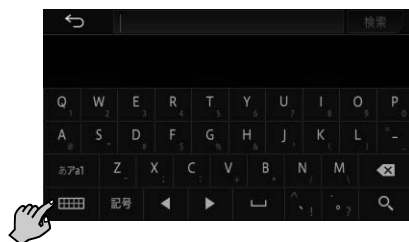
1 田 / ㄩ / ㄩ のいずれかにタッチします

3種類の方法（携帯電話方式、QWERTYキーボード方式、50音キーボード方式、）から選択できます。タッチすることにより切り換わります。

携帯電話方式



QWERTYキーボード方式



50音キーボード方式



2 文字を入力します

50音キーボード方式の場合



あA a1

タッチするたびに文字の種類（ひらがな/カタカナ/英字/数字）を切り換えます。

記号

記号に切り換えます。



カーソルの位置を動かします。また、文字入力中にタッチして変換範囲を変更できます。



カーソルの左側にスペースを挿入します。



カーソルの左側にある文字を1字ずつ削除します。

小文字 / 大文字 (ひらがな、カタカナ)

タッチするたびに小書き（半音）と大書き（直音）を切り換えます。

aA (英字)

タッチするたびに小文字と大文字を切り換えます。

半角 / 全角 (記号)

タッチするたびに半角と全角を切り換えます。

メモ

- 漢字変換入力をするときは、**あアa1**にタッチして、ひらがなに切り換えます。
- 文字が表示されている部分にタッチして、カーソルの位置を移動することもできます。
- 携帯電話方式ではフリック入力もできます。

3 変換にタッチします

変換はひらがなのときのみ選択できます。英字や数字、記号を入力したとき、ひらがなのまま変換しないときは次の手順に進んでください。



メモ

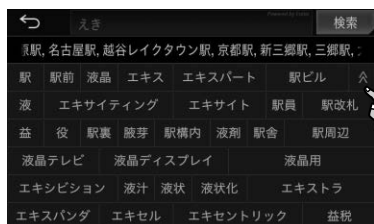
- **⌫**にタッチすると、変換前の状態に戻ります。
- 変換中はスペースを挿入できません。次の手順を終えてから、スペースを挿入してください。
- 変換にタッチせず、入力した文字に応じて表示された変換候補から選ぶこともできます。

4 確定にタッチします



変換候補にタッチすると、漢字や記号が入力されます。

該当する変換候補がない場合は、**▼**にタッチして変換候補の一覧から選択できます。



一覧を閉じるには**▲**にタッチします。

ナビゲーション

地図画面の操作 41	立寄地をキャンセルする 92	通信機器を準備する 140
現在地画面を表示する 41	NaviCon を使う 93	Bluetooth 対応端末の登録 (ペアリング) 140
ハイウェイモード 46	渋滞情報の利用 94	接続機器の切り換えと、Bluetooth 機器の接続プロファイルを設定する 144
地図を動かす 50	VICS 情報を利用する 95	登録した Bluetooth 機器を消去する 146
地図のスケールを変える 52	地図上で VICS 情報を見る 96	PAN (Personal Area Network Profile) で通信を行う 146
地図の表示モードを変える 53	VICS 情報の表示を設定する 98	自動接続を設定する 147
地図の向きを変える 54	ビーコン情報の自動表示 99	バスキーを変更する 148
地図の表示スケールを登録する 54	ルート上の渋滞情報を手動で案内させる 99	デバイス名を設定する 148
自転車位置のずれを修正する 55	FM 多重 VICS の情報を見る 100	自動着信応答を設定する 149
一般道または有料道へ自転車位置を修正する 56	VICS 放送局を選ぶ 100	Wi-Fi 対応端末を登録する 149
場所を探す 57	ビーコン情報を表示・再生する 101	登録した Wi-Fi 対応端末を消去する 156
名称で探す 57	通信で渋滞情報を取得する ... 103	自動接続を ON/OFF する 157
住所で探す 58	オンデマンド VICS 103	接続する Wi-Fi 対応端末の優先度を変更する 157
電話番号で探す 59	リアルタイムプローブとリアルタイムプローブ渋滞情報 104	セキュリティ設定をする ... 159
ジャンルで探す 59	リアルタイムプローブ渋滞情報を利用するために必要なこと 104	セキュリティ機能を設定する 159
周辺施設を探す 61	リアルタイムプローブ設定をする 104	セキュリティ機能が働いたときの操作 160
検索履歴・登録地・よく行くランキングから探す 63	渋滞情報を手動で取得する 106	案内音声出力先設定 161
マップコードから探す 63	渋滞情報を自動で取得する 106	パーキングブレーキアラーム・速度超過アラームの設定 ... 161
フリーワード音声検索で探す 64	通信で取得した渋滞情報の地図表示 107	車両情報設定 162
駐車場満空情報をもとに探す 66	通信で受信した渋滞情報の提供時刻を確認する 108	車両情報を設定する 162
ガスタバ価格情報で探す 67	場所 (地点) の登録と編集 ... 109	起動時の画像と音の設定 ... 165
スポット周辺で探す 68	自宅を登録する 109	起動時の画像を設定する 165
場所を探し終わると 70	場所を探して登録する 109	起動時の音を設定する 166
ルート探索と案内 71	現在地を登録する 110	タッチパネルのタッチ位置を調整する < NSZP-W68D > ... 167
ルートを設定する 71	登録した場所に関する情報を編集する 111	設定初期化 168
スーパールート探索について 71	グループ名を編集する 113	AV・本体設定の初期化 168
案内開始画面の見かた 72	登録した場所を消去する 113	ナビ設定の初期化 169
ルート案内中の現在地画面の見かた 73	地点情報を SD カードに書き出す 114	各種情報の利用 170
一般道の案内画面の見かた 75	SD カードから地点情報を読み込む 115	センサー学習の状況を確認する 170
ルート案内中の機能 76	その他のデータ編集 117	接続状態を確認する 171
ルート案内の中止 81	地図表示のカスタマイズ ... 119	SD カードの空き容量を確認する 173
ルートを消去して案内を中止する 81	設定内容の詳細 120	バージョン情報を確認する 173
ルート情報 82	ナビゲーション機能の設定メニュー 122	
デモ走行を行う 82	設定内容の詳細 123	
6 ルート地図を使う 83	マイセットアップ 130	
6 ルートリストを使う 84	マイセットアップを行う 130	
ルート地図を使う 85	マイセットアップを開始する 130	
ルート編集 86	通信接続設定 138	
案内中のルートの探索条件を変更する 86	Bluetooth 接続および Wi-Fi 接続でできること 138	
ルートに立寄地を追加する 87		
立寄地の順番を並替える 88		
立寄地を消去する 89		
出発地を指定する 90		
乗降 IC (インターチェンジ) を指定する 91		
乗降 IC 指定を解除する 92		

地図画面の操作

本機では、車の走行状況に応じて、さまざまな地図表示ができます。

● 現在地画面

自車位置を中心とした画面です。目的地までのルートを設定した場合は、道順や案内地点を画面の表示や音声案内で確認できます。

➡P73の「ルート案内中の現在地画面の見かた」

● ハイウェイモード

有料道専用画面です。

インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアや分岐地点を確認できます。

➡P46の「ハイウェイモード」

● スクロール画面

地図画面にタッチすると、スクロール画面に切り換わります。

スクロール画面では、地図を動かしたり、施設やロゴマークにカーソルを合わせて詳細情報を確認できます。

➡P73の「ルート案内中の現在地画面の見かた」

また、ショートカットメニューを表示させて目的地を設定したり、地点を登録したり、任意の地点を中心とした周辺施設を検索できます。

➡P51の「ショートカットメニュー」

現在地画面を表示する

1 NAVIボタンを押します



現在地の地図が表示されます。

メモ

本機をはじめて使うときや、長期間使っていないときは、現在地を表示するまでに5分程度かかることがあります。

■ 現在地画面の見かた

ノーマルビュー

情報ウィンドウ

情報ウィンドウはタッチするたびに現在地情報（市区町村名）、走行中道路名、緯度経度、AV情報（AVソースや曲のタイトル名など）を切り換えることができます。交差点案内表示中および VICS WIDE 緊急情報を受信した時は切り換えることはできません。

インスタントメニュー表示タブ

下にドラッグすると、ナビ機能のメニューが表示されます。



メモ

- 自車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。
- 情報ウィンドウを「現在地情報表示」にしても、場所によっては市区町村名、住所名、丁目まで表示されないことがあります。
- 軌跡表示は、今までに通った約 1 000 km分の走行軌跡が表示できます。通常は白、車の速度が 5 km/h未滿のときは赤、5 km/h以上 20 km/h未滿のときは橙の点で表示されます。
- 走行軌跡は表示させないようにしたり、消去または自動消去が可能です。
 - － 表示設定 → P119の「地図表示のカスタマイズ」
 - － 消去 → P117の「その他のデータ編集」
 - － 自動消去 → P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」
- AVサイドビュー、パノラマモニター、ドライブレコーダー、エコ情報表示のショートカットキーを最大4つまで表示できます。
 - P44の「現在地画面に表示するタッチキーや表示物を設定する」
 外部機器の接続状況によって表示できない場合もあります。
- 現在の時刻は、GPS衛星の情報に基づいて表示されます。時刻の変更はできません。
- 走行中は、地図上に細街路は表示されません（シティマップを除く）。ただし、細街路を走行中のときはその細街路が表示されます。
- 方位表示にタッチして、地図の向きを変更できます。
 - P54の「地図の向きを変える」

■ ステータスバーに表示される情報

本機の設定や接続状況に応じて、ステータスバーにアイコンが表示されます。

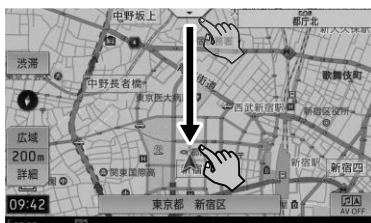
アイコン	表示内容
	FM VICSの取得時間が表示されます。*
	リアルタイムプローブ [®] 渋滞情報の取得時間が表示されます。*
	オンデマンドVICSの取得時間が表示されます。*
	ビーコン情報の取得時間が表示されます。*
	本機に挿入されたSDカードが認識されると表示されます。
	地図データ等の更新時に表示されます。進捗に応じて5段階で表示されます。また、地図更新の状況に応じて、[更新中断中][完了][再起動待ち][更新エラー]といったアイコンも表示されます。
	音楽CDからMSV/SD（ミュージックサーバー）へ録音中に表示されます。
	天気予報（気象情報や予想気温）を取得している場合に、天気予報と予報時刻が表示されます。ルート設定時は目的地付近、ルートを設定していないときは現在地付近の予報が表示されます。
	音声案内をOFFにした場合に表示されます。 →P257の「カスタム機能」
	別売のETCユニットやETC2.0ユニットが接続されていて、ETCカードが挿入されている場合に表示されます。ETCカードの有効期限が切れている場合は、赤いアイコンが表示されます。
	別売のETC2.0ユニットが接続されていて、ICカードが挿入されている場合に表示されます。
	本機に登録されたBluetooth機器とBluetooth接続中に表示されます。機器1（ハンズフリー1）と機器2（ハンズフリー2）それぞれの電波強度と電池残量が表示されます。
	本機にNaviCon連携機器を登録すると表示されます。
	Wi-Fi、テザリングまたはBluetoothのPANを使って回線接続されている場合に表示されます。

※：取得経過時間が5分未満の場合は橙色、5分以上30分未満の場合は青色に文字の色が変わります。

■ 現在地画面に表示するタッチキーや表示物を設定する

1 NAVIボタンを押して現在地画面を表示します

2 画面上部中央のタブを下にドラッグします



インスタントメニューが表示されます。

3 マルチレイヤにタッチします



4 設定アイコンにタッチします



5 操作・その他にタッチします



6 設定したい項目にタッチします



タッチするたびに (表示)、 (非表示) が切り換わります。

メモ

NAVIメニューからマルチレイヤマップを選択して、同じ操作を行うこともできます。

■ 設定内容の詳細

スケール変更

スケールを変更するためのタッチキー（広域、詳細）を、現在地画面に表示する・しないを設定します。
工場出荷時は（表示）です。

渋滞

渋滞を確認またはリアルタイムプローブ渋滞情報を取得するための渋滞キーを、現在地画面に表示する・しないを設定します。
工場出荷時は（表示）です。

時計

現在時刻を、現在地画面に表示する・しないを設定します。
工場出荷時は（表示）です。

情報ウィンドウ

情報ウィンドウを、現在地画面に表示する・しないを設定します。
工場出荷時は（表示）です。

カメラ

ショートカットキーの表示内容としてパノラマモニターを表示する・しないを設定します。パノラマモニターを接続し、AV・本体設定の「パノラマモニター」をONにしているときのみ設定できます。
➔P273の「バックモニターを設定する」
パノラマモニターを接続した場合の初期値は（表示）です。

ドライブレコーダー

ショートカットキーの表示内容としてドライブレコーダーを表示する・しないを設定します。
表示する設定をした場合、撮影方法として手動で録画する・静止画を撮影するを設定できます。
ドライブレコーダーを接続した場合の初期値は（表示）です。

エコ情報表示

ショートカットキーの表示内容としてエコ情報表示（➔P53の「地図の表示モードを変える」）を表示する・しないを設定します。
工場出荷時は（表示）です。

AVサイドビュー

ショートカットキーの表示内容としてAVサイドビュー（➔P53の「地図の表示モードを変える」）を表示する・しないを設定します。
工場出荷時は（表示）です。

ハイウェイモード

有料道に進入すると自動的にハイウェイモードに切り換わります。

ハイウェイモードでは、進行方向のインターチェンジやサービスエリアなどの施設名称と、施設までの距離などが表示されます。

また、サイドマップには現在地周辺の地図が表示されます。

施設名称は車の走行に合わせて順次自動的に切り換わります。また、本線上や分岐先にある先の施設名称も表示できます。

施設名称にタッチすると、施設情報を確認できます。

メモ

- 有料道に進入しても、自動的にハイウェイモードに切り換わらないように設定できます。
→ P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」
- 一部の有料道や一般国道の自動車専用道路無料区間などでは、ハイウェイモードに切り換わらない場合があります。

■ハイウェイモードの現在地画面の見かた

各施設までの残距離と通過予想時刻

SA/PA 送りタッチキー
サービスエリアやパーキングエリアを
順次選択します。

サイドマップ表示

現在地や選んだ施設の位置などが、
地図表示されます。



施設送りタッチキー
施設を順次選択します。

施設名称表示

施設の名称や店舗情報などが表示されます。
タッチすると、周辺施設の地図や分岐情報などを確認できます。

メモ

- ハイウェイモードのサイドマップの地図方位はヘディングアップ固定です。
- ハイウェイモードでは、それぞれの施設の種類（IC/PA/SA/JCT/ランプ/料金所/スマートIC）と施設名が表示されます。
- 現在地からの距離と予想到着（通過）時刻が表示されます。渋滞予測と渋滞情報を考慮した時刻も表示できます。
→P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」
- 次の施設には、施設のサービス情報と料金（IC/PA/SA/JCT/料金所/スマートICの場合）が表示されます。
- 次の施設にイラスト情報が収録されている場合は、次の施設を選択すると、イラストが表示されます。
- 次の施設に分岐先路線がある場合は、分岐先を選択できます。
- VICS情報を取得している場合は、故障車や車線規制などのVICS情報がマークで表示されます。
→P363の「記号・マーク一覧」
- ルート案内中は、有料道出口のおよそ1 km手前になると有料道出口の案内が表示され、出口を通過すると自動的にハイウェイモードは解除されます。
- 有料道上でルートを設定した場合は、料金が表示されない場合があります。
- 料金表示が可能なのは、都市高速、都市間高速、一部の有料道です。
- マイセットアップの「ETC取付状態設定」で「ETCを取り付けている」または「ETC2.0を取り付けている」を選択すると、各種ETC割引料金に対応します。

■ 出口情報を表示する

ルート案内中は、出口の施設情報（料金や距離、予想到着（通過）時刻）を表示できます。

1 出口施設名にタッチします



サイドマップに出口周辺の地図が表示されます。

2 Xにタッチします

元の画面に戻ります。

メモ

目的地を有料道上に設定した場合や、目的地を設定していない場合は、出口情報は表示されません。

■ 先の施設情報を見る

ハイウェイモードでは、施設名にタッチして施設情報を確認できます。また、**次の施設**にタッチして、先にある施設も順次選択できます。

サイドマップには選択中の施設周辺の地図が表示されます。

1 次の施設にタッチして表示したい施設を選びます



メモ

- 選択中の施設にタッチすると、選択中の施設周辺の地図が全画面で表示されます。
- 選んだ施設にイラスト情報が収録されている場合は、イラストが表示されます。
- **前の施設**にタッチして、1つ前の施設の選択も可能です。
- **SA/PA 送り**にタッチすると、サービスエリアまたはパーキングエリアのみを順に選択できます。
- 選んだ施設に分岐先路線がある場合は、分岐先を選択する画面が表示されます。

■ 分岐施設の分岐先の情報を見るには

ルートを設定していない場合は、走行中の路線に沿った施設情報を確認できます。

ルートの有無に関係なく途中に分岐施設がある場合は、分岐先を選んで先の情報を確認できます。

1 分岐施設を選んで施設名にタッチします



2 見たい分岐先にタッチして**決定**にタッチします



分岐先の路線が表示されます。

メモ

分岐先路線表示の右の地図画面で**決定**にタッチすると、元の画面に戻ります。

■施設のイラストを表示する

SAやPAにイラスト情報が収録されている場合は、施設にタッチするとイラストが表示されます。

1 SAまたはPA施設にタッチします





メモ

- **地図表示**にタッチすると、SAやPAがある地点の地図を表示します。
- 分岐施設が併設されている場合は、**路線選択**ボタンが表示され、分岐先を選択することができます。

■サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報

	店舗情報
	多機能トイレ
	レストラン
	ショッピングコーナー
	ハイウェイオアシス
	ドッグラン
	仮眠休憩所
	スナックコーナー
	インフォメーション
	ハイウェイ情報ターミナル
	風呂
	ファクシミリ
	郵便ポスト
	キャッシュサービス
	トイレ

メモ

- 店舗情報は、施設への到着予想時刻と営業時間が考慮され、利用できる施設(例：)と利用できない施設(例：)が区別されて表示されます。(営業時間考慮表示)
- 同時に表示される情報は8個までです。9個以上の情報がある場合は、上表の並び順に優先表示され、9個目以降は表示されません。
- 隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。

■ VICS情報表示

VICS情報を取得している場合は、自車位置に最も近い混雑状況（渋滞または混雑）および規制情報（車線規制や通行止めなど）が近い順に3件まで表示されます。



VICS 情報

メモ

施設間で交通規制があるときは、渋滞情報マーク（➡P363の「記号・マーク一覧」）が表示されます。

地図を動かす

1 **NAVI**ボタンを押して現在地画面を表示します

2 画面をタッチ、ドラッグまたはフリックします

現在地画面がスクロール画面に切り換わります。**微調整**にタッチすると、カーソル位置を微調整できます。

3 **微調整**にタッチします



4 矢印にタッチしてカーソルをスクロールします



メモ

タッチし続けると、タッチしている方向にスクロールします。

画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロールする速度が速くなります。

タッチしたまま指を動かして、スクロールの方向や、スクロールの速度を変えられます。

■スクロール画面の見かた

ノーマルビュー

現在地から十字カーソルを結んだ線



地点情報・施設情報
切り換え

十字カーソル位置の地名、施設名

地点情報プレート

現在地から十字カーソル位置までの直線距離

■地図上の詳細情報を表示する(ア クティブインフォ)

地図上にロゴマークやVICS規制マークなどが表示されている場合、カーソルを合わせると、詳細情報を表示できます。



詳細情報を表示できるのは次のマークです。

- VICSマーク
- ロゴマーク
- 目的地や立寄地などの誘導マーク
- 各種情報マーク（駐車場満空情報、ガススタ価格情報）
- 施設情報
- 登録地

メモ

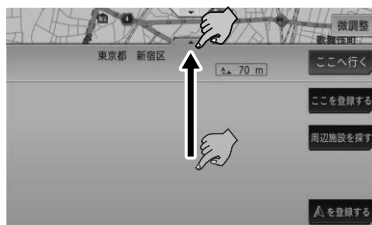
- スクロールした地点を目的地にしたい場合は、**ここへ行く**にタッチしてください。
- 周辺または同一マーク内に複数の対象情報がある場合は、**一覧**にタッチするとリスト表示されます。

■ショートカットメニュー

地点を検索したり地図をスクロールしたりすると、カーソル位置の地点情報（地点情報プレート）が画面下に表示されます。この地点情報プレートを上にドラッグすると、地点や現在地の登録、カーソル位置の周辺施設の検索ができます。

- 1 地点を検索、または地図をスクロールして、お好みの地点にカーソルを合わせます

2 画面下の地点情報プレートを上ドラッグします



ショートカットメニューが表示されます。

ここへ行く

カーソルの場所を目的地に設定します。

ここを登録する

カーソルの位置を登録します。

周辺施設を探す

カーソルの位置を中心として、周辺の施設を検索します。

人を登録する

自転車位置（現在地）を登録します。

地図のスケールを変える

10 m ~ 500 kmの範囲で地図のスケールを変更できます。

1 **NAVI**ボタンを押して現在地画面を表示します

2 **詳細**または**広域**にタッチします



地図の表示スケールが変更されます。

詳細

タッチするたびに地図の表示スケールが小さくなり、詳細な地図が表示されます。

広域

タッチするたびに地図の表示スケールが大きくなり、より広い範囲で地図が表示されます。



スケールゲージを消します。

3 **スケールゲージ**を上下にドラッグします



地図の表示スケールが変更されます。

メモ

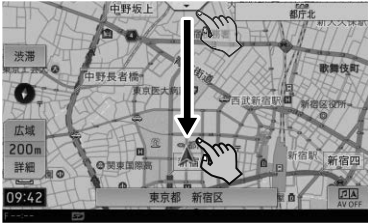
- ダブルタップや2点タッチしても、表示スケールを詳細または広域に変更できます。
- 詳細**や**広域**にタッチし続けると、スケールが段階的に変わります（フリーズーム）。ただし、走行中は安全のためフリーズームの操作はできません。
- 地図を2画面（ツインビュー）で表示している場合、それぞれの画面でスケールを変更できます。
- 地図の表示スケールを登録すると、現在地画面を表示中に**NAVI**ボタンを押すことで、登録したスケールに切り換えることができます。表示中の地図モードによって、それぞれ表示スケールを登録できます。

➡P54の「地図の表示スケールを登録する」

地図の表示モードを変える

1 **NAVI**ボタンを押して現在地画面を表示します

2 画面上部中央のタブを下にドラッグします



インスタントメニューが表示されます。

3 **ビュー**にタッチします



4 お好みのモードにタッチします



6種類の表示モードからお好みのモードを選ぶことができます。

- **ノーマルビュー**
平面的な地図を表示します。
- **スカイビュー**
都市部など、場所によって立体的な地図を表示します。

● **ツインビュー**

地図画面を2分割で表示します。地図のスケールを変更できます。

● **AVサイドビュー**

画面を2分割し、AVソース画面と地図画面の両方を表示します。

● **エコ情報表示**

地図画面とエコ情報画面を同時に表示します。エコゲージやエコスコアの確認ができます。

● **ハイウェイモード**

有料道路専用の画面を表示します。

メモ

- NAVIメニュー画面を表示して、**ビュー**にタッチしても、表示モードを切り換えることができます。
- ハイウェイモードは、有料道路走行中のみ選択できます。
- ツインビュー、AVサイドビュー、ハイウェイモード、エコ情報表示で現在地を表示している場合は2Dと3Dを切り換えることができます。
→ P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」

■ エコ情報表示について

エコ運転度を診断し、数値やグラフで表示できます。

▲ 注意

エコスコアやエコゲージを参考にして運転する場合は、ナビゲーション画面を注視せず、安全に十分注意して運転してください。



エコスコア

エコスコアを確認できます。走行全体の評価は、100点満点のエコスコアで表現されます。エコ情報をリセットしてから次にリセットをするまでの運転を評価します。

エコゲージ

エコ運転度をチェックできます。

エコゲージをバーの伸び縮みで表示します。エコな運転であるほど、メーターがHIGHに伸びます。

エコゲージを参考にして運転することで、エコ運転の向上が期待できます。

● 瞬間

瞬間のエコゲージを示しています。

● 平均

リセットしてから次にリセットをするまでの平均エコゲージを示しています。

メモ

- エコ情報は「車速」「加速度」「勾配情報」から計算されます。センサー初期学習中の場合など、車速が算出されない状態ではエコ情報が正しく計算できない場合があります。
- 地図の表示モードを「エコ情報表示」に設定しているときは、方面看板は表示されません。

地図の向きを変える

2種類の地図の向き(地図方位)から選択できます。

▼ (ヘディングアップ)

進行方向が常に上になるように、地図が自動的に回転します。

▲ (ノースアップ)

北が常に上になるように表示されます。

工場出荷時は「ヘディングアップ」です。ナビ設定の「地図方位設定」から地図の向きを変更できます。

➡ P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」

メモ

- 地図の表示モードが次の場合のみ設定できます。
 - ー ノーマルビューの場合
 - ー ツインビューで、なおかつツインビュー左画面アングルが2Dに設定されている場合
 - ー エコ情報表示中で、なおかつエコ情報表示マップアングルが2Dに設定されている場合
- **詳細**または**詳細**をタッチしても地図の向きを変えることができます。

地図の表示スケールを登録する

現在地画面を表示中に**NAVI**ボタンを押すことで、登録したスケールに切り換えることができます。

表示中の地図モードによって、それぞれ表示スケールを登録できます。

- ノーマルビュー、スカイビューでは、ハイウェイモードのサイドマップの表示スケールも登録できます。
- ツインビューやエコ情報表示では左画面、AVサイドビューでは右画面の地図の表示スケールを登録できます。

1 **田**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 ナビ設定にタッチします



3 **田**→**田**地図スケール登録にタッチします



4 **田**域または**詳細**にタッチして、登録したい表示スケールに切り換えます



5 登録にタッチします



自転車位置のずれを修正する

現在地画面に表示される自転車位置がずれてしまったときは、正しい位置に自転車位置を修正できます。

△注意

自転車位置ずれの修正は、必ず停車した状態で行ってください。

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 ナビ設定にタッチします



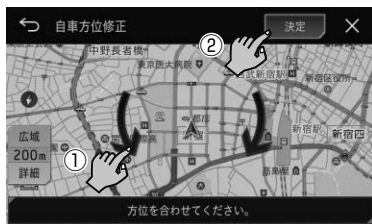
3 自転車のアイコンにタッチして「自転車位置修正」にタッチします



4 8方向矢印キーにタッチして十字カーソルを現在地に合わせ、決定にタッチします



5 左右の回転矢印キーにタッチして、自転車の向きを調整し、決定にタッチします



一般道または有料道へ自転車位置を修正する

一般道と有料道が並行している道路を走行中に、異なる種類の道路へ自転車位置がマップマッチングしてしまった場合は、正しい種類の道路に自転車位置を修正できます。

1  ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 ナビ設定にタッチします



3  別道路切換にタッチします



メモ

自転車位置が修正できない場合もあります。

場所を探す

ナビゲーションの操作は、場所（行き先、立寄地などの目的地）を探すことから始まります。目的地の地図を表示できれば、そこまでのルートを設定したり、詳細情報を見ることができます。

メモ

- 場所を探すと、探した場所が自動的に検索履歴に100件まで保存されます。
- 道路以外の場所を目的地とした場合、ルート探索ができなかったり、不適切なルートとなる場合があります。
- 検索した場所（施設）に駐車場データが収録されている場合、その施設の駐車場を目的地として案内する場合があります。（駐車場ポイントリンク）
駐車場入口案内ポイントは、情報の種類によって、マークが色分け表示されます。
詳しくは（⇒P363の「記号・マーク一覧」）をご覧ください。
- 選んだ施設に駐車場データが複数収録されている場合やオートパーキングメモリーによる駐車場履歴が複数ある場合は、「P入口」が表示され、タッチするたびに、選択する駐車場が切り換わります。

名称で探す

探したい場所の名称やキーワードを入力して検索します。

1 **田**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **名称検索**にタッチします



3 行き先の名称やキーワードを入力し、**検索**にタッチします



入力した文字に応じて候補が表示されます。候補にタッチしても検索が始まります。入力した名称やキーワードに一致する候補のリストと、サイドマップが表示されます。

4 目的地に設定したい場所にタッチします



絞り込みにタッチすると、エリアまたはジャンルで候補を絞り込むことができます。

並べ替えにタッチすると、一致順、近い順または50音順で候補を並べ替えることができます。

5 ここへ行くにタッチします



ルートの探索が始まります。

住所で探す

ここまでの手順▶

ボタン▶

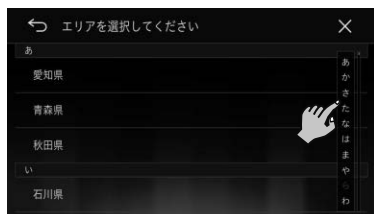


NAVIメニュー画面を表示します

1 住所にタッチします



2 画面の表示に従って、都道府県から市区町村を絞り込みます



3 丁目、番地、号を絞り込みます



絞り込んだ地点を中心とした地図画面が表示されます。

4 ここへ行くにタッチします



ルートの探索が始まります。

メモ

- **主要部**にタッチすると、選んだ地域の代表地点が地図に表示されます。
- **番地入力**にタッチすると、番地を入力できます。
- 探した施設の情報が複数収録されている場合は、情報が表示されます。**一覧**にタッチすると、施設情報をリストで表示できます。

電話番号で探す

ここまでの手順 ▶



ボタン →

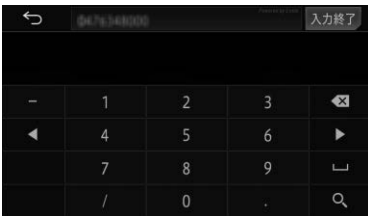


NAVIメニュー画面を表示します

1 電話番号にタッチします



2 市外局番、市内局番を含む電話番号を入力します



電話番号を全行入力すると自動的に検索が始まります。自動的に検索が始まらない場合は、**入力終了**にタッチします。入力した電話番号に一致する場所を中心とした地図が表示されます。

メモ

該当する電話番号が個人宅のときは、苗字のヨミを入力する画面が表示されます。苗字のヨミを入力し、**入力終了**にタッチしてください。

3 ここへ行くにタッチします



ルートの探索が始まります。

ジャンルで探す

ジャンルのリストから各種施設を探せます。

ここまでの手順 ▶



ボタン →



NAVIメニュー画面を表示します

1 ジャンルにタッチします



2 探したい施設のジャンルにタッチします



タッチしたジャンルの詳細リストが表示されます。

3 探したい施設の詳細ジャンルにタッチします



4 付近で探すまたは都道府県を指定して探すにタッチします



付近で探すにタッチすると現在地付近またはスクロール先付近で、都道府県を指定して探すまたは路線順で探すにタッチするとそれぞれのリストから検索の条件を指定できます。

ジャンルで駅を選択した場合は、路線順で探すが表示されます。

5 目的の施設にタッチします



目的の施設を中心とした地図が表示されます。

6 ここへ行くにタッチします



ルートの探索が始まります。

メモ

- ジャンルを絞り込んだ場合は、リスト項目先頭に表示される“○○○すべて”を選ぶと、選んだジャンルに含まれる施設すべてをリスト表示します。
- ガソリンスタンド、充電スポット（急速、普通）、駐車場、コンビニエンスストア、ATM、ファストフード、ファミリーレストラン、回転寿司店、ラーメン店、喫茶店・カフェを検索すると、営業時間が考慮され、現在利用できる施設（例：🕒）と利用できない施設（例：🚫）が区別されて表示されます（営業時間考慮検索）。
- 隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- 駐車場は、「車両情報設定」の「駐車制限（車種）」、「駐車制限（車両寸法）」を考慮して検索されます。利用できない駐車場は🅑と表示されます（実際の車両設定と異なる場合があります）。
- 駐車場の詳細ジャンルでデパート提携駐車場も検索できます。

検索できるジャンル

車・交通(タブ)

ガソリンスタンド、急速・普通充電スポット、急速充電スポット、普通充電スポット、カーディーラー、カー用品店、自動車修理・整備、駐車場、レンタカー、駅、中古車販売店、バイク販売店、その他 車・交通

買う(タブ)

コンビニエンスストア、ショッピングモール、スーパーマーケット、ディスカウントストア、デパート、衣料品店、おもちゃ屋、ベビー用品店、家電店、携帯電話販売店、スポーツ用品店、ホームセンター、家具・インテリア店、リサイクルショップ、薬局、その他 買う

生活(タブ)

病院、学校、郵便局、ATM、都市銀行、地方銀行、第2地方銀行、その他 金融機関、トイレ、住宅展示場、公共施設、冠婚葬祭、その他 生活

遊ぶ・泊まる(タブ)

観光スポット、宿泊施設、身障者用トイレのある宿泊施設、サウナ・健康ランド、ゴルフ場、ゴルフ練習場、キャンプ場、公園、水族館、動物園、遊園地、映画館、ボウリング場、体育館・アリーナ、トレーニングセンター、ペットと楽しむ施設、味覚狩り、巡礼、世界遺産、その他 遊ぶ・泊まる

食べる(タブ)

ファストフード、ファミリーレストラン、身障者用トイレのあるレストラン、寿司屋、回転寿司店、うどん・そば店、パスタ店、ラーメン店、カレー店、中華料理店、焼肉・韓国料理店、喫茶店・カフェ、その他 食べる

周辺施設を探す

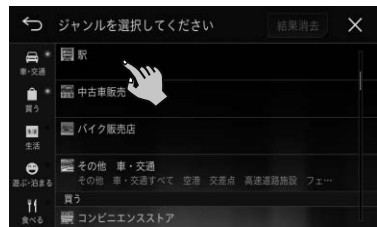
ガソリンスタンドやレストランなど、現在地やルート周辺、スクロール先周辺の施設を最大50件まで探せます。

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 周辺施設にタッチします



3 探したい施設のジャンルにタッチします



4 探したい施設の詳細ジャンルにタッチします



5 目的の施設にタッチします





目的の施設を中心とした地図が表示されます。


6 ここへ行くにタッチします



ルートの探索が始まります。

メモ

- ジャンルを絞り込んだ場合は、リスト項目先頭に表示される“○○○すべて”を選ぶと、選んだジャンルに含まれる施設すべてをリスト表示します。
- ルート案内中に検索したときは、前方両側約200 m以内、前方約30 km以内の範囲から検索されます。ルート案内中でないとき、またはスクロール位置で検索したときは、自車位置または十字カーソル位置の半径約10 kmまたは約30 kmの範囲から検索されます。
- ルート案内中に検索したときは、**並べ替え**にタッチすると、リスト項目を道のり順、近い順で並べ替えられます。
 - 道のり順の場合は、道のり前方約30 kmの範囲、かつ道のりの両側約200 m以内で検索を行い、最大50件表示します。
 - 近い順の場合は、自車位置周辺の半径約10 kmまたは30 kmの範囲から検索を行い、表示します。
- ▲▼**にタッチすると、施設を切り換えることができます。
- 駐車場、ATM、コンビニ、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファストフードを検索すると、営業時間が考慮され、現在利用できる施設(例: )と利用できない施設(例: )が区別されて表示されます(営業時間考慮検索)。
 - 隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。

- 駐車場は、「車両情報設定」の「駐車制限(車種)」、「駐車制限(車両寸法)」を考慮して検索されます。利用できない駐車場はと表示されます(実際の車両設定と異なる場合があります)。
- 駐車場の詳細選択でデパート提携駐車場も検索できます。

■周辺検索によって表示されたロゴマークを消す

周辺検索をして地図上に表示されたロゴマークを削除できます。

1 ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 ナビ設定にタッチします



3 → 周辺検索結果消去にタッチします



地図上に表示されているロゴマークが消去されます。

メモ

車のエンジンスイッチをOFFにしても、ロゴマークを消去できません。

検索履歴・登録地・よく行くランキングから探す

過去に検索した場所、登録地点、訪問回数の多い上位10件の場所から目的地を探すことができます。



1 検索履歴、登録地またはよく行くランキングにタッチします



- **登録地**にタッチし、その後グループ名にタッチすると、そのグループに属する登録地のリストを表示します。
- **検索履歴**のリスト項目には、検索した日時や、現在地またはスクロール先からの距離が表示されます。
- **よく行く**のリスト項目には、各場所の到着回数が表示されます。
 - ー 自宅はランキングの対象になりません。
 - ー デモ走行による訪問は、訪問回数としてカウントされません。

2 目的の場所にタッチします



タッチした場所を中心とした地図が表示されます。

並べ替えにタッチすると、日時順、平日・土日祝日順（検索履歴のみ）、ヨミ順、近い順で並べ替えられます。

近い順の場合は、範囲を限定せず、すべての登録地を自転車から近い順に並べます。

3 ここへ行くにタッチします



ルートの探索が始まります。

マップコードから探す

雑誌やWEBサイトで紹介されているマップコードを入力することで、その地点をすばやく呼び出すことができます。

メモ

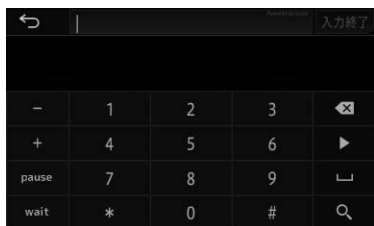
マップコードは、日本全国さまざまな場所の位置データを最大13桁（拡張マップコードの場合）の数字で特定するものです。住所などでは特定することが困難な場所もマップコードでは特定できます。



1 マップコードにタッチします



2 マップコードを入力します



13桁目を入力すると自動的に検索を始めます。自動的に検索を開始しない場合は、**入力終了**にタッチします。

フリーワード音声検索で探す

付属の音声認識用マイクに向かって行き先のキーワードを発話し、専用サーバーの情報を利用して検索を行います。

メモ

専用サーバーに接続するには、あらかじめ通信接続設定を行ってください。

→P138の「通信接続設定」

ここまでの手順▶



ボタン▶



NAVIメニュー画面を表示します

1 フリーワード音声検索にタッチします



2 「お話しください」画面で、音声認識用マイクに向かってキーワードを発話します



音声が取り込まれ、専用サーバーから取得した検索候補を表示します。

3 検索候補にタッチします



検索結果に一致する候補のリストとサイドマップが表示されます。

リトライにタッチすると、「お話しください」画面に戻ります。

4 目的地に設定したい場所にタッチします



タッチした施設を中心とした地図が表示されます。

詳細にタッチすると、選択中の施設の詳細情報が表示されます。

絞り込みにタッチすると、エリアまたはジャンルで候補を絞り込むことができます。

並べ替えにタッチすると、一致順または近い順で候補を並べ替えることができます。
リトライにタッチすると、「お話しください」画面に戻ります。

5 「ここへ行く」にタッチします



ルートの探索が始まります。

メモ

- “神奈川県的水族館” など、地点名に続けて施設名やジャンル名を発話すると、任意の地点を指定して検索できます。
- Bluetooth Audio再生中は、音声認識後に音声途切れる場合があります。

■自宅へのルートを探索する



1 「フリーワード音声検索」にタッチします



2 「お話しください」画面で、音声認識用マイクに向かって「自宅」や「自宅へ帰る」、「自宅へ帰る」と発話します



音声を取り込まれ、専用サーバーから取得した検索候補を表示します。

3 「※自宅」と表示されている候補にタッチします



自宅へのルートを探索します。

自宅が未登録の場合は、自宅を登録できます。

駐車場満空情報をもとに探す

専用サーバーの情報を利用して、空いている駐車場を検索できます。

メモ

専用サーバーに接続するには、あらかじめ通信接続設定を行ってください。

➔ P138の「通信接続設定」

ここまでの手順 ▶ 設定ボタン ➡

NAVIメニュー画面を表示します

1 駐車場満空にタッチします



2 リストから探したい項目にタッチします



3 目的の施設を絞り込んでタッチします



タッチした施設を中心とした地図が表示されます。

にタッチすると、選択中の施設の詳細情報が表示されます。

4 ここへ行くにタッチします



ルートの探索が始まります。

メモ

- 現在地の地図から操作した場合は、現在地周辺の駐車場満空情報を取得します。また、目的地や任意の地点の地図を表示してから操作した場合は、その地点周辺の駐車場満空情報を取得します。
- 半径約 16 km が検索対象です。
- 駐車場は、「車両情報設定」の「駐車制限（車種）」、「駐車制限（車両寸法）」を考慮して検索されます。利用できない駐車場は **P** と表示されます（実際の車両設定と異なる場合があります）。
- 駐車場満空情報は、満空状況により、駐車場情報マークが色分け表示されます。
 - 青色：空車
 - 橙色：混雑
 - 赤色：満車
- 表示される情報や検索結果の内容は、サーバー側で管理されているため、本マニュアルの内容と異なる場合があります。

ガスタ価格情報で探す

専用サーバーの情報を利用して、ガソリンの種別（ハイオク、レギュラー）ごとに価格の安いガソリンスタンドを検索できます。

メモ

専用サーバーに接続するには、あらかじめ通信接続設定を行ってください。

➔ P138 の「通信接続設定」

ここまでの手順 ▶

ボタン ➡



NAVIメニュー画面を表示します

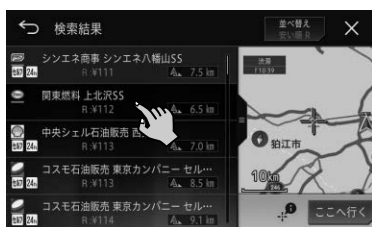
1 ガスタ価格情報にタッチします



2 リストから探したい項目にタッチします



3 目的の施設を絞り込んでタッチします



タッチした施設を中心とした地図が表示されます。

並べ替え にタッチすると、選択中の施設の詳細情報が表示されます。

- ガソリンスタンドの名称
- 住所
- 電話番号
- ガソリン価格
- 併設施設の情報
 - セルフサービス
 - 24 時間営業
 - コンビニ/売店あり
 - コーヒーショップあり
 - ファストフードあり

並べ替え にタッチすると、リスト項目を「安い順 H（ハイオク）」、「安い順 R（レギュラー）」、「近い順」に並べ替えられます。

4 ここへ行くにタッチします



ルートの探索が始まります。

メモ

- 現在地の地図から操作した場合は、現在地周辺のガススタ価格情報を取得します。また、目的地や任意の地点の地図を表示して操作した場合は、その地点周辺のガススタ価格情報を取得します。
- 半径約 16 km が検索対象です。
- ガソリン価格は燃料の種類別に表示され、情報の鮮度によって色分け表示されます。
 - 橙色：24時間以内の情報
 - 青色：7日以内の情報
 - 白色：8日以上前の情報
- 表示される情報や検索結果の内容は、サーバー側で管理されているため、本マニュアルの内容と異なる場合があります。
- データが取得できていないときは、情報は表示されません。また、個人からの口コミによる情報のため、内容の正確性を保証するものではありません。

スポット周辺で探す

専用サーバーの情報を利用して、トラフィックスポットを探すことができます。

トラフィックスポットとは、リアルタイムプローブ参加ユーザーが写真を撮影してアップロードした場所のことです。道路状況を事前に確認することができます。

次のような場所をトラフィックスポットとして探すことができます。

- 交通量が多い場所
- 大型商業施設の駐車場入口
- 全国の高速度道路施設
- VICSによる規制情報が配信されている場所

メモ

専用サーバーに接続するには、あらかじめ通信接続設定を行ってください。

→ P138の「通信接続設定」



1 スポット周辺にタッチします



2 目的地に設定したい場所にタッチします



ここにタッチすると、選択中の施設の詳細情報が表示されます。

3 ここへ行くにタッチします



ルートの探索が始まります。

メモ

- 現在地の地図から操作した場合は、現在地周辺のトラフィックスポット情報を取得します。
- また、目的地や任意の地点の地図を表示してから操作した場合は、その地点周辺のトラフィックスポット情報を取得します。
- 半径約 16 km が検索対象です。
- 表示される情報や検索結果の内容は、サーバー側で管理されているため、本マニュアルの内容と異なる場合があります。
- トラフィックスポット情報の画像に問題がある場合は、詳細情報画面から**画像について**にタッチして、通知理由を選択してください。
- データが取得できていないときは、情報は表示されません。

場所を探し終わると

場所を探し終わると、探した場所を中心とした地図（検索結果画面）が表示されます。検索結果画面では、探した場所を目的地に設定したり、場所の詳細情報を確認できます。

また、地点情報プレートを上にはドラッグすると、ショートカットキーを表示できます。探した場所を登録地として本機に保存したり、探した場所を中心とした周辺検索もできます。

1 場所を探します

検索結果画面が表示されます。



ここへ行く

探した場所を目的地としたルートを設定できます。

➔ P71の「ルート探索と案内」



探した場所の詳細情報を表示できます。



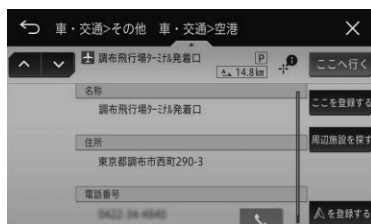
検索結果のリストを左右にドラッグして、折りたたんだり広げたりできます。

2 検索結果のリストを左にドラッグして、折りたたみます



選択中の施設を切り換えます。

3 地点情報プレートを上にはドラッグします



ここを登録する

カーソルの位置を登録地として本機に保存します。

➔ P109の「場所(地点)の登録と編集」

周辺施設を探す

カーソルの位置を中心として、周辺の施設を検索します。

➔ P61の「周辺施設を探す」

▲を登録する

自車位置(現在地)を登録地として本機に保存します。

➔ P109の「場所(地点)の登録と編集」

ルート探索と案内

探した場所を「目的地」として設定すると、現在地から目的地までのルートを探せます。ルート探索結果は、一定の設定条件に基づき探索されたものです。探索条件の設定については(➡P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」)をご確認ください。

ルートを設定する

1 場所を探します

2 ここへ行くにタッチします



ルートの探索が始まります。

3 案内開始にタッチします



ルート案内が始まります。

メモ

- 探した場所の近くに有料道があるときは、一般道または有料道のどちらに面しているか確認する画面が表示される場合があります。
- すでにルートを設定している場合は、探した場所を目的地にするか立寄地にするかを選択する画面が表示されます。**目的地**にタッチすると、現在の目的地を消去し、新しい目的地を行き先としてルートを探します。**立寄地**にタッチすると、目的地はそのまま、探した場所に立ち寄るルートを探します。

スーパールート探索について

スーパールート探索とは、通信機器を使って専用サーバーにアクセスし、全国分の交通情報や天候別渋滞予測データを活用した探索機能です。有料道路を使用するルートの場合、所要時間だけでなく料金とのバランスも考慮した効率の良いルートをバリエーション豊かに提案します。

本機で通信ができない場合は、通常のルート探索となります。スーパールート探索が行われた場合は案内開始画面等に **SUPER** が表示されます。

➡P72の「案内開始画面の見かた」

メモ

スーパールート探索は、使う・使わないを設定できます。

➡P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」

案内開始画面の見かた

**6ルート地図**

目的地までのルートを最大6本、地図上で確認・選択できます。

6ルートリスト

目的地までのルートを最大6本、距離や所要時間、料金などで確認・選択できます。

ルート再探索

目的地までのルートの探索条件を一時的に変更してルートを再探索できます。

詳細設定

目的地までのルート上に、立寄り地、出発地、乗降ICなどを指定・選択できます。

案内開始

選択したルートの案内を開始します。

メモ

- 案内開始画面は、ノースアップ固定です。
- 料金表示は、あらかじめ設定された「有料道路料金区分」および「ETC取付状態設定」にもとづいた料金で表示されます。→P162の「車両情報を設定する」、→P137の「ETC取付状態の設定」
- サービスエリアなどの有料道路施設を行き先とした場合、料金が表示されないことがあります。
- 表示される料金は実際にかかる料金と異なることがあります。
- 料金データが収録されていない路線を含むルートの場合、「〇〇円以上」と表示されたり、「不明」と表示されることがあります。
- マイセットアップの「ETC取付状態設定」で「ETCを取り付けている」または「ETC2.0を取り付けている」を選択すると、各種ETC割引料金に対応します。
- 通常のルート探索では、渋滞予測情報を考慮して複数のルートを探索します(渋滞考慮ルート探索)。渋滞考慮ルート探索は、考慮する情報を選択できます。→P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」
- 最初に表示されるルートは、「有料道路使用条件」と「フェリー航路使用条件」の探索条件に従ったルートです。


ルート案内中の現在地画面の見かた

到着予想時刻

タッチするたびに、表示内容が切り換わります。

- ① 目的地までの距離・到着予想時刻
- ② 直近の立寄り地までの距離・到着予想時刻
- ③ 出発時刻・走行開始から現在までの経過時間

ルートインフォメーション

2つ先までの案内地点の距離、進行方向、次の案内地点の名称が表示されます。矢印（例：）にタッチするたびに、最大5カ所先までの案内地の音声案内と地図表示を順に行います。



メモ

- 案内中のルートは、一般道は緑色で有料道は青色で道塗り表示されます。また、出発地付近、立寄り地付近、目的地付近は細街路まで探索され、細街路はピンク色で表示されます。場所により道塗りがされない場合もあります。
- 到着予想時刻に表示される時刻はあくまでも推測時刻で実際の到着時刻とは異なります。また、渋滞予測と渋滞情報を考慮した時刻でも表示できます。また、設定した基準速度で一般道および有料道を走行したときの到着予想時刻を算出できます（到着予想時刻の算出車速）。
→P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」
- 次に通過する交差点のレーン情報、方面看板がルートインフォメーションの下に表示されます。交差点により情報が表示されない場合があります。
- レーン情報表示は、誘導中のレーンが一般道は緑色、有料道は青色で表示されます。推奨の誘導レーンは緑色に白の矢印で表示されます。方面看板表示は、誘導中の進行方向が緑色で表示されます。
- 「到着予想時刻表示」の工場出荷時は「目的地（到着時刻・残距離）」です。
→P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」
- 経過時間は、99時間59分まで表示されます。
- 案内中の案内音声をシンプルにできます。
→P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」
- ルート案内中に次の案内地点が地図に表示されるよう、現在地と次の案内地の距離にあわせて地図の表示スケールを自動的に変更できます。（オートフリーズーム）「オートフリーズーム」の工場出荷時は「OFF」です。
→P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」
- スーパールート探索によるルート案内中は、**SUPER**が表示されます。
→P71の「スーパールート探索について」

■案内地に近づくとき

案内地の交差点から300 m以内（シンプルガイド時は500 m）に近づくとき、交差点案内表示に切り換わります。



進行方向に立体交差する側道があると、立体的なイラストが表示される場合があります。



メモ

- 交差点案内表示の表示ビューを設定できます。「交差点案内表示」の工場出荷時は「拡大図」です。
➔P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」
- [] にタッチすると、交差点案内を非表示にできます。再度 [] にタッチすると、交差点案内を表示できます。

■次の案内地点を確認する

ルートインフォメーションの矢印にタッチすると、次の案内地の音声案内と地図表示が行われます。（リクエスト案内）



タッチするたびに、最大5カ所先の案内地まで順に表示できます。



交差点案内表示をアローガイドに設定している場合は、次の案内地点部分にタッチして確認することもできます。

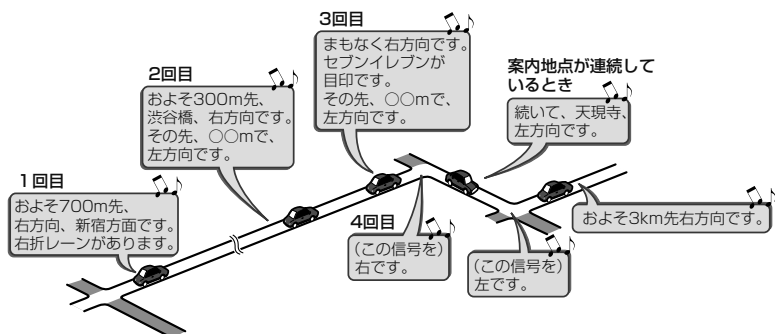
メモ

- リクエスト案内時の案内方法を設定できます。「リクエスト案内」の工場出荷時は「音声案内・地図表示」です。
➔P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」

一般道の案内画面の見かた

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大4回、音声案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内が表示されます。

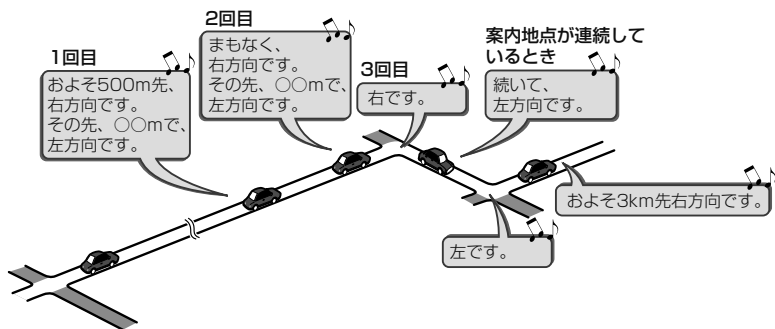
通常時



シンプルガイド時は、通常時よりも少ない回数と内容で案内します。案内地点の交差点名や目印になる施設名は案内しません。「一般道シンプルガイド」の工場出荷時は「OFF」です。

➡P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」

シンプルガイド時



ルート案内中の機能

■走行中の音声案内

運転の状況に応じて音声で案内します（セーフティインフォメーション）。

逆走注意喚起	自動車専用道路を走行しています（自動車専用道路に入ります）。逆走にご注意ください。
有料道合流地点・県境案内	この先、合流があります（右からの合流があります）（左からの合流があります）、ご注意ください。 〇〇県に入ります。
踏切案内	この先踏切です。ご注意ください。
右左折専用レーン案内	およそ300 m先、右折専用レーンがあります（左折専用レーンがあります）。ご注意ください。 およそ300 m先、右折専用、及び左折専用レーンがあります。ご注意ください。
リフレッシュ案内	そろそろ2時間になります。休憩しませんか？
ライト点灯案内	まもなく日が暮れます。ライトの確認をしてください。
eスタート案内	急発進です。安全運転を心がけましょう。
パーキングブレーキアラーム	安全を確認してパーキングブレーキを解除してください。
速度超過アラーム	速度に注意してください。

メモ

- 有料道合流地点・県境案内は、有料道を走行中のみ行われます。
- 踏切案内は、走行中の道路の先に踏切がない場合でも近くに踏切があれば案内される場合があります。また、すべての踏切で案内されるわけではありません。
- 右左折専用レーン案内では、ルート案内中であっても、直進レーンが右折または左折専用レーンに変化する地点を案内します。
- 右左折専用レーン案内では、誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状と合わない場合があります。
- ライト点灯時は、ライト点灯案内は行われません。
- 走行中の音声案内をする・しないは切り換えることができます。
➔P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」
➔P161の「パーキングブレーキアラーム・速度超過アラームの設定」
- 以下のような条件等の場合は、案内されない場合や実際の状況と異なる案内をすることがあります。実際の交通状況や交通規則・標識などに従って運転してください。
 - － 自車位置が正しく表示されていないとき
 - － 表示されている地図と実際に走行中の道路状況が異なるとき
- 各種案内は状況により案内が行われない場合があります。

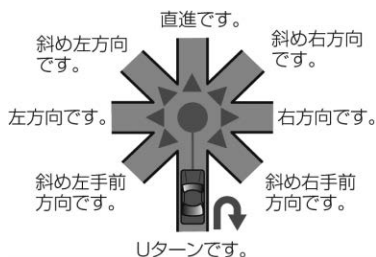
■eスタート案内

発進開始から約5秒後までに速度が41 km/h以上を検知すると、急発進の警告メッセージと音声で案内されます。



■進行方向の案内

ルート走行中は、運転の状況や車の速度に応じて、きめ細かく音声で案内します。進行方向(8方向)は、以下のように案内します。



種類	案内例
側道案内	およそ〇〇m先、側道を左方向です。
レーン案内	およそ〇〇m先、右方向です。右折レーンがあります。
料金案内	料金は、〇〇円です。
方面案内	およそ〇〇m先、左方向、練馬方面です。
有料道入口・出口案内	およそ〇〇m先、左方向、入口です。
有料道料金所案内	およそ〇〇km先、料金所です。
ランドマーク音声案内	まもなく左方向です。〇〇が目印です。
スマートIC案内	その先、スマートICです。実際の案内標識に従ってお進みください。
信号機ジャスト案内	この信号を左です。

メモ

- 右方向や左方向などの案内だけでは進行方向の判断が難しい地点の場合、走行すべきレーンなども案内します。
- 誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。
- 本機のETC情報案内機能を利用するには、本機に別売のETCユニットまたはETC2.0ユニットを接続する必要があります。
- 料金案内では、有料道路に入る前にルートを設定した入口から出口までの料金が案内されます。有料道路に入ってからルートを設定した場合は、料金案内が実際と異なったり、料金が案内されないことがあります。
- 「料金案内」の工場出荷時は「ON」です。
→P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」
ETCユニットまたはETC2.0ユニットを接続時は、設定をOFFにすると料金案内の重複を避けることができます。
- 「信号機ジャスト案内」の工場出荷時は「ON」です。一般道シンプルガイドの設定が「OFF」のときに操作できます。
→P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」

■ルートから外れると

案内中のルートから外れると、自動的にルートを再探索します(オートリルート)。

メモ

- ドライバーが意図的にルートを外れたのか、道を間違えたのかを内部で判断し、全ルート再探索または復帰ルート再探索を行います(インテリジェントリルート)。
- オートリルートが働くと、探索されたルートはオートリルート履歴に保存され(最大300件)、ルートアドバイザーで使用されます。300件を超えた場合は、使用されていない履歴から順番に消去されます。

■ルートアドバイザー

ルートアドバイザーとは、ルート案内中に渋滞（交通）情報、通行止め情報やリルート履歴を考慮して新しい候補ルートを提供する機能です。新しいルートが見つかった、「新しい候補ルートが見つかりました」または「渋滞考慮オートリルートを行いました」と音声案内が流れ、新しいルートが表示されます。

新ルートまたは元ルートにタッチして、ルートを選択します。



メモ

- 新ルートまたは元ルートのいずれかが有料道路を使用しているときに、料金の差が表示されます。どちらか一方の料金が不明な場合は表示されません。
- 新ルートと元ルートのどちらにもタッチしないと、あらかじめ設定したルート候補が自動的に選択されます。「ルートアドバイザー自動決定ルート」の工場出荷時は「元ルート」です。
→ P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」
- 案内地付近や案内地が連続している場合は、働かないことがあります。
- 新しい候補ルートを提供する際にどんな情報を考慮するかを設定できます。「ルートアドバイザー」の工場出荷時は「すべて考慮」です。
→ P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」
- 新ルートは、元のルートより所要時間や距離が長いことがあります。
- 渋滞情報や規制情報の更新時には「渋滞考慮オートリルートを行いました」と音声案内が流れますが、新ルートが実際の渋滞を避けるルートになるとは限りません。
- ルート上に通行止めが発生した場合は、「ルート上に通行止めが発生したため、新ルートで案内します」と音声案内と画面表示され、新ルートのみ案内となります。**確認**にタッチしてください。

■交差点に近づくと

現在地から最も近い通過予定の交差点の情報（交差点名、レーン情報、方面案内）が表示されます。



メモ

- 交差点が案内地点の場合は、交差点名は案内地と表示されます。
- データ収録されている交差点のみ、表示されます。「方面案内表示」の工場出荷時は「ON」です。
→ P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」

■都市高速道路の入口に近づくと

ルート上の都市高速道路入口の手前約300 mに近づくと、イラストがサイドマップに表示されます。



メモ

- 一部の都市高速入口において、イラストが表示されないことがあります。

■有料道を走行すると

有料道を走行すると、自動的にハイウェイモードに切り換わります(オートハイウェイモード)。



メモ

- 一部表示対象外の有料道もあります。
- 「オートハイウェイモード」の工場出荷時は「ON」です。
→P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」
- ハイウェイモードについては(→P46の「ハイウェイモード」)をご覧ください。

■有料道の分岐に近づくと

ルート上の有料道分岐の手前約2 kmに近づくと、ルートの進行方向の方面名称を表示します。



また、都市高速・都市間高速では分岐の手前約1 kmに近づくと、イラストが表示されます。場所により、実際の分岐地点に設置されている方面看板をイメージしたリアルなイラストが表示される場合があります。



メモ

地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

■ETCレーン案内表示

ETCレーンがある本線上の料金所、または出口料金所に近づくと、ETCレーン案内が表示されます。



メモ

- 別売のETCユニットやETC2.0ユニットを接続している場合は、料金なども表示できます。
→P259の「ETC2.0ユニット」
- 「ETCレーン案内表示」の工場出荷時は「ON」です。
→P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」
- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

■有料道の出口や料金所を通過すると

ルート上の有料道路の出口や料金所を通過後に分岐情報がある場合は、進行方向を示すイラストが表示されます。

メモ

地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

■オートパーキングメモリー (駐車場履歴)

オートパーキングメモリーとは、目的地や立寄地の付近でエンジンを停止した場所を施設の駐車場として認識し、自動的に記録する機能です。次回、同じ場所にルートを探索した場合、その地点までルート探索します。

メモ

- オートパーキングメモリーを使用する・しないを設定できます。「オートパーキングメモリー」の工場出荷時は「ON」です。
→P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」
- 駐車場履歴は、400件まで保存され、1つの施設につき最大8カ所の入口情報が登録されます。新しい履歴が発生した場合は一番古い入口情報から順に置き換えられます。
- 条件により、交差点近くの駐車場の場合や、駐車場で35 km/h以上の速度で走行した場合などでは、履歴として保存されない場合があります。
- 目的地や立寄り地付近にある別の施設でエンジンを停止すると、意図しない場所が駐車場として記録される場合があります。
- プローブ駐車場ポイントは、お客様からアップロードされた情報をもとに反映した情報です。弊社におきましても駐車ポイントの調査を行っていますが、正確性を保証するものではありません。
- 保存されたオートパーキングメモリーのデータは消去できます。
→P117の「その他のデータ編集」

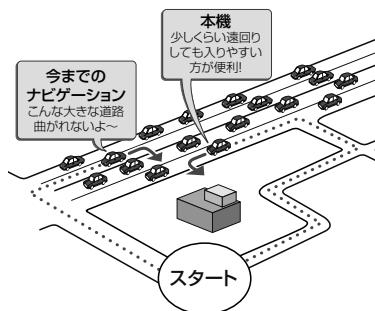
■右左折考慮オートパーキングメモリー

オートパーキングメモリーに記憶される情報は、以下の3種類があります。

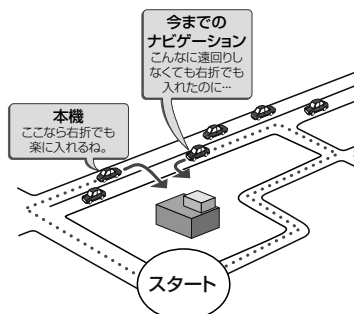
- 左折のみ進入した施設
- 右折のみ進入した施設
- 右折、左折の両方で進入した施設

本機は、これらの情報をもとに施設へ最も簡単に進入できるルートを探索します。そのため、出発地から目的の施設までの道路条件や位置関係により遠回りのルートになる場合があります。

左折のみで進入したことがある施設を目的地にした場合



右折のみまたは右左折の両方で進入したことがある施設の場合



メモ

- 1つの施設に登録された最大8カ所の入口情報すべてに対して、右折のみ、左折のみまたは右左折両方で進入したかを記憶します。
- プローブ情報による右左折の情報が収録されている場合は、その情報も考慮してルート案内します。

ルート案内の中止

案内中のルートが不要になったときは、ルートを消去してルート案内を中止できます。

ルートを消去して案内を中止する

1 **田**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **ルート**にタッチします



3 **ルート消去**にタッチします



4 **はい**にタッチします



案内中のルートが消去されます。

ルート情報

案内中のルートは、HOME画面の**ルート**やルート編集メニューから確認できます。また、ルート案内開始画面から確認できる情報もあります。

デモ走行を行う

設定したルートを地図上で擬似的に走行させて、ルートを確認できます。

メモ

- ルート案内中にデモ走行を行うと、ルートの経過時間は、リセットされます。
- デモ走行は終了操作を行うまで繰り返し走行します。
- 実際の走行を開始すると、デモ走行は終了します。

1 **設定** ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **ルート** にタッチします



3 **デモ走行** にタッチします



地図画面が表示され、デモ走行を開始します。

デモ走行を終了する

1 **デモ走行** 中に、**デモ中** にタッチします



2 **はい** にタッチします



6ルート地図を使う

目的地を設定すると、異なる探索条件のルートをも最大6本まで地図画面で確認し、選択できます。

メモ

- 立寄地や乗降ICが指定されていた場合、探索されるルートは1本のみとなり、6ルート地図での確認はできません。その場合は、ルート地図で確認してください。
▶P85の「ルート地図を使う」
- 探索されたルートには、以下のマークが表示される場合があります。
 - ：最も距離が短いルート
 - ：最も所要時間が短いルート
 - ：最も料金の安いルート
 - ：最も推定燃料費が少ないルート
 - ：料金がかからないルート
- スーパールート探索によるルート案内の場合は、ルート探索条件の上に「SUPER」が表示されます。

1 場所を探します

2 ここへ行くにタッチします



3 6ルート地図にタッチします



4 1から6の番号にタッチします



地図上でルートが切り換わり、それぞれの距離や料金などの情報も表示されます。

地図操作にタッチすると、地図をスクロールしたり表示スケールを変更してルートを確認できます。



候補切換にタッチすると、探索された他のルートに表示を切り換えることができます。

道塗り切換にタッチすると、平均速度目安の道塗りを表示/非表示にできます。

5 案内開始にタッチします

選んだルートで案内を開始します。

メモ

現在選ばれているルートの探索条件は画面に表示されます。

6 ルートリストを使う

目的地を設定すると、異なる探索条件のルートを最大6本までリスト画面で確認し、選択できます。

メモ

- 探索されたルートには、以下のマークが表示される場合があります。
 - **mm短**：最も距離が短いルート
 - **🕒早**：最も所要時間が短いルート
 - **¥安**：最も料金の安いルート
 - **eco**：最も推定燃料費が少ないルート
 - **¥0**：料金がかからないルート
 - **🚗**：ヒヤリハット地点を通過するルート
 - **👤**：冠水注意地点を通過するルート
- スーパールート探索によるルート案内の場合は、ルート探索条件の上に **SUPER** が表示されます。

1 場所を探します

2 ここへ行くにタッチします



3 6ルートリストにタッチします



6ルートリスト

順位	推奨	距離	所要時間	料金	推定燃料費
1	推奨	82.7km	1時間19分	2,650円	540円
2	推奨2	77.7km	1時間21分	2,500円	510円
3	推奨	83.1km	2時間31分	0円	620円
4	推奨2	95.5km	3時間0分	0円	720円
5	推奨優先	86.0km	1時間19分	2,650円	560円
6	推奨優先	82.7km	1時間19分	2,650円	540円

ルートごとに距離、所要時間、料金、推定燃料費が表示され、ルートの内容を比較できます。

4 1から6の番号にタッチします

6ルートリスト

順位	推奨	距離	所要時間	料金	推定燃料費
1	推奨	82.7km	1時間19分	2,650円	540円
2	推奨2	77.7km	1時間21分	2,500円	510円
3	推奨	83.1km	2時間31分	0円	620円
4	推奨2	95.5km	3時間0分	0円	720円
5	推奨優先	86.0km	1時間19分	2,650円	560円
6	推奨優先	82.7km	1時間19分	2,650円	540円

5 案内開始にタッチします

選んだルートで案内を開始します。

ルート地図を使う

立寄地を指定した場合など、探索されたルートが1本の場合、ルート全体が1画面に収まるように表示されます(ルート地図画面)。ルート地図画面では、スクロールや表示スケールを変更してルートを確認できます。

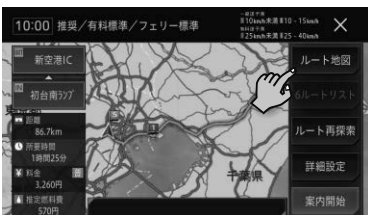
1 場所を探します

2 ここへ行くにタッチします



3 詳細設定→立寄地指定→追加の順にタッチして立寄地を指定し、ルートを探索します

4 ルート地図にタッチします



ルート地図画面が表示されます。

5 案内開始にタッチします



ルートの案内を開始します。

メモ

道塗り切換にタッチすると、平均速度目安の道塗りを表示/非表示にできます。

ルート編集

目的地を設定してルート探索したあと、探索条件の変更や立寄地の追加などルートを編集できます。また、すでに案内中のルートも探索条件の変更や立寄地の追加など編集できます。

案内中のルートの探索条件を変更する

メモ

すでに通過した立寄地は、ルートを再探索しても考慮されません。

1 **☰** ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **ルート** にタッチします



3 **ルート再探索** にタッチします



4 **変更したい探索条件にタッチします**



有料道路使用条件

標準

必要に応じて有料道を使用するルートを探します。

回避

有料道を極力使用しないルートを探します。

フェリー航路使用条件

標準

必要に応じてフェリー航路を使用するルートを探します。

回避

フェリー航路を極力使用しないルートを探します。

優先

フェリー航路を優先的に使うルートを探します。

メモ

有料道路使用条件やフェリー航路使用条件を「回避」に設定しても、有料道路やフェリー航路を利用する探索結果を表示する場合があります。

5 **探索開始** にタッチします

ルートが再探索され、案内開始画面が表示されます。

ルートに立寄地を追加する

立寄地を追加して、その場所を経由するルートを探
索できます。

1 **HOME**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **ルート**にタッチします



3 **詳細設定**にタッチします



4 **立寄地指定**にタッチし、**追加**にタッチします



5 立寄地の場所を探して、**ここで決定**に
タッチします



6 **探索開始**にタッチします



指定した立寄地を経由するルートが1本
だけ探索され、案内開始画面が表示されます。

メモ

- 立寄地を追加すると、その時点で通過済みの立寄地は自動的に削除されます。
- この設定を行うと、乗降IC指定が解除されます。
- 探索されるルートは1本のみです。

立寄地の順番を並べ替える

経由する立寄地の順番を、条件を設定して並べ替えられます。

1 **田** ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **ル**ートにタッチします



3 **詳**細設定にタッチします



4 **立寄地指定**にタッチし、**並べ替え**にタッチします



5 **並べ替える条件**にタッチします

**距離順(立寄地のみ)**

すべての立寄地を通過するルートとの距離が最も短くなるように立寄地を並べ替えます。

距離順(すべて)

目的地とすべての立寄地を通過するルートとの距離が最も短くなるように、目的地と立寄地を並べ替えます。

マニュアル

経由する順番を指定して、並べ替えます。目的地、立寄地を並べ替えます

6 **探索開始**にタッチします



指定した立寄地を経由するルートが1本だけ探索され、案内開始画面が表示されます。

メモ

- すでに通過済みの立寄地は並べ替えできません。
- この設定を行うと、乗降IC指定が解除されます。
- 探索されるルートの本数は1本のみです。

立寄地を消去する

1 **HOME**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **ルート**にタッチします



3 **詳細設定**にタッチします



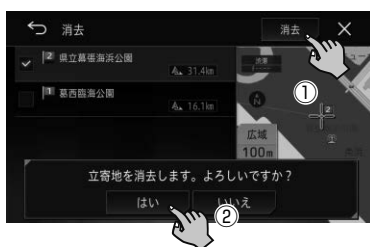
4 **立寄地指定**にタッチし、**消去**にタッチします



5 削除する立寄地にタッチします



6 **消去**にタッチし、**はい**にタッチします



7 **探索開始**にタッチします



ルートが再探索され、案内開始画面が表示されます。

メモ

- すでに通過済みの立寄地は削除できません。
- 目的地は削除できません。目的地を削除したい場合は、並べ替えで別の地点を目的地にしてください。
- この設定を行うと、乗降IC指定が解除されます。
- 探索されるルートは1本のみです。ただし、立寄地が1つもない場合は、ルートは6本になります。

出発地を指定する

指定した地点を出発地としてルートを探索できます。

1 **田**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **ルート**にタッチします



3 **詳細設定**にタッチします



4 **出発地指定**にタッチします



5 出発地の場所を探して、**ここで決定**にタッチします



6 **探索開始**にタッチします



ルートが再探索され、案内開始画面が表示されます。

メモ

出発地の指定を解除するには、詳細設定画面の**出発地解除**にタッチし、**はい**にタッチします。

乗降IC(インターチェンジ)を指定する

有料道を使うルートを設定した場合は、入口と出口のICを指定できます。

メモ

途中で乗り降りするICは指定できません。

1 **田**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **ルート**にタッチします



3 **詳細設定**にタッチします



4 **乗降IC指定**にタッチします



5 **入口IC指定**または**出口IC指定**にタッチします



6 指定するICにタッチし、**決定**にタッチします



メモ

- 指定できるインターチェンジは、最初に探索されたルートの最初の入口、最後の出口、またその入口/出口の前後3施設の計7施設から選択できます。複数の有料道路を使用するルートの場合、途中のインターチェンジは、変更できません。
- 並べ替えや立寄地の追加または削除を行うと、指定した乗降ICは解除されます。
- 案内開始画面やルート編集画面で、入口IC名または出口IC名にタッチしても、乗降ICを指定できます。
→P72の「案内開始画面の見かた」
- ジャンクション(JCT)を選ぶと、分岐できる路線名称が表示されます。
- スマートIC考慮ルート探索の設定がOFFの場合、スマートICは表示されません。
- 探索されるルートは1本のみです。

乗降IC指定を解除する

1 **田**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **ルート**にタッチします



3 **詳細設定**にタッチします



4 **乗降IC指定**にタッチします



5 **指定解除**にタッチします



6 **入口・出口**、**入口**、または**出口**にタッチして、**はい**にタッチします



乗車ICの指定が解除されます。

立寄地をキャンセルする

次に設定した立寄地に立ち寄る必要がなくなった場合など、立寄地を通過済みとしてルートを再探索できます。

1 **田**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **ルート**にタッチします



3 立寄地送りにタッチします



ルートが再探索され、案内開始画面が表示されます。

メモ

- この設定を行うと、乗降IC指定が解除されます。
- 探索されるルートは1本のみです。

NaviConを使う

iPhoneまたはスマートフォン用アプリ「NaviCon」で設定した目的地や登録地を、本機に転送することができます。

メモ

- NaviConは、iPhoneおよびスマートフォンに対応しています。対応するiPhoneおよびスマートフォンの詳細については、NaviConホームページの「対応スマートフォン」でご確認ください。

< <https://navicon.com/user/support/> >

- NaviConおよびiPhoneまたはスマートフォンの操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 本機にiPhoneまたはスマートフォンをUSB接続している場合は、NaviConを利用することができません。USBを取り外して、操作を行ってください。
- NaviConのバージョンアップにより、実際の機能が本マニュアルに記載された内容と異なる場合があります。

- 1 iPhoneをお使いの場合はAppStoreから、スマートフォンをお使いの場合はGoogle PlayからNaviConをダウンロードし、インストールします

- 2 iPhoneまたはスマートフォンを本機にBluetooth機器として登録します
 → P140の「Bluetooth対応端末の登録(ペアリング)」

- 3 本機とiPhoneまたはスマートフォンをBluetooth接続します

- 4 iPhoneまたはスマートフォンを操作してNaviConを起動し、地図画面を表示します

本機と自動で接続され、NaviConで表示された地図と同じ位置の地図が本機に表示されます。

- 5 NaviConで、目的地や立寄地を設定します
 本機に目的地や立寄地が送信され、ルートが自動的に探索されます。

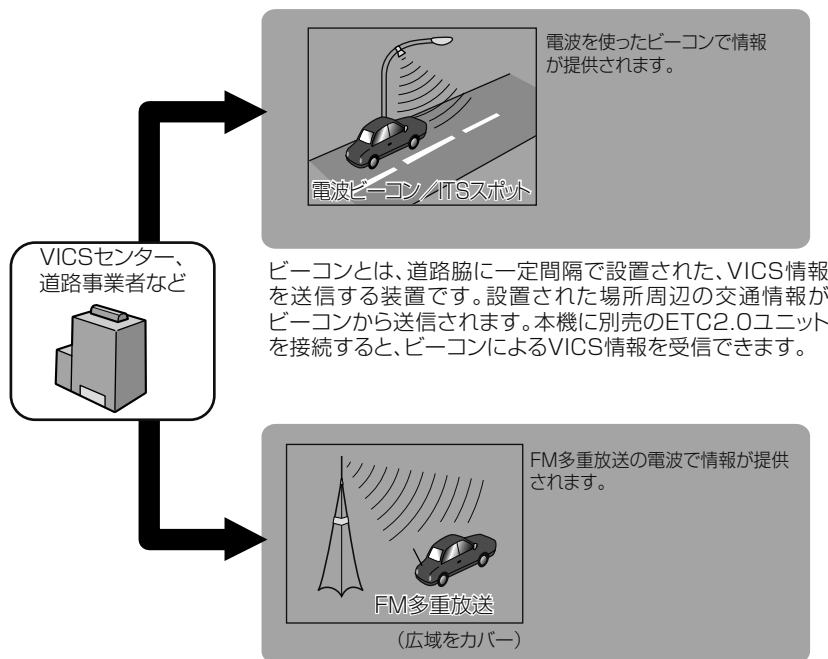
メモ

NaviConで複数の目的地を設定し本機に送信すると、本機では最後の地点が目的地に設定されます。また、地点の番号順に立寄地が設定されます。

渋滞情報の利用

本機で取得できる渋滞情報などの道路交通情報は下記のとおりです。

- VICS情報
VICSセンターのVICSサービスまたはVICS WIDEサービスから提供されます。車載のアンテナで受信します。
- 5.8 GHz VICS情報
道路事業者などから提供されます。別売のETC2.0ユニットで、ITSスポットを通じて受信します。
- オンデマンド渋滞情報
オンデマンドVICS専用サーバーから提供されます。
携帯電話やWi-Fi端末の通信機能を利用して受信します。
- リアルタイムプローブ[®]渋滞情報
リアルタイムプローブサーバーから提供されます。
本機のリアルタイムプローブ設定を行い、携帯電話やWi-Fi端末の通信機能を利用して受信します。



本機に内蔵のVICS/FM多重チューナーで、FM多重放送によるVICS情報を受信できます。

メモ

取得した渋滞情報を表示する道路種別を設定できます。「渋滞情報表示対象道路」の工場出荷時は「有料道・一般道」です。

➔ P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」

VICS情報を利用する

VICS (Vehicle Information & Communication System：道路交通情報通信システム)とは、最新の交通情報をドライバーに伝えるための通信システムです。VICS情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、簡単な地図イラストや文字による情報確認も可能です。

メモ

VICS WIDEサービスから提供されるVICS情報を利用して、渋滞情報を考慮したルートを探索することもできます。

VICS情報の表示形態

VICS情報には、レベル1からレベル3までの3種類の表示形態があります。ドライバーはVICSセンターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

- 渋滞情報（順調情報も含む）
- 交通障害情報
- 交通規制情報
- 旅行時間情報
- 駐車場情報
- 緊急情報
- 拡張渋滞旅行時間
- 拡張事象規制情報
- 施設情報

レベル3：地図

ナビゲーションの地図上に道路交通情報が直接表示されます。



レベル2：簡易図形

ナビゲーションの画面上に図形情報として表示されます。



レベル1：文字

ナビゲーションの画面上に文字情報として表示されます。



メモ

情報提供側の問題により、文字化けやネットワーク障害などのエラーメッセージが表示されることがあります。

地図上でVICS情報を見る

レベル3（地図）の表示形態では、VICSセンターやITSスポットから受信した道路交通情報が、渋滞の道塗りやVICS情報マークで地図上に表示されます。

→P363の「記号・マーク一覧」

一般道への表示

渋滞	赤色に白い縁取り
混雑	橙色に白い縁取り
順調	明るい青に白い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
通行止め	黒

有料道への表示

渋滞	赤色に青い縁取り
混雑	橙色に青い縁取り
順調	明るい青に青い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
入口閉鎖・通行止め	黒



VICS レベル 3 情報提供時刻表示

F	FM 多重情報による VICS 情報提供時刻
B	ビーコンや ITS スポットからの情報による情報提供時刻
橙色	情報を受信してから 5 分未満の状態
青色	情報を受信してから 5 分以上 30 分未満経過した状態
---	情報を受信していない、または受信後 30 分以上経過した状態 (受信後 30 分以上経過した場合は VICS 情報は消去されます。)

メモ

- 本機の電源を ON（エンジンを ON）にしてから受信した VICS 情報が表示されるまで、時間がかかることがあります。
- 希望するエリアの放送が受信できないときは、放送局を切り換えてください。
→P100の「VICS放送局を選ぶ」
- VICS 情報提供時刻は、最新のデータが提供された時刻です。
- 渋滞にタッチすると、ルート案内中はルート前方の渋滞や規制の情報を、ルート案内中でない場合は、自転車周辺の規制情報を文字表示と音声で知らせます。
- 本機が専用サーバーに接続可能な場合、渋滞に長くタッチすると、オンデマンド VICS 情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報を取得できます。
- 別売の ETC2.0 ユニット接続時に ITS スポットからの情報を受信した場合は、ビーコン情報と同様に表示され、情報提供時刻の先頭に「B」が表示されます。
- 取得した道路交通情報（渋滞、混雑、順調）を点滅して表示する・しないを設定できます。「渋滞情報点滅表示」の工場出荷時は「ON」です。
→P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」

「VICISレベル3情報提供時刻表示」の内容

FM多重放送によるVICIS情報提供時刻が表示されます。本機に別売のETC2.0ユニットが接続されているときは、FM多重放送やビーコンVICIS情報、ITSスポット情報のいずれか新しい提供時刻のみが表示されます。

一度に受信・表示できる情報

ビーコンやITSスポットからのVICIS情報とFM多重放送からのVICIS情報、通信機器からのオンデマンドVICIS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報は同時に表示されます。同じ道の情報がビーコンやITSスポットとFM多重放送、オンデマンドVICIS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報から提供された場合は、最新の情報が表示されます。

提供時刻の表示に時間がかかるときは

受信中の放送局の受信感度を確認してください。

➔P100の「VICIS放送局を選ぶ」

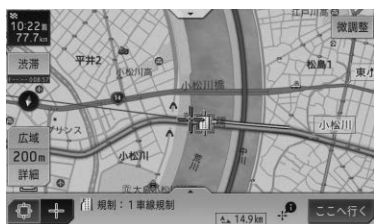
2つの放送エリアが重なる地域を走行しているときは

本機は、現在地周辺のVICIS情報（道塗り情報）と別のエリア（隣接する都道府県など）のVICIS情報を同時に表示できます。したがって、県境などの放送エリアが重なる地域を走行中も、必要な情報を確認できます。

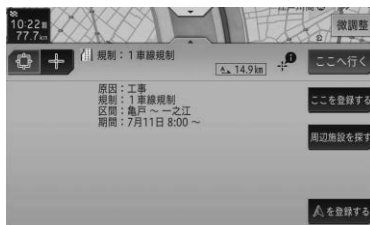
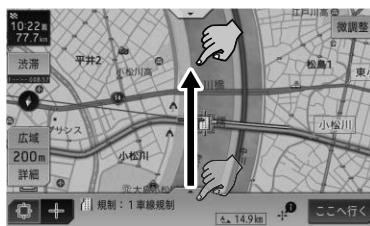
■VICIS情報マークの詳細を見る

地図上に表示されているVICIS情報マークの詳細な情報を確認できます。

1 地図画面をスクロールし、十字カーソルをVICIS情報マークに合わせます



2 地点情報プレートを上ドラッグします



メモ

カーソル付近に情報が複数ある場合は、手順1の操作で一覧にタッチして、表示したい情報を選択します。

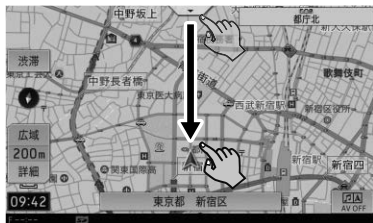
■緊急情報の自動表示

緊急情報の受信時には、自動的にその内容が表示されます。さらに詳細文字情報を受信した場合は、その内容を確認できます。

VICS情報の表示を設定する

1 **NAVI**ボタンを押して現在地画面を表示します

2 画面上部中央のタブを下にドラッグします



インスタントメニューが表示されます。

3 **マルチレイヤ**にタッチします



4 **歯車**にタッチします



5 **交通**にタッチします



6 設定したい項目にタッチします



タッチするたびに (表示)、 (非表示) が切り換わります。

■ 設定内容の詳細

渋滞情報 (渋滞・混雑)

渋滞情報を地図上に表示する・しないを設定します。
工場出荷時は「 (表示)」です。

渋滞情報 (順調)

渋滞していない道路情報を地図上に表示する・しないを設定します。
工場出荷時は「 (非表示)」です。

VICS規制情報

規制情報と規制区間を地図上に表示する・しないを設定します。
工場出荷時は「 (表示)」です。

駐車場情報マーク

駐車場や臨時駐車場の満空情報マークを地図上に表示する・しないを設定します。
工場出荷時は「 (表示)」です。

区間旅行時間

区間旅行時間マークを地図上に表示する・しないを設定します。

工場出荷時は「 (表示)」です。

拡張事象規制

VICS WIDEによって提供される拡張事象規制情報と発生位置を、地図上に表示する・しないを設定します。

工場出荷時は「 (表示)」です。

メモ

交通が「OFF」の場合は、設定できません。

ビーコン情報の自動表示

別売のETC2.0ユニットが接続されているときは、ビーコンやITSスポットから送られてくる図形または文字の情報を受信すると、自動的にその内容を設定した時間だけ表示させることができます(ビーコン即時表示)。



メモ

- 表示された情報は、設定した時間が経過すると自動的に消えます。また \times にタッチしても消えます。
- 交差点案内表示中は、ビーコン文字・図形情報は表示されません。
- 別売のETC2.0ユニットを接続している場合は、ITSスポットからの静止画像、音声、図形または文字の5.8 GHz VICS情報を表示または音声案内します。
- ビーコン即時表示の表示内容や表示時間を設定できます。「ビーコン即時表示」の工場出荷時は、ETC2.0ユニットを接続している場合は「文字・図形・音声」です。「ビーコン即時表示時間」の工場出荷時は「10秒」です。
➔P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」

ルート上の渋滞情報を手動で案内させる

ルート上に発生している渋滞情報を文字表示と音声で案内できます。

- 1 ルート案内中に、**渋滞**にタッチします
渋滞箇所までの距離や渋滞の長さ、通過所要時間などの渋滞状況を文字と音声で案内します。



メモ

- 5カ所先の渋滞場所まで順に案内できます。
- 渋滞情報がない場合は、ルート上の規制情報を表示・案内します。
- 渋滞の長さが50 m未満で通過所要時間が3分未満の場合は、案内されません。
- 案内中のルートがない場合は、自転車周辺の規制情報のみを表示・案内します。
- 本機が専用サーバーに接続可能な場合は、**渋滞**に長くタッチすると、オンデマンドVICS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報※を取得できます。
※リアルタイムプローブ渋滞情報の取得は、あらかじめリアルタイムプローブ設定が必要です。
➔P104の「リアルタイムプローブ設定をする」

FM多重VICSの情報を見る

レベル1（文字）およびレベル2（簡易図形）の広域情報やVICSセンターからの情報を表示します。

1 **田**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 ナビ設定にタッチします



3 **渋滞情報**にタッチします



4 見たい情報にタッチします

**図形情報**

レベル2（簡易図形）の広域情報を表示します。

文字情報

レベル1（文字）の広域情報を表示します。

センター情報

VICSセンターからの情報を表示します。

メモ

- 全情報画面が複数のページにおよぶときは、**◀**や**▶**にタッチすると、ページを送ります。
先頭/**最終**にタッチすると、先頭ページ/最終ページが表示されます。
→P95の「VICS情報の表示形態」
- 情報の取得が途中の場合は、取得済み情報の先頭ページ、または最終ページが表示されます。
- **目次**にタッチすると、情報の番号を選ぶ画面に戻ります。
- 受信待ち中に**選局**にタッチすると、FM多重放送の放送局を選択できます。
→P100の「VICS放送局を選ぶ」

VICS放送局を選ぶ

渋滞情報をFM多重放送から受信するときは、最も受信感度のよい放送局を選びます。工場出荷時は、自転車位置に応じた適切な放送局が自動的に選ばれるように設定されています。渋滞情報の受信に問題がある場合に設定してください。

1 **田**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 ナビ設定にタッチします



3 **渋滞情報**にタッチします



4 放送局選択にタッチします



5 放送局を探す方法にタッチします



オート

自転車位置に応じてVICS放送局が自動的に選択されます。

リスト

放送局リストから選びます。

シーク

⏏、⏪にタッチして、周波数を自動チューニングします。受信可能な放送局を受信したところで止まります。

メモ

右側に表示されたアンテナのイラストから、受信感度が確認できます。Highと表示されているときは、受信感度が良好なことを表しています。Lowと表示されているときは、受信に時間がかかったり受信できないことがあります。

ビーコン情報を表示・再生する

ビーコンおよびITSスポットから受信した情報の履歴を表示、再生できます。履歴情報は、あとからでも表示できます。ITSスポットからの情報は音声情報の再生も可能です。

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 ナビ設定にタッチします



3 渋滞情報にタッチします



4 履歴取得にタッチします



取得した情報の履歴がリストで表示されます。

5 見たい情報にタッチします

ビーコン情報



ITSスポット情報



図形

図形および静止画情報を表示します。

文字

文字情報を表示します。

再生

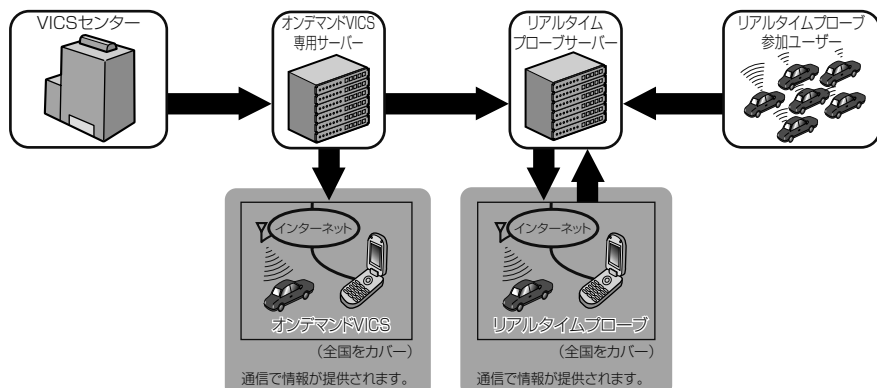
音声情報を再生します。

停止

音声情報の再生を停止します。

通信で渋滞情報を取得する

通信で取得できる渋滞情報には、オンデマンドVICS情報とリアルタイムプローブ渋滞情報があり、それぞれ専用サーバー（オンデマンドVICS専用サーバー、リアルタイムプローブサーバー）から提供されます。



専用サーバー経由で全国のVICS情報をオンラインで受信できます。

専用サーバー経由で全国のVICS情報とリアルタイムプローブ参加ユーザーからの渋滞情報を合わせてオンラインで受信できます。

※リアルタイムプローブはパイオニア株式会社が提供するサービスです。

オンデマンドVICS

本機に接続された通信機器からオンデマンドVICS専用サーバーに接続し、VICScenterからの自車位置付近またはスクロール先のVICS情報（事象・規制情報、渋滞旅行時間リンク情報、SA・PA情報、駐車場情報）を取得できます。ビーコン情報と同じ種類の情報が取得できます。地図に表示したり、ルート探索、到着予想時刻などに反映できます。

メモ

- オンデマンドVICSを使うときは、本機と通信機器との接続が必要です。
→P138の「通信接続設定」
- 本機に保存できる取得情報は、3回分までです。4回目の取得操作を行うと、1回目の取得情報が消去されます。
- オンデマンドVICSの情報は、インクリメントP株式会社から提供されます。道路交通情報データは、公益財団法人 日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には、一般財団法人 道路交通情報通信システムセンター（VICScenter）の技術を用いています。

リアルタイムプローブとリアルタイムプローブ渋滞情報

リアルタイムプローブとは、リアルタイムプローブを利用している各お客様から提供される情報を、リアルタイムプローブサーバーで管理し、最新のプローブ渋滞情報を、VICS情報とあわせてお客様にご提供するシステムです。「リアルタイムプローブ渋滞情報」として取得できる情報には、VICSの情報（渋滞、規制、駐車場、SA/PA情報）とリアルタイムプローブサーバーからのプローブ渋滞情報（現況渋滞情報など）があり、ルート探索、到着予想時刻などに反映できます。

リアルタイムプローブ渋滞情報を利用するために必要なこと

リアルタイムプローブ渋滞情報を利用するために、次の2つのステップで設定を行います。

1 リアルタイムプローブ設定をします

→ P104の「リアルタイムプローブ設定をする」

2 通信機器を接続して、ネットワークに接続します

→ P138の「通信接続設定」

メモ

リアルタイムプローブ渋滞情報を利用するには、通信機器をはじめて使用するときに表示される通信サービス利用約款への同意が必要です。

リアルタイムプローブ設定をする

プローブ情報送信設定を「ON」にして、渋滞情報の取得タイミングと連続取得を設定します。

メモ

プローブ情報送信設定を「ON」に設定した場合は、ナビゲーション内部に蓄積された走行履歴データなどの蓄積型プローブ情報も同時に専用サーバーにアップロードされます。プローブ情報とは車両を通じて収集される位置・時刻・設定内容などのデータです。

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 ナビ設定にタッチします



3 ナビ設定のメニューからリアルタイムプローブ設定にタッチします



4 プローブ情報送信設定にタッチして、「ON」に設定します



5 渋滞情報取得開始設定にタッチします



タッチするたびに、次のように切り換わります。

オート

本機に通信機器を接続したときに、自動的に渋滞情報を取得します。

マニュアル

手動で渋滞情報を取得します。

6 渋滞情報連続取得設定にタッチします



7 連続取得設定にタッチします



タッチするたびにON/OFFが切り換わります。

ON

リアルタイムプローブ渋滞情報を一定間隔で自動的に取得します。

OFF

手動で渋滞情報を取得します。

8 渋滞情報連続取得設定をONに設定した場合、取得時間間隔にタッチして渋滞情報を取得する間隔を設定します



5分(20分)毎

ルート案内中は5分間隔、ルート案内中でない場合は20分間隔で情報を取得します。

10分(20分)毎

ルート案内中は10分間隔、ルート案内中でない場合は20分間隔で情報を取得します。

20分(20分)毎

ルートの有無にかかわらず、20分間隔で情報を取得します。

30分(30分)毎

ルートの有無にかかわらず、30分間隔で情報を取得します。

メモ

- OFFに設定すると、プローブ情報の送信を行わないため、リアルタイムプローブ渋滞情報は利用できません。
- ON からOFFに変更すると、本機に保存されているプローブ情報消去の確認メッセージが表示されます。設定を変更する場合は**はい**、キャンセルする場合は**いいえ**にタッチしてください。

■取得タイミングと連続取得の動作

取得タイミングと連続取得の関係は、以下のようになります。

情報取得開始：オート、情報連続取得：ON

本機が起動後、本機がはじめて通信機器との接続を確認した時点で、自動的に渋滞情報を取得し、以降一定間隔で連続取得します。

情報取得開始：オート、情報連続取得：OFF

本機が起動後、本機がはじめて通信機器との接続を確認した時点で、1度だけ自動的に渋滞情報を取得し、以降は手動取得操作を行った時点で取得します。

情報取得開始：マニュアル、情報連続取得：ON

手動取得操作を行った時点で取得し、以降一定間隔で連続取得します。

情報取得開始：マニュアル、情報連続取得：OFF

手動取得操作を行った時点のみ取得します。

渋滞情報を手動で取得する

現在地付近以外の情報を取得したい場合は、情報を取得したい場所の地図を表示してから、以下の操作を行います。

1 **NAVI**ボタンを押して現在地画面を表示します

2 **渋滞**に2秒以上タッチします

専用サーバーに接続し、オンデマンドVICS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報を取得します。



メモ

- 情報の受信が完了すると、自動的に通信の接続は切れます。
- オンデマンドVICS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報とFM多重放送/ビーコンによるVICS情報を両方取得した場合は、提供時刻が新しい情報を優先して表示します。
- 現在地付近以外の情報を取得したい場合は、情報を取得したい場所の地図を表示してから、**渋滞**に2秒以上タッチします。

渋滞情報を自動で取得する

リアルタイムプローブ設定で、「渋滞情報取得開始設定」を「オート」に設定しておく、本機が起動後、本機がはじめて通信機器との接続を確認した時点で、1度だけ自動的に渋滞情報を取得し、ルート案内に反映できます。また「渋滞情報連続取得設定」を「ON」に設定しておく、通信可能な状態のときは一定の間隔で情報を受信します。

メモ

- リアルタイムプローブ渋滞情報を取得する際には、走行履歴などのお客様の情報が専用サーバーへ送信されます。
- 渋滞情報連続取得設定のON/OFFは、「渋滞情報」の**連続取得**にタッチして切り換えられますが、**OFF**から**ON**に切り換え後の最初の情報取得は、手動で行ってください。
➔P106の「渋滞情報を手動で取得する」
- 情報取得の間隔は変更できます。
➔P104の「リアルタイムプローブ設定をする」

通信で取得した渋滞情報の地図表示

リアルタイムプローブ渋滞情報の表示（点線）は、VICS情報の地図表示（実線）と区別して表示されます。

一般道への表示

渋滞	赤色の点線（白い縁取り）
混雑	橙色の点線（白い縁取り）
順調	空色の点線（白い縁取り）

有料道への表示

渋滞	赤色の点線（青い縁取り）
混雑	橙色の点線（青い縁取り）
順調	空色の点線（青い縁取り）



情報提供時刻表示

O	オンデマンド VICS による情報提供時刻
R	リアルタイムプローブによる情報提供時刻
橙色	情報を受信してから 5 分未満の状態
青色	情報を受信してから 5 分以上 30 分未満の状態

メモ

「渋滞情報連続取得設定」が ON の場合は、情報提供時刻表示の種別を表す R または O が反転表示されます。

➔ P104 の「リアルタイムプローブ設定をする」

通信で受信した渋滞情報の提供時刻を確認する

受信した情報の提供時刻の確認と連続取得の状態を確認できます。

1 **田** ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **ナビ設定** にタッチします



3 **渋滞情報** にタッチします



渋滞情報連続取得設定がONの場合は、連続取得の状態(「連続取得動作中」または「連続取得停止中」)が表示されます。

メモ

- **情報取得** にタッチすると、渋滞情報を手動で取得できます。
- **取得中止** にタッチすると、渋滞情報の取得を中止します。
- **連続取得** にタッチすると、渋滞情報連続取得設定のON/OFFを設定できます。

場所(地点)の登録と編集

自宅や友人宅などによく行く場所や、旅先など景色がきれいで覚えておきたい場所を登録しておく、少ない操作で目的地や立寄地に設定できます。登録した場所に関する情報は、編集・消去できます。

メモ

- 自宅を含め401地点まで登録できます。
- 自宅として登録された登録地は、「ヨミ」、「グループ」は編集できません。また、他の登録地への変更もできません。
- 登録した場所に関する情報として、名称、ヨミ、電話番号、マーク、効果音、方向指定、グループ、位置が編集できます。

自宅を登録する

自宅を登録しておく、住所などを指定して探すよりも少ない操作で自宅までのルートを探索できます。

1 自宅に車を止め、ボタンを押します


2 自宅にタッチします



3 はいにタッチします



メモ

- 自宅を登録すると、「自宅」という名前と自宅マーク, ヨミとして「ジタク」が自動的に登録されます。
- マイセットアップで自宅も登録できます。
→P130の「マイセットアップ」
- 自宅の位置は変更できます。
→P111の「登録した場所に関する情報を編集する」

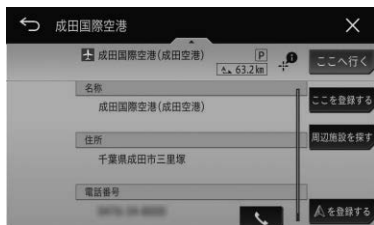
場所を探して登録する

1 場所を探します

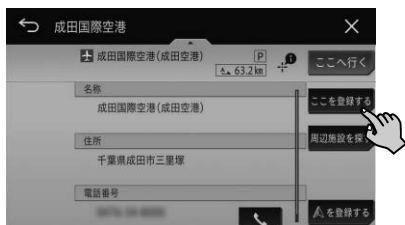


2 地点情報プレートを上ドラッグします





3 ここを登録するにタッチします



4 Xにタッチします



メモ

- 各項目を選ぶと、項目の内容を編集できます。
→P111の「登録した場所に関する情報を編集する」
- 登録する場所の名称には、施設名や周辺の地域などの代表地名が自動的に入力されます。施設名や周辺の地域などの代表地名がない場合は、登録した日時が自動的に入力されます。
- ジャンルリスト検索で呼び出した施設などを登録する場合、その施設に電話番号のデータがあれば、自動的にその番号が登録されます。
- 探した施設にヨミが登録されている場合は、そのヨミも自動的に登録されます。

現在地を登録する

1 NAVIボタンを押して現在地画面を表示します

2 画面にタッチします



3 地点情報プレートを上ドラッグします



4 Aを登録するにタッチします



5 ×にタッチします



登録した場所に関する情報を編集する

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 ナビ設定にタッチします



3 田→登録地にタッチします



4 編集にタッチします



5 編集したい登録地にタッチし、決定にタッチします



すでに選択中の登録地にタッチすると、設定項目の画面に変わります。

■設定内容の詳細

名称

登録した場所の名称を編集します。20文字以内で入力してください。

ヨミ

登録した場所のヨミを編集します。ヨミは並べ替えなどに使用します。全角20文字以内で入力してください。

電話番号

登録した場所の電話番号を編集します。

メモ

- 電話番号を設定した場所は、電話番号検索で探せるようになります。
- 携帯電話を接続しているときは、その場所に電話をかけられます。

2Dマーク

登録した場所に2Dマークを設定します。設定した2Dマークは地図上に表示されます。

効果音

登録した場所に近づいたときに鳴る効果音を設定します。

メモ

- 自転車が登録した場所から約500 m以内に近づくと効果音が鳴ります。
- 自転車から約500 m以内に登録した場所が複数ある場合は、近いものから効果音が鳴ります。
- 登録した場所の効果音よりも、ETC、ルート、VICSなどの音声案内が優先されます。

方向指定

自転車が登録地に近づく方向を設定します。効果音が鳴る設定をしていると、設定した方向から近づいたときにだけ効果音が鳴ります。

1 指定方向にタッチします

2 左右の回転矢印キーにタッチして方向を指定し、決定にタッチします

メモ

- **全方向**にタッチすると、自転車が登録した場所にどの方向から近づいても効果音が鳴ります。
- 登録した場所が有料道付近の場合は、一般道上か有料道上かを確認する画面が表示されることがあります。

グループ

登録した場所にグループを設定します。

位置修正

登録した場所をより正確な位置に設定します。

8方向矢印キーにタッチして位置を修正し、**決定**にタッチします。

グループ名を編集する

「友人宅」や「〇〇スポット」など、わかりやすいグループ名にしておくと、登録地を見つけやすくなります。

1  ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 ナビ設定にタッチします



3  → 登録地にタッチします



4 グループ名にタッチします



5 編集したいグループにタッチします



6 グループ名を入力し、**入力終了**にタッチします



登録した場所を消去する

閉店してしまった店舗など、不要になった登録場所を個別またはまとめて消去できます。

メモ

- 登録地がグループ分けされていない場合は、グループ選択の画面は表示されません。
- グループ分けされていない登録地を消去するときは、**グループなし**にタッチしてください。
- 自宅はグループなしに分類されています。

1  ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 ナビ設定にタッチします



3  → 登録地にタッチします



4 消去にタッチします



全消去にタッチすると、登録した場所の全データをまとめて消去できます。表示された確認画面のはいをタッチしてください。

7 消去到タッチし、はいにタッチします



地点情報をSDカードに書き出す

登録した場所の全データをまとめてSDカードに書き出せます。

5 グループ名にタッチします



1 SDカードを本機に挿入します

2 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

3 ナビ設定にタッチします



6 消去する登録地のチェックボックスにタッチします



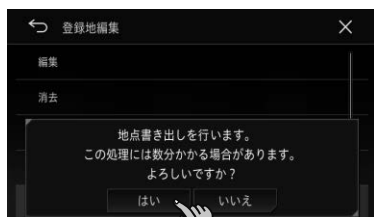
選んだ登録地にチェックマークが付き、引き続き選択できます。

全選択にタッチすると、すべて選択できます。全解除にタッチすると、すべての選択が解除されます。

4 田ボタンにタッチします



5 **地点書き出し**にタッチして、**はい**にタッチします



メモ

- **中止**にタッチすると書き出しを中止します。
- SDカード内に登録地データが存在する場合は、上書きを行うかどうかのメッセージが表示されます。

SDカードから地点情報を読み込む

SDカードに保存した地点情報を読み込みます。

メモ

あらかじめ地点情報をSDカードに保存する必要があります。

➔ P114の「地点情報をSDカードに書き出す」

1 SDカードを本機に挿入します

2 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

3 ナビ設定にタッチします



4 田➡登録地にタッチします



5 **地点読み込み**にタッチし、**はい**にタッチします



ナビゲーション



メモ

- **中止**にタッチすると読み込みを中止します。
- 読み込み中に、登録した場所の保存件数が400件に達した場合は、それ以降の登録地データは読み込まれません。

その他のデータ編集

本機に保存されたいろんな機能のデータを消去できます。

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 ナビ設定にタッチします



3 田→データ消去にタッチします

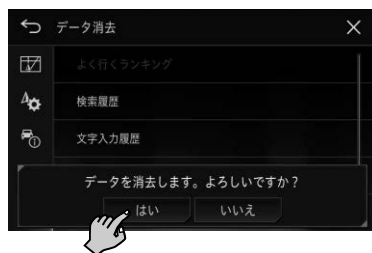


4 消去したい項目にタッチします



項目によって操作方法が異なります。

5 はいにタッチします



選択した項目のデータが消去されます。

■消去できる内容の詳細

よく行くランキング

本機に自動的に保存された、目的地に設定し到着回数が多い地点（よく行くランキング）を消去します。選んだ履歴にチェックマークが付き、引き続き選択できます。

全選択にタッチすると、すべて選択できます。**全解除**にタッチすると、すべての選択が解除されます。

検索履歴

本機に自動で保存された検索履歴を消去します。

場所を検索すると、探した場所が自動的に100件まで保存されます。保存件数が上限に達すると、以降は利用頻度の低い順に履歴が削除されるため、不要な検索履歴は消去することをお勧めします。

選んだ履歴にチェックマークが付き、引き続き選択できます。

全選択にタッチすると、すべて選択できます。**全解除**にタッチすると、すべての選択が解除されます。

並べ替えにタッチすると、リストを日時順、平日・土日祝日順、ヨミ順、近い順で並べ替えられます。

文字入力履歴

名称検索のキーワード入力の履歴を消去します。

学習ルート

よく使用する道を変更した場合など再学習が必要なときは、学習ルートを消去します。

すべての学習ルートが消去されますのでご注意ください。

走行軌跡

地図画面に表示される走行軌跡を消去します。

オートパーキングメモリー

施設に関連のある複数の駐車場入口ポイントから、不要になった施設関連の駐車場データを消去します。

施設を選んで、その施設の持つ駐車場ポイントのデータを一括で消去します。

選んだ施設にチェックマークが付き、引き続き選択できます。

全選択にタッチすると、すべて選択できます。**全解除**にタッチすると、すべての選択が解除されます。

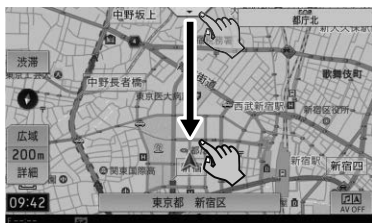
並べ替えにタッチすると、日時順もしくは近い順で並べ替えられます。

地図表示のカスタマイズ

お好みに応じて地図画面上に表示されるマークやアイテム、タッチキーの表示を設定できます。

1 NAVIボタンを押して現在地画面を表示します

2 画面上部中央のタブを下にドラッグします



インスタントメニューが表示されます。

3 マルチレイヤにタッチします



4 設定マークにタッチします



5 設定したい項目にタッチします



「セーフティ」の項目を設定したいときはセーフティをタッチしてください。

メモ

NAVIメニューからマルチレイヤマップを選択することもできます。

設定内容の詳細

■地図

ロゴマーク

さまざまな施設（コンビニなど）のロゴマークを地図画面に表示する・しないを設定します。

詳細にタッチすると、ロゴマークを表示させたいジャンルや施設を選択できます。

工場出荷時は「（表示）」、詳細項目：**カーディーラー→ダイハツ**のみ表示です。

メモ

- ロゴマークや周辺検索の結果を表示するスケールを設定できます。「ロゴマーク表示スケール」の工場出荷時は「1kmスケール以下」です。
→P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」
- 選択したジャンルに施設のデータがない場合は、そのジャンルのロゴマークが地図上に表示されません。

駐車場満空

専用サーバーから取得した駐車場の空き状況のマークを地図上に表示する・しないを設定します。

工場出荷時は「（非表示）」です。

メモ

- 満空情報がない駐車場は対象外です。
- 更新のタイミングによっては、実際の満空状況と異なる場合があります。

ガススタ価格

専用サーバーから取得したガススタ価格情報のマークを地図上に表示する・しないを設定します。

工場出荷時は「（非表示）」です。

トラフィックスポット

専用サーバーから取得したトラフィックスポットのマークを地図上に表示する・しないを設定します。

工場出荷時は「（非表示）」です。

走行軌跡

走行軌跡を地図上に表示する・しないを設定します。

工場出荷時は「（表示）」です。

100mスケール一方通行

地図の表示スケールを100 mスケールにしたときに、地図上に一方通行のマークを表示する・しないを設定します。

工場出荷時は「（非表示）」です。

200mスケール信号機

地図の表示スケールを200 mスケールにしたときに、地図上に信号機マークを表示する・しないを設定します。

工場出荷時は「（表示）」です。

天気予報

専用サーバーから取得した天気予報の情報を、地図上に表示する・しないを設定します。
工場出荷時は「 (非表示)」です。

メモ

取得した天気予報のデータは、発表時刻から35時間経過すると本機から削除されます。もう一度表示させるには、再度専用サーバーから天気予報のデータを取得してください。

■セーフティ

ゾーン30

都道府県警によって走行速度が30 km/h以下に制限された区域（「ゾーン30」）を、地図上に表示する・しないを設定します。
工場出荷時は「 (非表示)」です。

メモ

ゾーン30エリアは地図のスケールが500 m以下のときに表示されます。

ヒヤリハット地点

急停車が頻発する場所や事故多発地点など、運転に注意が必要な地点のマークを地図上に表示する・しないを設定します。進行方向の情報がある場合は矢印も表示されます。また、ヒヤリハット地点に近づいたときに音声案内をする・しないも設定できます。
工場出荷時は「 (表示)」、音声案内ありです。

冠水注意地点

近年多発する集中豪雨により、アンダーパスなど道路が冠水する危険のある地点のマークを地図上に表示する・しないを設定します。
工場出荷時は「 (表示)」です。

一時停止地点

予想進路上にある一時停止地点のマークを地図上に表示する・しないを設定します。また、一時停止地点に近づいたときの案内音も設定できます。
工場出荷時は「 (非表示)」、案内音なしです。



ナビゲーション機能の設定メニュー

用途やお好みに応じて設定を変更すると、ナビゲーションが使いやすくなります。

1  ボタンを押し、HOME画面を表示します

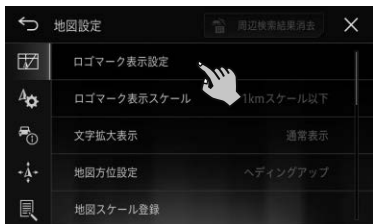
2 ナビ設定にタッチします



3  (地図設定) または  (ナビ機能設定) にタッチします



4 設定したい項目にタッチし、設定を変更します



設定項目によって操作方法が異なります。

5 設定が終わったら  にタッチします



設定内容の詳細

■地図設定

*は工場出荷時の設定です。

ロゴマーク表示設定

地図上に表示するロゴマークを設定します。

ロゴマーク表示スケール

ロゴマークや周辺検索の結果を表示するスケールを設定します。

- 100mスケール以下** 100 m以下のスケールでロゴマークが表示されます。
- 200mスケール以下** 200 m以下のスケールでロゴマークが表示されます。
- 500mスケール以下** 500 m以下のスケールでロゴマークが表示されます。
- 1 kmスケール以下*** 1 km以下のスケールでロゴマークが表示されます。

文字拡大表示

地図画面に表示される文字を大きく表示する・しないを設定します。

- 通常表示*** 文字を通常サイズで表示します。
- 文字拡大** 地名や施設名の文字を拡大して表示します。

地図方位設定

地図表示の向きを設定します。

- ノースアップ** 北が常に上になるように表示されます。
- ヘディングアップ*** 進行方向が常に上になるように、地図が自動的に回転します。

地図スケール登録

現在地画面を表示中に**NAVI**ボタンを押したときの、地図のスケールを登録します。

ツインビュー左画面アングル

ツインビュー表示時の左画面のアングルを設定します。

- 2D** 左画面をノーマルビューで表示します。
- 3D*** 左画面をスカイビューで表示します。

ハイウェイモードサイドマップアングル

ハイウェイモードのサイドマップのアングルを設定します。

- 2D*** サイドマップをノーマルビューで表示します。
- 3D** サイドマップをスカイビューで表示します。

AVサイドビューアングル

AVサイドビューのサイドマップのアングルを設定します。

- 2D*** サイドマップをノーマルビューで表示します。
- 3D** サイドマップをスカイビューで表示します。

エコ情報表示マップアングル

エコ情報表示時の地図画面のアングルを設定します。

- 2D*** 地図画面をノーマルビューで表示します。
- 3D** 地図画面をスカイビューで表示します。

オートハイウェイモード

有料道に入ったとき、自動的にハイウェイモードに切り換えるか設定します。

ON* ハイウェイモードに切り換えます。

OFF ハイウェイモードに切り換えません。

地図色切換

地図色が切り換わるタイミングを設定します。

時刻連動* 現在時刻に連動して地図色を昼色/夜色で切り換えます。

イルミネーション連動 車のヘッドライトの点灯に連動して地図色を昼色/夜色で切り換えます。

昼色固定 常に昼色で表示します。

走行軌跡自動消去

走行軌跡を自動的に消去するタイミングを設定します。

自宅付近 登録済みの自宅から約 100 m 以内の地点で本機の電源を切る（エンジンを切る）と、走行軌跡が自動的に消去されます。

電源 OFF 時 本機の電源を切る（エンジンを切る）と、走行軌跡が自動的に消去されます。

OFF* 走行軌跡を自動的に消去しません。

登録地マーク簡易表示

登録地マークを簡易的に表示するスケールを設定します。

500mスケール以上 500 m 以上のスケールで登録地マークを簡易表示します。

1 kmスケール以上 1 km 以上のスケールで登録地マークを簡易表示します。

2 kmスケール以上 2 km 以上のスケールで登録地マークを簡易表示します。

簡易表示しない* 登録地マークを簡易表示しません。

■ナビ機能設定

*は工場出荷時の設定です。

有料道路使用条件

ルート探索時の有料道の利用基準を設定します。

標準* 必要に応じて有料道を使用するルートを探します。

回避 有料道を極力使用しないルートを探します。

メモ

有料道路使用条件を「回避」に設定しても、有料道を利用する探索結果を表示する場合があります。

フェリー航路使用条件

ルート探索時のフェリー航路の利用基準を設定します。

標準* 必要に応じてフェリー航路を使用するルートを探します。

優先 フェリー航路を優先的に使うルートを探します。

回避 フェリー航路を極力使用しないルートを探します。

学習ルート探索

本機は、よく使う道を過去に通った曜日別（平日または土日祝日）に自動的に記憶します。この学習したルートを考慮してルート探索する・しないを設定します。

ON* 学習したルートを考慮してルートを探します。

OFF 学習したルートを考慮せずルートを探します。

メモ

学習したルートは消去して再学習できます。

→P117の「その他のデータ編集」

渋滞考慮ルート探索

ルート探索時に、取得した渋滞情報や渋滞予測データを使う・使わないを設定します。

渋滞情報・渋滞予測* 規制情報、渋滞情報と渋滞予測データを考慮してルートを探します。

渋滞情報のみ 規制情報と渋滞情報を考慮してルートを探します。

考慮しない 規制情報のみを考慮してルートを探します。

時間規制考慮ルート探索

日付や時刻による通行規制を考慮してルート探索する・しないを設定します。

ON* 時間規制の情報を考慮してルートを探します。

OFF 時間規制の情報を考慮せずルートを探します。

メモ

時間規制に当たるかどうかは、出発時刻に基づいて判断されます。

スマートIC考慮ルート探索

スマートICとは、ETC専用の簡易インターチェンジのことです。スマートICを乗降ICの対象としてルート探索する・しないを設定します。

ON スマートICを考慮してルートを探します。

OFF* スマートICを考慮せずルートを探します。

メモ

- ルート案内中は設定できません。
- スマートIC考慮ルート探索では、ルート探索を行った時点での時刻を基準にしているため、実際にスマートICを通過するときには営業時間外であったり、通過時には営業していてもルート探索時には対象外となる場合があります。その場合は実際のスマートICの状況に従ってください。
- マイセットアップの「ETC取付状態設定」で「ETCを取り付けている」または「ETC2.0を取り付けている」を選択した場合、スマートIC考慮ルート探索の設定は、自動的に「ON」になります。

ルートアドバイザー

新しい候補ルートを提供する際にどんな情報を考慮するかを設定します。

すべて考慮* 規制情報、渋滞情報やリルート履歴を考慮して新しいルートを提供します。

渋滞考慮のみ 規制情報や渋滞情報を考慮して新しいルートを提供します。

OFF 規制情報のみを考慮して新しいルートを提供します。

メモ

渋滞情報を取得済みの場合は、取得した渋滞情報を考慮します（渋滞考慮）。

ルートアドバイザー自動決定ルート

新しい候補ルートが表示されてもルート選択を行わなかったときに、自動的に選択されるルートを設定します。

元ルート* 元ルートを選択します。

新ルート 新ルートを選択します。

スーパールート探索

通信機能を使って渋滞や天気予報などを考慮したルートをサーバー経由で探索する「スーパールート探索」を行う・行わないを設定します。

ON* 渋滞や天気予報などを考慮したルートをサーバー経由で探索する「スーパールート探索」を行います。

OFF 「スーパールート探索」を行わず、通常のルート探索を行います。

メモ

- ルート案内中は設定できません。
- 本機が通信可能な状態にないときは、「ON」に設定しても本機能は利用できません。
- マイセットアップの「ETC取付状態設定」で「ETCを取り付けている」または「ETC2.0を取り付けている」を選択し、本設定をONにした場合、ルート探索時にETC料金も考慮したルート探索を行います。

到着予想時刻表示

ルート案内時の到着予想時刻表示を、目的地（立寄地）までの距離・予想到着時刻にするか、出発時刻・経過時間にするかを設定します。

目的地（到着時刻・残距離）* 目的地までの距離と到着予想時刻が表示されます。

立寄地（到着時刻・残距離） 次の立寄地までの距離と到着予想時刻が表示されます。

出発時刻・経過時間 出発時刻と走行開始から現在までの経過時間が表示されます。

到着予想時刻速度（一般道）

渋滞考慮ルート探索設定で「考慮しない」に設定した際、一般道走行時での到着予想時刻を計算する基準速度を設定します。

20km/h 平均速度 20 km/hとして到着予想時刻を計算します。

30km/h* 平均速度 30 km/hとして到着予想時刻を計算します。

40km/h 平均速度 40 km/hとして到着予想時刻を計算します。

50km/h 平均速度 50 km/hとして到着予想時刻を計算します。

60km/h 平均速度 60 km/hとして到着予想時刻を計算します。

到着予想時刻速度（有料道）

渋滞考慮ルート探索設定で「考慮しない」に設定した際、有料道走行時での到着予想時刻を計算する基準速度を設定します。

60km/h 平均速度 60 km/hとして到着予想時刻を計算します。

80km/h* 平均速度 80 km/hとして到着予想時刻を計算します。

100km/h 平均速度 100 km/hとして到着予想時刻を計算します。

交差点案内表示

一般道のルート案内時に表示される交差点案内表示を設定します。

拡大図* 平面的な交差点拡大図で表示します。

アローガイド 進行方向を見やすい矢印で表示します。

方面案内表示

一般道走行中に交差点に近づいた際、方面案内看板を表示する・しないを設定します。

ON* 方面案内を表示します。

OFF 方面案内を表示しません。

ETCレーン案内表示

有料道走行時にETCレーン案内をする・しないを設定します。

ON* ETCレーン案内を表示します。

OFF ETCレーン案内を表示しません。

メモ

マイセットアップの「ETC取付状態設定」で「ETCを取り付けている」または「ETC2.0を取り付けている」を選択した場合、ETCレーン案内表示の設定は、自動的に「ON」になります。

料金案内

有料道走行中に、通行にかかった、またはかかる料金の音声案内をする・しないを設定します。

ON* 音声案内をします。

OFF 音声案内をしません。

メモ

マイセットアップの「ETC取付状態設定」で「ETCを取り付けている」または「ETC2.0を取り付けている」を選択した場合、料金案内の設定は、自動的に「OFF」になります。

オートフリーズーム

現在地と次の案内地の距離にあわせて自動的に切り換わる地図スケールを設定します。

100mスケール 自動的に100 mスケールまで地図スケールを切り換えます。

50mスケール 自動的に50 mスケールまで地図スケールを切り換えます。

OFF* 地図の表示スケールを変更しません。

リクエスト案内

リクエスト案内時の案内方法を設定します。

音声案内・地図表示*

音声と地図表示で案内します。

音声案内

音声のみで案内します。

信号機ジャスト案内

信号機にさしかかる直前に音声で案内をする・しないを設定します。

ON* 音声案内します。

OFF 音声案内しません。

メモ

- 信号機がない交差点では、この設定によらずジャスト案内を行います。
- 一般道シンプルガイドが「ON」の場合は、設定できません。

一般道シンプルガイド

通常の音声案内よりも回数と内容を少なくして、一般道のルート案内をする・しないを設定します。

ON ルート誘導時の音声案内をシンプルにします。

OFF* 通常の音声案内をします。

AV画面への割り込み

AV画面を表示中に割り込み表示させる内容を設定します。

交差点案内表示* 交差点案内表示を割り込み表示します。

ビーコン* ビーコン情報を割り込み表示します。

ルートアドバイザー* ルートアドバイザーの情報を割り込み表示します。

メモ

- 割り込み表示させる項目は複数選択できます。項目を何も選択していない場合は、割り込み表示しません。工場出荷時は、すべて選択状態となっており、「ON」と表示します。
- 「ビーコン」は、別売のETC2.0ユニット接続時に選択できます。

有料道合流地点・県境案内

有料道走行時に合流地点と県境の音声案内をする・しないを設定します。

ON* 音声案内します。

OFF 音声案内しません。

踏切案内

前方に踏切がある場合に音声案内をする・しないを設定します。

ON* 音声案内します。

OFF 音声案内しません。

右左折専用レーン案内

前方の直進レーンが右折または左折レーンに変化する場合、音声案内をする・しないを設定します。

ON* 音声案内します。

OFF 音声案内しません。

リフレッシュ案内

本機を2時間以上連続して使用した場合、休憩を促す音声案内をする・しないを設定します。

ON* 音声案内します。

OFF 音声案内しません。

ライト点灯案内

日が暮れるタイミングでライトの点灯を促す音声案内をする・しないを設定します。

ON* 音声案内します。

OFF 音声案内しません。

eスタート案内

急発進時の警告メッセージの表示と音声案内をする・しないを設定します。

ON* 案内をします。

OFF 案内をしません。

逆走注意喚起

ハイウェイモード対象路線での逆走注意を促すメッセージの表示と音声案内をする・しないを設定します。

ON* 案内します。

OFF 案内しません。

オートパーキングメモリー

オートパーキングメモリーの保存および保存データ(履歴)を利用してルート探索する・しないを設定します。

ON* オートパーキングメモリーを利用します。

OFF オートパーキングメモリーを利用しません。

ビーコン即時表示

受信したビーコン情報、ITSスポットの5.8 GHz VICS情報から、即時に表示する情報を設定します。

文字・図形・音声* 文字情報、図形情報、音声情報を即時表示します。

文字・図形 文字情報と図形情報を即時表示します。

図形 図形情報のみを即時表示します。

OFF 即時表示しません。

メモ

- 別売のETC2.0ユニットを接続時に選択できます。
- 「文字・図形・音声」は、別売のETC2.0ユニットの接続時に操作できます。
- ITSスポットの5.8 GHz VICS情報を即時表示するには、設定を「文字・図形・音声」にしてください。
- 「文字・図形」または「図形」を選択時は、音声情報を含む情報をITSスポットから受信した場合でも音声は再生されません。
- 設定が「OFF」の場合、情報は自動では表示されません。手動で表示してください。
→P100の「FM多重VICSの情報を見る」

ビーコン即時表示時間

ビーコン即時表示をOFF以外に設定している場合に、ビーコン即時表示の表示時間を設定します。

5秒 5秒間即時表示します。

10秒* 10秒間即時表示します。

15秒 15秒間即時表示します。

メモ

- 別売のETC2.0ユニットを接続時に選択できます。
- ITSスポットの5.8 GHz VICS情報を即時表示するには、設定を「文字・図形・音声」にしてください。
- 「文字・図形」または「図形」を選択時は、音声情報を含む情報をITSスポットから受信した場合でも音声は再生されません。
- 設定が「OFF」の場合、情報は自動では表示されません。手動で表示してください。
→P100の「FM多重VICSの情報を見る」

渋滞情報表示対象道路

渋滞情報を表示する対象になる道路を設定します。

有料道・一般道* 渋滞情報を有料道と一般道の両方で表示します。

有料道のみ 渋滞情報を有料道のみ表示します。

一般道のみ 渋滞情報を一般道のみ表示します。

表示しない 渋滞情報を表示しません。

渋滞情報点滅表示

渋滞・混雑・順調の情報を地図上に表示させる際、点滅表示させる・させないを設定をします。

ON* 点滅表示します。

OFF 点滅表示しません。

メモ

- 渋滞情報表示対象道路が「表示しない」の場合は、設定できません。
- 渋滞情報（渋滞・混雑）、渋滞情報（順調）が「OFF」のときは設定できません。
→P98の「VICS情報の表示を設定する」

マイセットアップ

本機の基本的な設定を、画面の指示に従って簡単に行えます。

マイセットアップを行う

画面の指示に従って各設定を簡単に行えます。

マイセットアップで設定できる項目と順序は、以下のとおりです。

● 音量設定

ナビゲーションの案内音量、操作音を設定できます。

● 自宅設定

自宅の場所を登録できます。

● Wi-Fi設定

本機にWi-Fi端末を登録できます。

● Bluetooth設定

本機にBluetooth端末を登録できます。

● 車両情報設定

車両情報を設定できます。

● 車種選択< NSZP-X68D > /

車形選択< NSZP-W68D >

車種または車形を設定できます。

● ETC取付状態設定

「ETCを取り付けている」または「ETC2.0を取り付けている」を選択すると、ルート探索時や案内時に各種ETC割引料金を考慮します。

● プローブ情報送信設定

リアルタイムプローブ機能を使うための設定ができます。

メモ

- ルート案内中や有料道路走行中は、「車両情報設定」の「有料道路料金区分」と「ETC取付状態設定」は設定できません。
- 本機の起動時以外や設定した内容を変更したい場合は、**AV・本体設定**からマイセットアップを行ってください。
- ETC取付状態設定以外の設定項目は、それぞれ設定メニューから個別に設定できます。

マイセットアップを開始する

1 **田**ボタンを押し、HOME画面を表示します

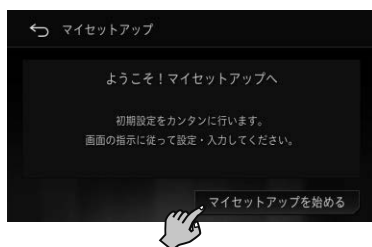
2 **AV・本体設定**にタッチします



3 **マイセットアップ**にタッチします



4 **マイセットアップを始める**にタッチします



メモ

- マイセットアップ設定中は、**次**にタッチすると次の設定へ、**前**にタッチすると前の設定に戻ります。
- **終了**にタッチすると、その時点までの設定を保存してマイセットアップ終了画面に移ります。

■音量の調整

1 案内音量と操作音を調整します



●案内音量

次の項目の音量を調整します。

- － ナビゲーション音声案内
- － 操作音
- － ETCまたはETC2.0ユニット音声案内
- － ライブインフォ通知

●操作音

本機の操作音のON/OFFを設定します。

2 次へにタッチします

メモ

操作音をOFFにすると、一時停止地点の案内音もOFFになります。

■自宅の設定

1 自宅登録にタッチします



すでに自宅が登録済みの場合は、登録変更が表示され、タッチすると場所を探すための検索画面が表示されます。

2 場所を探して、決定にタッチします



3 次へにタッチします

■Wi-Fi対応端末の登録について



マニュアル接続の場合

1 登録したい端末の設定メニューを開いて、インターネット共有またはテザリング機能をオンにします

iPhoneは「インターネット共有」、スマートフォンは「テザリング」と表示されます。フィーチャーフォンの場合は、お使いのフィーチャーフォンの取扱説明書をご覧ください。

2 登録したい端末のWi-Fi機能をオンにします

- iPhoneやスマートフォンの場合

ホームボタンを押す→[設定] ( や  など) → [Wi-Fi]



- フィーチャーフォンの場合

お使いのフィーチャーフォンの取扱説明書をご覧ください。



登録可能な機器が表示されます。

3 マニュアル接続にタッチします



4 🔍にタッチします



周辺のWi-Fi対応端末を検索してリスト表示します。

5 登録したい端末(またはアクセスポイント)にタッチします



Wi-Fi対応端末が登録されます。

6 ⏪にタッチします



7 次へにタッチします

 **メモ**

登録したい端末(またはアクセスポイント)にセキュリティが設定されている場合は、パスワードを入力して接続します。

WPS接続の場合

1 登録したい端末の設定メニューを開いて、テザリング機能をオンにします

フィーチャーフォンの場合は、お使いのフィーチャーフォンの取扱説明書をご覧ください。

2 登録したい端末のWi-Fi機能をオンにします

● スマートフォンの場合

ホームボタンを押す⇒[設定] (🔧など) ⇒
[Wi-Fi]



● フィーチャーフォンの場合

お使いのフィーチャーフォンの取扱説明書をご覧ください。



登録可能な機器が表示されます。

3 WPS接続にタッチします



4 WPSまたはWPS (PIN)にタッチします



WPS

接続機器のWPSプッシュボタンを押して接続を行います。

WPS (PIN)

接続機器にPINコードを入力して接続を行います。

登録が完了すると自動で本機とWi-Fi接続します。再接続するには、Wi-Fi対応端末のテザリング機能をオンにしてください。自動でWi-Fi接続されます。

5 次へにタッチします

メモ

登録したい端末(またはアクセスポイント)にセキュリティが設定されている場合は、パスワードを入力して接続します。

Bluetooth接続設定

1 自機検出がONになっていることを確認します

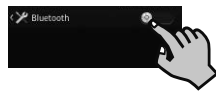


OFFになっているときはONに設定してください。タッチするたびにONとOFFが切り換わります。

2 登録したい端末の設定メニューを開いて、Bluetooth機能をオンにします

● iPhoneやスマートフォンの場合

ホームボタンを押す⇒[設定] (🔧や📱など) ⇒[Bluetooth]



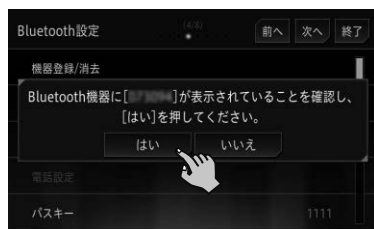
- **フィーチャーフォンの場合**
お使いのフィーチャーフォンの取扱説明書をご覧ください。

登録可能な機器が表示されます。

3 Bluetooth対応端末の画面で本機のデバイス名にタップします



4 本機とBluetooth対応端末の画面に表示される番号が同じことを確認し、**はい**にタッチします



5 Bluetooth対応端末の画面に表示される指示に従って操作を行います

Bluetooth接続が始まります。

登録が完了するとメッセージが表示されます。



再接続するには、Bluetooth対応端末のBluetooth機能をオンにして、本機の機器登録画面から接続してください。

6 **次へ**にタッチします

メモ

- Bluetooth対応端末から本機を検索して登録することもできます。
- 使用する機能によって接続するプロファイルを設定する必要があります。
➔P144の「[接続機器の切り換えと、Bluetooth機器の接続プロファイルを設定する](#)」

■車両情報の設定

有料道路料金区分を設定する

1 **有料道路料金区分**にタッチします



2 該当する車両にタッチします



駐車制限(車種)を設定する

1 駐車制限(車種)にタッチします



2 該当する車種にタッチします

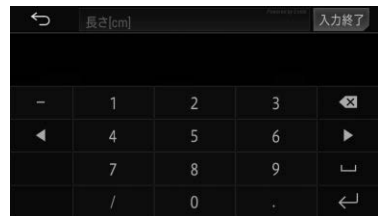


駐車制限(車両寸法)を設定する

1 駐車制限(車両寸法)にタッチします



2 各項目を設定します



車両重量を設定する

1 車両重量にタッチします



2 重量を入力します



総排気量を設定する

1 総排気量にタッチします



2 排気量を入力します

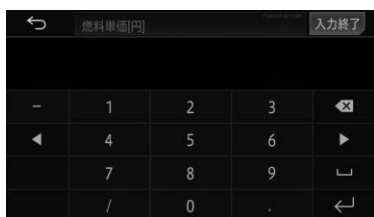


燃料単価を設定する

1 燃料単価にタッチします



2 燃料単価を入力します



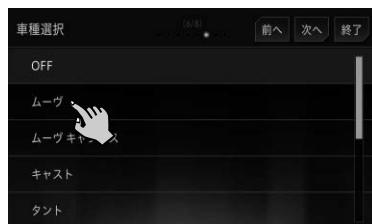
メモ

設定した車両情報は駐車場や有料道路料金の案内に反映されます。

■車種/車形の設定

1 お使いの車の車種または車形にタッチします

NSZP-X68Dの場合



NSZP-X68Dでは車種、NSZP-W68Dでは車形を選択します。

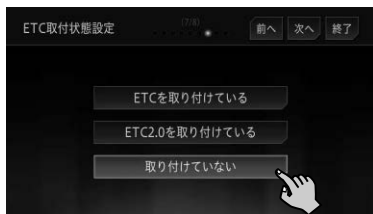
選択した車種または車形に応じた音響設定に自動調整します。

2 はいにタッチします

3 次へにタッチします

■ ETC取付状態の設定

- 1 ETCを取り付けている、ETC2.0を取り付けているまたは取り付けていないにタッチします



ETCを取り付けているまたはETC2.0を取り付けているに設定すると、機能設定の「スマートIC考慮ルート探索」はONになり、「料金案内」はOFFになります。また、いずれの設定にした場合でも、「ETCレーン案内表示」はONに変更されます。

- 2 次へにタッチします

■ プローブ情報送信設定

メモ

本設定をOFFにした場合、リアルタイムプローブ情報は利用できません。

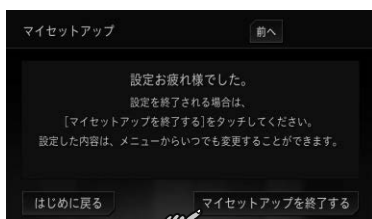
- 1 ONまたはOFFにタッチします



- 2 次へにタッチします

■ マイセットアップを終了します

- 1 マイセットアップを終了するにタッチします

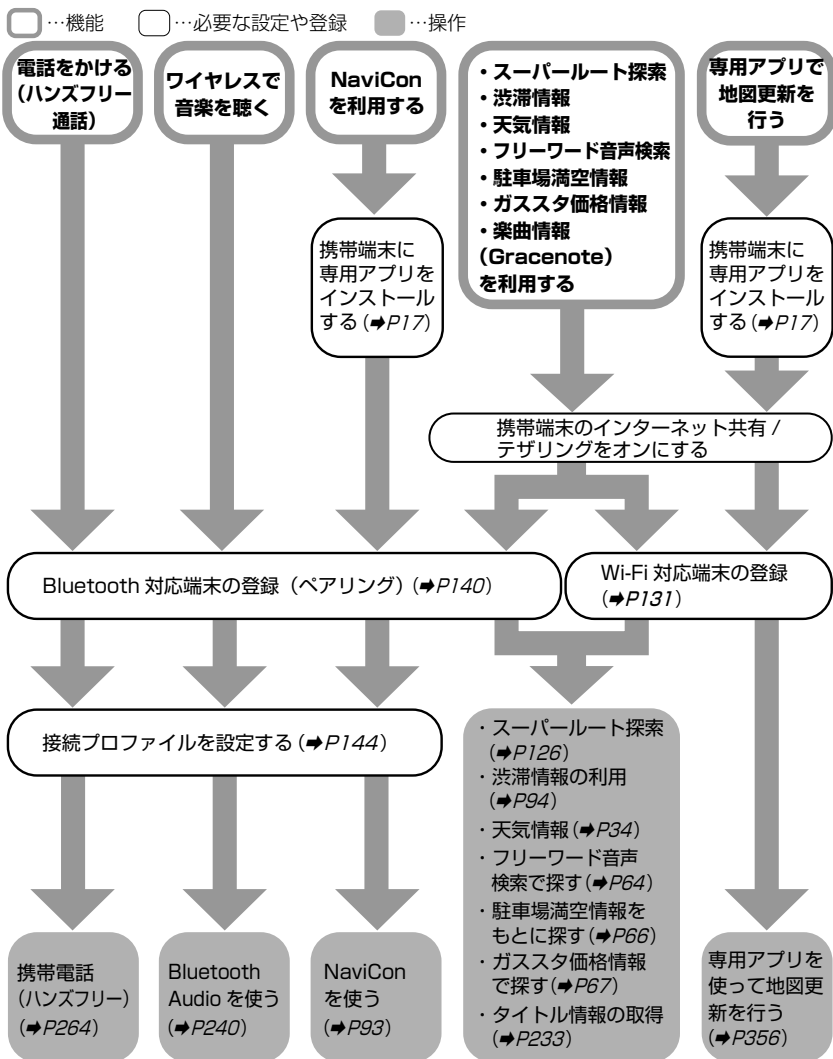


通信接続設定

本機に接続する通信機器の登録や各種設定を行うことで、通信機能を利用できます。(一部、通信接続設定以外の登録や設定を行わないと利用できない通信機能もあります。)

Bluetooth接続およびWi-Fi接続でできること

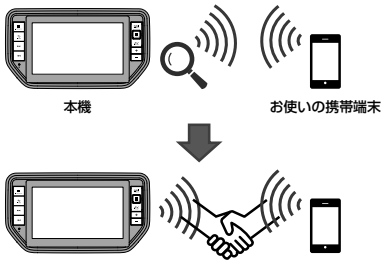
本機と携帯端末をBluetoothおよびWi-Fiで接続できます。使いたい機能によって必要な設定や登録が異なります。



■ペアリングとは

Bluetooth機器では、あらかじめワイヤレス接続する機器同士を登録しておく必要があります。この登録のことを「ペアリング」と言います。一度ペアリングすれば、接続先を選ぶだけで接続できるようになります。

ペアリング イメージ図



■インターネット共有/テザリングとは

携帯端末のインターネット回線を共有して、ノートPCやタブレット、カーナビゲーションなどの外部機器をインターネットに接続する機能です。この機能について、iPhoneでは「インターネット共有」、スマートフォンでは「テザリング」と表示されます。

インターネット共有/テザリング イメージ図



△注意

お客様の携帯端末の回線契約がパケット定額制でないときは、高額な通信費用が掛かる場合があります。事前に回線契約の内容をご確認いただくことをお勧めします。

■通信コンテンツとは

携帯端末がインターネットを通じて得られる情報を「通信コンテンツ」と表します。例として、次の情報などが挙げられます。

- NaviConに使用する地図情報
- 渋滞情報
- 天気情報
- フリーワード音声検索
- 駐車場満空情報
- ガスタ価格情報
- 楽曲情報
- 地図更新用地図情報

メモ

- 通信コンテンツの内容はサーバー側で管理されており、予告無く変更・中止する場合があります。
- 通信コンテンツを取得するには、本機にBluetooth (PAN) やWi-Fi (インターネット共有/テザリング) に対応した機器を接続する必要があります。
- お使いのBluetooth機器によっては、各機能に対応していない場合があります。

通信機器を準備する

通信機器使用上のご注意

- 通信接続設定が完了すると、通信機能により自動的にデータ通信を開始する場合があります。
- 通信機能をはじめて使用すると、約款が表示されます。その場合は内容をご確認いただき、ご同意いただける場合は**はい**にタッチしてください。
- 携帯電話接続中の通信料およびプロバイダ接続料はお客様負担となります。
- 通信終了後は必ず通信が切れたことを確認してください。携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」などのロック機能を解除してから接続してください。
- 携帯電話により、データ通信中に電話を着信した場合、データ通信が切断される場合があります。その場合は、通話終了後に再接続してください。
- 携帯電話により、Bluetooth Audioを使用中はデータ通信を行えない場合があります。このような場合は、いったんBluetooth AudioをOFFにし、携帯電話の音楽再生ソフトを終了してからデータ通信を行ってください。

Bluetooth機器を使用する場合

Bluetooth対応端末をご準備ください。携帯電話接続ケーブルなどを使っての接続はできませんので、ご注意ください。

対応するBluetoothプロファイル

本機は、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。

- HFP: (Hands-Free Profile)
- OPP: (Object Push Profile)
- PBAP: (Phone Book Access Profile)
- SPP: (Serial Port Profile)
- A2DP: (Advanced Audio Distribution Profile)
- AVRCP: (Audio/Video Remote Control Profile)
- PAN: (Personal Area Network Profile)

メモ

- Bluetooth対応端末でも、機種によっては本機との接続に制限がある場合があります。
- Bluetooth Audioを使う場合も、あらかじめ本機にBluetooth Audio機器を登録しておく必要があります。

Wi-Fi対応端末を使用する場合

Wi-Fi対応端末をご準備ください。携帯電話接続ケーブルなどを使っての接続はできませんので、ご注意ください。

Bluetooth対応端末の登録 (ペアリング)

メモ

- 登録できるBluetooth機器は、5台までです。
- すでに5台登録していて、新たにBluetooth機器を登録する場合は、登録済みのBluetooth機器を消去してください。
➔P146の「登録したBluetooth機器を消去する」
- Bluetooth Audioが再生中の場合、再生が中断されます。また確認のメッセージが表示されますので、中断して登録を行う場合は**はい**を、中断したくない場合は**いいえ**を選んでください。
- Bluetooth Audio (➔P240の「Bluetooth® Audioを使う」)をお使いになる場合も、あらかじめ本機にBluetooth Audio機器を登録しておく必要があります。

- AVプロフィールを持つBluetooth対応携帯電話を登録した場合、Bluetooth Audioの優先接続機器として設定されます。詳しくは(➡P240の「Bluetooth® Audioを使う」)をご覧ください。
- マイセットアップ(➡P130の「マイセットアップ」)で設定することもできます。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」などのロック機能を解除してから接続してください。
- 本機とフィーチャーフォンを接続するときは、フィーチャーフォンの取扱説明書をご確認ください。

■本機とiPhoneをペアリングする

お使いのiPhoneのバージョンや機種によっては、画面の表示が異なることがあります。

ここからはナビゲーション本体を操作します

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3 無線電波アイコン ➡ Bluetooth設定 にタッチします



4 自機検出がONになっていることを確認します



OFFになっているときはONに設定してください。タッチするたびにONとOFFが切り換わります。

ここからはiPhoneを操作します

5 iPhoneのホームボタンを押し、[設定] (設定アイコン) にタッチします

設定画面が表示されます。

6 [Bluetooth] にタップします



7 オンに切り換えます



登録可能な機器が表示されます。

8 本機のデバイス名にタップします



デバイス名については、(⇒P148の「デバイス名を設定する」)をご覧ください。
 端末によっては、パスキーを入力する必要があります。パスキーは他人にBluetooth接続を許可なく使われないようにするためのパスワードです。
 パスキーについては、(⇒P148の「パスキーを変更する」)をご覧ください。

ここからはナビゲーション本体の操作に戻ります

9 本機とiPhoneの画面に表示される番号が同じことを確認し、はいにタッチします



10 iPhoneの画面に表示される指示に従って操作を行います

接続が始まると「接続中です。」と表示され、接続が確立すると、「機器の登録が完了しました。」と表示されます。
 次の画面が表示されれば登録完了です。



ペアリングが完了すると自動で接続します。次回に再接続するには、iPhoneのBluetooth機能をオンにしてください。自動で接続されます。

■本機とスマートフォンをペアリングする

お使いのスマートフォンのバージョンや機種によっては、画面の表示が異なることがあります。

ここからはナビゲーション本体を操作します

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3 Bluetooth設定にタッチします



4 自機検出がONになっていることを確認します



OFFになっているときはONに設定してください。タッチするたびにONとOFFが切り換わります。

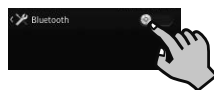
ここからはスマートフォンを操作します

5 スマートフォンのホームボタンを押し、[設定] (設定アイコンなど)にタップします 設定画面が表示されます。

6 [Bluetooth] にタップします



7 オンに切り換えます



登録可能な機器が表示されます。

8 本機のデバイス名にタップします



デバイス名については、(⇒P148の「デバイス名を設定する」)をご覧ください。
端末によっては、パスキーを入力する必要があります。パスキーは他人にBluetooth接続を許可なく使われないようにするためのパスワードです。
パスキーについては、(⇒P148の「パスキーを変更する」)をご覧ください。

ここからはナビゲーション本体の操作に戻ります

9 本機とスマートフォンの画面に表示される番号が同じことを確認し、**はい**にタッチします



10 スマートフォンの画面に表示される指示に従って操作を行います

接続が始まると「接続中です。」と表示され、接続が確立すると、「機器の登録が完了しました。」と表示されます。次の画面が表示されれば登録完了です。



ペアリングが完了すると自動で接続します。次回に再接続するには、スマートフォンのBluetooth機能をオンにしてください。自動で接続されます。

接続機器の切り換えと、Bluetooth機器の接続プロファイルを設定する

本機に登録したBluetooth機器に接続プロファイルを設定し、何の機能を使う機器なのかを設定することができます。

メモ

- 1つのプロファイルに対し、接続できる端末は1台です。プロファイルを設定することで最大5台まで同時に接続できます。
- ハンズフリーのプロファイルは2種類あり、2台を同時に接続することができます。接続した2つの機器は電話画面で切り換えることができます。
- 選んだBluetooth機器が動作中（ハンズフリー / データ通信）の場合は切り換えできません。動作終了後に操作してください。
- 現在動作中（発着信中 / 通話中 / 電話帳転送待ち）のBluetooth機器は選択できません。動作終了後に操作してください。
- Bluetooth Audioを使用中にBluetooth機器の切換操作を行うと、Bluetooth Audioの再生が中断されます。

1 登録したい携帯電話のBluetooth機能をオンにします

2 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

3 AV・本体設定にタッチします



4 Bluetooth設定にタッチします



5 機器登録/消去にタッチします



6 切り換えるBluetooth機器のプロファイルにタッチします



7 接続方法を選択し、決定にタッチします

**ハンズフリー 1 (電話+通信)**

ハンズフリー通話を行う機器に設定します。また、通信機能を使うためにPAN接続をする機器にも設定します。

ハンズフリー 2 (電話のみ)

ハンズフリー通話を行う機器に設定します。

Bluetooth Audio

Bluetooth Audio機器として設定します。

NaviCon連携

NaviConで使用する機器として設定します。

メモ

- 設定したプロフィールに応じたアイコンが表示されます。
 - ハンズフリー 1 (電話+通信) : 
 - ハンズフリー 2 (電話のみ) : 
 - Bluetooth Audio : 
 - NaviCon連携 : 
- 「Bluetooth Audio」に設定すると、AVソースをBluetooth Audioに切り換えたときに自動的に接続される優先接続機器となります。
- 本機とBluetooth機器をペアリングした状態で、「ハンズフリー 1 (電話+通信)」や「ハンズフリー 2 (電話のみ)」の設定をしていない場合でも、携帯電話によっては自動接続される場合があります。

登録したBluetooth機器を消去する

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3 Bluetooth設定にタッチします



4 機器登録 / 消去にタッチします



5 消去するBluetooth機器の画にタッチします



6 はいにタッチします



PAN (Personal Area Network Profile) で通信を行う

通信に使用するBluetooth機器が、PAN-NAP (Network Access Point)に対応している場合は、あらかじめインターネット共有/テザリングをオンにすることで通信機能をご利用いただけます。

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3 Bluetooth設定にタッチします



4 機器登録/消去にタッチします



5 切り換えるBluetooth機器のプロファイルにタッチします



6 ハンズフリー 1 (電話+通信)にタッチして、決定にタッチします



メモ

- 通信事業者によっては、PAN接続を行う場合は、別途契約や料金が発生する場合があります。詳しくは通信事業者へお問い合わせください。
- PAN接続中は、地図画面下部にアイコンが表示されます。
➔ P43の「ステータスバーに表示される情報」

自動接続を設定する

本機を起動したときに、最後に接続していたBluetooth機器と自動接続できます。工場出荷時は、「ON」です。

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3 Bluetooth設定にタッチします



4 自動接続にタッチします



タッチするたびにON/OFFが切り換わります。

パスキーを変更する

本機のパスキーを設定できます。
工場出荷時は「1111」です。

メモ

- パスキーは4桁～16桁で設定できます。
- Bluetooth機器が動作中(発着信中/通話中/電話帳転送待ち)の場合は、Bluetooth機器情報を変更できません。動作終了後に操作してください。

1 **田**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **AV・本体設定**にタッチします



3 **Bluetooth設定**にタッチします



4 **パスキー**にタッチします



5 **パスキー**を入力し、**入力終了**にタッチします



デバイス名を設定する

本機の自機名称を設定できます。
工場出荷時は本機の型番がデバイス名として設定されています。

メモ

- デバイス名は最大20文字まで入力できます。
- Bluetooth機器が動作中(発着信中/通話中/電話帳転送待ち)の場合は、Bluetooth機器情報を変更できません。動作終了後に操作してください。

1 **田**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **AV・本体設定**にタッチします



3 **Bluetooth設定**にタッチします



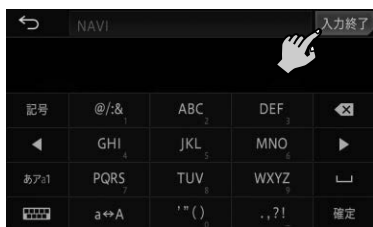
4 デバイス名にタッチします



4 Bluetooth設定にタッチします



5 デバイス名を入力し、入力終了にタッチします



5 自動着信応答にタッチします



タッチするたびにON/OFFが切り換わります。

自動着信応答を設定する

本機にBluetooth接続している携帯電話が着信したときに自動で応答します。
工場出荷時は、「OFF」です。

1 携帯電話を本機とBluetooth接続します

携帯電話を本機に登録していない場合は、登録を行ってください。

→P140の「Bluetooth対応端末の登録(ペアリング)」

2 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

3 AV・本体設定にタッチします



Wi-Fi対応端末を登録する

メモ

- 登録できるWi-Fi対応端末は、20台までです。
- すでに20台登録していて、新たにWi-Fi対応端末を登録する場合は、登録が古い端末から順に消去されます。

iPhoneをお使いの方で マニュアル接続を行う場合

お使いのiPhoneのバージョンや機種によっては、画面の表示が異なることがあります。

ここからはナビゲーション本体を操作します

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3 Wi-Fi設定にタッチします



4 Wi-Fiにタッチします



タッチするたびにON/OFFが切り換わります。

ここからはiPhoneを操作します

5 iPhoneのホームボタンを押し、[設定]

()にタップします

設定画面が表示されます。

6 インターネット共有機能をオンにします

iPhoneは「インターネット共有」と表示されます。

7 [Wi-Fi] にタップします



8 オンに切り換えます



登録可能なネットワークが表示されます。

ここからはナビゲーション本体を操作します

9 マニュアル接続にタッチします



10  にタッチします



周辺のWi-Fi対応端末を検索してリスト表示します。

最大30台まで検索し、リストに表示します。検索は常に行われ、定期的にリストを更新します。

11 登録したい端末(またはアクセスポイント)にタッチします



登録が完了すると自動で本機とWi-Fi接続します。

再接続するには、Wi-Fi対応端末のテザリング機能をオンにしてください。自動でWi-Fi接続されます。

メモ

登録したい端末(またはアクセスポイント)にセキュリティが設定されている場合は、パスワードを入力して接続します。

次の画面が表示されれば登録完了です。



登録が完了すると自動で接続します。再接続するには、iPhoneのWi-Fi機能をオンにしてください。自動で接続されます。

■スマートフォンをお使いの方で マニュアル接続を行う場合

お使いのスマートフォンのバージョンや機種によっては、画面の表示が異なることがあります。

ここからはナビゲーション本体を操作します

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3 Wi-Fi設定にタッチします



4 Wi-Fiにタッチします



タッチするたびにON/OFFが切り換わります。

ここからはスマートフォンを操作します

5 スマートフォンのホームボタンを押し、[設定] (🔧)などにタップします
設定画面が表示されます。

6 テザリング機能をオンにします
スマートフォンは「テザリング」と表示されます。

7 [Wi-Fi] にタップします



8 オンに切り換えます



登録可能なネットワークが表示されます。

ここからはナビゲーション本体を操作します

9 マニュアル接続にタッチします



10 🔍にタッチします



周辺のWi-Fi対応端末を検索してリスト表示します。

最大30台まで検索し、リストに表示します。検索は常に行われ、定期的リストを更新します。

11 登録したい端末(またはアクセスポイント)にタッチします



登録が完了すると自動で本機とWi-Fi接続します。

再接続するには、Wi-Fi対応端末のテザリング機能をオンにしてください。自動でWi-Fi接続されます。

メモ

登録したい端末(またはアクセスポイント)にセキュリティが設定されている場合は、パスワードを入力して接続します。

次の画面が表示されれば登録完了です。



登録が完了すると自動で接続します。再接続するには、スマートフォンのWi-Fi機能をオンにしてください。自動で接続されます。

その他のネットワークを追加する

本機にWi-Fi対応端末のネットワーク名(SSID)、セキュリティ、パスワードを入力して、Wi-Fi対応端末を登録することができます。

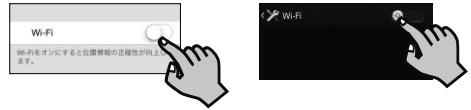
1 登録したい端末の設定メニューを開いて、インターネット共有またはテザリング機能をオンにします

iPhoneは「インターネット共有」、スマートフォンは「テザリング」と表示されます。フィーチャーフォンの場合は、お使いのフィーチャーフォンの取扱説明書をご覧ください。

2 登録したい端末のWi-Fi機能をオンにします

● iPhoneやスマートフォンの場合

ホームボタンを押す⇒【設定】(⚙️)や(🔌)など⇒【Wi-Fi】



● フィーチャーフォンの場合

お使いのフィーチャーフォンの取扱説明書をご覧ください。



登録可能な機器が表示されます。

3 罫ボタンを押し、HOME画面を表示します

4 AV・本体設定にタッチします



5 Wi-Fi設定にタッチします



6 マニュアル接続にタッチします



7 Qにタッチします



8 リスト下部にあるその他のネットワークを追加にタッチします



9 ネットワーク名(SSID)にタッチします



10 ネットワーク名(SSID)を入力し、入力終了にタッチします



11 セキュリティ→セキュリティの種類にタッチします



なし
セキュリティが設定されていない場合に選択します。

WEP
WEPが設定されている場合に選択します。

WPA/WPA2
WPAまたはWPA2が設定されている場合に選択します。

12 パスワードにタッチします



13 パスワードを入力し、**入力終了**にタッチします



14 接続にタッチします



接続が完了し、登録機器一覧画面を表示します。

■ WPS接続の場合

1 登録したい端末の設定メニューを開いて、**テザリング機能をオン**にします

フィーチャーフォンの場合は、お使いのフィーチャーフォンの取扱説明書をご覧ください。

2 登録したい端末のWi-Fi機能をオンにします

3 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

4 **AV・本体設定**にタッチします



5 **Wi-Fi設定**にタッチします



6 **WPS接続**にタッチします



7 **WPS**または**WPS (PIN)**にタッチします



WPS

登録したい端末のWPSプッシュボタンを押して接続を行います。

WPS (PIN)

登録したい端末にPINコードを入力して接続を行います。

登録が完了すると自動で本機とWi-Fi接続します。

再接続するには、Wi-Fi対応端末のテザリング機能をオンにしてください。自動でWi-Fi接続されます。

メモ

登録したい端末(またはアクセスポイント)にセキュリティが設定されている場合は、パスワードを入力して接続します。

登録したWi-Fi対応端末を消去する

1 **田**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **AV・本体設定**にタッチします



3 **Wi-Fi設定**にタッチします



4 **マニュアル接続**にタッチします



5 消去するWi-Fi対応端末の**🗑**にタッチします



6 **はい**にタッチします



自動接続をON/OFFする

本機に登録したWi-Fi対応端末の自動接続のON/OFFを設定できます。

1 **田**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **AV・本体設定**にタッチします



3 **Wi-Fi設定**にタッチします



4 **マニュアル接続**にタッチします



5 **自動接続**にタッチします



タッチするたびにON/OFFが切り換わります。

接続するWi-Fi対応端末の優先度を変更する

本機に登録したWi-Fi対応端末が複数ある場合に、自動接続する端末の優先度を変更できます。

1 **田**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **AV・本体設定**にタッチします



3 **Wi-Fi設定**にタッチします



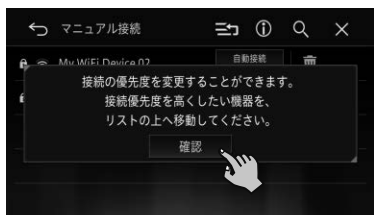
4 **マニュアル接続**にタッチします



5 **☰**にタッチします



6 確認にタッチします



7 変更したいリストをドラッグし並び順を変更します



接続優先度を高くしたい機器を、リストの上へ移動してください。

8 情報アイコンにタッチします



優先度が変わります。

セキュリティ設定をする

セキュリティに関する設定を行います。セキュリティ機能を設定することで、盗難抑止効果や盗難予防効果が期待できます。

△注意

本機能をご利用いただくことが、必ずしも盗難防止につながるわけではありません。車から離れたときは必ず車のキーを抜いてドアをロックするなど、基本的な対策はお客様ご自身で注意していただきますようお願いいたします。

セキュリティ機能を設定する

暗証番号を設定し、セキュリティ機能を設定します。一度設定した暗証番号を変更したいときも、この手順を行います。

1  ボタンを押し、HOME画面を表示します

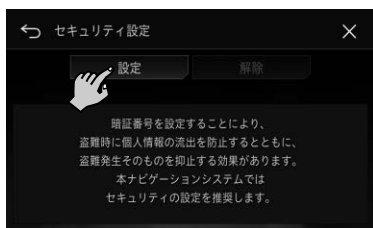
2 AV・本体設定にタッチします



3  セキュリティ設定にタッチします

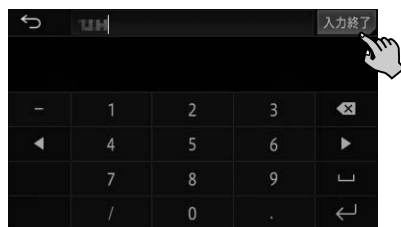


4 設定にタッチします



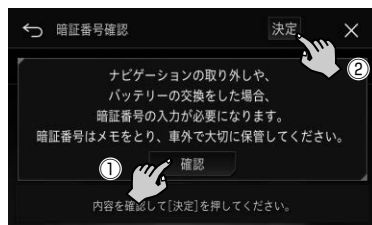
解除にタッチすると、セキュリティ機能を無効にできます。

5 暗証番号を入力し、**入力終了**にタッチします



暗証番号は4桁で入力してください。

6 **確認**→**決定**にタッチします



セキュリティ機能が有効になり、車のエンジンを切った(ACCをOFFにした)状態になると、セキュリティLEDが点滅します。

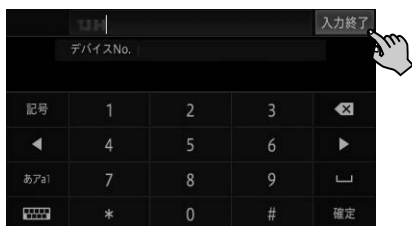
△注意

セキュリティ機能を解除すると、設定済みの暗証番号が消去されます。再度暗証番号の設定が必要となります。

セキュリティ機能が働いたときの操作

セキュリティ機能を有効に設定した状態で、バッテリー交換などを行った場合、本機の電源をON（エンジンスイッチをON）にすると、暗証番号入力画面が表示されます。

- 1 セキュリティ機能設定時に設定した暗証番号を入力し、**入力終了**にタッチします



- 2 **確認**にタッチします



ナビゲーションが起動します。

メモ

万が一、暗証番号を忘れた場合は、販売店へお問い合わせください。

案内音声出力先設定

ナビゲーションの音声案内やハンズフリー通話の受話音などを、どのフロントスピーカーから出力するか設定できます。

工場出荷時は「フロントL + フロントR」です。

1 電源ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3 設定メニューから案内音声出力先設定にタッチします



4 出力するスピーカーを選択します



フロントL

左側のフロントスピーカーからのみ出力します。

フロントL+フロントR

左右のフロントスピーカーから出力します。

フロントR

右側のフロントスピーカーからのみ出力します。

パーキングブレーキアラーム・速度超過アラームの設定

工場出荷時は「ON」です。

1 電源ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3 設定メニューからパーキングブレーキアラームまたは速度超過アラームにタッチします



タッチするたびにON/OFFが切り換わります。

パーキングブレーキアラーム

パーキングブレーキをかけたまま走行したときに、音声とメッセージで通知します。

速度超過アラーム

走行速度が約90 km/h以上になったときに、音声で通知します。

車両情報設定

車両の有料道路料金区分や駐車制限、長さ、幅、高さなどの車両情報を設定します。ここで設定した内容が、駐車場や有料道の料金案内などに反映されます。

車両情報を設定する

1  ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3  → 車両情報設定にタッチします



4 有料道路料金区分にタッチして、該当する車両にタッチします



5 駐車制限(車種)にタッチして、該当する車種にタッチします



6 駐車制限(車両寸法)にタッチします



7 車両寸法：長さ(L)にタッチします



11 車両寸法：幅(W)にタッチします



8 長さを入力し、入力終了にタッチします



100 cm ~ 999 cmの範囲で、1 cm単位で入力できます。

12 幅を入力し、入力終了にタッチします



100 cm ~ 999 cmの範囲で、1 cm単位で入力できます。

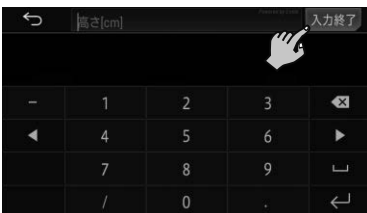
9 車両寸法：高さ(H)にタッチします



13 戻るにタッチします



10 高さを入力し、入力終了にタッチします

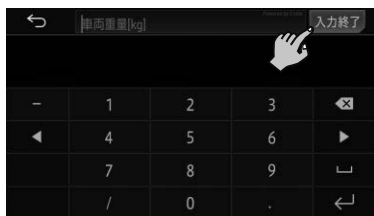


100 cm ~ 999 cmの範囲で、1 cm単位で入力できます。

14 車両重量にタッチします



15 重量を入力し、**入力終了**にタッチします



100 kg ~ 9 999 kgの範囲で、1 kg単位で入力できます。

16 総排気量にタッチします



17 排気量を入力し、**入力終了**にタッチします



0.10 ℓ ~ 9.99 ℓの範囲で、0.01 ℓ単位で入力できます。

18 燃料単価にタッチします



19 燃料単価を入力し、**入力終了**にタッチします



10 円 ~ 999 円の範囲で、1 円単位で入力できます。

メモ

「駐車制限(車種)」で該当する車種がない場合は、何も設定しないでください。

起動時の画像と音の設定

本機の起動時のオープニング音およびオープニング画像を設定します。

△注意

オープニング画像設定中や、画像読み込み中に本機の電源をOFFしないでください。画像データが読み込めなくなる場合があります。

起動時の画像を設定する

画像は、あらかじめ本機に収録されているものか、SDカードまたはUSBメモリー経由で読み込んだものから選ぶことができます。

1 **電源** ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **AV・本体設定** にタッチします



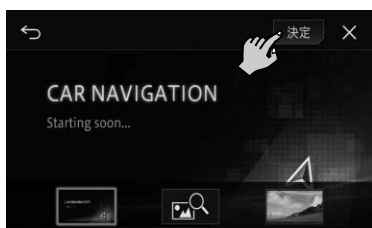
3 **電源** ボタンを押して **オープニング画像設定** にタッチします



4 画像を選んで **決定** にタッチします



画像にタッチすると、選んだ画像を全画面に表示して確認できます。



設定が反映されます。

本機に収録された画像から選ぶ場合	画像を選んで 決定 にタッチします。
SDカード・USBメモリーから画像を読み込む場合	1 電源 ボタンにタッチします 2 USBまたはSDを選んでタッチします 3 画像を選んで 決定 にタッチします

メモ

- 本機に取り込み可能な画像形式とサイズは以下のとおりです。
 - － ファイル形式：JPEG
 - － 画像上限サイズ：4 000ピクセル×4 000ピクセル
 - － ファイル上限サイズ：10 MB
- **電源** ボタンの右の画像は、SDカードまたはUSBメモリーから最後に読み込んだ画像です。タッチするとオープニング画像に設定できます。

起動時の音を設定する

本機の起動時のオープニング音を設定します。
工場出荷時は「ON」です。

メモ

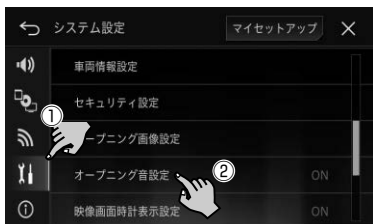
本機のオープニング音設定を「ON」にしている場合、AVソースOFF時にオープニング音が再生されます。

1 **田** ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **AV・本体設定** にタッチします



3 **II** → **オープニング音設定** にタッチします



タッチするたびにON/OFFが切り換わります。

タッチパネルのタッチ位置を調整する<NSZP-W68D>

画面のタッチボタンと実際に反応するタッチ位置にずれを感じたときなどに、調整できます。(タッチパネルキャリブレーション)

調整には画面の2角と上下左右で行う調整と、画面全体で詳細に行う16点調整があります。

△注意

必ず綿棒などの先のとがっていない物を使用して画面に軽く触れてください。

メモ

タッチパネル調整を途中で終了する場合は、**+**ボタンを長く押ししてください。

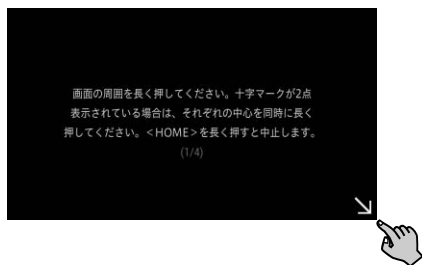
1 **+**ボタンを長く押しします

画質調整画面が表示されます。

2 画質調整画面のまま**+**ボタンを長く押しします

タッチパネル調整画面が表示されます。

3 画面の指示にしたがって、画面の右下→左上の順にタッチします



4 画面の上辺中央と下辺中央に表示される+マークの中心に同時にタッチします

5 画面の左辺中央と右辺中央に表示される+マークの中心に同時にタッチします

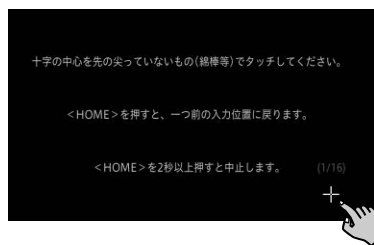
6 **+**ボタンを押します

調整結果が保存されます。

7 もう一度**+**ボタンを押します

16点調整に進みます。

8 画面に表示される+マークの中心にタッチします



16点タッチ後、画面に表示される+マークにタッチすると、調整結果が保存されます。

メモ

保存中はエンジンを切らないでください。

9 **+**ボタンを2秒以上押しします

調整を終了し、画質調整を行う前に表示していた画面に戻ります。

設定初期化

ご購入後に設定した内容を工場出荷時の状態に戻せます。

△注意

工場出荷状態に戻すを選択すると、ナビゲーション、AV・本体設定の初期化に加え、登録地のデータも消去されます。

AV・本体設定の初期化

1 **田**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **AV・本体設定**にタッチします



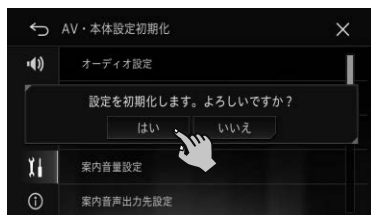
3 **AV・本体設定初期化**にタッチします



4 初期化したい項目にタッチします



5 **はい**にタッチします



選択した設定が工場出荷時の状態に戻ります。

メモ

「オーディオ設定」はAVソースがOFFのときのみタッチできます。

ナビ設定の初期化

1  ボタンを押し、HOME画面を表示します

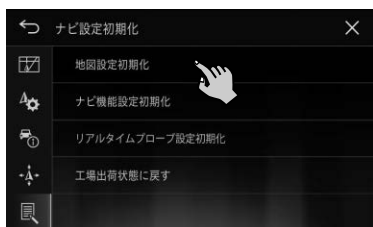
2 ナビ設定にタッチします



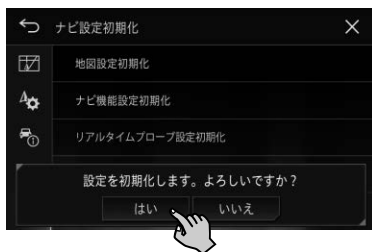
3  → ナビ設定初期化にタッチします



4 初期化したい項目にタッチします



5 はいにタッチします



選択した設定が工場出荷時の状態に戻ります。

メモ

センサー学習には、別途リセット操作が必要です。

➔ P309の「センサー学習状況のリセット」

各種情報の利用

センサー学習の状況を確認する

現在のセンサー学習状況を確認できます。本機の3Dハイブリッドセンサーが走行状況（距離/方位/傾斜（3D））を検知して、その結果を学習しています。学習した結果は、本機に内蔵のセンサーメモリーに蓄積され、走行を重ねるごとに測位精度が高くなります。

△注意

走行状態の確認は必ず同乗者が行き、運転者は運転に専念してください。

📝メモ

以下の場合、タイヤの外径が変化したことを自動で検出し、センサーの距離学習を再学習し直すことがあります。

- タイヤ交換やチェーン装着した場合
- 悪路（雪道など）を走行してスリップした場合

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3 システム情報にタッチします



4 センサー学習状況にタッチします



■センサー学習

現在の走行モード（3Dハイブリッドモード、簡易ハイブリッドモード）、または「センサー初期学習中」が表示されます。

📝メモ

センサー学習状態は、必要に応じてリセットできます。

➡P309の「センサー学習状況のリセット」

■トリップ/パルス数

現在本機が認識しているトリップ、パルス数が表示されます。

メモ

- **トリップ**または**パルス数**にタッチすると積算された数字をリセットできます。
- 本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にしても、トリップとパルス数は積算される場合があります。

■前後G/回転速度計

現在本機が認識している前後Gの強さがバーで、左右の回転速度が扇で表示されます。

■傾斜計

道路に対して本機の上下の傾き（傾斜）がイラストで表現されます。

■距離/方位/傾斜(3D)の学習度

距離・方位（左右方向の回転）・傾斜に関して、どの程度学習結果が蓄積されたかが表示されます。バーが右端に達すると、学習の度合いが最高なことを表します。

接続状態を確認する

付属品や別売品との接続状態が確認できます。

1 **田**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **AV・本体設定**にタッチします



3 **システム情報**にタッチします



4 **接続状態**にタッチします



付属品や別売品との接続状態が表示されます。

■GPSアンテナ

GPSアンテナの接続状態が表示されます。正しく接続されているときは「OK」、接続されていない場合は「未接続」と表示されます。その右側に表示されているアンテナのイラストはGPSアンテナの受信状態を確認できます。電波の受信しやすい見晴らしの良い場所で2本以上バーが表示されていれば良好です。

■測位状態

測位状態(3次元測位、2次元測位、未測位)と、測位に使われている衛星数(橙色)、受信中の衛星数(黄色)が表示されます。3つ以上の衛星の電波を受信すると現在地の測位が可能になります。

→P310の「ナビゲーションのしくみ」

■取付位置

ナビゲーション本体の設置状態が表示されます。正しく設置されているときは「OK」、設置状態に問題があるときは、「振動許容範囲外」または「取付角度許容範囲外」と表示されます。取付位置の情報を取得できない場合は「測定不可」と表示されます。

■車速パルス

現在本機が認識している車速パルスの数が表示されます。停車中の場合は「0」、車速パルスが受信できない場合は「測定不可」と表示されます。車を走行させると、速度に応じて“ピッ”という発音音がして、数字とともにバー表示が変化します。

■イルミネーション

イルミ電源の状態が表示されます。車のライトが点灯しているときは「ON」、消灯しているときは「OFF」と表示されます。

■バック信号

バック信号入力の接続状態が表示されます。シフトレバーを「R」(リバース)の位置にすると「HIGH」と「LOW」の表示が入れ替わります。ブレーキペダルを踏んだままシフトレバーを操作し、正しく表示されることを確認してください。この接続は、車の前進/後退を判断するためのものです。

■パーキングブレーキ

パーキングブレーキの状態が表示されます。パーキングブレーキがかかっているときは「ON」、解除されているときは「OFF」と表示されます。

■ETC/ETC2.0ユニット

ETCユニット(別売)またはETC2.0ユニット(別売)の接続状態が表示されます。必ずセットアップしてから確認してください。正しく接続されているときは「OK」、接続されていない場合は「未接続」、エラーが発生したときは、エラー番号が表示されます。

■車載器管理番号

車載器管理番号(ETC/ETC2.0共通)が表示されます。

■カード有効期限

挿入されているETCカードの有効期限が表示されます。

■ドライブレコーダー

ドライブレコーダーの接続状態が表示されます。正しく接続されていれば「OK」、接続されていない場合は「未接続」と表示されます。ただし、ドライブレコーダーを一度も接続していない状態では、項目自体が表示されません。

SDカードの空き容量を確認する

本機に挿入されているSDカードの空き容量を確認できます。

1 **■**ボタンを押し、HOME画面を表示します

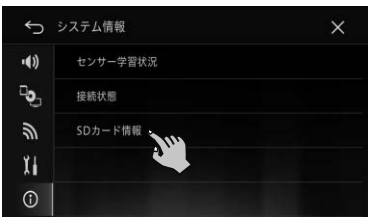
2 **AV・本体設定**にタッチします



3 **①**→**システム情報**にタッチします



4 **SDカード情報**にタッチします



空き容量が表示されます。

バージョン情報を確認する

地図やソフトウェアのバージョン情報を確認できません。

1 **■**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **AV・本体設定**にタッチします



3 **①**→**バージョン情報**にタッチします



バージョン情報が表示されます。

オーディオ

オーディオ基本操作 175

- AV ソースを切り換える 175
- AV ソース画面から
本機の設定を行う 175
- AV ソース画面から
イコライザー設定を行う 176
- 映像画面に時計を表示する... 176
- AV ソースを OFF にする... 176
- AV ソース切り換えリスト
の並び順を変更する 176
- ワイドモードを切り換える... 177
- 本機で再生可能なメディア
とファイルの種類 179

ラジオを聴く 180

- ラジオを受信する 180
- プリセットの種類を
切り換える 180
- 放送局を自動で登録する 181
- 放送局を手動で登録する 181

交通情報を聴く 182

- 交通情報を受信する 182

テレビを見る 183

- テレビを見る 183
- プリセットの種類を
切り換える 184
- 放送局を自動で登録する
(チャンネルスキャン) 184
- 放送局を手動で登録する 185
- チャンネルを切り換える 186
- 番組表を利用する 186
- 番組内容を表示する 188
- 番組情報を取得する 188
- データ放送画面の
操作のしかた 189
- データ放送を見る 190
- 字幕を切り換える 190
- 音声を切り換える 191
- 映像を切り換える 191
- 音声多重を切り換える 192
- バンドを切り換える 192
- バージョン情報を表示する... 193
- サービスリストを表示する... 193
- サービスを切り換える 194
- TV の機能を設定する 194

音楽 CD や ROM-Audio (WMA/MP3/AAC ファイル) を聴く 197

- 音楽 CD や ROM-Audio
(WMA/MP3/AAC
ファイル) を再生する... 197
- 再生している楽曲の情報を
切り換える 197

- トラックを切り換える 198
- フォルダーを切り換える 198
- リストから曲を選んで
再生する 198
- 再生経過時間を指定して
再生する 199
- リピート再生する 199
- ランダム再生する 200
- 再生を一時停止する 200

音楽 CD を録音する (MSV/SD) 201

- 録音に関するご注意 201
- 録音できないものについて... 201
- CD 録音の制限 201
- CD から録音するには 202
- 録音を中止する 203
- タイトル表示 203
- MSV/SD の録音設定をする... 203

映像ディスク (DVD/DVD- VR/ROM-Video) を見る 205

- 再生する 205
 - リストからタイトルを
選んで再生する 206
 - 再生経過時間を指定して
再生する 207
 - リピート再生する 207
 - ディスクメニューをダイレ
クトタッチで操作する 208
 - ディスクメニューをディス
クメニュー操作キーで
操作する 208
 - コマ送り / スロー再生する... 209
 - 早戻し / 早送りする 210
 - 再生を一時停止する 210
 - ダイレクトタッチ画面を
表示して操作する 210
 - 再生を停止する 211
 - 字幕言語を切り換える 211
 - 字幕表示を切り換える 211
 - 音声言語を切り換える 212
 - 指定位置まで戻って再生する... 212
 - アングルを切り換える 212
 - 音声出力を切り換える 213
 - 見たい場面を指定して
再生する 214
 - ブックマークを登録する 214
 - 映像ディスクの初期設定を
行う 215
 - 言語コード表 218
- ## SD/USB を使う 219
- 各種ファイルを再生する 219

- 再生モードを切り換える 220
- 音楽ファイル进行操作する 220
- 映像ファイル进行操作する 223
- 画像ファイル进行操作する 225

録音情報の編集・消去... 228

- 録音情報の編集をする 228

タイトル情報の取得 233

- タイトル情報 233
- タイトル情報を取得する 233

iPod を使う 235

- 対応 iPod 一覧表 235
- 音楽を再生する 236
- 曲を切り換える 236
- 聴きたい曲を探す 236
- 再生経過時間を指定して
再生する 237
- リピート再生する 237
- シャッフル再生する 238
- 再生を一時停止する 238
- オーディオブックの
再生速度を変更する 239

Bluetooth® Audio を 使う 240

- Bluetooth Audio 機器の
登録 240
- Bluetooth Audio を
再生する 241
- トラックを切り換える 241
- 聴きたい曲を探す 241
- リピート再生する 242
- ランダム再生する 243
- 再生を一時停止する 243

HDMI 機器を使う < NSZP-X68D > ... 244

- 映像を再生する 244

オーディオ設定 245

- 設定内容の詳細 246

オーディオ基本操作

AVソース切り換えなどの基本操作について説明します。

メモ

ドライブレコーダーについては(➡P282の「ドライブレコーダー」)をご覧ください。

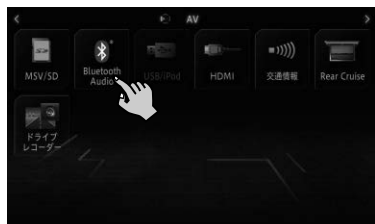
AVソースを切り換える

CD、MSV/SD、DVDなどの音源や映像(以降、AVソース)を切り換えます。

■ AVメニューから切り換える

- 1 **AV**ボタンを押し、AVメニューを表示します

- 2 お好みのAVソースにタッチします



■ AVソース画面から切り換える

- 1 **AV**ボタンを押し、AVソース画面を表示します

- 2 **FM**にタッチします



- 3 お好みのAVソースにタッチします

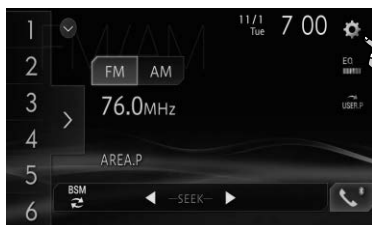


メモ

TV以外のAVソースを視聴中に緊急警報放送を受信すると、AVソースをTVに切り換えるかどうかを確認するメッセージが表示されます。緊急警報放送を視聴する場合は**はい**にタッチしてください。

AVソース画面から本機の設定を行う

- 1 **設定**アイコンにタッチします

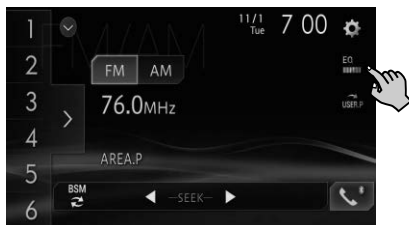


AV・本体設定画面が表示されます。

➡P34の「AV・本体設定」

AVソース画面から イコライザー設定を行う

- 1 **EQ** にタッチします



イコライザー設定画面が表示されます。

映像画面に時計を表示する

映像系AVソース表示中の画面上に、時計を表示する・しないを設定します。
工場出荷時は「ON」です。

- 1 **田** ボタンを押し、HOME画面を表示します

- 2 **AV・本体設定** にタッチします



- 3 **映像画面時計表示設定** にタッチします



タッチするたびにON/OFFが切り換わります。

AVソースをOFFにする

- 1 **田** ボタンを押し、HOME画面を表示します

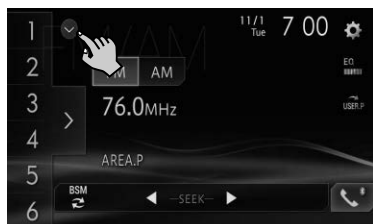
- 2 **AV OFF** にタッチします



AVソース切り換えリストの 並び順を変更する

- 1 **AV** ボタンを押し、AVソース画面を表示します

- 2 **▽** にタッチします



- 3 **≡** にタッチします



- 4 変更したいAVソースにタッチして、変更したい位置までドラッグします



- 5 設定アイコンにタッチします

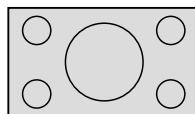


ワイドモードを切り換える

映像の再生サイズを次のように変更できます。

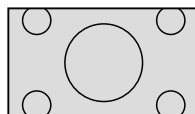
Full (フル)

再生する映像を画面いっぱいに表示します。



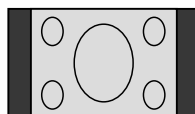
Zoom (ズーム)

再生する映像の上下を切り取ったあとに、画面いっぱいに表示します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上に重なって表示されるものに適しています。



Normal (ノーマル)

再生する映像を4:3で表示します。



Trimming (トリミング)

画像の縦幅または横幅どちらか短い方に合わせて縦横比率を維持したまま画面いっぱいまで拡大します。



工場出荷時の設定は以下のとおりです。

- TV、DVD-ビデオ、DVD-VR、ROM-Video、SDカード/USBメモリー（映像）、HDMI（NSZP-X68D）

「Full」

- SDカード/USBメモリー（画像）

「Normal」

メモ

- DVD-VRを再生するときにZoomを選ぶと、画質が粗くなります。
- 「Trimming (トリミング)」はSDカード/USBメモリーの画像を表示しているときのみ選択できます。

1 **AV** ボタンを押し、AVメニューを表示します

2 お好みのAVソースにタッチします



3 画面にタッチします

TVの場合

4 **メニュー** にタッチします



5 **次ページ** にタッチします



6 **ワイドモード** にタッチします



7 お好みの表示方法にタッチします



DVDビデオ、DVD-VR、ROM-Video、MSV/SD、HDMIの場合

4 **Full** にタッチします



5 お好みの表示方法にタッチします



本機で再生可能なメディアとファイルの種類

本機で再生可能なメディアとファイル形式の組み合わせには制限があります。

(➡P321の「再生できるファイルとメディアの種類」)をご覧ください、対応の可否をご確認のうえ、ご利用ください。

なお、ファイル形式や拡張子に対応可の場合でも、ファイルの作成方法などによっては再生できない場合もあります。

ラジオを聴く

ラジオを受信する

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 FM/AMにタッチします



3 FMまたはAMにタッチします



4 >にタッチします



5 受信したい周波数や放送局にタッチします



プリセットの種類を切り換える

プリセットは2種類から選択できます。

- ユーザープリセット
ユーザーが登録した放送局
- エリアプリセット
自車位置付近の放送局

メモ

- エリアプリセットでは、放送局の周波数が変更されると、次の状況が発生することがあります。
 - － 放送局が受信できない
 - － 受信した放送局と表示された放送局名が異なる
- エリアプリセットに設定しておく、自車周辺の放送局がリスト表示され、簡単に放送局を選択できます。

1 田またはAREA.Pにタッチします



タッチするたびに、ユーザープリセットとエリアプリセットが切り換わります。

放送局を自動で登録する

受信状態の良い放送局をユーザープリセットに自動的に登録できます。

1 BSMに2秒以上タッチします



自動登録が完了すると、ユーザープリセットに放送局が登録されます。

中止にタッチすると、自動登録が中止します。

メモ

- 受信状態の良い放送局が登録可能数より少ない場合は、以前に登録した放送局が残る場合があります。
- エリアプリセットの選択時も、BSMにタッチすると自動的にユーザープリセットに切り換わります。

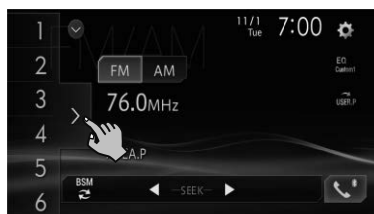
放送局を手動で登録する

ユーザープリセットは、FMとAMそれぞれ各6局まで、手動で登録できます。

1 ▶にタッチします

エリアプリセットの場合は、ユーザープリセットに切り換えてください。

→P180の「プリセットの種類を切り換える」



2 ◀または▶にタッチして、登録したい周波数を選びます



3 登録したいプリセット番号に2秒以上タッチします



現在受信中の周波数が、選んだプリセット番号に登録されます。

メモ

◀または▶に長くタッチして指を離すと、自動で受信できる放送局を探します。また、タッチし続けると、周波数を連続で送ります。

交通情報を聴く

幹線道路などで放送されている交通情報を受信できます。

交通情報を受信する

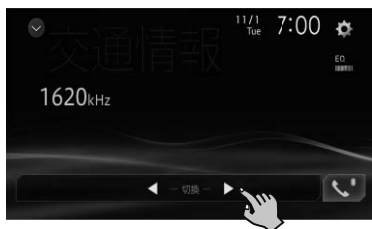


1 交通情報にタッチします

交通情報画面が表示され、前回と同じ周波数の交通情報を受信します。



2 ◀または▶にタッチして、周波数を切り換えます



受信周波数が切り換わります。

テレビを見る

△注意

走行中は、安全のため映像は表示されません。停車中の場合のみ、モニターで映像を視聴できます。

メモ

ユーザープリセットモードではじめてテレビをご覧になる場合は、チャンネルスキャンの実行が必要です。また、以下の場合も、チャンネルスキャン操作が必要です。

- 視聴者設定のクリア後
→P196の「視聴者設定クリア」
- 別のエリアへの移動後

テレビを見る

1 **■**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **TV**にタッチします



メモ

テレビの音量は、他のAVソースより低いいため、他のAVソースからテレビに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いを調整できます。

→P249の「ソースレベルアジャスター」

■アイコン一覧

放送内容により、次のアイコンが表示されます。

	2カ国語放送
	ワンセグから通常放送へ切り換え可能

	データ連動放送
	マルチビュー放送
	HDTV (ハイビジョン放送)
	SDTV (標準画質放送)
	ワンセグ (1セグメント放送)
	ステレオ放送/サラウンド放送
	マルチ編成
	音声情報 (複数の音声がある場合は、右側に現在選択している音声の情報が表示されます。)
	字幕情報 (字幕がある場合は右側に現在選択している字幕の情報が表示されます。)
	映像情報 (複数の映像がある場合は、右側に現在選択している映像の情報が表示されます。)
	アンテナの受信感度
	プリセット情報 (ユーザープリセットの場合は、現在選択しているプリセットの番号が表示されます。)

プリセットの種類を切り換える

プリセットは2種類から選択できます。

- **ユーザープリセット**
ユーザーが登録した放送局
- **エリアプリセット**
自車位置付近の放送局

メモ

- エリアプリセットでは、放送局の周波数が変更されると、以下の状況が発生することがあります。
 - 放送局の受信ができない
 - 受信した放送局と表示された放送局名が異なる
- エリアプリセットに設定しておく、自車周辺の放送局がリスト表示され、簡単に放送局を選択できます。また、「地域設定」をオートにしていると、自車位置情報を元に自動でエリアリストの放送局を更新します。

1 画面にタッチします

2 メニューにタッチします



3 プリセット切換にタッチします



タッチするたびに、ユーザープリセットとエリアプリセットが切り換わります。

メモ

TV1⇔TV2にタッチすると、バンドを切り換えることができます。

放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)

バンドごとに受信状態の良い放送局をユーザープリセットとサービスリストに自動的に登録できます。バンドの切り換えかたは(⇒P192の「バンドを切り換える」)をご覧ください。

1 画面にタッチします

2 メニューにタッチします



3 スキャンに2秒以上タッチします



スキャンを開始します。

中止にタッチすると、スキャンを中止します。自動登録が完了すると、ユーザープリセットとサービスリストに放送局が登録されます。

メモ

エリアプリセットのときにスキャンを開始すると、自動的にユーザープリセットに切り換わります。

放送局を手動で登録する

2つのバンド(TV1/TV2)それぞれに、ユーザープリセットを手動で12局ずつ登録できます。バンドの切り換え方法は(⇒P192の「バンドを切り換える」)をご覧ください。

1 画面にタッチします

2 メニューにタッチします



3 プリセット切換にタッチして、ユーザープリセットにします



4 ◀CHまたは▶CHにタッチして、登録したいサービスを選びます



5 登録したいプリセット番号に2秒以上タッチします



現在受信中のサービスが、選んだプリセット番号に登録されます。

メモ

- ◀◀▶▶ボタンを長く押すか、◀CHまたは▶CH▶▶に長くタッチして指を離すと、自動で受信できる放送局を探します(SEEK)。受信できる放送局が見つかり次第止まります。
- 上書き登録が可能です。登録した内容を消去する場合は、視聴者設定クリアを行ってください。

⇒P196の「視聴者設定クリア」

チャンネルを切り換える

■プリセットしたチャンネルを切り換える

ユーザープリセットやエリアプリセットに登録したチャンネルを切り換えます。

1 ◀▶ ボタンを押します

押すたびにチャンネルが切り換わります。

メモ

- 登録していないプリセット番号には切り換わりません。
- 画面にタッチしてリスト項目から希望のチャンネルにタッチしても、チャンネルを切り換えられません。

■3桁チャンネルを切り換える

1 画面にタッチします

2 メニューにタッチします



3 ◀CHまたはCH▶にタッチして3桁チャンネルを切り換えます。



番組表を利用する

本機が取得したチャンネルの、当日から最長1週間先までの電子番組表 (EPG) を利用できます。

メモ

番組情報取得を行っていない場合は、現在受信中のチャンネル以外は空欄です。空欄部分にタッチするか、◀/▼/◀/▶で空欄部分を選んで**決定**にタッチすると、そのチャンネルの番組情報が取得され、番組表に表示されます。

1 画面にタッチします

2 番組表にタッチします



▼
番組表が表示されます。



▲/▼

放送日時を切り換えます。

◀/▶

チャンネルを切り換えます。

前日/翌日

放送日を切り換えます。

🔍

番組をジャンルで検索します。

切換

表示チャンネル数を3段階で切り換えます。

終了

視聴画面に戻ります。

決定

選んだ番組の番組内容を表示します。

メモ

気になる番組にタッチすると、番組内容を確認できます。放送中の番組を選んだ場合、その番組に切り換わります。

■番組をジャンルで検索する

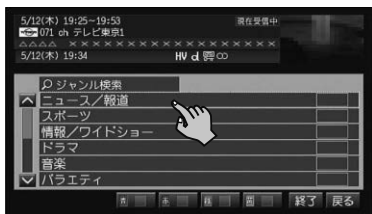
メモ

検索結果は最大で30番組です。また、検索対象は24時間以内に始まる番組です。

1 検索にタッチします



2 検索したいジャンルにタッチします



3 検索された番組にタッチします



放送中の番組を選んだ場合、その番組に切り換わります。これから放送予定の番組を選んだ場合は、その番組の情報が表示されます。終了にタッチすると、視聴画面に戻ります。

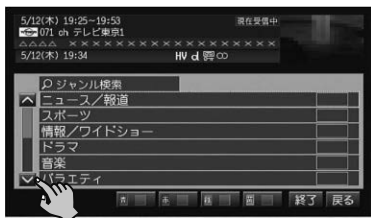
■好みのジャンルを見つけやすくする

好みのジャンルに色を設定して、番組表を見やすくできます。

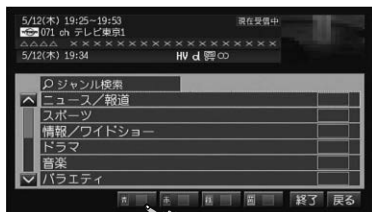
1 検索にタッチします



2 色を設定したいジャンルをタッチします



3 設定したい色(青/赤/緑/黄)にタッチします



タッチした色のチェックボックスにチェックがつきます。再度タッチすると、チェックが消え、色の設定が解除されます。
終了にタッチすると、視聴画面に戻ります。

番組内容を表示する

視聴中の番組の番組内容を表示します。

1 画面にタッチします

2 **番組内容**にタッチします



番組内容が表示されます。
番組内容画面で**戻る**または**終了**にタッチすると、放送画面(視聴画面)に戻ります。

番組情報を取得する

番組情報を取得して、番組表や番組内容を最新の状態にします。

1 画面にタッチします

2 **メニュー**にタッチします



3 **次ページ**にタッチします



4 **番組情報取得**にタッチします



番組情報取得を開始します。
中止にタッチすると、取得を中止します。

データ放送画面の操作のしかた

データ放送画面では、パネルタッチキーを表示して操作します。

■パネルタッチキーの操作

パネルタッチキーには、操作パネルタッチキーと数字パネルタッチキーがあります。

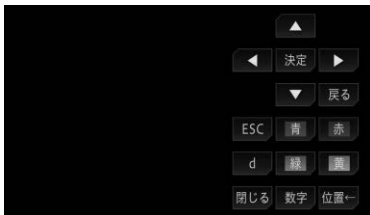
1 画面にタッチします

2 操作にタッチします



パネルタッチキーが表示されます。

操作パネルタッチキー



▲ / ▼ / ◀ / ▶

カーソルを操作します。

決定

項目を決定します。

戻る

一つ前の画面に戻ります。

ESC

設定取消や実行中止に使います。

d

データ放送画面と通常放送画面を切り換えます。

青/赤/緑/黄

それぞれの色ボタンとして働きます。

数字

数字パネルタッチキーに切り換えます。

位置← / 位置→

パネルタッチキーの表示位置を変更します。

閉じる

視聴画面に戻ります。

数字パネルタッチキー



数字キー (1 ~ 10/0、11/*、12/#)

数字を入力します。数字入力画面以外では、ユーザープリセットに登録してある番組の選局ができません。長くタッチすると、視聴中の番組をユーザープリセットに登録できます。

決定

項目を決定します。

操作

操作パネルタッチキーに切り換えます。

位置← / 位置→

パネルタッチキーの表示位置を変更します。

閉じる

視聴画面に戻ります。

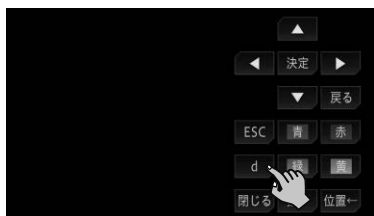
データ放送を見る

視聴中の番組にデータ放送がある場合は、データ放送に切り換えられます。

1 画面にタッチします



3 dにタッチします



データ放送の画面に切り換わります。
データ放送画面では、画面の項目に直接タッチして操作できません。パネルタッチキーで項目を選んで操作します。
データ放送画面から、通常の放送画面に戻るには、画面にタッチしてから**d**にタッチします。

メモ

地域を対象としたサービス(設定した地域の天気予報や選挙速報など)は、「郵便番号設定」で設定した地域の情報を受信できます。

➔P194の「TVの機能を設定する」

字幕を切り換える

番組に字幕がある場合は、字幕言語と表示のON/OFFを切り換えられます。

1 画面にタッチします



3 字幕切換にタッチします



タッチするたびに、次のように切り換わります。
字幕1→字幕2→字幕OFF→字幕1に戻る

メモ

切り換わる内容や順序は、受信中の放送によって異なります。

音声を切り換える

番組に複数の音声言語がある場合は、音声を切り換えられます。

1 画面にタッチします

2 メニューにタッチします



3 音声切換にタッチします



タッチするたびに、音声1と音声2が切り換わります。

メモ

切り換わる内容や順序は、受信中の放送によって異なります。

映像を切り換える

マルチビューなど、複数の映像がある番組の場合は、映像を切り換えられます。

1 画面にタッチします

2 メニューにタッチします



3 次ページにタッチします



4 映像切換にタッチします



タッチするたびに、映像1と映像2が切り換わります。

メモ

切り換わる内容や順序は、受信中の放送によって異なります。

音声多重を切り換える

音声多重放送の受信時には、主音声と副音声を切り換えられます。

1 画面にタッチします

2 メニューにタッチします



3 次ページにタッチします



4 音声多重にタッチします



タッチするたびに、次のように切り換わります。

- **MAIN**
主音声(日本語)
- **SUB**
副音声(外国語)
- **MAIN+SUB**
主音声・副音声(日本語・外国語)

バンドを切り換える

本機には2つのバンド(TV1/TV2)があり、バンドごとにプリセットメモリー(P01～P12)を使い分けられます。

1 画面にタッチします

2 メニューにタッチします



3 TV1⇄TV2にタッチします



タッチするたびに、TV1とTV2が切り換わります。

メモ

普段はTV1を使用し、旅行先ではTV2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

バージョン情報を表示する

本機のソフトウェアのバージョンなどの情報を表示します。

1 画面にタッチします

2 メニューにタッチします



3 次ページにタッチします



4 バージョン情報にタッチします



バージョン情報が表示されます。

サービスリストを表示する

現在受信中のサービスをリストで表示します。

メモ

チャンネルスキャンしていない場合、サービスは表示されません。

1 画面にタッチします

2 メニューにタッチします



3 次ページにタッチします



4 サービスリストにタッチします



5 表示したいリスト項目にタッチします



またはXにタッチすると、放送画面(視聴画面)に戻ります。

サービスを切り換える

現在受信中のチャンネルで複数のサービスやワンセグが提供されている場合には、サービスを切り換えられます。

1 画面にタッチします

2 メニューにタッチします



3 サービス切換にタッチします



TVの機能を設定する

地上デジタルテレビ放送の受信および表示を設定します。

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

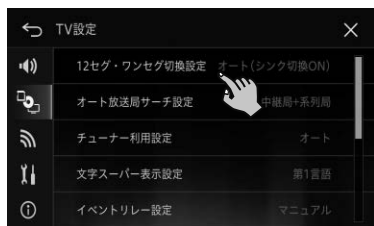
2 AV・本体設定にタッチします



3 TV設定にタッチします



4 設定する項目にタッチします



■設定内容の詳細

*は工場出荷時の設定です。

12セグ・ワンセグ切換設定

視聴中の番組の受信レベルが低くなった場合に、通常の放送（12セグ）とワンセグを自動的に切り換えるか手動で切り換えるかを設定します。「切換設定」で「オート」を選択したときは、映像と音声のズレ補正をしないを設定します。

「 切換設定 」	オート*	受信状況に応じて、通常の放送とワンセグを自動で切り換えます。
	マニュアル	通常の放送とワンセグを手動で切り換えます。
「 シンク切換 」	ON*	映像と音声のズレ補正をONにします。
	OFF	映像と音声のズレ補正をOFFにします。

オート放送局サーチ設定

受信状態が悪くなったとき、他の受信状態の良い中継局または系列局を自動で探すかを設定します。

中継局+系列局*	自動で中継局・系列局を探します。
中継局	自動で中継局を探します。
OFF	中継局、系列局は探しません。

チューナー利用設定

視聴中に中継局サーチ/番組情報取得をする・しないを設定します。

オート*	必要に応じて2チューナーで放送を受信し、残りのチューナーで、受信感度の良い中継局へのサーチや、番組表取得を行います。
全チューナー固定	常に全チューナーで放送を受信します。

文字スーパー表示設定

文字スーパーの言語や表示を設定します。

第1言語*	第1言語で表示します。
第2言語	第2言語で表示します。
非表示	文字スーパーを表示しません。

イベントリレー設定

視聴中の番組が別のチャンネルで延長放送されるときに、自動でチャンネルを切り換えるか、手動で切り換えるかを設定します。

オート	自動でチャンネルを切り換えます。
マニュアル*	手動でチャンネルを切り換えます。

地域設定

本機をお使いの地域を設定します。設定した内容は、エリアプリセットで使用され、TV1、TV2でそれぞれ保存されます。

オート* 自転車位置情報をもとに自動的に設定されます。

マニュアル 手動で地域を設定します。

郵便番号設定

本機をお使いの地域を設定します。設定した内容は、データ放送の地域を対象にしたサービスで使用され、TV1、TV2でそれぞれ保存されます。

オート* 自転車位置情報をもとに自動的に設定されます。

マニュアル 手動で使用する地域を郵便番号で入力します。

番組表表示設定

表示する番組表を、主要サービスのメインチャンネルにするか全チャンネルにするかを設定します。

メインチャンネル* メインチャンネルの番組表を表示します。

全チャンネル 全チャンネルの番組表を表示します。

視聴者設定クリア



廃棄や譲渡などで本機を手放すときに、本機に記録済みの視聴者設定を消去できます。

メモ

チャンネルおよび番組表、TV設定が消去されます。

音楽CDやROM-Audio (WMA/MP3/AACファイル)を聴く

メモ

- ROM-Audioで再生できるフォルダー、ファイルの合計は以下のとおりです。
 - － CD-R: 最大フォルダー数 700、最大ファイル数 999
 - － DVD-R: 最大フォルダー数 999、最大ファイル数 3 500
- やは、各機能を使用できるメディアを示しています。

音楽CDやROM-Audio (WMA/MP3/AACファイル)を再生する



音楽CDの画面を例に説明します。

1  ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **Disc** にタッチします



ディスク挿入時は、自動的に再生を開始します。

メモ

- ディスクの判別をするため、再生までに時間がかかります。
- SDカードスロットにSDカードが挿入されている場合、録音していない音楽CDを挿入すると、自動的にMSV/SDに録音を開始します。

➔P203の「オート録音モードを設定する」

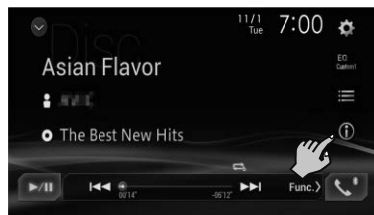
再生している楽曲の情報を切り換える



再生している曲の楽曲情報を、2種類の表示に切り換えることができます。

- トラックタイトル、アーティスト、アルバムタイトル**
- ファイル名、フォルダー名**

1  にタッチします



タッチするたびに、楽曲情報の表示を切り換えることができます。

メモ

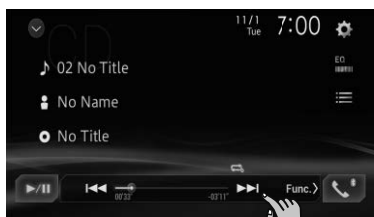
フォルダー名は、再生しているファイルが保存されているフォルダーの名前が表示されます。

トラックを切り換える



音楽CDの画面を例に説明します。

1 ◀◀または▶▶にタッチします



トラックが切り換わります。
◀◀または▶▶ボタンを押しても、トラックを切り換えられます。

フォルダーを切り換える



1 Func.>にタッチします



2 ◻または◻にタッチします



フォルダーが切り換わります。

リストから曲を選んで再生する



リストを表示して、聴きたい曲を直接選んで再生できます。

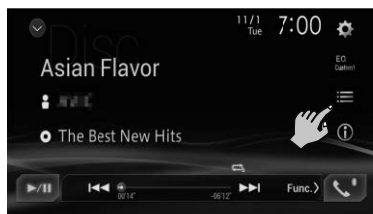
ROM-Audioの画面を例に説明します。

メモ

音楽CDの録音中は本操作ができません。録音を中止してから操作してください。

➔P203の「録音を中止する」

1 ◻にタッチします



2 聴きたい曲(トラック)にタッチします



フォルダー選択などで階層を下げた場合は、◀にタッチして階層を戻せます。✕にタッチすると、再生画面に戻ります。

再生経過時間を指定して再生する

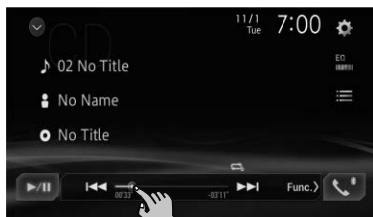


操作画面に表示されるタイムバー（0秒～9999分59秒）から、位置（時間）を指定して再生できます。音楽CDの画面を例に説明します。

メモ

- 音楽CDの場合、ディスクによっては、タイムバーに表示される最大時間と、実際に再生できる最大時間との間に、誤差が生じるときがあります。
- 音楽CDの録音中は本操作ができません。録音を中止してから操作してください。
→P203の「録音を中止する」
- タイムバーが表示されていないときは、**Time** にタッチしてください。

- 1 タイムバーのカーソルにタッチしたまま、再生したい時間までスライドします



カーソルから指を離れた位置（時間）から再生されます。

リピート再生する



指定した範囲を繰り返して再生できます。音楽CDの画面を例に説明します。

リピート再生の範囲は、以下から選択できます。

音楽CD

- **(ディスクリピート)**
再生中のディスクをリピートします。
- **(トラックリピート)**
再生中のトラック（曲）をリピートします。

ROM-Audio

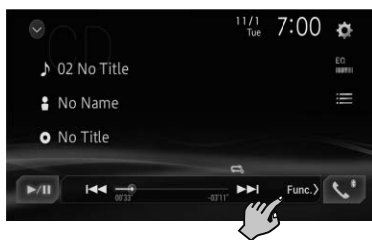
- **(ディスク/オールリピート)**
再生中のディスクをリピートします。
- **(ファイルリピート)**
再生中のファイルをリピートします。
- **(フォルダーリピート)**
再生中のフォルダーをリピートします。

メモ

音楽CDの録音中は本操作ができません。録音を中止してから操作してください。

→P203の「録音を中止する」

- 1 **Func.>** にタッチします



2  /  にタッチします

タッチするたびに、リピートの範囲が切り換わります。

メモ

リピート再生中にリピートの範囲を超える操作（トラックリピート中の選曲操作など）を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。

ランダム再生する



選んだリピート再生の範囲内で、再生する曲をランダムに選び続けます。

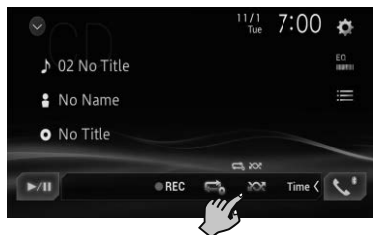
音楽CDの画面を例に説明します。




メモ

音楽CDの録音中は本操作ができません。録音を中止してから操作してください。

➔P203の「録音を中止する」

1 [Func.] にタッチします

2  /  にタッチします

タッチするたびに、 (ON) /  (OFF) が切り換わります。ONのときは が明るく表示され、OFFのときは暗く表示されます。

メモ

- リピートの範囲がトラックリピートのときは、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はディスクリピート（音楽CDの場合）およびフォルダーリピート（ROM-Audioの場合）に自動的に切り換わります。
- ランダム再生中にその他の再生操作（リピート再生など）を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

再生を一時停止する

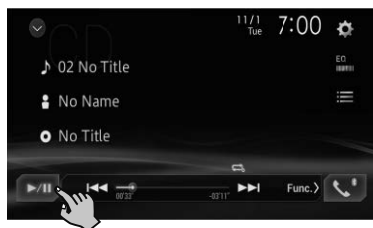


音楽CDの画面を例に説明します。

メモ

音楽CDの録音中は本操作ができません。録音を中止してから操作してください。

➔P203の「録音を中止する」

1  にタッチします

一時停止します。一時停止中にタッチすると、再生を再開します。

音楽CDを録音する(MSV/SD)

本機は、挿入した音楽CDを自動的にSDカードへ録音することができます。また、本機にはGracenote音楽認識サービス(以降Gracenoteデータベース)の楽曲情報が収録されています。録音した楽曲データの情報がGracenoteデータベースと一致する場合は、曲名やアーティスト名を画面上に表示できます。

メモ

- CDからの録音音質は、「標準」と「高音質」を選択できます。工場出荷時は「標準」に設定されています。設定の変更は録音前に行ってください。
→ P204の「録音音質を設定する」
- 録音可能な曲数は次のとおりです。(同梱の8 GB SDカード利用時、1曲4分の場合)
 - － 標準音質：約1 000曲
 - － 高音質：約800曲
- 録音中にエラーが発生すると、録音や再生を先頭から再開することがあります。

録音に関するご注意

録音する前にお読みください。

注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に録音操作の確認や録音後に録音内容の確認を行ってください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむ他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

メモ

高効率の圧縮方式を採用しているため、録音音質を標準に設定していると、音源により原音と異なって聞こえる場合があります。またノイズが発生することもあります。

録音できないものについて

下記の場合は録音できません。

- CD以外のAVソース(ラジオやDVDなど)
- WMA/MP3/AACなどの楽曲データを記録した媒体(CD-Rなど)
- 標準的なCD(44.1 kHz、16ビットステレオのPCMデジタル音声データ)以外のCD

CD録音の制限

- コピーコントロールCDの録音については保証していません。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。
- ライブCDなどの曲間が途切れないCDを録音した場合、本機での再生時には曲間で音が途切れます。
- 曲間が短い音楽CDを録音すると、曲の最初や最後に前後の曲の一部が録音される場合があります。

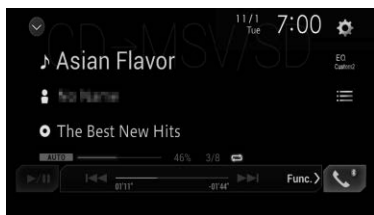
CDから録音するには

1 SDカードスロットへSDカードを挿入します



SDカードの入れかたについては、(➡P23の「SDカードの入れかた」)をご覧ください。

2 CDをディスク挿入口に差し込みます

- CDの入れかたについては、(➡P22の「ディスクの入れかた」)をご覧ください。
- 自動的にMSV/SDへの録音を開始します。



メモ

- MSV/SVに録音済みのCDの場合、録音は開始されません。
- 自動録音をするには、あらかじめオート録音モードを「ON」に設定してください。
➡P203の「オート録音モードを設定する」
- 録音中に、以下の操作はできません。
 - ー リスト画面での選曲
 - ー トラック切り換え
 - ー 早戻し/早送り
 - ー リPEAT再生の範囲変更
 - ー ランダム再生の変更
 - ー タイムバーの操作
 - ー 一時停止
 - ー  (メディア)の切り換え
- 録音中は、MSV/SDに録音した圧縮データを再生します。すべての曲の録音が終わると、再生している曲の次の曲から、CD再生に切り換わります。
- 録音中に、他のAVソースに切り換えても録音は続きます。
- 録音中は、ナビゲーション画面下部にアイコンが表示されます。
➡P43の「ステータスバーに表示される情報」
-  にタッチしてリスト画面を表示すると、録音の状況が確認できます。

録音を中止する

1 Func.>にタッチします



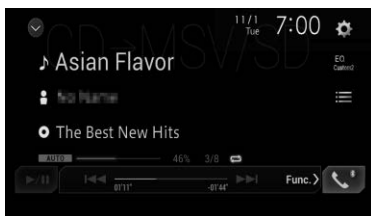
2 RECにタッチします



録音を再開する場合は、**REC**にタッチします。すべての曲の録音が完了するまで、選曲操作や特殊再生（ランダム再生など）、タイムバーサーチ再生、早戻し/早送りはできません。操作が必要な場合は、**REC**にタッチして録音を中止してください。

タイトル表示

本機は、Gracenote音楽認識サービスのタイトル情報（曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなど）をデータベースとして内蔵しています。挿入した音楽CDの情報が、データベースに登録済みの情報と合致すると、タイトル情報が表示されます。



メモ

- タイトル情報に複数の候補があった場合や、タイトル情報が収録されていなかった場合は、タイトル情報を取得し直すと、正しいタイトルを表示できます。
→P233の「タイトル情報の取得」
- タイトル情報は、そのディスクの曲が1曲以上MSV/SDに録音されていないと編集できません。
→P233の「タイトル情報の取得」

MSV/SDの録音設定をする

■オート録音モードを設定する

録音していないCDを再生すると、自動的にMSV/SDに録音を開始します。工場出荷時は「ON」です。

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3 MSV/SD・USB設定にタッチします



4 録音設定にタッチします



3 MSV/SD・USB設定にタッチします



5 オート録音モードにタッチします



タッチするたびにON/OFFが切り換わります。

4 録音設定にタッチします



メモ

OFFに設定した場合は、**REC**にタッチすると録音を開始できます。

録音音質を設定する

録音音質を「標準」または「高音質」に設定できます。「高音質」は「標準」に比べて高い音質で録音されますが、「標準」に比べて録音できる曲数は少なくなります。

工場出荷時は「標準」です。

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



5 CD録音音質設定にタッチします



タッチするたびに音質設定が切り換わります。

標準

標準音質で録音します。

高音質

高音質で録音します。

映像ディスク(DVD/DVD-VR/ROM-Video)を見る




△注意

走行中は、安全のため映像は表示されません。停車中の場合のみ、モニターで映像を視聴できます。

メモ

●ROM-Videoで再生できるフォルダー、ファイルの合計は以下のとおりです。

- － CD-R: 最大フォルダー数 700、最大ファイル数 999
- － DVD-R: 最大フォルダー数 700、最大ファイル数 3 500

●、、 は、各機能を使用できるメディアを示しています。

再生する



DVDの画面を例に説明します。

1 **HOME**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **Disc**にタッチします



ディスク挿入時は、自動的に再生を開始します。

メモ

●ディスクにより、ディスクメニューが表示されて自動的に再生が開始されない場合があります。その場合は、ディスクメニューを操作して再生してください。

→P208の「ディスクメニューをダイレクトタッチで操作する」

●映像ディスクの録音レベルは他のAVソースより低いため、他のAVソースから映像ディスクに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いを調整できます。

→P249の「ソースレベルアジャスター」

リストからタイトルを選んで再生する

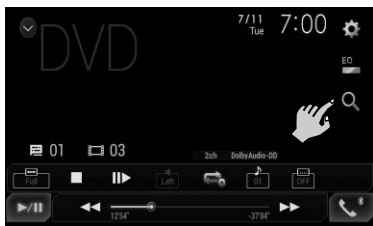


タイトルリストまたはプレイリストを表示して、見たいタイトルを直接選んで再生できます。

■DVD-VRの場合

1 画面にタッチします

2 検索にタッチします



3 TitleまたはPlaylistにタッチして、見たいタイトルにタッチします

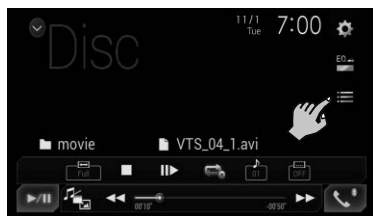


✕にタッチすると、再生画面に戻ります。

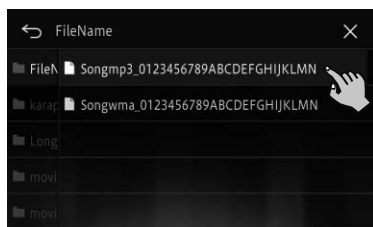
■ROM-Videoの場合

1 画面にタッチします

2 検索にタッチします



3 見たいファイルにタッチします



フォルダー選択などで階層を下げた場合は、←にタッチして階層を戻せます。✕にタッチすると、再生画面に戻ります。

再生経過時間を指定して再生する



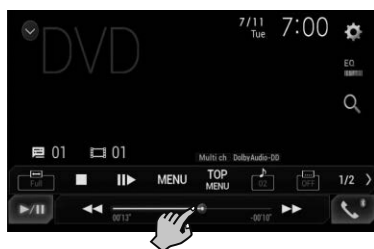
操作画面に表示されるタイムバー（0秒～9999分59秒）から、位置（時間）を指定して再生できます。DVDの画面を例に説明します。

メモ

DVDの場合、タイムバーが表示されていないときは、**2/2 <**にタッチしてください。

1 画面にタッチします

2 タイムバーのカーソルにタッチしたまま、再生したい時間までスライドします



カーソルから指を離れた位置（時間）から再生されます。

リピート再生する



指定した範囲を繰り返し再生できます。リピート再生の範囲は、以下から選択できます。

DVD/DVD-VR

- **ディスクリピート**
再生中のディスクをリピートします。
- **チャプターリピート**
再生中のチャプターをリピートします。
- **タイトルリピート**
再生中のタイトルをリピートします。

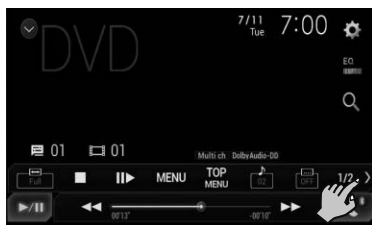
ROM-Video

- **ディスク/オールリピート**
再生中のディスクをリピートします。
- **ファイルリピート**
再生中のファイルをリピートします。
- **フォルダーリピート**
再生中のフォルダーをリピートします。

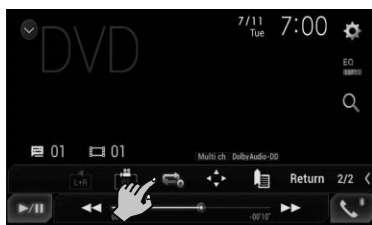
DVDの画面を例に説明します。

1 画面にタッチします

2 DVDの場合、**1/2 >**にタッチします



3 **ディスク/チャプター/タイトル**にタッチします



タッチするたびに、リピートの範囲が切り換わります。

メモ

- ディスクまたは再生位置により、ⓧ (禁止マーク) が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作 (チャプターリピート中のチャプターやファイルの切り換えなど) を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

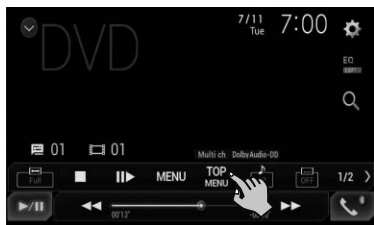
ディスクメニューをダイレクトタッチで操作する



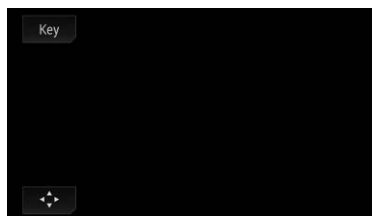
ディスクメニューは、ディスクにあらかじめ記録されているメニューのことで、表示されるメニューや操作方法は、ディスクによって異なります。本機は、表示されるディスクメニューに直接タッチして操作できます。

1 画面にタッチします

2 MENUまたはTOP MENUにタッチします



3 画面にタッチして操作します



Keyにタッチすると、操作メニュー画面を表示します。

ⓧにタッチして、ディスクメニュー操作キーでも操作できます。

➔P208の「ディスクメニューをディスクメニュー操作キーで操作する」

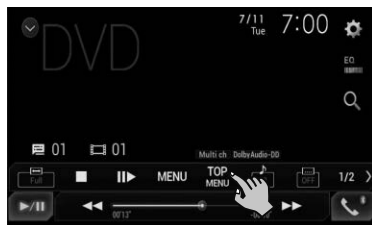
ディスクメニューをディスクメニュー操作キーで操作する



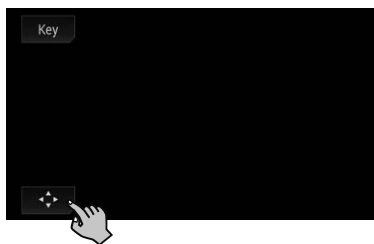
ディスクメニューの文字列が小さくて、ダイレクトタッチでは操作しにくいときや、文字列の一部がⓧに隠れてしまっている場合などは、ディスクメニュー操作キーを表示して操作できます。

1 画面にタッチします

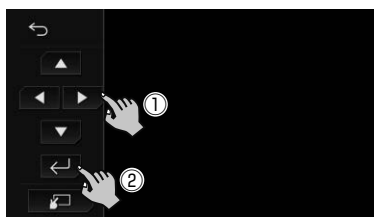
2 MENUまたはTOP MENUにタッチします





3 にタッチします



4 にタッチして項目を選び、 にタッチします



 にタッチすると、ダイレクトタッチ画面に戻ります。

 にタッチすると、ディスクメニュー操作キーが消えます。

コマ送り/スロー再生する




再生中の映像を1コマずつ止めながら再生したり、再生スピードを遅くして再生できます。

DVDの画面を例に説明します。


1 画面にタッチします

2 にタッチします




タッチするたびに、映像が1コマずつ進みます。 に長くタッチすると、送り方向にスロー再生されます。DVD/DVD-VRの場合、タッチするたびに、再生速度が次のように切り換わります。

1/16⇒1/8⇒1/4⇒1/2

 にタッチすると通常再生に戻ります。

メモ

- ディスクにより、コマ送り/スロー再生時に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のコマ送り再生はできません。
- ディスクや再生位置により、 (禁止マーク)が表示され、操作できない場合があります。

早戻し/早送りする



DVDの画面を例に説明します。

1 画面にタッチします

2 ◀◀または▶▶にタッチします



早戻し/早送りをします。

早戻し/早送りに◀◀または▶▶にタッチすると、早戻し/早送りの速度を切り換えます。

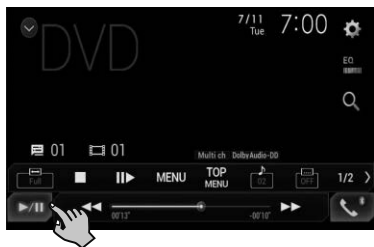
再生を一時停止する



DVDの画面を例に説明します。

1 画面にタッチします

2 ▶||にタッチします



一時停止します。一時停止中にタッチすると、再生を再開します。

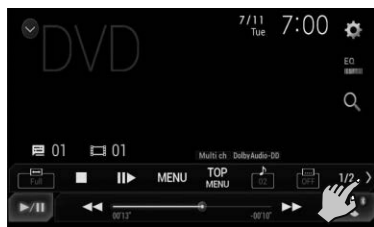
ダイレクトタッチ画面を表示して操作する



ダイレクトタッチ操作画面が収録されたディスクの場合、ダイレクトタッチ操作画面が表示されます。

1 画面にタッチします

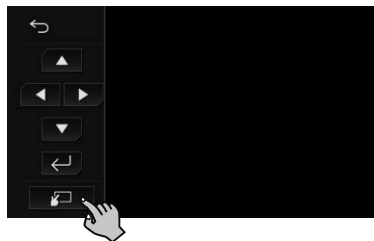
2 1/2 ▶にタッチします



3 ✦にタッチします



4 画面にタッチします



5 画面にタッチして操作します

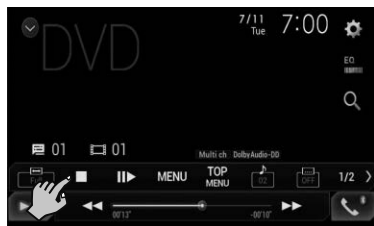
再生を停止する



DVDの画面を例に説明します。

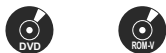
1 画面にタッチします

2 []にタッチします



再生を停止します。

字幕言語を切り換える



DVDの場合、字幕言語が複数収録されたディスクの場合、再生中に字幕言語を切り換えられます(マルチ字幕)。ROM-Videoの場合、ビデオコーデックがMPEG-4で字幕言語が収録されたファイルのときは、字幕を表示することができます。

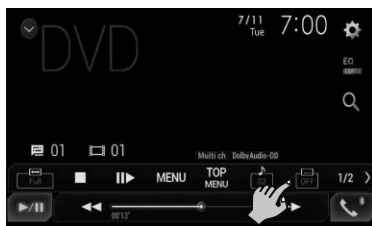
DVDの画面を例に説明します。

メモ

- DVDのパッケージに記載の[?]マークの数字が、字幕言語の収録数です。
- ディスクにより、収録されているディスクメニューでしか切り換えられない場合があります。

1 画面にタッチします

2 []にタッチします



タッチするたびに、字幕言語が切り換わります。

字幕表示を切り換える



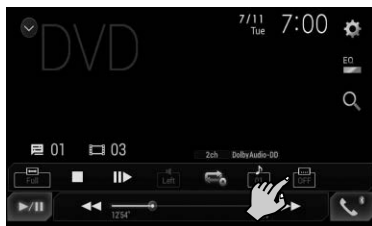
字幕言語が収録されたディスクの場合、字幕を表示することができます。

メモ

ディスクにより、収録されているディスクメニューでしか切り換えられない場合があります。

1 画面にタッチします

2 []にタッチします



タッチするたびに、ON/OFFが切り換わります。

音声言語を切り換える



以下の場合、再生中に音声言語を切り換えられます。

- ディスクに音声言語が複数収録されている※
 - ファイルのビデオコーデックがMPEG-4で、音声言語が複数収録されている
- ※DVDの場合、マルチ音声となります。

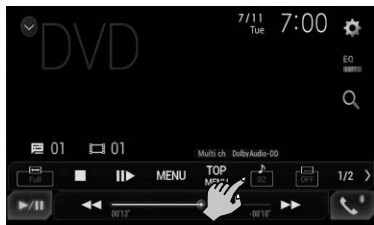
DVDの画面を例に説明します。

メモ

- DVDのパッケージに記載の②マークの数字が、音声言語の収録数です。
- ディスクにより、収録されているディスクメニューでしか切り換えられない場合があります。
- DVD/DVD-VRの場合、[Dolby Audio - DD] や [Multi ch] などの表示は、ディスクの音声収録方式を表しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

1 画面にタッチします

2 ②にタッチします



タッチするたびに、音声言語が切り換わります。

指定位置まで戻って再生する



ディスクにあらかじめ戻る位置が収録されている場合、その位置まで戻って再生できます。

1 画面にタッチします

2 1/2 >にタッチします



3 Returnにタッチします



ディスクに収録されている位置まで戻り、再生を始めます。

アングルを切り換える



複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されたディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り換えられます(マルチアングル)。

メモ

- パッケージに記載の Ⓜ マークの数字が、アングルの収録数です。
- アングル選択マークの表示/非表示は、初期設定メニューの「マルチアングル」で行います。
→P216の「マルチアングル」
- マルチアングルの収録場で操作します。マルチアングルの収録場を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます。

1 画面にタッチします

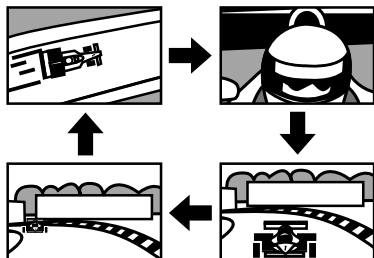
2 1/2 > にタッチします



3 Ⓜ にタッチします



タッチするたびに、アングルが切り換わります。



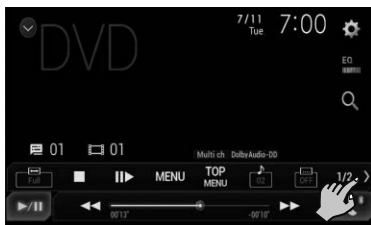
音声出力を切り換える



音声がりニアPCM（圧縮しない音声信号）のディスクの場合、収録された左右のチャンネルをどのようにスピーカーから出力するか選択できます。DVDの画面を例に説明します。

1 画面にタッチします

2 DVDの場合、1/2 > にタッチします



3 Ⓜ にタッチします



タッチするたびに、出力の設定が以下のように切り換わります。

- **L+R**
左右両方の音声を出力します。
- **Left**
左の音声を出力します。
- **Right**
右の音声を出力します。
- **Mix**
左右の音声をミックスして出力します。

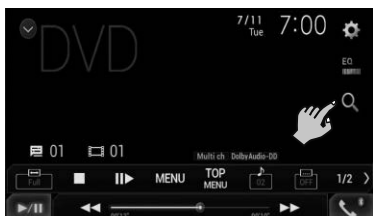
見たい場面を指定して再生する



見たい場面を数字で指定して再生できます。

1 画面にタッチします

2 検索アイコンにタッチします



3 指定する方法（サーチの種類）にタッチします



Title

タイトル番号を指定します。

Chapter

チャプター番号を指定します。

10キー

数字のコマンドを指定します。

4 数字キーにタッチして番号を入力し、戻るアイコンにタッチします



ブックマークを登録する



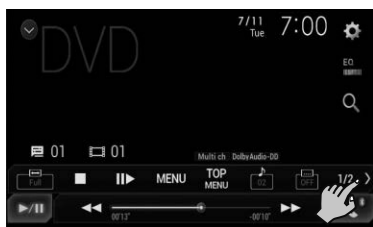
ディスク再生中に場面を選んで登録できます。次にディスクを挿入したときは、登録した場面から再生されます。

メモ

ブックマークは、ディスク1枚につき1場面登録でき、ディスク5枚分のブックマークを登録します。5枚を超えて新しいディスクにブックマークが登録されると、使用時期の最も古いディスクのブックマーク情報を上書きします。

1 画面にタッチします

2 1/2アイコンにタッチします



3 場面アイコンにタッチします



選んだ場面がブックマークとして登録されます。

ブックマークを消去する場合は、場面アイコンに約2秒以上タッチします。

映像ディスクの初期設定を行う



DVD、DVD-VR、ROM-Videoの再生条件を使用する環境に合わせて設定できます。

メモ

- 初期設定を操作中は、映像ディスクの再生を一時的に停止します。初期設定を終了すると、再生を再開します。
- DVD-VRとROM-Videoの設定項目は「TVアスペクト」のみです。

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3 DISC設定にタッチします



4 設定したい映像ディスクにタッチします



5 設定したい項目にタッチし、設定を変更します



設定項目によって操作方法が異なります。

6 設定が終わったら[X]にタッチします



■設定内容の詳細

*は工場出荷時の設定です。

基本字幕

字幕言語を設定します(マルチ言語字幕)。

設定したい言語がないときは、**その他**にタッチし、言語コード表に記載されている4桁の数字を入力します。

→P218の「言語コード表」

選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクで指定されている言語が設定されます。

ディスクにより、選択した言語が優先されない場合があります。

基本音声

優先して聴きたい音声言語を設定します(マルチ言語)。

設定したい言語がないときは、**その他**にタッチし、言語コード表に記載されている4桁の数字を入力します。

→P218の「言語コード表」

選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクで指定されている言語が設定されます。

ディスクにより、選択した言語が優先されない場合があります。

メニュー言語

ディスクのメニュー画面の言語を設定します。


設定したい言語がないときは、**その他**にタッチし、言語コード表に記載されている4桁の数字を入力します。

→P218の「言語コード表」

選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクで指定されている言語が設定されます。

ディスクにより、選択した言語が優先されない場合があります。

マルチアングル

マルチアングル場面の再生時に表示される、 (アングル選択マーク)の表示/非表示を設定できます。

タッチするたびに表示/非表示が切り換わります。

工場出荷時は「表示」です。

メモ

この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像(マルチアングル)が収録されたディスクに対して有効です。

TVアスペクト

接続したモニターのアスペクト（画面の縦横比）を設定します。ノーマルモニターを接続した場合のみ設定を変えてください。

16:9* ワイドモニター（16：9）使用時に選びます。16：9で収録された画像が16：9で表示されます。

レターボックス ノーマルモニター（4：3）使用時に選びます。16：9で収録された画像の横幅を4：3モニターの横幅に合わせて16：9の比率で表示します。

パンスキャン ノーマルモニター（4：3）使用時に選びます。16：9で収録された画像の縦幅を4：3モニターの縦幅に合わせて16：9の比率で表示します。（左右にはみ出た映像は表示されません。）

視聴制限

本機で再生する制限レベルを設定します。

暴力シーンなどを含むDVDビデオに対してディスクのレベルより低いレベルを設定すると、ディスクの視聴を制限することができます（パレンタルロック）。

メモ

視聴制限されたディスクの再生時に、暗証番号入力画面が表示されます。希望の暗証番号を登録してください。以後、視聴制限されたディスクを再生するときや制限レベルを変更するときは、登録した暗証番号の入力が必要です。

暗証番号を忘れたときは

暗証番号入力画面で に10回連続でタッチすると、暗証番号が解除されます。

オートエンター

走行中にDVDメニューになったとき、またはDVDメニューのまま走行を開始したときに自動的にDVDの再生を開始するかどうかを設定します。工場出荷時は「ON」です。

メモ

オートエンターの設定をONにしても、使用するディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合は、安全な場所に停車して、再生の操作を行ってください。

言語コード表

言語名 (言語コード)	入力コード
日本語 (ja)	1001
英語 (en)	0514
フランス語 (fr)	0618
スペイン語 (es)	0519
ドイツ語 (de)	0405
イタリア語 (it)	0920
中国語 (zh)	2608
オランダ語 (nl)	1412
ポルトガル語 (pt)	1620
スウェーデン語 (sv)	1922
ロシア語 (ru)	1821
韓国語 (ko)	1115
ギリシャ語 (el)	0512
アファル語 (aa)	0101
アブバジャ語 (ab)	0102
アフリカーンス語 (af)	0106
アムハラ語 (am)	0113
アラビア語 (ar)	0118
アッサム語 (as)	0119
アイマラ語 (ay)	0125
アゼルバイジャン語 (az)	0126
バシキール語 (ba)	0201
ベラルーシ語 (be)	0205
ブルガリア語 (bg)	0207
ビハリー語 (bh)	0208
ビスラマ語 (bi)	0209
ベンガル語 (bn)	0214
チベット語 (bo)	0215
ブルトン語 (br)	0218
カタロニア語 (ca)	0301
コルシカ語 (co)	0315
チェコ語 (cs)	0319
ウェールズ語 (cy)	0325
デンマーク語 (da)	0401
ブータン語 (dz)	0426
エスペラント語 (eo)	0515
エストニア語 (et)	0520
バスク語 (eu)	0521
ペルシア語 (fa)	0601
フィンランド語 (fi)	0609
フィジー語 (fj)	0610
フェロー語 (fo)	0615
フリジア語 (fy)	0625
アイルランド語 (ga)	0701
スコットランドゲール語 (gd)	0704
ガルシア語 (gl)	0712

言語名 (言語コード)	入力コード
グアラニ語 (gn)	0714
グジャラート語 (gu)	0721
ハウサ語 (ha)	0801
ヒンディー語 (hi)	0809
クロアチア語 (hr)	0818
ハンガリー語 (hu)	0821
アルメニア語 (hy)	0825
国際語 (ia)	0901
interlingue (ie)	0905
イヌピアック語 (ik)	0911
インドネシア語 (in)	0914
アイスランド語 (is)	0919
ヘブライ語 (iw)	0923
イディッシュ語 (ji)	1009
ジャワ語 (jw)	1023
グルジア語 (ka)	1101
カザフ語 (kk)	1111
グリーンランド語 (kl)	1112
カンボジア語 (km)	1113
カナダ語 (kn)	1114
カシミール語 (ks)	1119
クルド語 (ku)	1121
キルギス語 (ky)	1125
ラテン語 (la)	1201
リンガ語 (ln)	1214
ラオス語 (lo)	1215
リトアニア語 (lt)	1220
ラトビア語 (lv)	1222
マダガスカル語 (mg)	1307
マオリ語 (mi)	1309
マケドニア語 (mk)	1311
マラヤーラム語 (ml)	1312
モンゴル語 (mn)	1314
モルダビア語 (mo)	1315
マラータ語 (mr)	1318
マライ語 (ms)	1319
マルタ語 (mt)	1320
ビルマ語 (my)	1325
ナウル語 (na)	1401
ネパール語 (ne)	1405
ノルウェー語 (no)	1415
プロバンス語 (oc)	1503
オロモ語 (om)	1513
オリヤー語 (or)	1518
パンジャブ語 (pa)	1601
ポーランド語 (pl)	1612

言語名 (言語コード)	入力コード
アフガニスタン語 (ps)	1619
ケチュア語 (qu)	1721
レートロマン語 (rm)	1813
キルンディ語 (rn)	1814
ローマ語 (ro)	1815
キニヤルワンダ語 (rw)	1823
サンスクリット語 (sa)	1901
シンド語 (sd)	1904
サンド語 (sg)	1907
セルボクロアチア語 (sh)	1908
セイロン語 (si)	1909
スロバック語 (sk)	1911
スロベニア語 (sl)	1912
サモア語 (sm)	1913
ショナ語 (sn)	1914
ソマリ語 (so)	1915
アルバニア語 (sq)	1917
セルビア語 (sr)	1918
シスワティ語 (ss)	1919
セストゥ語 (st)	1920
スンダ語 (su)	1921
スワヒリ語 (sw)	1923
タミル語 (ta)	2001
テルグ語 (te)	2005
タジル語 (tg)	2007
タイ語 (th)	2008
チグリス語 (ti)	2009
ツルキ語 (tk)	2011
タガログ語 (tl)	2012
セツワナ語 (tn)	2014
トンガ語 (to)	2015
トルコ語 (tr)	2018
ツォンガ語 (ts)	2019
タタール語 (tt)	2020
トウィ語 (tw)	2023
ウクライナ語 (uk)	2111
ウルドゥー語 (ur)	2118
ウズベク語 (uz)	2126
ベトナム語 (vi)	2209
ボラビュク語 (vo)	2215
ウォルフ語 (wo)	2315
コーサ語 (xh)	2408
ユルバ語 (yo)	2515
ズールー語 (zu)	2621

SD/USBを使う

本機に接続したSDカード/USBメモリー内の音楽ファイル、映像ファイル、画像ファイルや、本機で録音した音楽ファイル(SDカードのみ)を再生できます。

操作方法はSD、USB共通です。ここでは、SDを例に説明します。

△注意

- 走行中は、安全のため映像は表示されません。停車中の場合のみ、モニターで映像を視聴できます。
- 決められた手順以外のやりかたでSDカードの出し入れを行うと、SDカードに保存したデータが破損することがあります。
⇒P23の「SDカードの入れかた・取り出しかた」

メモ

- 一度に多くのファイルを追加した場合、追加したファイルが再生可能になるまで時間がかかることがあります。
- 本機は、以下のメディアに対応しています。
 - － SDカード：最大容量512 GB、ファイルシステムexFAT/FAT 32/16、SDメモリーカード規格/SDHCメモリーカード規格/SDXCメモリーカード規格
 - － USBメモリー：ファイルシステムFAT32/16
- 本機で再生可能なファイルについては(⇒P321の「再生できるファイルとメディアの種類」)をご覧ください。
- 再生画面とトラックリスト画面に表示できるアートワークは、解像度600ピクセル x 600ピクセル以下のJPEGファイルです。
- DRM (Digital Rights Management : デジタル著作権管理) が設定されたファイルは再生できません。

各種ファイルを再生する

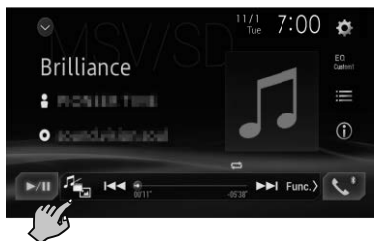


1 MSV/SDにタッチします

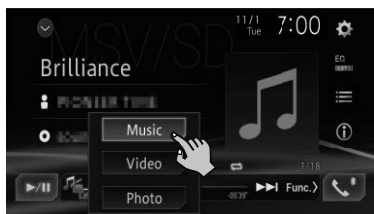


SDカードに録音した楽曲やパソコンで保存した音楽・映像・画像ファイルを再生します。

再生モードを切り換える

1  にタッチします

2 再生したい項目にタッチします

**Music**

音楽ファイルの操作画面に切り換わります。

Video

映像ファイルの操作画面に切り換わります。

Photo



画像ファイルの操作画面に切り換わります。

音楽ファイル进行操作する

■トラックを切り換える

1  または  にタッチします

トラックが切り換わります。

 または  ボタンを押しても、トラックを切り換えられます。

■再生情報を切り換える

再生している曲の楽曲情報を、2種類の表示に切り換えることができます。

- **トラックタイトル、アーティスト、アルバムタイトル**
- **ファイル名、フォルダー名**

1  にタッチします

タッチするたびに、表示される楽曲情報の種類を切り換えることができます。

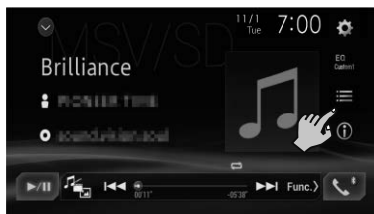
メモ

フォルダー名は、再生しているファイルが保存されているフォルダーの名前が表示されます。

■リストからファイルを選んで再生する

リストを表示して、聴きたいファイルを直接選んで再生できます。



1 にタッチします



2 再生したいファイルにタッチします



階層分けされている場合、一番上の階層が表示されます。

フォルダー選択などで階層を下げた場合は、 にタッチして階層を戻せます。 にタッチすると、再生画面に戻ります。

Fileを選択した場合

SDカード内のフォルダー構造が表示されます。聴きたいファイルが保存してあるフォルダーを選んでください。

Tagを選択した場合

SDカード内にある曲を本機がカテゴリー別に分けて表示します。カテゴリーは次の4つに分かれます。

- アーティスト
- アルバム
- 曲
- ジャンル

メモ

- 再生画面でトラック名などにタッチして現在再生中のファイルを含むリストを表示し、再生するファイルを選ぶこともできます。
- Tagを選んだ場合は、各カテゴリー内の項目ごと一括再生できます。一括再生する場合は、**ALL** にタッチしてください。

■フォルダーを切り換える

Fileリストからファイルを選択して再生しているときに、再生するフォルダーを切り換えることができます。

1 **Func.>** にタッチします



2 または にタッチします



フォルダーが切り換わります。

■再生経過時間を指定して再生する

操作画面に表示されるタイムバー（0秒～9999分59秒）から、位置（時間）を指定して再生できます。

- 1 タイムバーのカーソルにタッチしたまま、再生したい時間までスライドします



カーソルから指を離れた位置（時間）から再生されます。

■リピート再生する

指定した範囲を繰り返し再生できます。リピート再生の範囲は、以下から選択できます。

- (オールリピート)
すべてのファイル(曲)をリピートします。
- (ファイルリピート)
再生中のファイル(曲)をリピートします。
- (フォルダーリピート)
再生中のフォルダーをリピートします。

- 1 **Func.>**にタッチします



- 2 / / にタッチします



タッチするたびに、リピートの範囲が切り換わります。

メモ

- アーティストやアルバムなどのカテゴリで絞り込み再生を行っている場合は、リピート範囲が次のように切り換わります。
 (ファイルリピート) → (オールリピート) → (ファイルリピート) に戻る
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作（ファイルリピート中の選曲操作など）を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。

■ランダム再生する

選んだりリピート再生の範囲内で、再生する曲をランダムに選び続けます。




音楽ファイル再生時のみ操作できます。

- 1 **Func.>**にタッチします



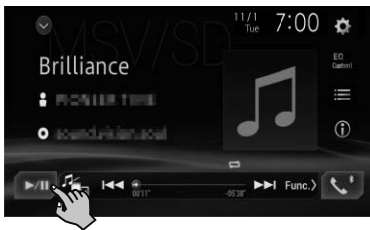
2 / にタッチします



タッチするたびに、 (ON) /  (OFF) が切り換わります。ONのときは が明るく表示され、OFFのときは暗く表示されます。

■再生を一時停止する

1 にタッチします



一時停止します。一時停止中にタッチすると、再生を再開します。

映像ファイルを操作する

■リストからファイルを選んで再生する

リストを表示して、見たいファイルを直接選んで再生できます。



1 画面にタッチします

2 にタッチします



3 再生したいファイルにタッチします



フォルダー選択などで階層を下げた場合は、 にタッチして階層を戻せます。 にタッチすると、再生画面に戻ります。

■再生経過時間を指定して再生する

操作画面に表示されるタイムバー（0秒～9999分59秒）から、位置（時間）を指定して再生できます。

1 画面にタッチします




2 タイムバーのカーソルにタッチしたまま、再生したい時間までスライドします



カーソルから指を離れた位置（時間）から再生されます。

■リピート再生する

指定した範囲を繰り返し再生できます。
リピート再生の範囲は、以下から選択できます。

-  (オールリピート)
すべてのファイルをリピートします。
-  (ファイルリピート)
再生中のファイルをリピートします。
-  (フォルダーリピート)
再生中のフォルダーをリピートします。

1 画面にタッチします

2 にタッチします



タッチするたびに、リピートの範囲が切り換わります。

メモ

リピート再生中にリピートの範囲を超える操作（ファイルリピート中のファイル選択操作など）を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。

■スロー再生する

再生スピードを遅くして再生できます。


1 画面にタッチします

2 にタッチします



送り方向にスロー再生されます。

メモ

- 再生データにより、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 再生データや再生位置により、 (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。



■早戻し/早送りする

1 画面にタッチします

2 または にタッチします



早戻し/早送りをします。

早戻し/早送り中に  または  にタッチすると、早戻し/早送りの速度を切り換えられます。

■再生を一時停止する

1 画面にタッチします

2 ▶/|| にタッチします



一時停止します。一時停止中にタッチすると、再生を再開します。

■再生を停止する

1 画面にタッチします

2 □ にタッチします



再生を停止します。

画像ファイルを操作する

■フォルダーを切り換える

1 画面にタッチします

2 ◀ または ▶ にタッチします



フォルダーが切り換わります。

■リストからファイルを選んで再生する

リストを表示して、見たいファイルを直接選んで再生できます。

1 画面にタッチします

2 罫線にタッチします



3 再生したいファイルにタッチします



フォルダー選択などで階層を下げた場合は、にタッチして階層を戻せます。にタッチすると、再生画面に戻ります。

■リピート再生する

指定した範囲を繰り返し再生できます。リピート再生の範囲は、以下から選択できます。

- (オールリピート)
すべてのファイルをリピートします。
- (フォルダーリピート)
再生中のフォルダーをリピートします。

1 画面にタッチします

2 / にタッチします



タッチするたびに、リピートの範囲が切り換わります。

メモ

リピート再生中にリピートの範囲を超える操作（フォルダーリピート中のファイル選択操作など）を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。

■ランダム再生する

選んだリピート再生の範囲内で、再生する画像をランダムに選び続けます。

1 画面にタッチします

2 / にタッチします



タッチするたびに、 (ON) / (OFF) が切り換わります。ONのときはが明るく表示され、OFFのときは暗く表示されます。

■画像を切り換える

1 画面にタッチします

2 または にタッチします



画像が切り換わります。

または ボタンを押しても、画像を切り換えられます。

■画像を回転させる

画面に表示している画像を90°ずつ回転させて表示できます。

1 画面にタッチします

2 回転アイコンにタッチします



タッチするたびに90°右に回転します。

メモ

タッチするたびに再生時間はリセットされます。

■スライドショーを設定する

スライドショーの画像更新速度を設定します。
工場出荷時は「10秒」です。

1 電源ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3 MSV/SD・USB設定にタッチします



4 スライドショー設定にタッチします



5 設定したい項目にタッチします



5秒

5秒ごとに画像を更新します。

10秒

10秒ごとに画像を更新します。

15秒

15秒ごとに画像を更新します。

手動設定

手動で画像を更新します。

録音情報の編集・消去

SDカードに録音したアルバムやトラックの編集・消去ができます。また、録音したアルバムのタイトル取得やアートワークの設定を行えます。

△注意

CD録音を開始すると、SDカード内にフォルダーとファイルが作成されます。

次のフォルダーとフォルダー内に作成されるファイルは、本機以外で編集や消去などを行わないでください。

- － 「NAVIRECDATA3」フォルダー
- － 「NNAVIRECTRLDATA」フォルダー

📌メモ

- 再生中の曲を編集・消去した場合、編集・消去が完了するまで再生が停止します。
- MSV/SDソース画面で映像ファイルまたは画像ファイルが再生されている場合は、再生モードを「Music」に切り換えてください。

➔P220の「再生モードを切り換える」

録音情報の編集をする

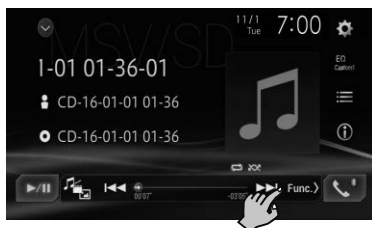
下記の手順を行ってから各操作を行ってください。



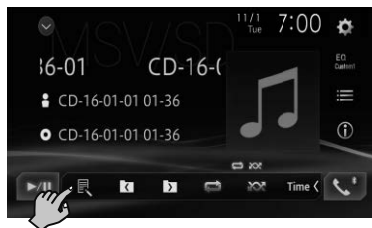
1 MSV/SDにタッチします



2 Func.)にタッチします



3 編集にタッチします



■フォルダー名を編集する

1 録音情報の編集画面を表示します

詳しくは(➔P228の「録音情報の編集をする」)をご覧ください。

2 編集/消去→編集したいフォルダーを表示して編集にタッチします



- 3 編集したいフォルダーを選んで**実行**にタッチします



- 4 フォルダー名にタッチします



- 5 名称を入力し、**入力終了**にタッチします



設定が反映されます。

■トラック情報を編集する

- 1 録音情報の編集画面を表示します
詳しくは (→P228の「録音情報の編集をする」) をご覧ください。

- 2 **編集/消去**→編集したいトラックを表示して**編集**にタッチします



- 3 **個別に選択**にタッチします



- 4 編集したいトラックを選んで**実行**にタッチします



5 編集したい情報の枠にタッチします



6 情報を入力し、「入力終了」にタッチします



設定が反映されます。

メモ

- **すべて選択**にタッチして、一括で編集することもできます。
- 複数のトラックを同時に編集するときは、トラック名は編集できません。

■アートワークの登録・削除をする

曲ごとにアートワークを設定すると、MSV/SDの再生画面でアートワークを表示できます。

アートワークを登録する

メモ

- 事前に設定したい画像をSDカードに保存する必要があります。SDカードの「root」または録音するときに自動で作成される「ALBUM_ART」フォルダーに画像を保存してください。
- 登録可能なアートワークは、解像度600ピクセル×600ピクセル以下のJPEGファイルです。

1 録音情報の編集画面を表示します

詳しくは (➡P228の「録音情報の編集をする」) をご覧ください。

2 編集/消去→編集したいトラックを表示して編集にタッチします



3 個別に選択またはすべて選択にタッチします ここでは、すべて選択を例に説明します。



4 実行にタッチします



5 画像にタッチします

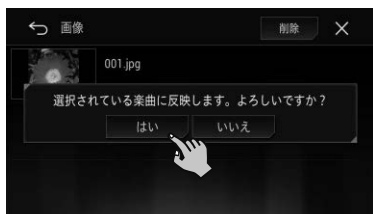


6 設定したい画像または削除にタッチします



アートワークを登録したいときは設定したい画像にタッチしてください。
登録している画像を削除したいときは**削除**にタッチしてください。

7 はいにタッチします



設定が反映されます。

■トラックを消去する

- 1 録音情報の編集画面を表示します
詳しくは (→P228の「録音情報の編集をする」) をご覧ください。
- 2 **編集/消去**→消去したいトラックを表示して**消去**にタッチします



3 個別に選択にタッチします



- 4 消去したいトラックを選んで**実行**にタッチします



5 はいにタッチします



メモ

すべて選択にタッチして、一括で消去することもできます。

■フォルダーを消去する

1 録音情報の編集画面を表示します

詳しくは (→P228の「録音情報の編集をする」) をご覧ください。

2 編集/消去→消去したいフォルダーを表示して消去にタッチします



3 個別に選択にタッチします



4 フォルダーを選んで実行にタッチします



5 はいにタッチします



メモ

すべて選択にタッチして、一括で消去することもできます。

タイトル情報の取得

本機内蔵のGracenote音楽認識サービスでタイトル情報を取得できなかったときや、タイトル候補が複数見つかったためタイトル表示されなかったときは、録音完了後、タイトル情報の再取得操作を行うとタイトルを表示できます。

タイトル情報

取得したタイトル情報は、CDやMSV/SDの再生画面などに表示されます。

■取得できる情報

CDまたは曲によっては取得できない情報もあります。

- アルバムタイトル
- アルバムのアーティスト
- アルバムのジャンル
- アルバムの発売年
- トラックタイトル
- トラックのアーティスト

■No Title表示

CDの再生画面に「No Title」と表示されたときは、次のことが考えられます。

- タイトル情報が見つからなかった
- タイトル情報が複数候補あった
タイトル情報が複数候補あった場合は、複数のタイトルの中から選択できます。

タイトル情報を取得する

タイトル候補が複数見つかったためタイトル表示できなかった場合は、再度本機内蔵のGracenoteデータベースを検索し、タイトル候補を表示してから選択ができます。また、本操作でタイトル候補が見つからなかった場合は、通信による検索を行うことができます。通信機能の利用準備が整っていない場合はメッセージが表示され、処理は中断されます。あらかじめ、通信機能の利用準備を行っておくことをお勧めします。

➔P138の「通信接続設定」

メモ

- 対象となるのは、本機で録音した楽曲データのみです。
- 専用サーバーから取得したタイトル情報はSDカードに保存されます。

1 録音情報の編集画面を表示します

詳しくは(➔P228の「録音情報の編集をする」)をご覧ください。

2 情報取得➔[NAVIRECCTRLDATA]フォルダーにタッチします



3 フォルダーにタッチして、タイトル情報を取得したいトラックを表示します



トラックリストが表示されるまで、フォルダーにタッチしてください。
タイトル情報がないフォルダー名やトラック名は、本機にCDを挿入した日時がタイトルとして表示されます。

4 情報取得にタッチします



5 タイトル候補にタッチします



設定が反映されます。
本機内蔵データベースに情報がない場合は、通信でデータを取得するためのメッセージが表示されます。

6 はいにタッチします



7 タイトル候補にタッチします



設定が反映されます。

メモ

手動によるタイトル編集も可能です。
→ P228の「録音情報の編集・消去」

iPodを使う

本機に接続したiPodの音楽データとオーディオブックを再生できます。

対応 iPod 一覧表

メモ

- ご使用のiPodの設定やソフトウェアバージョンなどにより、動作しない場合があります。
- 最新の対応情報は販売店にお問い合わせください。

2017年9月時点 調査結果


iPod/iPhone機種			VIDEO再生	AUDIO再生	対応 Ver.
iPod touch	第5世代	2012年～	×	○注1.注3.注4	9.3.5
	第6世代	2015年～	×	○注1.注3.注4	9.3.5
iPod nano	第7世代	2012年～	×	○	1.0.4
iPhone	5	2012年～	×	○注1.注2.注3.注4	9.3.5
	5s	2013年～	×	○注1.注2.注3.注4	9.3.5
	5c	2013年～	×	○注1.注2.注3.注4	9.3.5
	6 Plus	2014年～	×	○注1.注2.注3.注4	9.3.5
	6	2014年～	×	○注1.注2.注3.注4	9.3.5
	6s Plus	2015年～	×	○注1.注2.注3.注4	9.3.5
	6s	2015年～	×	○注1.注2.注3.注4	9.3.5
	SE	2016年～	×	○注1.注2.注3.注4	9.3.5
	7	2016年～	×	○注1.注2.注3.注4	9.3.5
7 Plus	2016年～	×	○注1.注2.注3.注4	9.3.5	

○：本機でタイトル表示が可能です。また選曲や絞り込みなどiPodと同じ感覚で操作が可能です。

×：非対応

注1： OSのバージョンにより、iPhone / iPod touchの電源を立ち上げた後の初回接続が失敗することがあります。その場合は、一度接続を解除し、再度接続をお願いします。

注2： 車両のスピーカーからノイズが発生する場合があります。また、iPhoneが送受信する携帯電話の電波に障害が出る場合があります。

注3： AUDIO再生中に  にタッチしてシャッフルの範囲をアルバムに切り換えると、再生中の曲がアルバム先頭の曲に切り換わります。

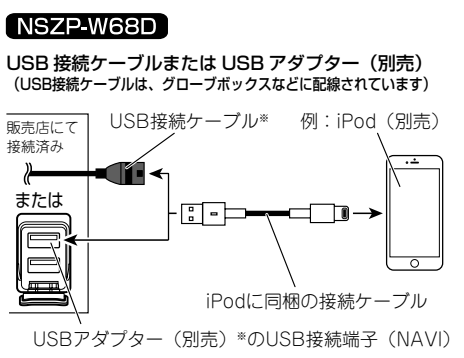
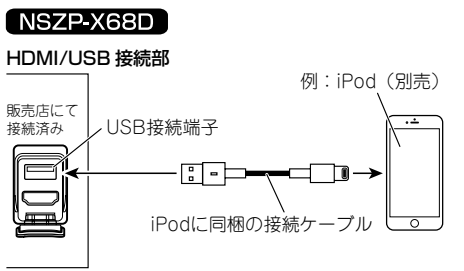
注4： Apple Music再生中は、絞込んだリストに遷移せずトップリストに遷移します。

メモ

- この章では、便宜上iPodとiPhoneを総称してiPodと表記しています。
- 本機にiPodを接続するには、iPodに同梱の接続ケーブルが必要です。
- ご使用前に、お持ちのiPodのバージョンを最新にしてください。
- iPodの再生中に音が出なくなったり、操作ができなくなることがあります。その場合は本機からiPodを取り外してリセットし、再度接続してください。
- iPod 利用中にiPodがSTOP状態となることがあります。
- 絞り込み操作中、リストに表示される内容と再生される曲は異なることがあります。
- 絞り込み操作中、動作が不安定となることがあります。

音楽を再生する

1 iPodと同梱の接続ケーブルを使って、USB接続端子にiPodを接続します



* USB 接続ケーブルと USB アダプター（別売）は、併用できません。どちらかの選択になります。

ここまでの手順 ▶ ボタン →

AVメニュー画面を表示します

2 iPodにタッチします

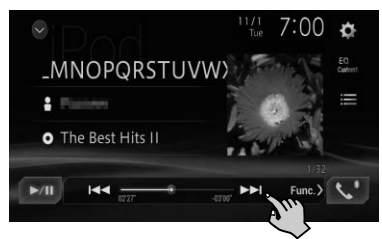


メモ

iPodに同梱の接続ケーブルは車内に放置しないでください。

曲を切り換える

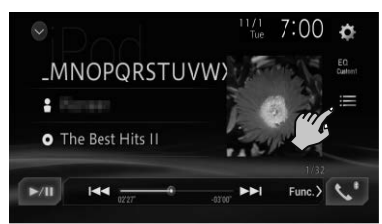
1 ◀◀または▶▶にタッチします



曲が切り換わります。
◀◀または▶▶ボタンを押しても、曲を切り換えられます。

聴きたい曲を探す

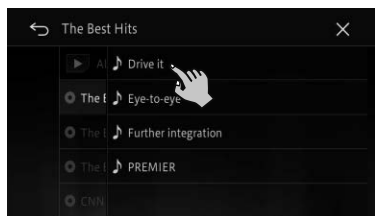
1 にタッチします





2 カテゴリーにタッチします



3 曲を絞り込み、聴きたい曲にタッチします




メモ

- ご使用の iPod によって、リストに表示されるカテゴリーは異なります。
- iPod で表示されるリストの並び順と、本機で表示されるリストの並び順は一致しない場合があります。
- いったん絞り込み操作を行ったあとは、 にタッチすると最後に絞り込んだリストを表示します。
- iPod の AV ソース画面でアーティスト名やアルバム名、トラック名にタッチすると、再生中のアーティスト名、アルバム名、またはトラック名を先頭にしてリスト表示します。ただし、使う iPod により、再生中のアーティスト名やアルバム名、トラック名が先頭に表示されない場合があります。また、件数によってはリスト検索に時間がかかる場合もあります。そのような場合には  にタッチして検索を中止できます。
- ご使用の iPod により、リスト表示に時間がかかる場合があります。

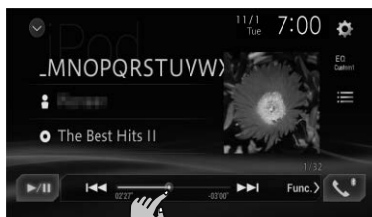
再生経過時間を指定して再生する

操作画面に表示されるタイムバー (0秒～9999分59秒) から、位置 (時間) を指定して再生できます。

メモ

- 接続した機器により、タイムバーを操作できない場合があります。
- タイムバーが表示されていない場合、 にタッチしてください。




1 タイムバーのカーソルにタッチしたまま、再生したい時間までスライドします



カーソルから指を離れた位置 (時間) から再生されます。

リピート再生する

指定した範囲を繰り返し再生できます。リピート再生の範囲は、以下から選択できます。

-  (リピートオール)
すべての曲をリピートします。
-  (リピートワン)
現在再生中の曲のみリピートします。
-  (リピートOFF)
リピートしません。

1 にタッチします




2    にタッチします

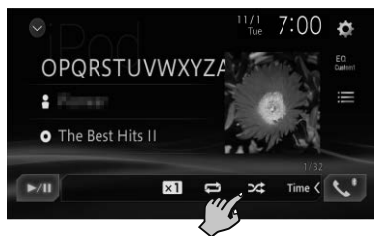


タッチするたびに、リピートの範囲が切り換わります。

 メモ


接続した機器により、 (リピートOFF) に切り換わらない場合があります。

2    にタッチします






タッチするたびに、シャッフルの範囲が切り換わります。

 メモ

接続した機器により、 (シャッフルアルバム) に切り換わらない場合があります。

シャッフル再生する

再生する順番をシャッフルします。
シャッフル再生の種類は、2種類から選択できます。

-  (シャッフルOFF)
再生する曲をシャッフルしません。
-  (シャッフルソング)
再生する曲の順番を変えます。
-  (シャッフルアルバム)
再生するアルバムの順番を変えます。

1  にタッチします



1  にタッチします



一時停止します。一時停止中にタッチすると、再生を再開します。

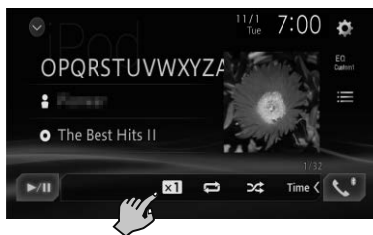
オーディオブックの再生速度を変更する

オーディオブックの再生速度を変更できます。

1 Func.>にタッチします



2 x1にタッチします



タッチするたびに、再生速度が次のように切り換わります。

×1 → ×2 → ×1/2 → ×1に戻る

Bluetooth® Audioを使う

本機にワイヤレス接続したBluetooth Audio機器内の音楽データの再生のしかたを説明します。AVプロファイルの種類やバージョンによって、操作できる機能や表示される内容は異なります。

接続プロファイル	音楽伝送	選曲操作	特殊操作	情報表示
A2DP	○	×	×	×
A2DP+AVRCP Ver.1.0	○	△	×	×
A2DP+AVRCP Ver.1.3	○	△	△	△
A2DP+AVRCP Ver.1.4	○	△	△	△

○：対応 △：一部対応 ×：非対応

メモ

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) とは、音声をワイヤレスで伝送するためのプロファイルです。
- AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) とは、楽曲の選曲操作や情報表示するためのプロファイルです。
- Bluetooth Audio使用中に、ハンズフリー機能や通信機能を使用すると、一時的にBluetooth Audioの機能は停止します。
- 使う携帯電話により、Bluetooth Audioを使用中はデータ通信ができない場合があります。このような場合は、いったんBluetooth AudioをOFFにし、携帯電話の音楽再生ソフトを終了させてからデータ通信を行ってください。
- A2DP + AVRCP接続の場合でも、機種により操作できない場合や本書に記載された説明とは異なる動作をする場合があります。

Bluetooth Audio機器の登録

Bluetooth Audio機器を使うには、あらかじめ本機にBluetooth Audio機器を登録し、接続プロファイルを「Bluetooth Audio」に設定する必要があります。

➔ P140の「Bluetooth対応端末の登録 (ペアリング)」

➔ P144の「接続機器の切り換えと、Bluetooth機器の接続プロファイルを設定する」

登録と設定が行われたBluetooth Audio機器は、AVソースがBluetooth Audioに切り換えられた時点で自動的に本機と接続され、再生が始まります。

メモ

- 本機の電源をOFF/ON (エンジンスイッチをOFF/ON) した場合、電源をOFFする前に接続していたBluetooth Audio機器とは、異なるBluetooth Audio機器と接続することがあります。
- Bluetooth Audio機器が別のプロファイルで接続中は、接続できない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio機器のすべてのプロファイルを切断してから接続してください。

Bluetooth Audioを再生する

ここまでの手順 ▶



ボタン →



AVメニュー画面を表示します

1 Bluetooth Audioにタッチします



メモ

- 自動的に再生が始まらない場合は、▶||にタッチしてください。▶||にタッチしても再生が始まらない場合は、Bluetooth Audio機器側で再生を開始させてください。
- Bluetooth Audio機器によっては、Bluetooth Audio再生中にPANで通信を行うと、音飛びが発生する場合があります。
- A2DP接続のみの場合は▶||などの操作タッチキーは選択できません。その場合は、Bluetooth Audio機器側で操作してください。
- サンプリング周波数が異なる楽曲間で切り換わるときに、ノイズが聞こえる場合があります。

トラックを切り換える

1 ◀◀または▶▶にタッチします

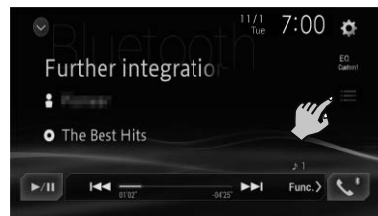


トラックが切り換わります。

◀◀または▶▶ボタンを押しても、トラックを切り換えられます。

聴きたい曲を探す

1 目録にタッチします



2 曲を絞り込み、聴きたい曲にタッチします



接続中のBluetooth Audio機器の状態によって、リストに表示される内容は異なります。フォルダー選択などで階層を下げた場合は、◀にタッチして階層を戻せます。✕にタッチすると、再生画面に戻ります。

メモ

- A2DP+AVRCP接続の場合でも、機種により操作できない場合や、異なる動作をする場合があります。
- 再生時間、トラック番号は、接続した機器のものとは異なる場合があります。
- 接続した機器により、本機画面上で再生中であっても、音声が出ない場合があります。接続した機器の製造元にお問い合わせください。

リピート再生する

指定した範囲を繰り返して再生できます。この操作は、A2DP+AVRCPで接続した場合に利用できます。

リピート再生の範囲は、以下から選択できます。

- **トラックリピート**
再生中のトラック(曲)をリピートします。
- **オールリピート**
最後のトラックの再生が終了すると、先頭のトラックからリピートします。

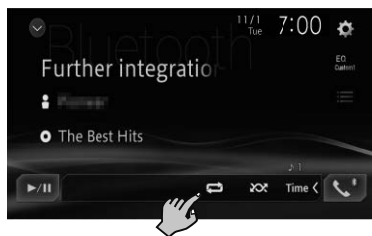
メモ

設定したリピートの範囲は、画面上に表示されません。リピートの範囲を確認したいときは、安全な場所に停車して、接続中のBluetooth Audio機器をご確認ください。

1 Func.>|にタッチします



2 []にタッチします



タッチするたびに、リピートの範囲が切り換わります。

メモ

- 接続した機器により、リピート再生ができない場合や、操作・再生範囲が異なる場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作(トラックリピート中の選曲操作など)を行うと、リピート範囲が変更される場合があります。

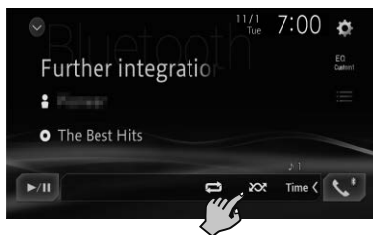
ランダム再生する

この操作は、A2DP+AVRCPで接続した場合に利用できます。

1 Func.>にタッチします



2 ㊄にタッチします



タッチするたびに、ON/OFFが切り換わります。

メモ

- ㊄にタッチしても、ON/OFFによって画面上の㊄の明暗は変化しません。ランダム再生の設定を確認したいときは、安全な場所に停車して、接続中のBluetooth Audio機器の表示をご確認ください。
- 接続した機器により、ランダム再生ができない場合や、操作・再生範囲が異なる場合があります。

再生を一時停止する

この操作は、A2DP+AVRCPで接続した場合に利用できます。

1 ㊄にタッチします



一時停止します。一時停止中にタッチすると、再生を再開します。

HDMI機器を使う〈NSZP-X68D〉

HDMIケーブルで接続した機器で映像を再生し、本機のディスプレイで視聴することができます。

△注意

走行中は、安全のため映像は表示されません。停車中の場合のみ、モニターで映像を視聴できます。

映像を再生する

ここまでの手順▶  ボタン▶  

AVメニュー画面を表示します

1 HDMIにタッチします



オーディオ設定

スピーカーの数やお好みに合わせて、音質を設定できます。

メモ

- AVソースがOFFのときは設定できません。
- 設定値の組み合わせによっては、特定の音域が過度に強調され、音質が悪くなる（音がひずむ）場合があります。その場合は、設定値を見直してください。

1 電源ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3 (オーディオ設定)にタッチします



4 設定したい項目にタッチし、設定を変更します



設定項目によって操作方法が異なります。

5 設定が終わったら[X]にタッチします



設定内容の詳細

*は工場出荷時の設定です。

フェーダー / バランス

前後左右の音量バランスを調整できます。

工場出荷時はすべて「0」です。

操作領域にタッチして、前後左右のバランスを調整します。

フェーダーは、0～25の範囲で調整できます。

バランスは、0～25の範囲で調整できます。

▲ / ▼ / ◀ / ▶ にタッチしても調整できます。

イコライザー

あらかじめ用意された設定（ファクトリーカーブ）とお好みで調整した設定（Custom）からイコライザーカーブを設定します。

S.Bass 低音が厚みを持ち、迫力のある重低音が響きます。

Powerful 低音と高音が厚みを持ち、アップテンポな曲がメリハリよく聞こえます。

Natural 自然なバランスで、聞き疲れしない心地よい音を再生します。

Vocal 中高音域が厚みを持ち、伸びやかなボーカルを際立たせます。

Clear 高域が厚みを持ち、楽器の音をメリハリ良く際立たせます。

Flat* 音の補正をしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、イコライザーの効果を確認するときにご使用ください。

Custom1 **Flat**、**Powerful**、**Natural**、**Vocal**、**S.Bass**をベースにして周波数選択/レベル調整を行った設定値になります。

Custom2 周波数選択とレベル調整を行った設定値になります。

メモ

- 「Clear」は「車種選択<NSZP-X68D>/車形選択<NSZP-W68D>」を設定すると選択できます。
→P247の「車種選択<NSZP-X68D>/車形選択<NSZP-W68D>」
- 「車種選択<NSZP-X68D>/車形選択<NSZP-W68D>」を設定すると、「S.Bass」、「Powerful」、「Natural」、「Vocal」、「Clear」の中間の設定値も選択でき、効果レベルを5段階で調整することができます。
- 「車種選択<NSZP-X68D>/車形選択<NSZP-W68D>」を設定すると、「Custom1」「Custom2」は「Custom」のみになります。
- 交通情報受信中は、一時的に「OFF」になります。
- 設定した調整値は、MSV/SDへの録音には反映されません。

イコライザーを補正する

補正した値をCustom1、Custom2に設定します。

Custom1または**Custom2**にタッチしてから、調整領域にある周波数バーエリアを指でなぞってレベルを補正します。「車種選択<NSZP-X68D>/車形選択<NSZP-W68D>」の設定に応じて、次の範囲から周波数を選択し、0を基準に±6段階の範囲で調整します。

● 「車種選択<NSZP-X68D>/車形選択<NSZP-W68D>」を未設定の場合

50 Hz、80 Hz、125 Hz、200 Hz、315 Hz、500 Hz、800 Hz、1.25 kHz、2 kHz、3.15 kHz、5 kHz、8 kHz、12.5 kHz

● 「車種選択<NSZP-X68D>/車形選択<NSZP-W68D>」を設定済みの場合

80 Hz、250 Hz、800 Hz、2.5 kHz、8 kHz

メモ

「車種選択<NSZP-X68D>/車形選択<NSZP-W68D>」を未設定の場合のみ、「Flat」、「Powerful」、「Natural」、「Vocal」、「S.Bass」をベースにし、ファクトリーカーブを補正して「Custom1」に登録できます。補正したい設定（ファクトリーカーブタッチ）を選択してから補正を行ってください。

リスニングポジション

乗車位置や乗車人数に合わせて、聞く位置を設定します。

- フロントR** 右ハンドル車の運転席、または左ハンドル車の助手席を中心とした設定です。
- フロントL** 左ハンドル車の運転席、または右ハンドル車の助手席を中心とした設定です。
- フロント** 同乗者が助手席にいるときの設定です。
- オール** 同乗者が後部座席にいるときの設定です。
- OFF*** 音質補正設定を解除します。

メモ

「車種選択<NSZP-X68D>/車形選択<NSZP-W68D>」を設定すると、リスニングポジションは無効になります。

車種選択<NSZP-X68D>/車形選択<NSZP-W68D>

車種または車形に適した音響を実現するため、車種または車形を設定します。

お使いの車種または車形にタッチしてください。

メモ

- 車種または車形を選択すると、対応して以下の項目が変化します。
 - － タイムアライメント設定
 - － リスニングポジション
 - － スピーカー出力レベル設定
 - － カットオフ
- ※ イコライザーはFLATになりますが、特性は補正済みです。
- **OFF**にタッチすると、上記のオーディオ設定の各項目は本設定を行う前の設定に戻ります。
- イコライザーは通常 13バンドですが、車種または車形を設定すると5バンドになります。
- **サウンドチューニング**にタッチすると、別売オプションのデッドニングキットに同梱のサウンドチューニングSDカードに保存されたサウンドチューニングデータを読み込んで、選択できるようになります。

音場設定 (VSC)

スタジオやコンサートホールなど、再現したい音響空間を設定します。

- OFF*** 設定をOFFにします。
- MUSIC STUDIO** 演奏者を前にして聴くように、音が前方から聴こえるような音場を設定します。音楽ソフトを楽しむときに適してします。
- DYNAMIC THEATER** 迫力のある重低音と効果音を強調します。映画などを楽しむときに適しています。
- ACTOR'S STAGE** ドラマや演劇など、台詞が聞き取りやすいように中音域を強調します。
- RELAX LIVING** リビングでくつろぐような感覚を再現します。BGMなどを流すのに適しています。

メモ

VSCは、「Virtual Sound Creator (バーチャルサウンドクリエイター)」の略です。

バスブースト

低音域を強調して出力するレベルを設定します。

0 (*) ~ 6段階の範囲で調整できます。

ラウドネス

小さな音量で再生するときに、不足している低・高音の補正レベルを設定します。

設定できるレベルは、**LOW**、**MID**、**HIGH**です。設定を解除するときは**OFF** (*) にタッチします。



メモ

バスブーストとラウドネスの組み合わせによっては、低音域が過度に強調され、音質が悪化する（音がひずむ）可能性があります。

サウンドレトリバー

圧縮された音楽を再生するときに、音質を補正するレベルを設定します。MSV/SD、USB、iPod、ROM-Audio、Bluetooth Audioなどに記録された圧縮音楽を再生するときに効果的です。圧縮音楽は、人の耳では聴こえにくい音の成分がカットされてしまいます。「サウンドレトリバー」はデジタル信号処理により残されたデータから圧縮時に失われた音を補完して、音楽の持つ余韻や躍動感、広がり感のある音を復元して再生できます。

OFF * 設定をOFFにします。

MODE1 圧縮率の低い圧縮音楽に適しています。

MODE2 圧縮率の高い圧縮音楽に適しています。



メモ

TV、FM、AM、交通情報受信中の場合には効果が得られません。

オートレベルコントロール

音源によって音量が異なるとき、音量の差を自動的に補正し、一定に保つ設定をします。

OFF * 設定をOFFにします。

MODE1 音質を優先に設定します。

MODE2 音量一定化を優先に設定します。

オートサウンドレベライザー

走行速度に応じた音量の補正量を設定します。設定することで走行中に音量をリアルタイムで補正し、快適な聴き心地を保ちます。

設定できるレベルは、**LOW**、**MID - LOW**、**MID**、**MID - HIGH**、**HIGH**です。設定を解除するときは**OFF** (*) にタッチします。



メモ

本機能が働いて音量が上がりすぎたとき、音が歪むことがあります。その場合は、音量を調整してください。

ソースレベルアジャスター

AVソースを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にした各AVソースの音量差を設定します。

操作領域にタッチして、音量の差を調整します。

-4 ~ 0 (*) ~ +4の範囲で調整できます。

▲ / ▼ にタッチしても調整できます。

メモ

- FMの音量を基準に他のAVソースとの音量を調整するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定できません。
- CD録音中は、ソースレベルアジャスターを設定できません。
- AVソースごとに登録できますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - CD、ROM-Audio、ROM-Video
 - DVD-Video、DVD-VR
 - AM、交通情報
 - MSV/SD、CD（録音中の場合）
 - USB
 - ドライブレコーダー

ミュート設定

ナビゲーションの音声案内時などに、聞いているAVソースの音量を設定します。

OFF 設定をOFFにします。

ATT * 音量が-10 dB減衰します。

Mute 音量を0にします。

タイムアライメント

各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を設定します。音声の到達時間を補正して音像の定位や全体的なバランスを調整します。

この設定は、リスニングポジションを「フロントL」もしくは「フロントR」に設定しているときに調整が可能です。

各スピーカーの **☑** または **☒** にタッチして設定します。タッチするたびに、スピーカーからの距離が0 cm ~ 350.0 cmの間で2.5 cm単位で切り換わります。

TA ON / TA OFF タイムアライメント強制OFF設定を有効/無効にします。

スピーカー出力レベル

各スピーカーからの出力レベルを設定します。

各スピーカーの **☑** または **☒** にタッチして設定します。タッチするたびに、-24 dB ~ 0 (*) ~ +10 dBの間で切り換わります。

カットオフ

ハイパスフィルター（HPF）のカットする起点となる周波数を選択します。このときに選択する周波数を、カットオフ周波数と呼びます。またそのカットの緩急を傾斜（スロープ）で設定します。ある周波数から下の音域をカットし、上の音域を出力するフィルターをハイパスフィルター（HPF）と呼びます。

1 <または>にタッチします

タッチするたびに、調整するスピーカーがフロント⇄リアと切り換わります。

2 HPFにタッチします

タッチするたびにON/OFFが切り換わります。

3 周波数カーブをドラッグします

各スピーカーのカットオフ周波数とスロープを調整します。

その他

ライブインフォ 252	ドライブレコーダー 282	地上デジタルテレビ 306
ライブインフォ通知画面の 見かた 252	ドライブレコーダー使用時 のお願い 282	iPod 307
ライブインフォ情報画面の 見かた 252	ドライブレコーダーで使用 できるSDメモリーカード 283	ドライブレコーダー 307
通知キーを使う 253	microSD カードの 取り扱いについて 283	リセット 309
音声再生を行う 253	階層について 283	センサー学習状況のリセット 309
ライブインフォの設定を行う 253	記録できるファイル数 について 284	ナビゲーションのしくみ ... 310
ライブインフォ通知を確認する 255	各部の名称とはたらき (ドライブレコーダー) 284	現在地がわかるしくみ 310
過去のライブインフォ情報 を確認する 255	microSD カードの出し入れ 285	測位の精度を高めるための しくみ 310
カスタム機能 257	ドライブレコーダーの設定 を行う 285	誤差 311
カスタムメニューダイレク トを設定する 257	録画・撮影する 288	その他の情報 313
カスタムボタンを使う 257	撮影したファイルを再生・ 保存する 289	検索におけるデータベース 313
ETC2.0 ユニット 259	撮影した映像ファイルを 操作する 290	ルートに関する注意事項 313
5.8 GHz VICS サービス 259	撮影した静止画ファイルを 操作する 291	VICS 情報に関する注意事項 315
5.8 GHz VICS 情報を 受信したとき 260	撮影したファイルを個別に 消去する 292	シティマップ (詳細市街地 図) 収録エリア 315
ETC サービスの利用 260	リスト内のファイルを まとめて消去する 292	阪神高速道路株式会社から のご連絡 317
アップリンク機能を設定する 261	パソコンでの再生について 292	収録データベース 318
ETC ユニット 262	故障かな?と思ったら ... 293	再生できるファイルと メディアの種類 321
ETC 関連の情報案内 262	共通項目 293	共通 321
ETC 利用履歴を確認する 262	ナビゲーション 294	MP3 321
ETC 起動時音声案内を 設定する 263	携帯電話 (ハンズフリー) 295	WMA 322
ETC カード有効期限切れ通知 263	オーディオ共通項目 296	WAV 322
携帯電話 (ハンズフリー) ... 264	FM/AM 296	AAC 322
ハンズフリー通話を 使用するには 264	DVD 297	FLAC 323
ハンズフリー通話時の音量調整 264	CD、ROM (WMA/MP3/ AAC) 298	JPEG 323
電話を受ける 264	MSV/SD (ミュージックサーバー) 298	オーディオおよびビデオ ファイルの互換性 323
通話中メニューの操作 265	地上デジタルテレビ 299	取り扱い上のご注意 325
電話のかけたかた 265	SD/USB 300	液晶画面の正しい使いかた 325
携帯電話を切り換える 267	iPod 301	ディスクの正しい使いかた 325
プリセットダイヤルに登録する 267	Bluetooth Audio 301	使用できないディスクについて 326
プリセットダイヤルを消去する 268	ドライブレコーダー 301	再生できないディスクについて 326
電話帳を読み込む 268	メッセージと対処方法 ... 302	DVD に表示されている マークの意味 327
電話帳を消去する 269	共通項目 302	ディスクの操作 327
電話帳と発信履歴を自動 更新する 271	ナビゲーション 302	SD カードに関するご注意 327
発信履歴を消去する 271	渋滞情報 302	USB 機器に関するご注意 327
バックモニター 273	通信 303	iPod に関するご注意 328
バックモニターを設定する 273	Bluetooth 303	保証について 328
バックモニターの映像を 表示する 275	Wi-Fi 303	電波に関するご注意 329
バックモニターの映像を 解除する 275	SD カード 304	仕様 330
ノーマルカメラを使う 276	USB 304	ナビゲーション本体 330
3 モードカメラを使う 277	携帯電話 304	ドライブレコーダー本体 331
パノラマモニターを使う 278	音楽ディスク 305	VICS 情報有料放送 サービス契約約款 332
後席モニター 280	映像ディスク 305	Gracenote® について ... 333
後席モニターに表示する 映像を設定する 280	MSV/SD (ミュージックサーバー) 306	商標・著作権など 335
リアクルーズモードの設定を行う 281		索引 338
		キーワード 338
		タッチキー / ファンクションキー 341

ライブインフォ

Live Infoメニュー画面には、本機や専用サーバー、iPhoneやスマートフォンのアプリから取得した情報が表示されます。

ライブインフォ通知画面の見かた

通知タイトル
タイトルが表示されます。

履歴保存日時
通知情報を保存した日時を表示します。

通知情報
通知情報が表示されます。表示内容は通知の種類によって異なります。

音声再生キー
通知情報を音声再生します。

通知キー
通知情報が表示されます。通知の種類によってボタンの機能が変わります。

ライブインフォ情報画面の見かた

フィルタ
履歴が複数ある場合は、フィルタを設定して表示する項目を限定することができます。

簡易履歴リスト
簡易履歴を確認することができます。リストをタッチすると詳細履歴が確認できます。

詳細履歴リスト
詳細履歴を確認することができます。履歴の種類によって、操作できる内容が異なります。

メモ
フィルタに一部の項目が表示されない場合があります。

表示できる項目は以下のとおりです。

- 全て
- 新着
- お知らせ
- ウェルカムメッセージ
- 交通情報
- パーキングウォッチャー
- スポットウォッチャー
- 目的地の天気予報
- 地図更新

通知キーを使う

ライブインフォ通知に表示されているキーをタッチすると、通知内容に適した機能が使えます。

メモ

通知内容によってキーが表示されない場合があります。

1 通知キーにタッチします



- **お知らせ**
ライブインフォ履歴画面を表示します。
- **ウェルカムメッセージ**
ライブインフォ通知を一時停止します。
停止時間は約6時間です。
- **渋滞情報**
ナビゲーション画面を表示します。
- **規制情報**
ナビゲーション画面を表示します。
- **スポットウォッチャー**
トラフィックスポットの周辺検索リスト画面を表示します。
- **パーキングウォッチャー**
駐車場満空情報の検索画面を表示します。
- **地図更新**
ライブインフォ履歴画面を表示します。

音声再生を行う

ライブインフォ通知を音声で再生します。

メモ

通知内容によってキーが表示されない場合があります。

1 音声再生キーにタッチします



ライブインフォの設定を行う

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3 田→ライブインフォ設定にタッチします



4 設定したい項目にタッチし、設定を変更
します



5 設定が終わったら✕にタッチします



■ 設定内容の詳細

*は工場出荷時の設定です。

ライブインフォ使用設定

ライブインフォのON(*)/OFFを設定します。

AV画面への割り込み設定

通知内容のAV画面への割り込み表示のON(*)/OFFを設定します。

通知種別設定

通知内容別に通知のON(音あり)(*)/ON(音なし)/OFFを設定します。

ウェルカムメッセージ

本機を起動したときにあいさつをします。

交通情報

渋滞情報や規制情報を受信したときに通知を行います。

スポットウォッチャー

走行中のルート前方にスポットウォッチャー画像を受信したときに通知を行います。

パーキングウォッチャー

満空検索対象の駐車場を目的地に設定している場合や、目的地駐車場の満空情報が変化したときに通知を行います。

目的地の天気予報

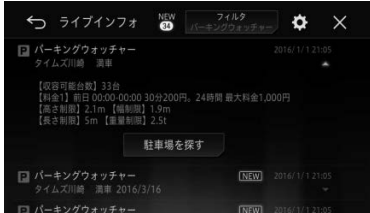
ルート案内開始時に、天気情報の通知を行います。目的地に設定した予想到着時刻の天気情報が通知されます。

地図更新

地図更新データの更新情報を受信したときに通知を行います。

ライブインフォ通知を確認する

現在地またはAVソース画面表示中にライブインフォ通知を受信するとメッセージが表示されます。



表示内容は通知の種類によって異なります。

過去のライブインフォ情報を確認する

過去の通知情報を確認できます。

メモ

履歴の保存件数は最大100件です。

■現在地またはAVソース画面

1 ライブインフォ通知にタッチします



タッチした通知の履歴情報がある場合は、詳細情報を表示します。

■ Live Infoメニュー

1  ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 画面を左右にフリックしてLive Infoメニュー画面を表示します

3 確認したい情報にタッチします



タッチした通知の履歴情報がある場合は、詳細情報を表示します。

■ AV・本体設定

1  ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3  ライブインフォ情報にタッチします




簡易情報を表示します。

カスタム機能

よく使う機能をカスタムボタンに設定して、すばやく実行できます。

カスタムメニューダイレクトを設定する

本機の  ボタンに、あらかじめ用意されたカスタムメニューのなかから機能を1つ割り当てることができます。

1  ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **AV・本体設定** にタッチします




3  **カスタム設定** にタッチします



4 設定したい機能にタッチします




選んだ機能が  ボタンに割り当てられます。

カスタムボタンを使う

カスタムメニューダイレクト、カスタムリストを使って機能を実行します。

■カスタムメニューダイレクトを使う

工場出荷時は「ミュート ON/OFF」です。

1  ボタンを押します
設定された機能が実行されます。

■カスタムリストを使う

1  ボタンを長く押します

2 使用したい機能にタッチします






その他

■カスタム設定できる機能 (コマンド)一覧

カスタムダイレクトに設定できる機能は、以下のとおりです。

- 自宅へ帰る
- フリーワード音声検索
- ログマーク ON/OFF
- 音声案内 ON/OFF
- ミュート ON/OFF
- AVソース切換
- TVに切換
- リアクルーズメニュー
- 設定なし

メモ

- 「自宅へ帰る」を設定している場合、探索されるルートは1本となります。探索が終了すると自動的にルート案内が開始されます。
- パノラマモニター搭載車では、 ボタンを押すと、設定にかかわらずパノラマモニターの映像に切り換わります。
- ドライブレコーダーが接続されているときに  ボタンを押すと、設定にかかわらずドライブレコーダーの手動録画が開始されます。
- パノラマモニターとドライブレコーダーの両方が接続されているときは、 ボタンを押すとパノラマモニターの映像に切り換わります。

ETC2.0ユニット

別売の**ダイハツHE** ETC2.0ユニットを接続すると、ETC機能に加え、ETC2.0サービスの利用および取得した情報の案内などが可能になります。

メモ

- ETC2.0の概要およびETC2.0サービスの詳細については、ETC2.0ユニットの取扱説明書をご覧ください。
- 本機は、料金決済サービス (ICクレジットカード決済)、情報接続サービス (地域観光情報など) には対応しておりません。
- ETC2.0ユニットとETCユニットは同時に接続できません。
- ETC2.0ユニットにETCカードやICカードを挿入すると、「ETCカードを認証しました。」というメッセージで案内します。

5.8 GHz VICSサービス

5.8 GHz VICSサービスはETC2.0サービスの主要なサービスの1つで、主に高速道路上において提供されます。

5.8 GHz VICSサービスでは、従来のレベル1からレベル3に加えて、静止画像や音声の情報が提供されます。ドライバーは次の情報を利用できます。

■安全運転支援情報

- 前方障害物情報
 - 渋滞末尾情報
 - 前方状況情報 (画像/音声)
- など

■道路交通情報 (ダイナミックルートガイダンス)

従来のVICS情報よりも広域の情報が提供され、高速道路を使った遠距離走行での走行ルート選択がしやすくなります (ダイナミックルートガイダンス)。

- 道路交通情報
 - 前方情報 (ハイウェイラジオ)
 - カーナビゲーションのルート探索に利用する渋滞情報
- など

メモ

5.8 GHz VICS情報を即時表示するには、ビーコン即時表示設定を「文字・図形・音声」にしてください。

➔P129の「ビーコン即時表示」

5.8 GHz VICS情報を受信したとき

5.8 GHz VICS情報を受信すると、次のように動作します。

■案内情報を受信したとき

案内情報（一般情報 / 優先情報 / 最優先情報）を受信すると、自動的に画面や音声で案内します。

表示例：



メモ

- ビーコン即時表示が「文字・図形・音声」に設定されていない場合は、自動表示されません。
→P129の「ビーコン即時表示」
- 受信した情報に再生条件（走行方位、サービス速度、有効距離など）が設定されている場合、再生条件を満たしていないと即時案内されない場合もあります。また、指定された場所まで移動すると表示される情報もあります。さらに、ナビゲーションの他の機能が優先され即時案内されない場合や案内を中断する場合もあります。
- 受信する情報は、図形情報または静止画像、文字情報、音声情報があります。2種類以上の情報を受信した場合、図形情報→文字情報→音声情報の優先順位で表示されます。音声情報を含む図形情報または静止画像、文字情報の場合には、図形情報または静止画像、文字情報を表示しながら音声も再生します。
- 受信した情報（即時案内で表示されなかった情報を含む）は、後から確認できます。
→P101の「ビーコン情報を表示・再生する」

■渋滞情報を受信したとき

受信した渋滞情報は、VICSレベル3表示、渋滞考慮ルート探索、ルートアドバイザーなどに使用されます。

メモ

VICS レベル3 情報提供時刻表示は、Bマークで表示されます。

ETCサービスの利用

ETCカードまたはETC一体型クレジットカードを挿入すると、ETCサービスを利用できます。

→P262の「ETCユニット」

アップリンク機能を設定する

5.8 GHz VICSサービスにおいて提供される情報の作成や道路管理などの目的で、個人情報にはあたらない範囲で、本機やETC2.0ユニット、車両の情報が通信で路側機に送信され、道路事業者などの道路管理者に提供されることがあります。この機能が活用されることにより、より充実した道路交通情報や安全運転支援情報の提供などサービス向上が期待されています。なお、走行履歴や挙動履歴など一部の情報については本機能をONすることにより送信されます。提供される情報および本機能をONにすることにより送信される情報については、『ETC2.0ユニットの取扱説明書』の道路管理者からのお知らせとお願いをご覧ください。

1  ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3  ETC/ETC2.0設定にタッチします



4 ETC2.0アップリンク機能設定にタッチします



タッチするたびにON/OFFが切り換わります。

ETCユニット

別売の**DAIHATSU** ETCユニットを接続すると、ETCサービスを利用できます。また、ETCに関連する情報案内やETC利用履歴を表示できます。

ETC関連の情報案内

次のような情報が案内されます。

■ ETC車載器関連音声案内

“ETC車載器がセットアップできていません。”
“ETC車載器に異常が検出されました。”

■ ETCカード・エラー関連音声案内

“ETCカードを認証しました。”
“ETCカードを確認してください。”
“ETCが登録されていません。”
“ETCカードが取り出されました。”
“ETCカードが挿入されていません。”

■ ETCカード有効期限切れ関連音声案内

“ETCカードの有効期限は今月末です。ETCカードを確認してください。”
“ETCカードの有効期限が切れています。ETCカードを確認してください。”

■ 予告ビーコン通過時音声案内

“ETCが利用可能です。”
“ETCが利用できません。”
“ETCが利用可能です。速度を落としてお進みください。”
“ETCが利用できません。徐行してください。”
“ETCが利用できません。係員の指示に従ってください。”

■ 料金所通過時音声

“料金は〇〇円でした。”
“ETC利用料金が〇〇円割引されました。”
“料金は登録されていません。”

メモ

- 料金所通過時は、現在地画面にETC利用料金が表示されます。

ETC利用履歴を確認する

ETCカードに記録された利用履歴データを表示できます。履歴は、新しいものから最大100件表示できます。

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3 ①→ ETC利用履歴にタッチします



ETC利用履歴が表示されます。

メモ

利用履歴画面に表示されるICやランプなどの施設名称は正しく表示されない場合や、IC番号で表示される場合があります。

ETC起動時音声案内を設定する

工場出荷時は「ON」です。

1 ■ボタンを押し、HOME画面を表示します

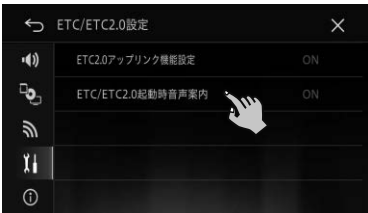
2 AV・本体設定にタッチします



3 ■→ ETC/ETC2.0設定にタッチします



4 ETC/ETC2.0起動時音声案内にタッチします



タッチするたびにON/OFFが切り換わります。

ETCカード有効期限切れ通知

本機に接続した別売のETCユニットまたは、ETC2.0ユニットにETCカードが挿入された場合、ETCのカード情報により、メッセージ表示と音声案内が行われます。

■通常時の例

メッセージ	ETCカードを認証しました。 ETCカード有効期限：20〇〇年〇〇月
音声案内	ETCカードを認証しました。

■有効期限切れが当月の場合の例

メッセージ	ETCカードの有効期限は今月末です。カードを確認してください。
音声案内	ETCカードの有効期限は今月末です。ETCカードを確認してください。

■有効期限がすでに切れている場合の例

メッセージ	ETCカードの有効期限が切れています。ETCカードを確認してください。
音声案内	ETCカードの有効期限が切れています。ETCカードを確認してください。

携帯電話（ハンズフリー）

本機に携帯電話をBluetooth接続すると、ハンズフリー通話を行えます。

△注意

安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。やむを得ず走行中に通話をする場合は、周りの安全を十分に確認して通話は手短に済ませてください。

メモ

- 通話環境によって、ノイズやエコー（残響音）が発生する場合があります。音声を聞き取りやすくするために、相互に送話および受話音量を調整してください。また、（➡P293の「故障かな？と思ったら」）もご覧ください。
- ハンズフリー通話を快適に利用するために、車の窓を閉めたり、エアコンの送風量を抑えるなどの配慮をお願いします。
- ハンズフリー通話を行う際には、音声認識用マイクに向かって大きな声ではっきりと話してください。

ハンズフリー通話を使用するには

Bluetoothに対応した携帯電話が必要です。また、事前に携帯電話を本機に登録しておく必要があります。詳しくは（➡P140の「Bluetooth対応端末の登録（ペアリング）」）をご覧ください。

メモ

- 通話中は、通話中メニューが表示され、マイク感度（送話音量）を調整できます。
- Bluetooth機能に対応した携帯電話でも、機種によっては本機との接続に制限がある場合があります。

ハンズフリー通話時の音量調整

受話音、発着信音は、その音声が出力されている間は **[-]** **[+]** ボタンで音量調整ができます。

電話を受ける

電話がかかってくると、電話の着信を案内するメッセージが表示され、着信案内の音が流れます。

1 電話を着信したら、 にタッチします



電話がつながり、通話中メニューが表示されます。

メモ

- 電話帳に登録済みの電話番号と一致すると、電話帳に登録された名称が表示されます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況により、発信者の電話番号や名前が表示されないことがあります。
- データ通信とハンズフリー通話の同時使用が可能な機種では、Bluetoothを使用したデータ通信時に着信があった場合、次のいずれかが行われます。(ご使用の電話機によって動作が異なります。)
 - － ナビゲーション本体は着信動作になる(データ通信も並行して行える)
 - － ナビゲーション本体は着信動作になる(データ通信は通話終了までできない)
 - － ナビゲーション本体は着信動作になる(データ通信は強制終了する)
 - － ナビゲーション本体で着信が検知できない(携帯電話本体で着信音が鳴る)
- 携帯電話のボタンを押して電話に出ることもできますが、携帯電話によりハンズフリー通話ができない場合もあります。
- AVソースのBluetooth Audioを使用中に電話がかかってきた場合、Bluetooth Audioの再生が一時中断されます。
- Bluetooth接続した携帯電話を2台接続している場合、使用機器に設定されていない携帯電話では発信はできませんが、着信を受けたり通話したりすることができます。

通話中メニューの操作

通話中は、通話中メニューが自動的に表示され、マイク感度(送話音量)の調整やハンズフリーのON/OFF、電話を切る操作ができます。



ダイヤル画面を表示します。

ハンズフリー

ハンズフリー機能をON/OFFします。携帯電話機で通話したいときは、OFFにします。

マイク感度

マイクの感度(送話音量)を調整します。自分の声が反響していると感じた場合に調整してください。



電話を受けます。




電話を切ります。



HOME画面または走行画面表示時に通話中メニューを一時的に消すことができます。

メモ

- 通話中メニューを一時的に消した場合は、にタッチすると再度通話中メニューを表示できます。
- 携帯電話で電話を切ることもできます。
- ハンズフリー機能をOFFにすると、携帯電話機能が使用できなくなる場合があります。

電話のかけかた

いろいろな方法で電話をかけられます。携帯電話を直接操作しても電話できます。

■プリセットダイヤルから電話をかける

よくかける電話番号を本機に登録しておくとして簡単に電話をかけることができます。

メモ

プリセットダイヤルの設定方法は、(➡P267の「プリセットダイヤルに登録する」)をご覧ください。

1 → 相手先にタッチします



電話番号を入力して電話をかける

1 → 電話番号を入力し、 にタッチします



メモ

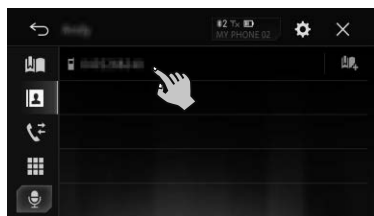
携帯電話でダイヤルすることもできます。(携帯電話によっては、ハンズフリーにならない場合があります。)

電話帳を呼び出して電話をかける

1 → 相手先にタッチします



2 かけたい番号にタッチします



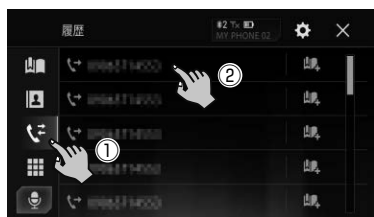
メモ

- 電話帳は、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り換えると、表示される電話帳の内容も切り換わります。
- 電話帳の読み込み方法は、(→P268の「電話帳を読み込む」)をご覧ください。

発着信履歴から電話をかける

本機と携帯電話を接続していたときの発信履歴、着信(不在着信含む)履歴を表示し、電話をかけられます。

1 → かけたい番号にタッチします



Siriを使って電話をかける

iPhoneのSiriを使って音声認識用マイクに話しかけることで、電話をかけたい相手を選ぶことができます。

メモ


- 本機能はiPhoneの「iOS5.1以降」に対応しています。最新の動作確認機種については、販売店にお問い合わせください。
- iOSのバージョンが6.0以上の場合、Siriの動作モードがEyes Free Modeになります。

- 1 iPhoneを本機とBluetooth接続します
iPhoneを本機に登録していない場合は、登録を行ってください。
➔P140の「Bluetooth対応端末の登録(ペアリング)」

- 2 電話画面を表示します
詳しくは(➔P31の「メニュー画面を切り換える」)をご覧ください。

- 3  にタッチします



- 4  マークが表示されたら、音声認識用マイクに向かって発話します

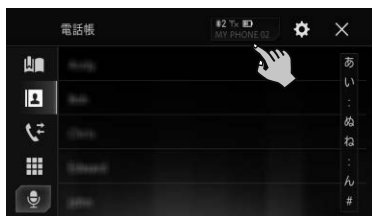


音声が入り込まれ、内容に合わせてSiriが動作します。

携帯電話を切り換える

携帯電話をハンズフリープロファイル(ハンズフリー+通信、ハンズフリー)で2台接続した場合、メニュー画面の上側のタッチキーで機器の切り換えができます。


- 1 切り換えボタンにタッチします



- 2 切り換えたい携帯電話にタッチします



メモ

- 切り換えられる携帯電話は、Bluetoothの設定(➔P144の「接続機器の切り換えと、Bluetooth機器の接続プロファイルを設定する」)で「ハンズフリー1(電話+通信)」「ハンズフリー2(電話のみ)」に登録した携帯電話です。
-  にタッチするとBluetooth設定画面(➔P144の「接続機器の切り換えと、Bluetooth機器の接続プロファイルを設定する」)が表示されます。

プリセットダイヤルに登録する

携帯電話に登録されている電話帳や発着信履歴から登録して、プリセットダイヤル機能を使用できます。

メモ

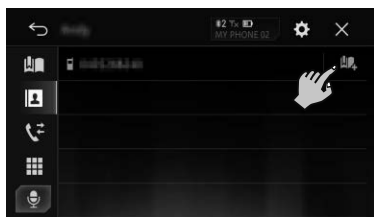
プリセットダイヤルには、6件まで登録できます。

■電話帳から登録する

1 1 → 相手先にタッチします



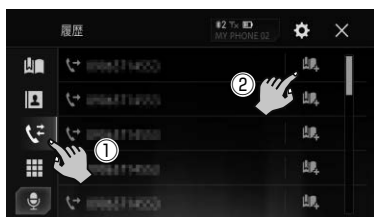
2 登録したい番号の 1 → にタッチします



登録が完了します。

■発着信履歴から登録する

1 1 → 登録したい番号の 1 → にタッチします



登録が完了します。

プリセットダイヤルを消去する

不要になったプリセットダイヤルを消去できます。

1 1 → 消去したい相手先の 1 → にタッチします



2 はい にタッチします



電話帳を読み込む

携帯電話に登録されている電話帳を本機に読み込んで、電話帳として利用できます。

1 携帯電話を本機とBluetooth接続します

携帯電話を本機に登録していない場合は、登録を行ってください。

→ P140の「Bluetooth対応端末の登録(ペアリング)」

2 1 → ボタンを押し、HOME画面を表示します

3 AV・本体設定にタッチします



4 Bluetooth設定にタッチします



5 電話設定にタッチします



6 電話帳にタッチします



7 読み込みにタッチします



読み込みが完了します。

メモ

- 携帯電話の操作が必要な場合があります。
- すでに電話帳が読み込まれていると、読み込み方法を選択する場合があります。OPP接続に対応した携帯電話の場合、**上書き読み込み**または**追加読み込み**から選択してください。
- PBAP接続に対応した携帯電話の場合、**読み込み**にタッチした時点で、携帯電話側の操作なしで本機に電話帳が読み込まれます。使う携帯電話により、自動で全件転送(上書き)されます。また、使う携帯電話によりアクセス許可を認めるかの表示が携帯電話側に表示されることもあります。
- 保存される情報の種類や文字数、メモリ件数は、携帯電話によって異なります。
- 使う携帯電話により、携帯電話のシークレット機能により登録された電話帳も読み込まれます。
- 携帯電話の局番号も電話帳と同時に読み込まれる場合があります。
- 1台の携帯電話から読み込める電話帳の最大件数は1000件です。
- 1件につき5つの電話番号まで保存可能です。
- 読み込んだ電話帳は編集できません。
- 登録した携帯電話によっては、電話帳の読み込みに制限がある場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

電話帳を消去する

不要になった電話帳を消去できます。

- 1 携帯電話を本機とBluetooth接続します
携帯電話を本機に登録していない場合は、登録を行ってください。
➡P140の「Bluetooth対応端末の登録(ペアリング)」

- 2 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

3 AV・本体設定にタッチします



4 Bluetooth設定にタッチします



5 電話設定にタッチします



6 電話帳にタッチします



7 消去にタッチします

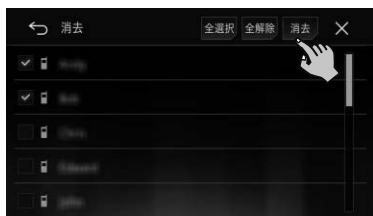


8 消去したいデータにタッチします

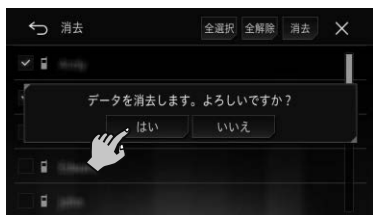


選んだデータにチェックマークが付き、引き続き選択できます。**全選択**にタッチすると、すべて選択できます。**全解除**にタッチすると、すべての選択を解除できます。

9 消去にタッチします



10 はいにタッチします



メモ

- 本機に読み込み済みの電話帳が消去されません。接続した携帯電話側の電話帳は消去されません。
- 消去可能な電話帳は、現在本機に接続中の携帯電話から読み込んだもののみです。接続する携帯電話を切り換えると、消去可能な電話帳の内容も切り換わります。

電話帳と発着信履歴を自動更新する

通話開始時に電話帳と発着信履歴を自動更新できます。

1 携帯電話を本機とBluetooth接続します

携帯電話を本機に登録していない場合は、登録を行ってください。

➔P140の「Bluetooth対応端末の登録(ペアリング)」

2 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

3 AV・本体設定にタッチします



4 Bluetooth設定にタッチします



5 電話設定にタッチします



6 電話帳/履歴自動転送設定にタッチします



タッチするたびにON/OFFが切り換わります。

発着信履歴を消去する

発信履歴、着信履歴、不在着信履歴情報を消去できます。

1 携帯電話を本機とBluetooth接続します

携帯電話を本機に登録していない場合は、登録を行ってください。

➔P140の「Bluetooth対応端末の登録(ペアリング)」

2 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

3 AV・本体設定にタッチします



4 Bluetooth設定にタッチします



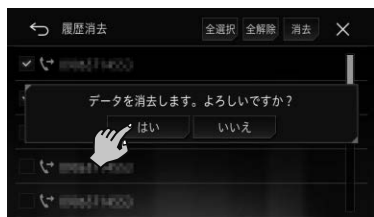
8 消去にタッチします



5 電話設定にタッチします



9 はいにタッチします



6 履歴消去にタッチします



メモ

- 現在接続中の携帯電話の発着信履歴のみ消去できます。
- 携帯電話の登録が消去された場合は、その携帯電話を使用したときの発着信の履歴も自動的に消去されます。

7 消去したいデータにタッチします



選んだデータにチェックマークが付き、引き続き選択できます。**全選択**にタッチすると、すべて選択できます。**全解除**にタッチすると、すべての選択を解除できます。

バックモニター

本機に**タイプM**バックモニター（一部の車両に装着）を接続して、車の後方の映像を画面に表示できます。カメラの機能の違いによって、ノーマルカメラ、3モードカメラ、パノラマモニターの3種類があります。

△注意

- バックモニターの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。バックモニターの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- バックモニターが映し出す範囲には限界があります。またバックモニターの画面上に表示される車幅・距離ガイド線は、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。（3モードカメラとパノラマモニターのガイド線（予測）はハンドルの舵角に連動して表示され、ガイド線（固定）は直線で表示されます。）
- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。
- 設定は車の移動や停車を伴います。周囲の安全、交通法規に注意してください。

バックモニターを設定する

バックモニターに関する設定を行います。バックモニターをお使いになる前に設定を行ってください。

1 **田**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **AV・本体設定**にタッチします



3 **カメラ設定**にタッチします



4 設定したい項目にタッチし、設定を変更します

パノラマモニターを接続した場合



設定項目によって操作方法が異なります。

5 設定が終わったら **✕** にタッチします



その他

■設定内容の詳細

*は工場出荷時の設定です。

バックモニター（パノラマモニター）ON/OFF

- ON** 本機にバックモニター（パノラマモニター）（一部の車両に装着）を接続した場合に設定します。
- OFF** * 本機にバックモニター（パノラマモニター）（一部の車両に装着）を接続していない場合、または一時的にバックモニターを使用しない場合に設定します。

△注意

バックモニター設定を初期化した場合（⇒P168）は「OFF」に設定されます。バックモニターを取り付けている場合は、再度「ON」にしてください。

カメラ画質調整

バックモニターの画質を調整します。

調整したい項目にタッチし、**■**または**■**にタッチします。

▲または**▼**にタッチすると調整項目を変更できます。

コントラスト コントラストを調整できます。

色の濃さ 色の濃淡を調整できます。

色合い 色調を調整できます。

明るさ 明るさを調整できます。

色温度 暖色系や寒色系など色温度を調整できます。

メモ

- 「バックモニター（パノラマモニター）ON/OFF」が「ON」になっていないと、設定できません。
⇒P274の「バックモニター（パノラマモニター）ON/OFF」
- 走行中は操作できません。
- 「色温度」は、LEDバックライトの経年劣化などの理由で、本機のモニターに表示中の映像と実際の映像の色味に誤差が生じた場合などに調整します。
- 「コントラスト」と「明るさ」の設定は、昼と夜で別々に設定登録できます。
- 車のライトに連動して昼と夜の設定を自動で切り換えます。

●ノーマルカメラの場合（一部の車両に装着）

カメラガイド線表示設定

- ON** バックモニターの映像表示中にカメラガイド線を表示します。
- OFF** * バックモニターの映像表示中にカメラガイド線を表示しません。

目安線表示

- ON** * バックモニターの映像表示中に目安線を表示します。
- OFF** バックモニターの映像表示中に目安線を表示しません。

●3モードカメラまたはパノラマモニターの場合（一部の車両に装着）

ガイド線（固定）設定

- ON** バックモニターの映像表示中にガイド線（固定）を表示します。
- OFF** バックモニターの映像表示中にガイド線（固定）を表示しません。

ガイド線（予測）設定

- ON** バックモニターの映像表示中にガイド線（予測）を表示します。
- OFF** バックモニターの映像表示中にガイド線（予測）を表示しません。

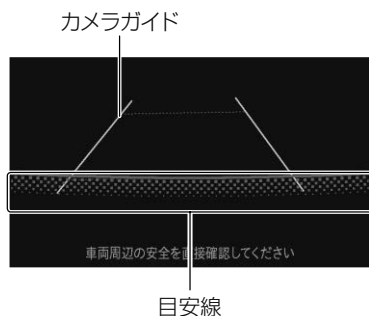
バックモニターの映像を表示する

後退中は、バックモニターの映像が表示されます。

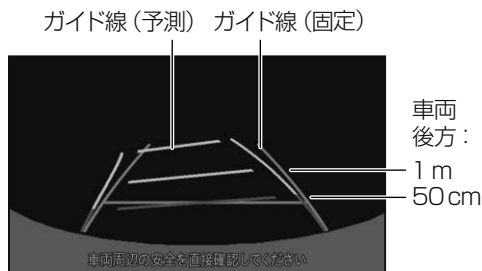
- 1 シフトレバーをR(リバース)の位置にします

バックモニターの映像が表示されます。

ノーマルカメラ

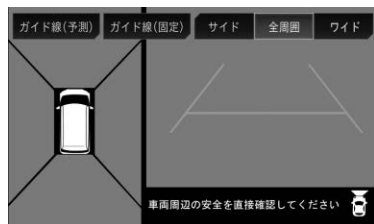


3モードカメラ




名称	色	機能説明
ガイド線(予測)	赤	ハンドル位置に連動した車両進行軌跡を示したガイド線
ガイド線(固定)	黄	ハンドルがセンター位置にあるときの車両進行軌跡を示したガイド線

パノラマモニター



メモ

- 画像はイメージです。
- ノーマルカメラまたは3モードカメラの場合は、ナビゲーションを起動してすぐにシフトレバーをR(リバース)に入れると、カメラ映像のみが表示され、ガイド線の表示や「車両周辺の安全を直接確認してください。」のメッセージは表示されません。これらの表示やメッセージは少し遅れてカメラ映像上に表示されます。メッセージが表示される前も車両周辺を直接確認してください。
- ノーマルカメラの目安線は表示しないように設定できます。
→ P274の「目安線表示」
- パノラマモニターの場合は、 ボタンを押しても映像を表示できます。

バックモニターの映像を解除する

- 1 シフトレバーをR(リバース)以外の位置にします

バックモニターの映像が解除されます。

ノーマルカメラを使う

ノーマルカメラ搭載車では、車の後方の映像を本機のモニター画面で確認できます。

メモ

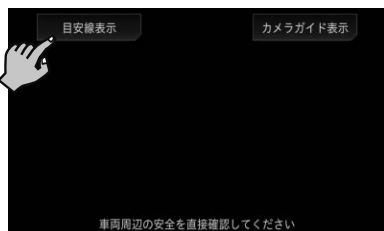
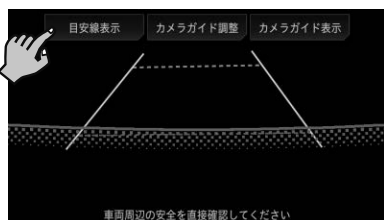
ノーマルカメラは一部の車両にのみ装着されております。

目安線またはカメラガイドの表示を設定する

1 バックモニターの映像表示中に画面にタッチします

2 目安線表示またはカメラガイド表示にタッチします

タッチするたびに目安線またはカメラガイドの表示/非表示が切り換わります。



カメラガイドを調整する

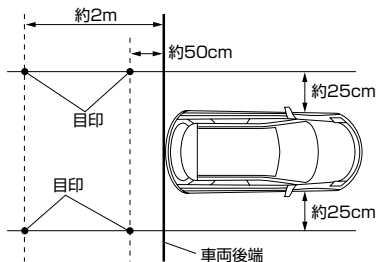
注意

- カメラガイドを調整する際には、車を安全な場所に停車して行ってください。
- 車を降りて目印を付ける際には、必ず車のキースイッチをOFFにしてエンジンを停止してください。

メモ

バックモニターの装着位置により、カメラガイドがナビゲーション画面内に収まらない場合があります。

1 車両の幅+両側約25 cm、車両後端から後ろ側へ+約50 cmと+約2 mの位置にガムテープなどで目印をつけます

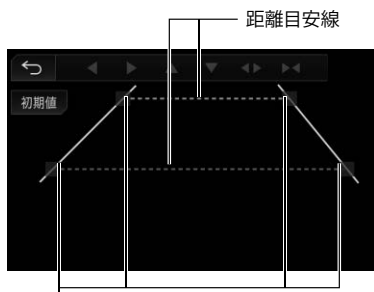


2 停止中にカメラガイド調整にタッチします

あらかじめカメラガイドを表示しておいてください。

➔P274の「カメラガイド線表示設定」

3 調整ポイントや距離目安線をドラッグして、位置を調整します



調整ポイント

● 調整ポイント

上下左右にドラッグして位置を調整します。

● 距離目安線(横破線)

上下にドラッグして位置を調整します。また、ピンチイン/ピンチアウトで幅を調整します。

メモ

- バックモニターが映し出す範囲は、バックモニターの取り付け位置と取り付け向きによって変わります。このため、片方のポイントがナビゲーション画面の端に位置して、本書の記載のとおり調整できない場合があります。できるだけ、バックモニターを車両中央に近く低すぎない位置に取り付けてください。
- 調整ポイントにタッチし、///にタッチしても位置を調整できます。
- 距離目安線にタッチすると、/にタッチして両端の調整ポイントを同時に調整できます。
- 初期値にタッチすると、カーソル位置を初期値に戻せます。

3モードカメラを使う

3モードカメラ搭載車では、車の後方をノーマル、トップ、ワイドの3つのモードを切り換えて、本機のモニター画面で確認できます。

メモ

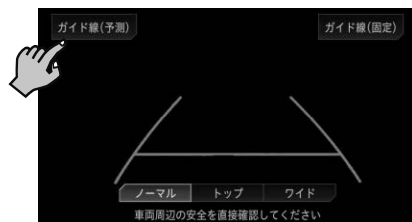
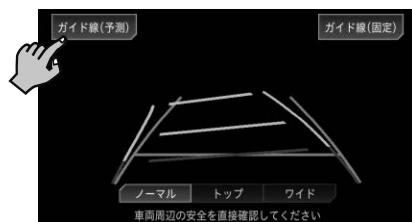
3モードカメラは一部の車両にのみ装着されております。

■ガイド線(予測)またはガイド線(固定)の表示を設定する

1 バックモニターの映像表示中に画面にタッチします

2 **ガイド線(予測)**または**ガイド線(固定)**にタッチします

タッチするたびにガイド線(予測)またはガイド線(固定)の表示/非表示が切り換わります。

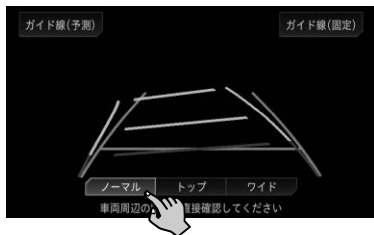


その他

■見る方向(ビュー)を切り換える

1 バックモニターの映像表示中に画面にタッチします

2 ノーマル、トップ、またはワイドにタッチします



タッチした方向(ビュー)の映像に切り換わります。

パノラマモニターを使う

パノラマモニター搭載車では、車の後方と真上から見る全周囲モード、車の後方と左前方を見るサイドモード、車の後方を広角で見るワイドモードの3つのモードを切り換えて、本機のモニター画面で確認できます。

メモ

パノラマモニターは一部の車両にのみ装着されております。

■ガイド線(予測)またはガイド線(固定)の表示を設定する

1 バックモニターの映像表示中に画面にタッチします

2 ガイド線(予測)またはガイド線(固定)にタッチします

タッチするたびにガイド線(予測)またはガイド線(固定)の表示/非表示が切り換わります。



■見る方向(ビュー)を切り換える

1 バックモニターの映像表示中に画面にタッチします

2 サイド、全周囲、またはワイドにタッチします



タッチした方向(ビュー)の映像に切り換わります。

■前方の映像を映す

メモ

あらかじめ時速約10 km以下に減速してください。

1 **NAVI**ボタンを押して現在地画面を表示します

2 **カメラ**にタッチします



前方の映像が表示されます。

メモ

- **NAVI**ボタンを押しても、前方の映像を表示できません。
- 前方の映像（全周囲・ワイド）を表示中に時速約10 km以上で走行したときは、地図画面などに戻ります。
- 前方の映像を表示中に、**NAVI**/**AV**ボタンのいずれかを押すと、現在地/HOME/オーディオの画面に切り換わります。
- 前方の映像を表示させたまま約3分間何も操作しないときは、切り換える前の画面に戻ります。
- 時速約10 km以上で走行中に**カメラ**を選んだときは、サイドの映像に切り換わります。

後席モニター

別売の後席モニターを本機に接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。再生できる映像ソースはDisc、SD、TV、USB、ドライブレコーダーです。また、後席モニターの映像を個別に設定することができます(リアクルーズモード)。

後席モニターに表示する映像を設定する



1 「Rear Cruise」にタッチします



2 「フロントリンク」の「ビジュアル」または「リアセパレート」の映像ソースのいずれかにタッチします



● フロントリンク

本機で再生している映像ソースを後席モニターに表示します。本機でメニュー画面などを表示しても、後席モニターでは映像ソースを表示し続けます。

● リアセパレート

本機とは別に、Disc、SD、TV、USBの映像を後席モニターに表示します。

メモ

- AVサイドビューのときは、リアセパレートモードを設定できません。
- 後席モニターは、走行中/停車中に関係なく映像が表示されます。
- ■または⊞にタッチすると、後席モニターの音量を調整できます。

リアクルーズモードの設定を行う

リアセパレートモードのときに、リアスピーカーから出力される音声を設定します。

メモ

リアスピーカー装着車のみ対応いたします。

1 **HOME**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **AV・本体設定**にタッチします



3 **リアクルーズモード設定**にタッチします



4 **音声出力設定**にタッチします



5 **リアAVソース**または**フロントAVソース**にタッチします



設定が完了し、音声が切り換わります。

リアAVソース

後席モニター側で再生しているAVソースの音声が流れます。

フロントAVソース

本機側で再生しているAVソースの音声が流れます。

その他

ドライブレコーダー

ドライブレコーダー使用時のお願い

本機は別売のナビゲーション対応の

DAIHATSUドライブレコーダーを接続した場合に表示・操作できます。

■ドライブレコーダーについて

- ドライブレコーダーのみでは使用できません。必ずドライブレコーダーにmicroSDカードを挿入し、ナビゲーションに接続してからご使用ください。
- 車のエンジンをかけた直後（ACC ON）やエンジンを切った直後（ACC OFF）は、ドライブレコーダーが動作しない場合がありますが、しばらく経つと動作を開始します。
- すべての状況において映像の品質と記録を保証するものではありません。
- 録画した映像は、事故などの証拠として効力を保証するものではありません。LED式信号機などを録画すると、点滅して表示されたり、色の識別ができな場合があります。
- 推奨動作温度（-10℃～+60℃）の範囲外で使用すると、映像が黄色く表示されるなど、正常に動作しなかったり、録画を停止する場合がありますので、推奨動作温度の範囲でご使用ください。
- 冷暖房を入れた直後など、結露でドライブレコーダーのレンズがかくもる場合があります。
- ドライブレコーダーのレンズを手で触らないでください。
- 「駐車録画」を「ON」に設定している場合、車のエンジンを切った状態でも微量の電力を消費します。バッテリーの消耗にご注意ください。

■電源について

ドライブレコーダーには電源ボタンがありません。エンジンをかけると自動で電源が入ります。エンジンをかけていない場合でも、駐車録画機能が作動すると、ドライブレコーダーの電源が入ります。

■著作権などについて

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 撮影した映像や画像は、個人で楽しむ以外は、権利者に無断で使用できません。個人使用目的でも撮影が制限されている場合があります。
- ドライブレコーダーを利用して、本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様がドライブレコーダーを利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律・条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

■免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- ドライブレコーダーの使用や使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 次の場合、補償はできません。
 - － 誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたことによりドライブレコーダーが正常に動作しなくなった場合
 - － 誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどにmicroSDカードに記録されていたファイルが変化・消失した場合
 - － 本機の駐車録画機能を使用したことにより、車のバッテリー上がりが起きた場合

ドライブレコーダーで使用できるSDメモリーカード

- microSDXCメモリーカード(Class6以上・128 GB以下)^{※1※2}
 - microSDHCメモリーカード(Class6以上・8 GB～32 GB)
- ※1 SD規格準拠カードのみ使用できます。
- ※2 容量が256 GB以上のmicroSDXCメモリーカードは使用できません。

メモ

- 初めて使用するときや本機に初期化を促すメッセージが表示されたときは、ドライブレコーダーで初期化してください。
→ P285の「ドライブレコーダーの設定を行う」
- ドライブレコーダーで使用しているmicroSDカードをパソコンなどで読み込むときに、microSDカード内にドライブレコーダー用の管理ファイルが表示される場合がありますが、これらのファイルの移動や削除、ファイル名の変更などはしないでください。
- ドライブレコーダー以外では初期化(フォーマット)しないでください。パソコンなどで初期化(フォーマット)すると正常に動作しない場合があります。
- 規格に準拠したmicroSDカードでも、ドライブレコーダーでは使用できない場合があります。
- 4 GB以下のmicroSDカードは使用できません。

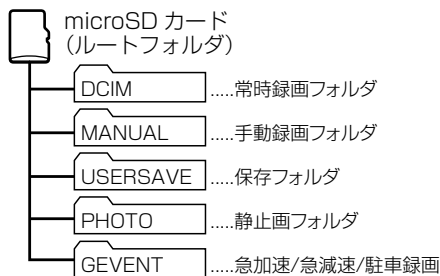
microSDカードの取り扱いについて

- データの読み書き(録画や再生、初期化など)をしているときに、microSDカードをドライブレコーダーから取り出さないでください。
- microSDカードの初期化中に車のエンジンを切らないでください。
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。

- データ消滅による損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 長時間使用すると、microSDカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- 市販のmicroSDカードが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- microSDカードの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- microSDカードにシールやラベルを貼り付けないでください。
- microSDカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除ができなくなる場合があります。特にドライブレコーダーでの使用は、不良セクタ^{*}などが発生しやすく、平均寿命より短くなる場合があります。本機の起動時などに、microSDカードの初期化や交換を促すメッセージが表示されたら、メッセージに従って初期化または市販のmicroSDカードに交換することをおすすめします。
※長期間の使用でメモリーが損傷し、データを保存できなくなった領域。

階層について

ドライブレコーダーで録画された動画および撮影された静止画は、microSDカードの以下の階層に保存されています。



メモ

microSDカード内のフォルダやファイル名は変更しないでください。

記録できるファイル数について

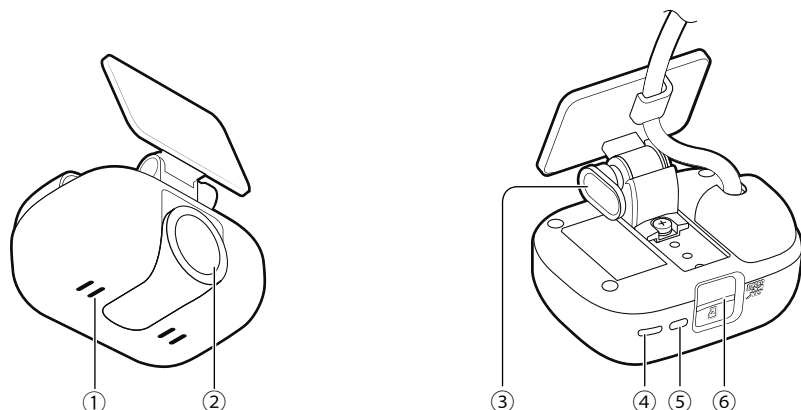
常時録画ファイルは、microSDカードの空き容量がなくなるまで記録され、いっぱいになると古いファイルから消去されます。常時録画以外のファイルの記録可能ファイル数は、以下のとおりです。

データの種類 \ 容量	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
手動録画/保存データ ^{*1}	15	30	60	120	240
静止画 ^{*1}	300	300	300	300	300
急加速/急減速/駐車録画 ^{*2}	15	30	60	120	240

※1 ファイル数が上限に達すると、それ以上記録できません。

※2 ファイル数が上限に達すると、古いデータから消去されます。

各部の名称とはたらき (ドライブレコーダー)



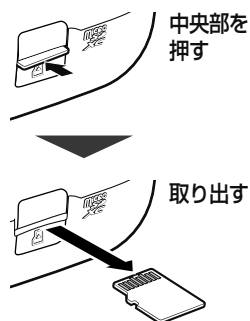
各部の名称	はたらき
① スピーカー	起動時や急加速・急減速情報を記録したときなどにブザーが鳴ります。 ※音量は調整できません。
② カメラ	動画や静止画を撮影します。
③ カメラ角度調整ツマミ	お買い上げ時に調整済みですので操作しないでください。
④ LEDランプ	緑色点灯：録画中 緑色点滅：録画停止中 赤色点灯：microSDカードが未挿入または異常状態 赤色点滅：ドライブレコーダーが異常状態
⑤ 音声録音用マイク	音声を録音します。
⑥ microSDカード挿入口	microSDカードを挿入します。

microSDカードの出し入れ

必ず車のエンジンを切り（ACC OFF）、LEDランプが消灯した状態で、microSDカードの出し入れを行ってください。

※お買い上げ時は、付属のmicroSDカードがドライブレコーダー本体に挿入されています。

■ 取り出しかた



■ 挿入のしかた



●カチッと音がするまで差し込んでください。

ドライブレコーダーの設定を行う

△注意

ドライブレコーダーの設定を行っている間は、録画を停止します。

1 **電源** ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **AV・本体設定** にタッチします



3 **ドライブレコーダー設定** にタッチします



4 設定したい項目にタッチし、設定を変更します



設定項目によって操作方法が異なります。

5 設定が終わったら **閉じる** にタッチします



その他

■設定内容の詳細

*は工場出荷時の設定です。

カメラモニター

ドライブレコーダーが撮影している映像を画面に表示します。

メモ

通常はこの操作は必要ありません。販売店が行う確認です。

画質

高画質* 高画質で録画します。

標準 標準画質で録画します。

音声録音

ON* 録画中、音声を録音します。

OFF 録画中、音声を録音しません。

手動録画の自動停止

1分* 手動録画開始後、1分で自動停止します。

3分 手動録画開始後、3分で自動停止します。

OFF 手動録画開始後に自動停止しません。

急加速・急減速の感度

+/-にタッチして、測定感度を調整します。

1～5の間で切り換わります。

工場出荷時は「3」です。

急加速・急減速の感知音

ON* 急加速・急減速を記録すると、ブザーを鳴らします。

OFF 急加速・急減速を記録しても、ブザーを鳴らしません。

駐車録画

車のエンジンを切った（ACCをOFFにした）状態で、ドライブレコーダーが振動を検知すると、自動的に録画を開始する「駐車録画」機能を使用する・しないを設定します。

ON 駐車録画をします。

OFF* 駐車録画をしません。

駐車録画のお知らせ

ON 起動時（エンジンON時）に、駐車録画されたことを通知します。

OFF* 駐車録画されたことを通知しません。

メモ

「駐車録画」が「ON」のときのみ設定できます。

駐車録画の感度

+/-にタッチして、測定感度を調整します。
1～5の間で切り換わります。
工場出荷時は「3」です。

メモ

「駐車録画」が「ON」のときのみ設定できます。

駐車録画の時間

10秒 振動を検知した時点から10秒間録画します。
30秒* 振動を検知した時点から30秒間録画します。
1分 振動を検知した時点から1分間録画します。

メモ

「駐車録画」が「ON」のときのみ設定できます。

駐車録画の無効時間

車を乗り降りする際のドアの開閉などで振動を検知して駐車録画が動作しないように、駐車録画を一定時間無効にすることができます。
設定できる時間は、**1分**(*)、**3分**、**5分**です。

メモ

- 「駐車録画」が「ON」のときのみ設定できます。
- 本設定の無効時間が短い場合、車のエンジンを切ってから（ACC OFF）、降車や荷物の出し入れなどを行うと、振動を検知して録画が開始される場合があります。そのときは、無効時間を長めに設定してください（本設定の時間の間は、振動を検知しても録画を開始しません）。

起動音

ON* ドライブレコーダーの電源が入ると、ブザーを鳴らします。
OFF ドライブレコーダーの電源が入っても、ブザーを鳴らしません。

取付調整

自動的にドライブレコーダーの加速度センサーを最適化します。ドライブレコーダーを正しく取り付けただと、平らな場所に停車している状態で行ってください。

メモ

- ドライブレコーダーを取り付けたあとには、必ずこの設定を行ってください。
- 通常はこの操作は必要ありません。販売店が行う設定です。

録画データ全消去

ドライブレコーダーで使用しているmicroSDカードを初期化します。

メモ

- 初めてmicroSDカードを使用するときや、microSDカードを交換したときなどに行ってください。
- 録画データ全消去をすると、microSDカード内のすべてのファイルが削除されます。

録画・撮影する

■常時録画する

ドライブレコーダーの電源が入ると、自動的に録画を開始し、1分ごとに記録ファイルをmicroSDカードへ保存します。

microSDカードの容量がなくなると、自動的に古い記録ファイルから順に自動削除して繰り返し保存し続けます。

メモ

● 次の操作をした場合は、録画を停止します。操作を完了すると、録画を再開します。

- － 手動で静止画を撮影する。
- － 手動で動画を録画する。
- － ドライブレコーダーの映像を表示する。
- － 撮影した映像ファイルを再生・保存する。
- － 撮影した映像ファイル进行操作する。
- － 撮影した静止画ファイル进行操作する。
- － 撮影した映像ファイルを消去する。
- － ドライブレコーダー設定を行う。
- － AV・本体設定初期化を行う。

● 手動録画した記録ファイル、保存動画タブに移動した記録ファイルは、自動削除されません。

● 常時録画で記録された、急加速・急減速情報のあるファイルは、通常は自動削除されません。ただし、microSDカードの空き容量がない状態で、新たに急加速・急減速情報のある映像を記録した場合は、古い急加速・急減速情報のある記録ファイルが自動削除される場合があります。

■手動で静止画を撮影する

メモ

あらかじめ「マルチレイヤマップ」から「ドライブレコーダー」を「表示」にし、「静止画撮影」に設定してください。

➡P45の「ドライブレコーダー」

1 **NAVI** ボタンを押し、現在地画面を表示します

2 **カメラ** アイコンにタッチします



タッチした瞬間の静止画が撮影されます。

■手動で動画を録画する

メモ

あらかじめ「マルチレイヤマップ」から「ドライブレコーダー」を「表示」にし、「手動録画」に設定してください。

➡P45の「ドライブレコーダー」

1 **NAVI** ボタンを押し、現在地画面を表示します

2 **カメラ** アイコンにタッチします



手動録画を開始します。

3 **STOP** アイコンにタッチします



手動録画を終了します。

メモ

「手動録画の自動停止」が「1分」または「3分」に設定されている場合は、設定された時間になると自動的に手動録画を終了します。

■ 駐車中に振動を検知した場合に動画を録画する(駐車録画)

車のエンジンを切った(ACCをOFFにした)状態で、ドライブレコーダーが振動を検知すると、自動的に録画を開始できます。

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3 田→ドライブレコーダー設定にタッチします



4 駐車録画にタッチしてONにします



撮影したファイルを再生・保存する

メモ

- 走行中は、ドライブレコーダーのファイルは再生できません。安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いてご覧ください。
- ファイルを再生すると、ドライブレコーダーでの録画が停止します。



1 ドライブレコーダーにタッチします



2 動画タブ、保存動画タブまたは静止画タブにある、再生したいファイルにタッチします







動画タブのファイルをタッチした場合は、手順3へ進んでください。

保存動画タブまたは静止画タブのファイルをタッチした場合は、ファイルの再生を開始します。

その他

メモ

- 動画タブまたは保存動画タブを開いているときに、**絞り込み**にタッチすると、手動で撮影した動画だけを表示できます。
- ファイルの種類によって、次のアイコンが表示されます。
 -  : 常時録画で撮影されたファイル
 -  : 手動で撮影されたファイル
 -  : 駐車録画機能で撮影されたファイル
 -  : 急加速・急減速情報があるファイル

3 動画タブのファイルをタッチした場合、再生または保存にタッチします



再生にタッチすると、選択したファイルを再生します。

保存にタッチすると、確認画面が表示されます。**はい**にタッチすると、選択したファイルが保存動画タブへ移動します。保存動画タブに保存されたファイルは、自動削除されなくなります。

メモ

ドライブレコーダーの処理状況により、保存動画タブへの移動や削除が極端に遅くなる場合があります。移動や削除が完了するまでお待ちください。



撮影した映像ファイルを操作する

■ ファイルを切り換える

1 または にタッチします



ファイルが切り換わります。

 または  ボタンを押しても、ファイルを切り換えられます。

■ リストからファイルを選んで再生・保存する

1 にタッチします



リスト画面が表示されます。

リスト画面での操作については、(➡ P289の「撮影したファイルを再生・保存する」)の手順2以降をご覧ください。

■ 早戻し/早送りする

- 1 ◀◀または▶▶にタッチします



早戻し/早送りをします。

■ 再生を一時停止する

- 1 ▶||にタッチします



一時停止します。一時停止中にタッチすると、再生を再開します。

■ 撮影した静止画ファイルを操作する

■ ファイルを切り換える

- 1 ◀◀または▶▶にタッチします



ファイルが切り換わります。

◀◀または▶▶ボタンを押しても、ファイルを切り換えられます。

■ リストからファイルを選んで再生・保存する

- 1 ≡にタッチします



リスト画面が表示されます。

リスト画面での操作については、(➡ P289の「撮影したファイルを再生・保存する」)の手順2以降をご覧ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店に連絡してください。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない、動作しない。	エンジンがかかっていない。	エンジンまたはACCをONにしてください。
	接続ケーブルが正しく接続されていない。	接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。
	周囲の温度が極端に低いまたは高い。	本機には、使用温度範囲があります。使用温度範囲になるまで、エアコンなどで温度を調節してください。
画面に何も表示されない。	Display Off状態になっている。	画面にタッチして、Display Offを解除してください。
画質調整ができない。	パーキングブレーキをかけていない。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
画面に小さな黒い点や明るく光る点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—
画面の残像が目立ったり、画質が劣化して見える。	周囲の温度が極端に低い。	周囲の温度が高まると通常画質に戻ります。
画面が曇る。	結露している可能性がある。	湿度環境によっては、急激な温度変化により画面が結露する可能性があります。しばらく待ってから、結露が消えたことを確認してください。
画面をタッチしても反応しない。	保護シート等の挟み込みにより、タッチパネルが誤反応している可能性がある。	保護シート等を取り除いてください。
	外部からの電波ノイズの影響により、タッチ操作をキャンセルした可能性がある。	空気清浄機やインバータ装置等のノイズ発生装置の使用を中止してください。
タッチキーまたはファンクションキーの表示が薄く、タッチしても反応しない。	走行規制などで、走行中は操作できないタッチキーまたはファンクションキーにタッチしている。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
	設定や接続状況などにより、操作できないタッチキーまたはファンクションキーにタッチしている。	設定や接続状態を確認してください。
本機とWi-Fi対応端末をWi-Fi接続できない。	Wi-Fi対応端末の登録をしていない。	接続したいWi-Fi対応端末を本機に機器登録してください。
	本機からWi-Fi対応端末へWi-Fi接続して通信（インターネット共有/テザリング）できない。	Wi-Fi対応端末のキャリアによってはテザリングの契約が必要な場合があります。ご自身の通信機器の契約をご確認ください。

症状	原因	処置
本機とBluetooth対応端末をBluetooth接続できない。	Bluetooth対応端末の登録をしていない。	接続したいBluetooth対応端末を本機に機器登録してください。 ➔P140の「Bluetooth対応端末の登録（ペアリング）」
パノラマモニターを接続しているにも関わらず、パノラマモニターの設定項目が表示されない。	バックモニターの接続検知が正常にできていない可能性があります。	「バックモニター（パノラマモニター）ON/OFF」を一度OFFに設定し、再度ONに設定してください。 ➔P274の「バックモニター（パノラマモニター）ON/OFF」
3モードカメラを接続しているにも関わらず、3モードカメラの設定項目が表示されない。		解消しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ノーマルカメラを接続しているにも関わらず、ノーマルカメラの設定項目が表示されない。		

ナビゲーション

症状	原因	処置
自車位置を測位できない。	GPSアンテナの上に電波をさえる物を置いている。	GPSアンテナの上には何も置かないでください。
	GPS受信感度が低い。	GPSアンテナの感度を確認して、GPSアンテナの位置を変更してください。車内に取り付けている場合は、必ず金属シートを使用してください。
測位誤差が大きい。	3Dハイブリッドセンサーが正しく学習されていない。	3Dハイブリッドセンサーのメモリーをリセットして、学習をやり直してください。 ➔P309の「センサー学習状況のリセット」
自車位置が正しくない。	自車位置がずれている。	● 低速で走行した場合などに自車位置がずれることがあります。➔P311の「誤差」 ● GPS測位が可能な状態で、しばらく走行すると自車位置が修正されます。
	車速パルスが正しく入力されていない。	接続状態画面で、接続を確認してください。 ➔P171の「接続状態を確認する」
	自車位置が別の道路にマップマッチングしている。	別道路への切り換えを行ってください。 ➔P56の「一般道または有料道へ自車位置を修正する」
走行を開始しても地図が動かない。	現在地画面を表示していない。	[NAVI] ボタンを押して、現在地画面にしてください。
地図の向きが変わらない（自車マークが上でない方向に向かう）。	地図の向きがノースアップになっている。	地図の向きをヘディングアップに変更してください。 ➔P54の「地図の向きを変える」
ナビゲーションの案内音声が出ない。	ナビゲーションの音量設定が0になっている。	ナビゲーションの音量設定を調整してください。 ➔P26の「音量を調整する」
地図上にVICS情報が表示されない。	VICS情報は、受信から地図表示まで数分かかることがある。	表示されるまでお待ちください。
	VICSの受信感度が良くない。	放送局を最も受信感度の良い放送局に変更してください。 ➔P100の「VICS放送局を選ぶ」



症状	原因	処置
ルートを探索してもスーパールート探索にならない。	通信機器が接続されていない。	通信機器の接続状態を確認してください。 ➔P138の「通信接続設定」
	スーパールート探索の設定をONにしていない。	スーパールート探索の設定をONにしてください。 ➔P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」
ハイウェイモードにならない。	オートハイウェイモードの設定をONにしていない。	オートハイウェイモードの設定をONにしてください。 ➔P122の「ナビゲーション機能の設定メニュー」
	自車位置が有料道路にマップマッチングしていない。	別道路への切り換えを行ってください。 ➔P56の「一般道または有料道へ自車位置を修正する」

携帯電話（ハンズフリー）

症状	原因	処置
ハンズフリー通話時に、こちらの声が相手側に聞こえにくい。	マイク感度（送話音量）が小さい、もしくは通話相手側携帯端末の受話音量が小さい。	<ul style="list-style-type: none"> ● マイク感度（送話音量）を大きくする。 ➔P265の「通話中メニューの操作」 ● 通話相手側端末の受話音量を大きくする。 ● 音声認識用マイクの方向に向かってははっきりと話す。 ● ハンズフリー通話を快適に利用するために、車の窓を閉めたり、エアコンの送風量を抑えるなどの配慮をお願いします。
ハンズフリー通話時に、相手の声がこちらに聞こえにくい。	受話音量が小さい、もしくは通話相手側携帯端末の送話音量が小さい。	<ul style="list-style-type: none"> ● 受話音量を大きくする。 ➔P265の「通話中メニューの操作」 ● 通話相手側端末の送話音量を大きくする。 ● ハンズフリー通話を快適に利用するために、車の窓を閉めたり、エアコンの送風量を抑えるなどの配慮をお願いします。
ハンズフリー通話時に、通話相手側でエコー（残響音）が大きく聞こえる。	エコーは相手の声が車両スピーカーを通して音声認識用マイクに入り込むことが原因で発生します。また、電話回線状況、使用する携帯電話、通話相手の環境によりエコーが発生する場合もあります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 受話音量を小さくする ➔P265の「通話中メニューの操作」 ● マイク感度（送話音量）を調整する ➔P265の「通話中メニューの操作」 ● お互いに一呼吸おいて話す ● ガイド音声出力を助手席側のスピーカーのみに設定する ➔P161の「案内音声出力先設定」 <p>ただし、ナビゲーション本体内部のエコーキャンセラーのしくみ上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で話すとさらに聞き取りにくくなります。</p>

症状	原因	処置
ハンズフリー通話がかけられない。	Bluetooth機器登録をしていない。	ハンズフリー通話を使うには、Bluetooth機器を本機に機器登録する必要があります。 ➔P140の「Bluetooth対応端末の登録(ペアリング)」
	登録したBluetooth機器がハンズフリー通話機能を使用する設定になっていない。	ハンズフリーとして使用する設定に変更してください。 ➔P144の「接続機器の切り換えと、Bluetooth機器の接続プロフィールを設定する」

オーディオ共通項目

症状	原因	処置
テレビやDVDなどの映像が見られない。	走行中である。	本機は、安全のため走行中にテレビやDVDなどの映像を見ることはできません。映像をご覧になる場合は、安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけて、お楽しみください。
音が出ない。	オーディオの音量が0になっている。	  ボタンを押して音量を調整してください。
音質が悪い(音がひずむ)。	特定の音域が過度に強調されている。	音量、またはオーディオ設定を適切に調整・設定してください。 ➔P245の「オーディオ設定」
音声案内時や音声操作時に、一時的にオーディオの音が途切れたり、聞こえづらくなる。	ミュート設定がされている。	ミュート設定を変更してください。 ➔P249の「ミュート設定」
ハンズフリー通話の着信時に、一時的にオーディオの音が途切れる。	本機がオーディオの音を消している。	自動的に行われる処理で、故障ではありません。
前/後/左/右のスピーカーから音が出ない。	前後左右の音量バランスの調整が適切でない。	適切に調整・設定してください。 ➔P246の「フェーダー/バランス」

FM/AM

症状	原因	処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選曲してください。 ➔P180の「ラジオを受信する」
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態の安定した場所に移動してください。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 ➔P181の「放送局を手動で登録する」

症状	原因	処置
再生できない。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。 ➡P327の「DVD」に表示されているマークの意味」
	ファイナライズされていないディスクを挿入している。	ファイナライズされたディスクを挿入してください。
ディスクを入れても自動的に再生しない。	ディスクにより、ディスクメニューが表示されて自動的に本編を再生しない場合がある。	ディスクメニューを操作して、再生を開始するか、オートエンターをONに設定してください。 ➡P217の「オートエンター」
オートエンターが正しく動作しない。	オートエンターが正しく動作できないディスクが入っている。	ご使用されるディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合はオートエンターをOFFにして再生してください。 ➡P215の「映像ディスクの初期設定を行う」
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルを変更してください。 ➡P217の「視聴制限」
音声言語、字幕言語が切り換えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り換えられません。
	ディスクメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクメニューで切り換えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合がある。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものがあります(故障ではありません)。
Ⓢ(禁止マーク)が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作である。	この操作はできません。
	ディスクの構造上対応できない操作をしている。	
画面が止まり、操作を受け付けられない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	□にタッチしてから、もう一度再生してください。

CD、ROM (WMA/MP3/AAC)

症状	原因	処置
CD-RやCD-RW、CD-ROMを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。 ➔P326の「再生できないディスクについて」
WMA/MP3/AACファイルを再生できない。	ファイルに正しい拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AACファイルに切り換えてください。
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AACファイル再生中に大きな雑音が出る。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください (WMA形式でないファイルに「.wma」、MP3形式でないファイルに「.mp3」、AAC形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください)。
聴きたいWMA/MP3/AACファイルが見つからない。	ファイルに正しい拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AACファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3/AACファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合がある。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字 (01、02など) を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

MSV/SD (ミュージックサーバー)

症状	原因	処置
CDが録音できない。	過度な温度変化が起きた、または温度環境が良くない。	過度な温度変化が起きた場合や温度環境によっては、CDが読み込めないことがあります。エラーが発生する場合は、しばらくしてから、温度環境が安定した状態で録音してください。
	SDカードがロックされている。	SDカードを本機から取り出し、SDカードのロックを解除して再度本機に挿入してください。

症状	原因	処置
CDが録音されていない。	CDの録音が中止された。	CDの録音には制限があります。 ➔P201の「録音に関するご注意」
	地図更新中である。	地図更新中はCDを録音できません。地図更新の完了後、再度CDを録音してください。
録音したCDが「CD-日付 時刻」で表示されている。	タイトルが複数候補あったかタイトル情報が本機に収録されていない。	タイトルの取得を行ってください。 ➔P233の「タイトル情報の取得」
録音した楽曲の情報を編集できない。	SDカードがロックされている。	SDカードを本機から取り出し、SDカードのロックを解除して再度本機に挿入してください。

地上デジタルテレビ

症状	原因	処置	
画面が止まっている。 画面がカクカクして映る、コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが映る。	受信状態が悪くなった。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。	
	受信できない。 「受信できません」というメッセージが表示される。 「プリセットチャンネルがありません」というメッセージが表示される。	チャンネルスキャンをしていない。	ユーザープリセットモードではじめて使うときや「視聴者設定クリア」をしたときは、チャンネルスキャンをしてください。 ➔P184の「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」
		自車位置の移動により、受信中のチャンネル電波が弱くなった。	他の中継局(チャンネル)に切り換えてください。エリアプリセットで受信中は、受信可能な中継局を自動的に探して切り換えることができます。 ➔P195の「オート放送局サーチ設定」
		放送局(チャンネル)が増えたり、自車位置が他のエリアに移動して受信環境が変わった。	受信環境が変わったときは、チャンネルスキャンをしてください。 ➔P184の「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」
		受信レベルが低下して、放送が受信できない。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。画面に「ワンセグ切り換え可マーク」が表示されているときは、ワンセグ放送に切り換えることができます。 ➔P194の「サービスを切り換える」
	フィルムアンテナが剥がれている。	お買い上げの販売店にご相談ください。	
メッセージが表示され、視聴ができない。	本機が対応しない放送を視聴しようとしている。	以下の放送には対応していません。 対応している放送に切り換えてください。 ・有料放送 ・双方向通信を使うデータ放送 ・ワンセグのデータ放送	

症状	原因	処置
データ放送画面に切り換えられない。映像切換、音声切換、字幕切換、音声多重のタッチキーが薄く表示されていて、切り換えられない。	受信中の番組が、それらの情報を放送していない。	それらの情報を放送している番組で操作してください。
画質が悪くなった。	ワンセグに切り換わっている。	ワンセグを通常放送に手で切り換えるときは、 サービス切換 にタッチします。 ➔P194の「サービスを切り換える」

SD/USB

症状	原因	処置
WMA/MP3/AAC/WAV/FLACファイルを再生できない。	ファイルに正しい拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」、FLACファイルに拡張子「.flac」を付けてください。 ➔P321の「再生できるファイルとメディアの種類」
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AAC/WAV/FLACファイルに切り換えてください。 ➔P321の「再生できるファイルとメディアの種類」
聴きたいWMA/MP3/AAC/WAV/FLACファイルが見つからない。	ファイルに正しい拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」、FLACファイルに拡張子「.flac」を付けてください。
保存した映像ファイルを再生すると、音声は出るが、映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
SDカードまたはUSBメモリーに保存したファイルを再生中にAVソースがOFFになる。	地図更新中である。	地図更新中は、一部のAVソースがOFFになります。地図更新の完了後、再度AVソースを選択し、再生を再開してください。
お持ちのパソコンで認識しているSDカードが、本機で認識しない。	SDカードが正しくフォーマットされていない。	専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。 フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。 フォーマットソフトは、SDアソシエーションの、以下のホームページから入手できます。 < https://www.sdcard.org/jp/ >
楽曲の情報を編集できない。	SDカードがロックされている。	SDカードを本機から取り出し、SDカードのロックを解除して再度本機に挿入してください。

iPod

症状	原因	処置
接続できない。	iPod用接続ケーブルが正しく接続されていない。	接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。
	お使いのiPodが本機に対応していない。	対応iPodについては、(➡P235の「対応iPod一覧表」)をご確認ください。
	充電専用ケーブルを使用している。	iPodに付属のケーブルをご使用ください。
iPod再生中にAVソースがOFFになる。	地図更新中である。	地図更新中は、一部のAVソースがOFFになります。地図更新の完了後、再度AVソースを選択し、再生を再開してください。

Bluetooth Audio

症状	原因	処置
再生できない。	Bluetooth機器登録をしていない。	Bluetooth Audioを使うには、Bluetooth機器を本機に機器登録する必要があります。 ➡P140の「Bluetooth対応端末の登録(ペアリング)」
	登録したBluetooth機器の設定がハンズフリー通話機能のみを使用する設定になっている。	Bluetooth Audioとして使用する設定に変更してください。 ➡P144の「接続機器の切り換えと、Bluetooth機器の接続プロファイルを設定する」
リピートやランダム再生ができない。	Bluetooth機器の接続プロファイルがA2DP+AVRCP Ver.1.0以下である。	プロファイルによって操作できる機能や表示される内容に制限があります。 ➡P240の「Bluetooth® Audioを使う」

その他

ドライブレコーダー

症状	原因	処置
LEDが赤色点灯する。	microSDカードが未挿入または異常状態になっている。	microSDカードが挿入されているかどうか確認してください。挿入されていない場合には手順にしたがって挿入してください。 ➡P285の「microSDカードの入れかた・取り出しかた」 挿入されている場合には、再度手順にしたがって挿入してください。
LEDが赤色点滅する。	ドライブレコーダー本体の故障です。	販売店にお問い合わせください。
再生される動画や静止画が汚い、または鮮明でない。	ドライブレコーダーのカメラのレンズが汚れている、もしくは結露している。	販売店にお問い合わせください。

メッセージと対処方法

本機の画面にメッセージが表示されたときは、以下の内容を確認してください。

共通項目

メッセージ	原因	処置
走行中は操作できません。	走行規制のかかった操作を行おうとした。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
画面の押されっぱなしを検知しました。 本体の状態を確認してください。	何らかの原因でタッチパネルの同じ位置が1分以上押し続けられている。	押し続けられている原因を取り除いてください。 市販の画面保護シートを貼り付けている場合は、はがしてください。

ナビゲーション

メッセージ	原因	処置
探索できませんでした。 付近にルート探索対象道路がありません。 行き先が遠すぎるため、探索できませんでした。 通行規制により、通行できない区間があるため探索できませんでした。 行き先につながる道路が見つからないため探索できませんでした。 行き先または出発地付近にルート探索対象道路がないため探索できませんでした。	目的地または出発地の場所が適切ではない。	目的地または出発地の位置を変えてください。
日時データが無いため、このルートは時間規制や渋滞予測情報を考慮していません。	GPS衛星からの電波が受信できていない。	本機の日時データはGPS衛星からのデータに基づいています。GPS衛星からの電波を受信しやすい環境に移動してください。 ➡P310の「ナビゲーションのしくみ」
自転車位置修正できませんでした。	自転車位置を修正できる道路が周囲に見つからない。	自転車位置修正可能な道路（一般道路と有料道路が並行しているような道路）があるときに操作してください。

渋滞情報

メッセージ	原因	処置
リアルタイムプローブ渋滞情報が取得できませんでした。	リアルタイムプローブ渋滞情報を取得できていない。	時間や場所をずらしてから、再度受信してください。
VICS情報が取得できませんでした。	VICS情報を取得できていない。	➡P103の「通信で渋滞情報を取得する」
自転車位置が案内中のルート上から外れているため、渋滞チェックできません。	自転車位置がルートから外れているために、渋滞の案内ができていない。	自転車がルート上に乗ってから再度操作してください。

通信

メッセージ	原因	処置
サーバーで障害が発生しました。	何らかの原因で回線接続に失敗している。	しばらくしてから再度操作するか、エンジンをかけ直してください。
ネットワークで障害が発生しました。		
サーバーが使用できません。しばらくしてからアクセスしてください。		
データ通信タイムアウトが発生しました。		
データの取得ができませんでした。	何らかの原因により通信接続を切断(タイムアウト)した。	
エラーが発生しました。		

Bluetooth

メッセージ	原因	処置
通信機器が接続されていません。	携帯電話が接続されていない。	携帯電話を接続してください。
携帯電話が使用できません。	接続中の携帯電話がPANに非対応または、携帯電話を待ち受け画面にしないとPAN通信が利用できない機種可能性がある。	接続中の携帯電話のPAN対応状況をお調べいただくか、携帯電話を待ち受け画面にしてください。
選択機器に接続できませんでした。	接続しようとしているBluetooth機器が、データ通信中である。	データ通信終了後、再度操作してください。
選択機器のBluetoothがONになっていることをご確認ください。	Bluetooth機器のBluetoothの設定が「OFF」になっている。	Bluetoothの設定を「ON」にしてください。
インターネット共有/テザリング(PAN)の回線接続ができません。	何らかの原因で回線接続に失敗している。	本機や接続機器をしばらくしてから再度操作するか、エンジンをかけ直してください。
Error-02	Bluetoothモジュールが故障している可能性がある。	エンジンをかけ直してください。再度このメッセージが表示される場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
Error-03		
Error-14		

その他

Wi-Fi

メッセージ	原因	処置
アクセスポイントに接続できませんでした。	ネットワーク名(SSID)、パスワードが間違っている。	ネットワーク名(SSID)、パスワードに誤りがないか確認して再度接続してください。
	本機への登録後、iPhoneまたはスマートフォン側の設定を変更した。	iPhoneまたはスマートフォン側の設定内容を確認して再度接続してください。
インターネット共有/テザリング(Wi-Fi)の回線接続ができません。	何らかの原因で回線接続に失敗している。	本機や接続機器をしばらくしてから再度操作するか、エンジンをかけ直してください。

SDカード

メッセージ	原因	処置
このSDカードは使用できません。	本機で使用できないSDカードを挿入した。	本機が対応しているSDカードをご確認ください。 ➔P219の「SD/USBを使う」
	SDカードが正しくフォーマットされていません。	専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。フォーマットをする と、SDカードに記録されたデータがすべて 消去されます。必ずデータのバックアップ を行ってください。フォーマットソフトは、 SDアソシエーションの、以下のホームペ ージから入手できます。 < https://www.sdcard.org/jp/ >

USB

メッセージ	原因	処置
このUSB接続機器は使用できません。	本機で使用できないUSBメモリーを接続した。	本機が対応するUSB接続機器をご確認ください。 ➔P219の「SD/USBを使う」
非対応のUSB機器が接続されました。		
接続された機器が認識できません。	本機にスマートフォンを接続したあと、スマートフォン側で必要な操作をしていない。	スマートフォン側の設定内容を確認してください。機種によっては、スマートフォンの操作が必要になる場合があります。
USB HUBが検出されました。USB HUBは利用できません。	USB HUBが接続されている。	USB HUBを取り外してください。
過電流保護のため、USB/iPodの接続を中止しました。今後そのUSB機器を本機に接続しないでください。その他のUSB接続機器を使用するにはエンジンをかけ直してください。	USB接続している機器の消費電流が規定値を越えている。	これらの機器をすべて取り外してエンジンをかけ直してください。指定以外のUSB機器（ハードディスクやUSB扇風機など）は接続しないでください。

携帯電話

メッセージ	原因	処置
読み込みができませんでした。接続を確認してもう一度やり直してください。	メールアドレスや電話番号が登録されている電話帳が存在しない。	携帯電話の電話帳を確認してください。
電話帳/発着信履歴の転送ができません。携帯電話を確認してください。	携帯電話側で電話帳転送のポップアップが表示されている状態で次の操作を行った。 - Noを選択した - 何も操作せず一定時間経過したため、タイムアウトした - Bluetoothを切断した	携帯電話側の設定・表示を確認して、再度転送してください。

音楽ディスク

メッセージ	原因	処置
温度異常のため再生できません。ディスクを取り出してください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店にご相談ください。
このCDは録音できません。	コピー禁止のディスクから録音しようとしている。	録音可能なディスクに交換してください。
録音再生エラーが発生しました。CDの通常再生に切り換えます。 音飛びを検出したため、録音中のトラックをスキップしました。	何らかの原因で録音ができないとき。	ディスクに汚れやキズ・反りがないか確認してください。
録音中は操作できません。操作する場合には REC で録音を中止してください。	CD録音中に制限されている操作をしようとした。	録音が終了するのを待つか、録音を中止してから操作してください。 ➡P203の「録音を中止する」
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 ➡P326の「再生できないディスクについて」
温度異常のため、ディスク停止中です。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店にご相談ください。
録音を実行できません。メディアSDカードのライトプロテクトスイッチを解除してください。	SDカードへの書き込みがロックされている。	SDカードのロックを解除してください。
SDカード容量不足のため録音できません。CD再生に切り換えます。	SDカードの残容量が足りないため、保存できない。	十分な空き容量のあるSDカードを使用してください。

映像ディスク

メッセージ	原因	処置
温度異常のため再生できません。ディスクを取り出してください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店にご相談ください。
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機のリージョン番号は“2”です。ディスクのパッケージなどでリージョンコード“2”を含むディスクに交換してください。 ➡P327の「DVDに表示されているマークの意味」
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 ➡P326の「再生できないディスクについて」

メッセージ	原因	処置
オーディオフォーマットが対応していないため、音声再生できません。	再生しようとしているファイルに本機では再生できないオーディオフォーマットが含まれている。	本機で再生可能なオーディオフォーマットを確認してください。 ➔P321の「再生できるファイルとメディアの種類」
著作権保護されているため、再生できません。	再生しようとしているファイルが著作権保護されている。	本機ではDRM (デジタル著作権管理) 付きのファイルの再生には対応していません。

MSV/SD (ミュージックサーバー)

メッセージ	原因	処置
SDカード容量不足のため録音できません。 CD再生に切り換えます。	SDカードの残容量が足りないため、録音できない。	十分な空き容量のあるSDカードを使用してください。 ➔P173の「SDカードの空き容量を確認する」
編集可能な楽曲がありません。 本機でCD録音した楽曲のみ情報を変更できます。	本機で録音した楽曲がない。	本機で録音した楽曲が保存されているSDカードを使用してください。
SDカードの容量不足のため、編集できませんでした。	SDカードの残容量が足りないため、編集できない。	録音した楽曲や本機に不要なデータを削除して、十分な空き容量を確保してください。
メディアSDカードのライトプロテクトがかかっています。解除してから編集、消去、情報取得の操作を行ってください。解除しないと反映されません。	SDカードがロックされている。	SDカードを本機から取り出し、SDカードのロックを解除して再度本機に挿入してください。

地上デジタルテレビ

メッセージ	原因	処置
TVチューナーで高温を検出しました。保護のため停止中です。	製品の内部温度が高くなった。	正常に動作する温度になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店にご相談ください。
サービスが登録されていません。電波状況の良い場所でスキャンをしてください。	サービスが登録されていない。	電波状況の良い場所で、チャンネルスキャンを行ってください。 ➔P184の「放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)」
アンテナ接続エラーの可能性があります。	地上デジタルテレビのアンテナに不具合がある。	地上デジタルテレビのアンテナ接続が正しく行われているか確認してください。
TVチューナーに不具合が発生した可能性があります。	TVチューナーが故障している可能性があります。	再度このメッセージが表示される場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

iPod

メッセージ	原因	処置
このUSB接続機器は使用できません。	お使いのiPodが本機に対応していない。	本機に対応するiPodを使用してください。 ➡P235の「対応iPod一覧表」
Error-02-60	何らかの原因で本機とiPodの間 の認証が失敗した可能性がある。	エンジンをかけ直してください。一度iPod を本機から取り外し、iPodが問題なく動作 していることを確認してから再接続してく ださい。
Error-02-61		
USB接続機器から応答がありません。		

ドライブレコーダー

メッセージ	原因	処置
手動録画を開始できません。	ドライブレコーダーが録画停止状態になっている。	ドライブレコーダーの設定や録画したファイルの再生を終了してから再度手動録画を行ってください。
静止画最大ファイル数を超えたため、撮影できません。	保存可能なファイル数の上限に達したため、撮影できない。	不要な静止画ファイルを削除してください。
ドライブレコーダー内のSDカードの初期化に失敗しました。	microSDカードが破損している。または使用できないmicroSDカードの可能性がある。	ドライブレコーダーに付属または使用可能なmicroSDカードを使用してください。 microSDHCメモリーカード： Class 6以上、8 GB～32 GB microSDXCメモリーカード： Class 6以上、64 GB～128 GB
ドライブレコーダーのSDカード容量が不足している、または手動録画の最大ファイル数を超えたため、これ以上手動録画できません。	microSDカードの残容量が足りないため、録画できない。 記録できるファイル数の上限に達している。	手動録画したファイルや保存動画タブ内の録画ファイルなどを削除して、十分な空き容量を確保してください。 ➡P284の「記録できるファイル数について」
手動録画を停止できませんでした。	何らかの原因でドライブレコーダー側に異常が発生している。またはmicroSDカードが破損している可能性がある。	お買い上げの販売店にご相談ください。
静止画を撮影できませんでした。		
ドライブレコーダーの録画データを取得できませんでした。		
データの消去に失敗しました。		
録画データの保存に失敗しました。	microSDカードが破損している。または録画ファイルが破損している可能性がある。	
再生に失敗しました。		
ドライブレコーダーの録画データを取得できません。 録画データが破損している可能性があります。	録画ファイルが破損している可能性がある。	

その他

メッセージ	原因	処置
<p>ドライブレコーダーで高温を検出しました。 正常に録画が行われない可能性があります。</p>	<p>ドライブレコーダーが異常な高温状態になっている。</p>	<p>お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
<p>ドライブレコーダーにエラーが発生しました。 正常に動作しない可能性があります。</p>	<p>何らかの原因でドライブレコーダー側に異常が発生している。</p>	
<p>ドライブレコーダーの設定初期化に失敗しました。</p>		

リセット

センサー学習状況のリセット

1 **HOME**ボタンを押し、HOME画面を表示します

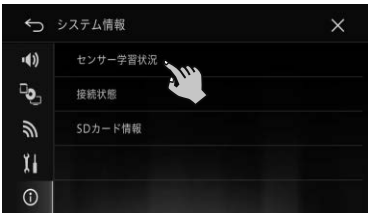
2 **AV・本体設定**にタッチします



3 **①**→**システム情報**にタッチします



4 **センサー学習状況**にタッチします



5 **センサー学習**→**距離学習リセット**または**オールリセット**にタッチします



距離学習リセット

タイヤを交換したあと、しばらく経っても距離誤差が補正されない場合に選択します。

オールリセット

ナビゲーションの取り付け位置や角度を変更した場合または別の車両へ載せ換えた場合、測位の誤差が大きくなった場合に選択します。

6 **はい**にタッチします



リセットされます。

その他

ナビゲーションのしくみ

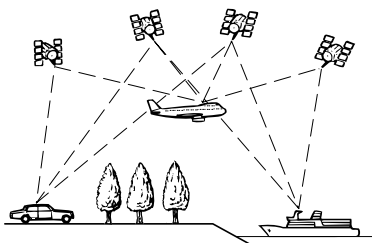
ナビゲーションのしくみについて説明します。

現在地がわかるしくみ

本機では、現在地（自車位置）を測位する方法としてGPSに加え、自立航法による測位が可能です。

■GPSによる測位

GPS衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。GPS衛星は、地球の周り高度21 000 kmに打ち上げられています。3つ以上のGPS衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。GPSによる測位には、3次元測位と2次元測位の2種類があります。また、本機では、準天頂システム「みちびき」による測位が可能です。現在、受信できる時間帯には制限があります。



種類	内容
3次元測位	GPS衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の3次元で測位できる。
2次元測位	GPS衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の2次元で測位する。高度は測位できないため、3次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなる。

■自立航法による測位

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーから、路面の傾斜を傾斜計（Gセンサー）から、それぞれ検出して、現在地を割り出しています。

GPSと自立航法を組み合わせた測位の特長

- GPSによる現在地のデータと、自立航法による現在地のデータを常に組み合わせているため、より精度の高い測位が可能です。
- GPS衛星の電波が受信できなくなっても、自立航法により測位を継続できます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPSと自立航法を組み合わせると、GPS測位により自立航法のずれを修正できるため、測位精度が高くなります。

測位の精度を高めるためのしくみ

■3Dハイブリッドセンサーの役割

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、自立航法自体の測位精度を高めるために、高精度3Dハイブリッドシステムで活用されています。

高精度3Dハイブリッドシステム

車速パルスが入力されているときは、3Dハイブリッドセンサーで高度差を検出できるため、高精度な測位が可能です（高精度3Dハイブリッドシステム）。

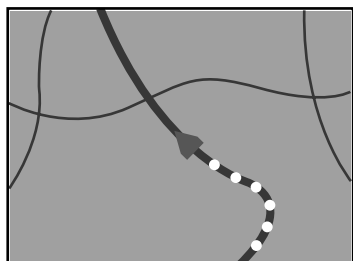
簡易ハイブリッドシステム

車速パルスが入力されないときは、簡易ハイブリッドシステムで測位します。簡易ハイブリッドシステムでは、3Dハイブリッドシステムより精度が低くなります。道路の傾斜の影響を受けやすいため、長いトンネルや地下駐車場などGPSが長い間受信できない状況では、誤差が大きくなることがあります。

■マップマッチング

GPSや自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしている場合



- 本機では、GPSと自立航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能です。

メモ

シティマップで道路が表示されていても、その道路をルート探索またはその道路にマップマッチングできない場合があります。

誤差

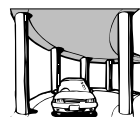
次のような状況のときは、誤差が大きくなる場合があります。

■GPS測位不可による誤差

- 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。



トンネルの中や
ビルの駐車場



2層構造の高速道路
の下



高層ビルの群集地帯



密集した樹木の間

- GPSアンテナの近くで携帯電話を使っているときは、電波障害の影響により、一時的にGPS衛星の電場を受信できなくなることがあります。
- GPSアンテナにペンキや車のワックスを塗らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。また、アンテナに雪が積ると感度が低下するため、除雪してください。

■GPS衛星自体による誤差

- 捕捉(受信)できている衛星の数が少ないときは、2次元測位となり誤差が大きくなります。

■有料・高架道路での誤差

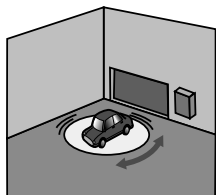
有料道を乗り降りするときや、高架道路、立体交差の道路を走行するときは、勾配を検知して距離を補正します。勾配データが収録されていない道路では、補正できないため誤差が大きくなる場合があります。

■低速時の自車位置精度

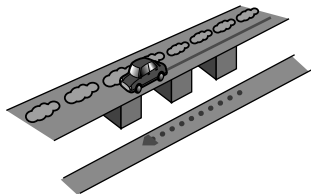
車種により時速数km程度の低速時に車速信号が出力されないものがあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場（地下駐車場など）で時速数km程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されないことがあります。

■その他の誤差

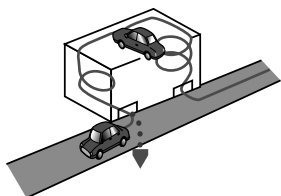
- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。



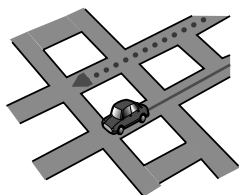
- 道路が近接している場合（有料道路と側道など）。



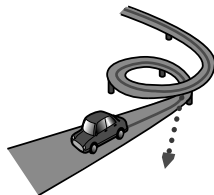
- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。



- 碁盤の目状の道路を走った場合。



- ループ橋などを通った場合。



- 角度の小さなY字路を走った場合。
- 地図情報にはない新設道路を走った場合。
- 長距離の直線や緩やかなカーブを走ったすぐあと。
- ヘアピンカーブが続いた場合。
- フェリーや車両運搬車などで移動した場合。
- 砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合。
- 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合。
- 蛇行運転をした場合。
- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。
- GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合。
- チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換した場合。
- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。
- エンジンをかけてすぐに走行しはじめた場合。
- 扁平率や径の異なるタイヤに交換して間もない場合。

その他の情報

本機に収録されたデータベースやルート探索時の注意事項です。

検索におけるデータベース

場所を探すベースとなっているデータにより、表示されるポイント（位置）が実際のポイントと離れる場合があります。

■タウンページデータ

- NTTタウンページを基に位置データを整備していますが、もとのデータそのものが間違っている場合もあります。また、住所番地が広大な場所やもとのデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示されます。
- 正確な位置に表示されない場所を目的地としてルートを設定したときは、その施設から離れた場所が最終の案内地になる場合があります。

■自然物に関するデータ

施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

■季節の味覚スポット検索のデータ

実際の農園と離れた場所が表示されることがあります。そのような場合は、その農園を管理している施設が表示されます。

■電話番号検索のデータ

- 電話番号検索のデータとして、「タウンページ」のデータと、訪問宅（個人宅）のデータが収録されています。
- 訪問宅（個人宅）の電話番号データに収録されていない場合は、市区町村レベルの代表地点が表示されます。

■ロゴマーク表示

ロゴマークの表示されるポイントは、実際の場所とは異なる場合があります。

■営業時間考慮周辺検索

営業時間を考慮するのはATM・駐車場・コンビニ・ファミリーレストラン・ファストフード・ガソリンスタンドのみで、隔週休日、不定期休日には対応していません。また、一部の店舗は対応していない場合があります。

ルートに関する注意事項

■ルート探索の仕様

△注意

- ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。曜日、時刻規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると設定されたルートを通れないなどの交通規制に反する場合があります。
- 運転するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
- なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。
- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。最適とは限りません。
- ルート探索は100 mスケールの地図に表示される道路を対象としています。シティマップにだけ表示される道路は対象外です。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます（本州～北海道などのフェ

リーが運航している場合には、航路を使うルートが探索されます。

- フェリー航路はルート探索の補助手段であり、長距離航路は対象外です。
- すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるとは限りません。
- 冬期通行止めなどにより通行できない道路を探索すると、エラーメッセージが表示されます。
- 設定済みのルートで使用する入口/出口により、乗降IC（インターチェンジ）を指定できない場合があります。

■ルート探索のしかた

- 現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに移動してみてください。
- 渋滞考慮ルート、有料道回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されることがあります。
- 推奨できるルートが6本に満たない場合、何本かが同じルートになることがあります。
- 場所によりルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点※」付近に立寄地を設定してみてください。

※「大きな交差点」とは、細街路（100 mスケールでグレー表示の細い道）以外の道どうしの交差点です。

■ルートの道塗り

- 道路形状により、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、立寄地の前後では道塗りされない場合があります。このため、立寄地付近でルートが途切れたように見えることがあります。

■音声案内

- オートリルトの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内しません。ただし、その地点が右折などで案内が必要な場合は、通常どおり案内します。
- 有料道のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口」と「料金」は音声案内されないことがあります。
- ランドマーク音声案内は、交差点により行われない場合があります。

■交差点拡大図

- 2D交差点拡大図は、交差点とその約150 m手前の地点を結んだ線が上になるように表示されます。道路形状により、ヘディングアップにならない場合があります。
- 第1案内地点の案内地点での交差点拡大図は、表示されないことがあります。

■ルート候補選択画面での有料料金

- 特殊な料金体系の有料道では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「〇〇円以上」と表示されます。
- 料金計算ができないルートの場合は、「不明」と表示されます。
- 一般有料道に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 有料道上およびランプ上からルートを探索したときや、有料道上に目的地や出発地を設定したときは、有料道を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 有料料金は改定されることがあるため、あくまで目安として使ってください。

■オートリルート

目的地、立寄地付近の時間規制がある場合は、規制を無視するかどうかの確認メッセージが表示されます。規制を無視した場合、新しいルートを引きまで、規制を無視し続けます。

VICS情報に関する注意事項

■FM多重放送

- VICSセンターからのFM多重放送を使用したVICSおよびVICS WIDE情報は、NHK-FMのFM多重放送の電波により提供されます。
- 一定周期で情報が更新されるため、情報が集まるまで時間がかかります。
- 放送時間は、放送局により異なります。VICSセンター情報などで確認してください。

■ビーコン

- 有料道の高架下の一般道を走行中に、有料道のビーコンを受信することがあります。
- 大型車と並走しているときなどは、ビーコンを受信できないことがあります。

■VICSセンターのお問い合わせ先

VICSの概念、計画、またはFM多重放送・ビーコンにより提供されるVICS情報については、VICSセンター（一般財団法人 道路交通情報通信システムセンター）にお問い合わせください。

VICSセンターお客様相談窓口

電話番号：0570-00-8831（PHS、IP電話等からはご利用できません）

受付時間：平日9:30～17:45（土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く）

FAX番号：03-3562-1719（24時間受付）

URL：<https://www.vics.or.jp/>

シティマップ（詳細市街地図）収録エリア

本機には、以下の都市の詳細市街地図が収録されています。

■整備面積95%以上(460都市)

田舎館村、塩竈市、多賀城市、巨理町、七ヶ浜町、湯川村、水戸市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ヶ崎町、下妻市、常総市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、那珂市、筑西市、坂東市、神栖市、鉾田市、つくばみらい市、小美玉市、茨城町、大洗町、東海村、阿見町、河内町、八千代町、五霞町、境町、利根町、栃木市、小山市、真岡市、下野市、上三川町、壬生町、野木町、伊勢崎市、太田市、館林市、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、所沢市、加須市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、滑川町、嵐山町、川島町、吉見町、鳩山町、美里町、上里町、宮代町、杉戸町、松伏町、千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ヶ谷市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、南房総市、匝瑳市、香取市、山武市、いすみ市、大網白里市、酒々井町、栄町、神崎町、多古町、東庄町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、新潟市、聖籠町、射水市、舟橋村、野々市市、川北町、内灘町、昭和町、小布施町、岐阜市、多治見市、羽島市、各務原市、瑞穂市、岐南町、笠松町、神戸町、輪之内町、安八町、大野町、北方町、坂祝町、熱海市、三島市、焼津市、袋井市、

湖西市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、函南町、清水町、吉田町、名古屋市、豊橋市、一宮市、半田市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、みよし市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛鳥村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町、四日市市、木曾岬町、東真町、朝日町、川越町、明和町、草津市、守山市、亀王町、豊郷町、甲良町、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、大山崎町、久御山町、精華町、大阪市、堺市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、守口市、枚方市、八尾市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、稲美町、播磨町、太子町、大和高田市、大和郡山市、橿原市、生駒市、香芝市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、和歌山市、太地町、境港市、日吉津村、倉敷市、玉野市、浅口市、早島町、里庄町、府中町、海田町、熊野町、坂町、和木町、石井町、松茂町、北島町、藍住町、宇多津町、松前町、北九州市、福岡市、直方市、筑後市、大川市、行橋市、中間市、小郡市、春日市、福津市、志免町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、大刀洗町、大木町、糸田町、大任町、刈田町、吉富町、時津町、熊本市、合志市、長洲町、菊陽町、嘉島町、那覇市、宜野湾市、浦添市、糸満市、沖縄市、豊見城市、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町

■整備面積80%以上(70都市)

室蘭市、名取市、東松島市、利府町、鏡石町、泉崎村、矢吹町、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、行方市、宇都宮市、芳賀町、高根沢町、吉岡町、本庄市、越生町、小川町、長瀬町、寄居町、相模原市、燕市、中央市、可児市、養老町、富加町、伊東市、磐田市、豊川市、桑名市、鈴鹿市、玉城町、野洲市、愛荘町、岸和田市、泉佐野市、島本町、加西市、福崎町、御所市、葛城市、高取町、明日香村、大淀町、有田市、岩出市、米子市、笠岡市、広島市、田布施町、小松島市、善通寺市、琴平町、多度津町、久留米市、柳川市、大野城市、宗像市、太宰府市、須恵町、新宮町、福智町、上峰町、みやき町、大町町、江北町、波佐見町、玉東町、東串良町、うるま市

■整備面積50%以上(159都市)

砂川市、北広島市、八戸市、藤崎町、板柳町、鶴田町、矢巾町、仙台市、岩沼市、富谷市、大河原町、山元町、美里町、瀧上市、八郎潟町、天童市、中山町、河北町、三川町、桑折町、中島村、笠岡市、美浦村、足利市、益子町、市貝町、前橋市、高崎市、渋川市、富岡市、榛東村、ときがわ町、神川町、秦野市、松田町、弥彦村、田上町、高岡市、滑川市、砺波市、入善町、羽咋市、かほく市、能美市、鯖江市、あわら市、笛吹市、市川三郷町、西桂町、忍野村、山中湖村、岡谷市、小諸市、千曲市、山形村、美濃加茂市、土岐市、海津市、垂井町、関ケ原町、池田町、沼津市、富士市、掛川市、御殿場市、裾野市、長泉町、小山町、岡崎市、瀬戸市、伊勢市、志摩市、菟野町、大津市、彦根市、近江八幡市、栗東市、湖南市、京都市、宇治市、木津川市、笠置町、高槻市、貝塚市、茨木市、和泉市、箕面市、泉南市、豊能町、能勢町、河南町、姫路市、西脇市、三田市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、猪名川町、桜井市、海南市、御坊市、湯浅町、美浜町、湯梨浜町、北栄町、岡山市、呉市、福山市、防府市、下松市、光市、山陽小野田市、徳島市、鳴門市、板野町、上板町、高松市、丸亀市、坂出市、観音寺市、さぬき市、高知市、南国市、大牟田市、飯塚市、田川市、筑紫野市、古賀市、みやま市、糸島市、那珂川町、宇美町、桂川町、筑前町、広川町、鳥栖市、小城市、嬉野市、基山町、有田町、白石町、長崎市、島原市、諫早市、長与町、川棚町、佐々町、荒尾市、玉名市、宇土市、氷川町、大分市、日出町、高鍋町、新富町、鹿儿島市、南城市、今帰仁村

■整備面積50%未満(649都市)

札幌市、函館市、小樽市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美幌市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、石狩市、北斗市、当別町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、江差町、上ノ国町、倶知安町、岩内町、仁木町、余市町、南幌町、奈井江町、上砂川町、長沼町、栗山町、新十津川町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、羽幌町、美幌町、斜里町、遠軽町、白老町、洞爺湖町、浦河町、新ひだか町、音更町、清水町、芽室町、広尾町、幕別町、池田町、足寄町、釧路町、弟子屈町、中標津町、青森市、弘前市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市、大鰐町、野辺地町、六戸町、東北町、おいらせ町、五戸町、南部町、階上町、盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、滝沢市、雫石町、岩手町、紫波町、金ケ崎町、平泉町、大槌町、山田町、一戸町、石巻市、気仙沼市、白石市、角田市、登米市、栗原市、大崎市、蔵王町、村田町、柴田町、丸森町、松島町、大和町、大郷町、大衡村、色麻町、加美町、涌谷町、女川町、秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、利根本荘市、大仙市、北秋

田市、にかほ市、仙北市、小坂町、五城目町、井川町、美郷町、羽後町、山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、大江町、大石田町、高畠町、川西町、白鷹町、庄内町、福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、国見町、川俣町、大玉村、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、会津美里町、西郷村、棚倉町、石川町、玉川村、浅川町、三春町、広野町、榎葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、城里町、大子町、佐野市、鹿沼市、日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、茂木町、那須町、桐生市、沼田市、藤岡市、安中市、みどり市、下仁田町、甘楽町、中之条町、草津町、東吾妻町、昭和村、みなかみ町、秩父市、飯能市、横瀬町、皆野町、小鹿野町、東秩父村、檜原村、奥多摩町、山北町、清川村、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、湯沢町、津南町、富山市、魚津市、氷見市、黒部市、小矢部市、南砺市、上市町、立山町、朝日町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、白山市、津幡町、志賀町、宝達志水町、中能登町、能登町、福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、越前市、坂井市、永平寺町、越前町、美浜町、高浜町、おおい町、甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、上野原市、甲州市、身延町、富士川町、鳴沢村、富士河口湖町、長野市、松本市、上田市、飯田市、諏訪市、須坂市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、東御市、安曇野市、軽井沢町、御代田町、立科町、下諏訪町、富士見町、原村、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村、松川町、高森町、喬木村、豊丘村、池田町、松川村、坂城町、高山村、山ノ内町、木島平村、飯綱町、大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、恵那市、山県市、飛騨市、本巢市、郡上市、下呂市、揖斐川町、川辺町、八百津町、御嵩町、白川村、静岡市、浜松市、富士宮市、島田市、藤枝市、下田市、伊豆市、東伊豆町、松崎町、西伊豆町、森町、豊田市、新城市、津市、松阪市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、伊賀市、多気町、度会町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町、長浜市、甲賀市、高島市、東近江市、米原市、日野町、多賀町、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、京丹後市、南丹市、井手町、宇治田原町、和束町、南山城村、伊根町、与謝野町、河内長野市、千早赤阪村、洲本市、相生市、豊岡市、赤穂市、篠山市、養父市、丹波市、宍粟市、多可町、市川町、神戸町、上郡町、奈良市、天理市、五條市、宇陀市、吉野町、下市町、黒滝村、橋本市、田辺市、新宮市、紀の川市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、広川町、有田川町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町、白浜町、上富田町、那智勝浦町、串本町、鳥取市、倉吉市、岩美町、八頭町、三朝町、琴浦町、南部町、伯耆町、松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市、津山市、井原市、

総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、和気町、矢掛町、鏡野町、勝央町、竹原市、三原市、尾道市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、安芸太田町、北広島町、下関市、宇部市、山口市、萩市、岩国市、長門市、柳井市、美祇市、周南市、周防大島町、平生町、阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、綾川町、まんのう町、松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、上島町、砥部町、内子町、室戸市、安芸市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、いの町、佐川町、越知町、八女市、豊前市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、篠栗町、久山町、香春町、添田町、川崎町、赤村、みやこ町、上毛町、築上町、佐賀市、唐津市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、神埼市、吉野ヶ里町、佐世保市、大村市、平戸市、松浦市、対馬市、岐州市、五島市、雲仙市、南島原市、東彼杵町、八代市、人吉市、水保市、山鹿市、菊池市、上天草市、宇城市、阿蘇市、天草市、美里町、大津町、御船町、益城町、甲佐町、芦北町、津奈木町、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、国東市、九重町、玖珠町、宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、綾町、木城町、川南町、都農町、門川町、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曾於市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、伊佐市、始良市、さつま町、大崎町、肝付町、石垣市、名護市、宮古島市、恩納村、金武町

阪神高速道路株式会社からのご連絡

阪神高速道路にはネットワークの未整備区間を補完するため、乗継券を受け取り、一般道を経由したあとにその乗継券で再度、通行料金を支払わずに阪神高速道路を利用できる「乗り継ぎ区間」があります（乗り継ぎ区間ではETCが利用可能）。また、「乗り継ぎ区間」の詳細については、以下をご覧ください。

- 3号神戸線（京橋・摩耶出入口）⇔ 5号湾岸線（住吉浜出入口）
- 4号湾岸線（大浜出入口）⇔ 15号堺線（堺出入口）
- 3号神戸線（中之島西出口）→ 1号環状線（堂島入口）
- 16号大阪港線（波除出口）→ 1号環状線（堂島入口）

収録データベース

■地図データ

- 日本測地系に対応しています。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図の作成にあたっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認 10-0040)「©2017一般財団法人日本デジタル道路地図協会」2017年3月発行を使用。
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。(承認番号 国地企調第180号 平成22年9月28日)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分1国土基本図を使用した。(承認番号 平26情使、第74号-10号)
- このデータは、国土地理院の技術資料C1-No.445「小笠原諸島西之島周辺の正射画像(平成26年12月10日撮影)」を利用して作成したものである。
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の災害復興計画基図を使用した。(承認番号 平27情使、第199号-10号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平27情使、第308号-10号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の応急復旧対策基図を使用した。(承認番号 平28情使、第1121号-10号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平28情使、第1122号-10号)
- 上記以外の本地図データの権利関係については、下記ページをご確認ください。

URL:

http://www.incremantp.co.jp/aboutmap/2017_2.pdf

■交通規制データ

- 本製品に使用している交通規制データは、2017年3月現在までに独自収集した情報、及び、警察庁交通規制情報管理システム出力データの情報に基づき、制作したものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示などに従ってください。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車などの規制は含まれていません。あらかじめご了承ください。

■有料道料金データ

- 本製品に使用している有料道路の料金データは、2017年6月に道路管理者から受領した高速道路・有料道路の現金車料金情報(軽自動車・中型自動車・普通自動車の料金情報)に基づき、制作したものです。

■ハイウェイモード対象路線

- ハイウェイモードは、下記の有料道路が対象です。

道央自動車道、札幌自動車道、道東自動車道、道東自動車道(足寄線)、東北自動車道、青森自動車道、八戸自動車道、八戸自動車道(八戸北線)、釜石自動車道、秋田自動車道、秋田自動車道(大館区間)、山形自動車道、山形自動車道(酒田区間)、東北中央自動車道、東北中央自動車道(福島米沢区間)、磐越自動車道、日本海東北自動車道(新潟区間)、日本海東北自動車道(秋田区間)、日本海東北自動車道(山形区間)、十勝オホーツク自動車道、常磐自動車道、東関東自動車道、東関東自動車道(水戸線)、新空港自動車道、館山自動車道、館山自動車道(木更津南線)、東京外環自動車道、関越自動車道、北関東自動車道(群馬栃木区間)、北関東自動車道(栃木茨城区間)、中央自動車道、中央自動車道(河口湖線)、中部横断自動車道、中部横断自動車道(長野区間)、長野自動車道、上信越自動車道、東名高速道路、新東名高速道路、新東名高速道路(清水連絡路)、新東名高速道路(浜松連絡路)、名神高速道路、新名神高速道路、新名神高速道路(四日市区間)、新名神高速道路(城陽八幡区間)、伊勢湾岸自動車道、東名阪自動車道、伊勢自動車道、紀勢自動車道、紀勢自動車道(和歌山区間)、東海北陸自動車道、北陸自動車道、近畿自動車道、阪和自動車道、阪和自動車道(田辺線)、関西空港自動車道、西名阪自動車道、舞鶴若狭自動車道、名古屋第二環状自動車道、名古屋第二環状自動車道(連絡線)、中国自動車道、山陽自動車道、山陽自動車道(神戸西線)、山陽自動車道(早島支線)、山陽自動車道(宇部下関線)、山陽自動車道(山口区間)、播磨自動車道、岡山自動車道、

米子自動車道、松江自動車道、広島自動車道、浜田自動車道、山陰自動車道、徳島自動車道、高松自動車道、高松自動車道(坂出支線)、松山自動車道、松山自動車道(宇和線)、高知自動車道、高知自動車道(須崎四万十区間)、鳥取自動車道、鳥取自動車道(兵庫岡山区間)、尾道自動車道、関門橋、九州自動車道、長崎自動車道、大分自動車道、宮崎自動車道、東九州自動車道(福岡大分区間)、東九州自動車道(大分宮崎区間)、東九州自動車道(宮崎区間)、東九州自動車道(鹿児島区間)、沖縄自動車道、九州中央自動車道、神戸淡路鳴門自動車道、瀬戸中央自動車道、西瀬戸自動車道、中央自動車道、東名高速道路、東名高速道路、名神高速道路、長崎自動車道、伊勢湾岸自動車道、旭川紋別自動車道、深川留萌自動車道、日高自動車道、帯広広尾自動車道、百石道路、第二みちのく有料道路、湯沢横手道路、仙台東部道路、仙台南部道路、仙台北部道路、三陸自動車道、日立有料道路、東水戸道路、常陸那珂有料道路、日光宇都宮道路、八戸久慈自動車道、米沢南陽道路、圏央道、圏央道(千葉区間)、京葉道路、千葉東金道路、東京湾アクアライン、東京湾アクアライン連絡道、富津館山道路、銚子連絡道路、第三京浜道路、横浜新道、横浜横須賀道路、横浜横須賀道路(金沢支線)、逗葉新道、本町山中有料道路、三浦縦貫道路、新湘南バイパス、西湘バイパス、西湘バイパス(石橋支線)、小田原厚木道路、東富士五湖道路、三遠南信自動車道(静岡区間)、能越自動車道(富山区間)、中部縦貫自動車道(油坂峠道路)、中部縦貫自動車道(永平寺大野道路)、中部縦貫自動車道(安房峠道路)、名古屋瀬戸道路、猿投グリーンロード、東海環状自動車道、東海環状自動車道(大垣区間)、東海環状自動車道(三重区間)、知多半島道路、南知多道路、セントレアライン、京都縦貫自動車道、京滋バイパス、第二京阪道路、京奈和自動車道、京奈和自動車道(奈良和歌山区間)、第二阪奈有料道路、南阪奈道路、堺泉北有料道路、関西国際空港連絡橋、湯浅御坊道路、第二神明道路、第二神明道路(北線)、播但連絡道路、ハーバーハイウェイ、六甲北有料道路、北近畿豊岡自動車道、北近畿豊岡自動車道(遠阪トンネル)、山麓バイパス、海田大橋、広島呉道路、山陰道(安来道路)、山陰道(江津道路)、今治小松自動車道、広島岩国道路、若戸大橋、西九州自動車道(武雄佐世保区間)、西九州自動車道(福岡前原道路)、長崎バイパス、川平有料道路、ながさき出島道路、日出バイパス、一ツ葉有料道路(北線)、一ツ葉有料道路(南線)、南九州自動車道(熊本区間)、南九州自動車道(鹿児島区間)、指宿スカイライン、若戸トンネル、第二神明道路、首都高速1号羽田線、首都高速2号目黒線、首都高速3号渋谷線、首都高速4号新宿線、首都高速5号池袋線、首都高速6号向島線、首都高速7号小松川線、首都高速9号深川線、首都高速10号晴海線、首都高速11号台場線、首都高速1号上野線、首都高速6号三郷線、首都高速湾岸線、首都高速八重洲線、東京高速道路K K線、首都高速都心環状線、首都高速中央環状線、

首都高速中央環状線(山手トンネル)、首都高速川口線、首都高速埼玉大宮線、首都高速埼玉新都心線、首都高速神奈川1号横羽線、首都高速神奈川2号三ツ沢線、首都高速神奈川3号狩場線、首都高速神奈川5号大黒線、首都高速神奈川6号川崎線、首都高速神奈川7号横浜北線、首都高速5号池袋線、首都高速6号向島線、阪神高速1号環状線、阪神高速2号淀川左岸線、阪神高速3号神戸線、阪神高速4号湾岸線、阪神高速5号湾岸線、阪神高速5号湾岸(垂水)線、阪神高速6号大和川線、阪神高速6号大和川線(堺区間)、阪神高速7号北神戸線、阪神高速7号北神戸線(北線)、阪神高速8号京都線、阪神高速11号池田線、阪神高速12号守口線、阪神高速13号東大阪線、阪神高速14号松原線、阪神高速15号堺線、阪神高速16号大阪港線、阪神高速17号西大阪線、阪神高速31号神戸山手線、阪神高速32号新神戸トンネル、名古屋高速1号楠線、名古屋高速2号東山線、名古屋高速3号大高線、名古屋高速4号東海線、名古屋高速5号万場線、名古屋高速6号清須線、名古屋高速11号小牧線、名古屋高速16号一宮線、名古屋高速都心環状線、福岡都市高速1号香椎線、福岡都市高速2号太宰府線、福岡都市高速3号空港線、福岡都市高速4号粕屋線、福岡都市高速環状線、北九州都市高速1号線、北九州都市高速2号線、北九州都市高速3号線、北九州都市高速4号線、北九州都市高速5号線、広島高速1号線、広島高速2号線、広島高速3号線、広島高速4号線

■VICSサービスエリア

- 本製品に収録されているVICSエリアは下記のと都道府県が対象です。

北海道(北見方面)(旭川方面)(札幌方面)(釧路方面)(函館方面)、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県、栃木県、群馬県、茨城県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、石川県、福井県、富山県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

- VICSサービスエリアが拡大されても、本製品では新しく拡大されたサービスエリアでのレベル3(地図表示型)表示はできません。

■放送局リストのデータ

- 放送局名リストは2017年5月調査時点のものです。

■訪問宅(個人宅)電話番号データ

- 訪問宅(個人宅)電話番号データは、日本ソフト販売(株)(2017年3月現在)のデータを使用しております。訪問宅(個人宅)電話番号検索では、一部検索または正確な位置に表示できない場合があります。

■渋滞予測データ

- 渋滞予測機能の情報は、インクリメントP株式会社からの提供です。
- 渋滞予測データはリアルタイムプローブでアップロードされたプローブ情報を統計処理して作成されています。そのため、プローブ情報がアップロードされていない道路の渋滞予測考慮は行われません。

■冠水注意地点データについて

- 一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の2017年3月データを収録しております。収録されている冠水注意地点は、実際に冠水する可能性のある、全ての地点を保証するものではありません。

■一時停止データについて

- 2017年3月までの独自調査の結果、及び警察庁交通規制情報管理システム出力データの情報に基づいて反映しています。本データが現場の標識有無と異なる場合は、現場の交通規制標識・表示などに従ってください。

■ゾーン30エリアデータについて

- 本製品に使用しているゾーン30エリアデータは、警察庁交通規制情報管理システム月次出力データの2013年11月版から2017年1月版の情報に基づいて制作したものです。

■その他情報提供元

- NTTタウンページ株式会社(2017年3月現在のタウンページデータ)

- (株)アイ・エム・ジェイ(2016年9月現在の駐車場データ)

- おすすめグルメデータは、株式会社JTBパブリッシング提供のデータ提供のデータ(2016年9月時点)を使用しています。

メモ

収録データベースに誤字、脱字、位置ずれなどの表記上または内容上の誤りがあったとしても弊社は補償するものではありません。

再生できるファイルとメディアの種類

本機では、次の条件に合ったファイルを再生することができます。

共通

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USBメモリー	SDカード
ファイルシステム	ISO9660 level 1 ISO9660 level 2 Romeo, Joliet UDF 1.02/ 1.50/ 2.00/ 2.01/ 2.50	ISO9660 level 1 ISO9660 level 2 Romeo, Joliet UDF 1.02/ 1.50/ 2.00/ 2.01/ 2.50	FAT16 FAT32	FAT16 FAT32 exFAT
最大フォルダー数	700		制限なし	
最大ファイル数	999	3 500	制限なし	

メモ

- ファイルをエンコード/ライティングしたソフトウェアによっては、正常に動作しないことがあります。また、文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機で画像データを含む音楽ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- Windows Media Audio Voiceには対応していません。
- パケットライトデータ転送には対応していません。
- フォルダの選択順序やその他の操作は、エンコードしたソフトウェアおよび書き込んだソフトウェアによって変わってしまうことがあります。
- オリジナルディスクの曲間での無音部分の長さにかかわらず、圧縮オーディオのディスクの再生時は曲間に短い無音部分が生じます。
- ディスクに保存されているオーディオファイルの最大再生時間は60時間です。

MP3

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USBメモリー	SDカード
拡張子	.mp3		.mp3/.mka	
ビットレート	8 kbps ~ 320 kbps (CBR), VBR			
サンプリング周波数	16 kHz ~ 48 kHz (32 kHz/44.1 kHz/48 kHz)		16 kHz ~ 48 kHz	
ID3タグ	Ver.1.0/1.1/2.2/2.3		Ver.1.0/1.1/2.2/2.3/2.4	

メモ

- サンプリング周波数が32 kHz、44.1 kHz、48 kHzのMP3ファイルを再生する場合は、エンファシスに対応します (CD-R/-RW、DVD-R/-RWのみ)。
- 次のファイルには対応していません。
 - MP3i (MP3 interactive)
 - mp3 PRO
 - m3u プレイリスト

WMA

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USBメモリー	SDカード
拡張子	.wma			
ビットレート	5 kbps ~ 320 kbps (CBR), VBR			
サンプリング周波数	8 kHz ~ 48 kHz			

メモ

この製品は、Windows Media™ Audio 9 Professional、LosslessおよびVoiceとは互換性がありません。

WAV

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USBメモリー	SDカード
拡張子	再生できません。		.wav	
シグナル フォーマット			リニア PCM (LPCM)	
サンプリング周波数			16 kHz ~ 192 kHz	
量子化ビット数			8 ビット/16 ビット/24 ビット	

AAC

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USBメモリー	SDカード
拡張子	.m4a		.aac/ .adts/ .mka/ .m4a	
ビットレート	8 kbps ~ 320 kbps (CBR), VBR			
サンプリング周波数	8 kHz ~ 44.1 kHz		8 kHz ~ 48 kHz	

メモ

iTunesでエンコードされたAACファイルを再生できます。

FLAC

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USBメモリー	SDカード
拡張子	再生できません。		.flac	
量子化ビット数			8ビット/16ビット/24ビット	
サンプリング周波数			8 kHz ~ 192 kHz	

JPEG

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USBメモリー	SDカード
拡張子	再生できません。		.jpg/.jpeg	
最大解像度			4 000 × 4 000	

オーディオおよびビデオファイルの互換性

■ CD-R/-RW/DVD-R/-RW

拡張子	.avi	.mpeg	.mpg	.dat
ビデオコーデック	MPEG-4	MPEG-1 MPEG-2	MPEG-1 MPEG-2	MPEG-1
オーディオコーデック	MP3 AC-3	MP3		
最大解像度	720ピクセル × 576ピクセル(MPEG-4/MPEG-2) 352ピクセル × 288ピクセル(MPEG-1)			
最大フレームレート	30 fps			
最大ファイルサイズ	Don't Care(ファイルシステムの規格上最大サイズの規定なし)			

■ USB/SD

拡張子	.avi	.mp4	.3gp	.mkv	.mov
ビデオコーデック	MPEG-4 H.264	MPEG-4 H.264	MPEG-4 H.264	MPEG-4 H.264 VC-1	MPEG-4 H.264
オーディオコーデック	リニアPCM (LPCM) MP3 AAC	MP3 AAC	AAC	MP3 AAC	MP3 AAC
最大解像度	1 920ピクセル × 1 080ピクセル				
最大フレームレート	30 fps				
最大ファイルサイズ	4 GB				

その他

拡張子	.f4v	.flv	.vob	.asf	.wmv
ビデオ コーデック	H.264	H.264	H.264	WMV VC-1	WMV VC-1
オーディオ コーデック	MP3 AAC	MP3 AAC	リニア PCM (LPCM) MP3 AAC	WMA	WMA
最大解像度	1 920ピクセル x 1 080ピクセル (ビデオコーデックがWMVの場合は640ピクセル x 480ピクセル)				
最大フレーム レート	30 fps(ビデオコーデックがWMVの場合は 15 fps)				
最大ファイル サイズ	4 GB				

メモ

- 各ビデオコーデックにおける最大ビットレートは以下のとおりです。ファイルによっては再生できない場合があります。
 - － MPEG-4: 40 Mbps
 - － H.264: 50 Mbps
 - － VC-1: 45 Mbps
- 本機の使用状況によっては、正常に再生できない場合があります。

取り扱い上のご注意

液晶画面の正しい使いかた

■取り扱い上のご注意

- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障が出る場合があります。
- 外部からの電波ノイズ(空気清浄機やインバータ装置等)によりタッチパネルが影響を受け、タッチ操作をキャンセルすることがあります。
- 液晶画面は使用温度範囲内でお使いください。

→P330の「仕様」

- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- 故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。

■液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点(輝点)が出る場合があります。これは、液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

■LEDバックライトについて

- 周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。

- 真夏の炎天下や、エアコンの温風が直接モニター部に当たってモニター部が高温状態になると、LED保護のため、自動的にバックライトの明るさを絞る場合があります。

- LEDバックライトの寿命は1万時間以上ですが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。

- LEDバックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

■お手入れについて

- 液晶画面に付いたホコリや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、付属のワイピングクロスなどの柔らかいきれいな布で拭き取ってください。

- 液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。

- 濡れたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

ディスクの正しい使いかた

■取り扱い上のご注意

- ディスクは、信号記録面(虹色に光っている面)を触らないように持ってください。

- ディスクにキズを付けしないでください。

- ディスクにシールなどを貼らないでください。

- ディスクには、市販のラベルなどを貼りつけないでください。

— ディスクに反りが生じて、再生できなくなる原因になります。

その他

- 再生中にラベルがはがれると、ディスクが取り出せなくなり、本機の故障の原因になります。
- ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- レーベル面に印刷ができるディスクを使用するときは、ディスクの説明書や注意書きを確認してください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。

メモ

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

■お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。

■保管上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、ディスクを保管しないでください。
 - 直射日光や高温など、車内での保管状況により、ディスクは再生できなくなる場合があります。

■ディスク再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放

置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。

- 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

使用できないディスクについて

次のようなディスクは使用しないでください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。表紙に記載されているマークが付いたディスクをお使いください。マークは、ディスクのレーベル面やパッケージ、またはジャケットに記録されています。

- DualDisc
- 8 cmディスク(アダプター装着時も含む)
- CD 規格外ディスク
- ひび、キズ、反りのあるCD



- 特殊形状のディスク



- シールなどを貼ったディスク



再生できないディスクについて






次のようなディスクは、再生できないことがあります。

- 音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したディスク
- ファイナライズされていないディスク
- パケットライトで記録されたディスク

- ハイビジョン画質 (AVCHD/AVCREC規格) で記録されたディスク
- NTSC (日本のテレビ方式) 以外の方式で記録されたDVD
- リージョン番号が「2」や「ALL」以外のDVD
- レイヤージャンプレコーディング方式で記録されたDVD
- (➡P321の「再生できるファイルとメディアの種類」) に適合しないディスク

DVDに表示されているマークの意味

DVDビデオディスクのレーベル面やパッケージには、次のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングルの数を表します。
	画面サイズ (アスペクト比: 横と縦の比率) の種類を表します。
	再生可能な地域番号 (リージョン番号) を表します。本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生できます。

メモ

DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。

ディスクの操作

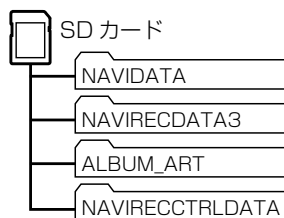
DVDにより、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式的操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上リピートなど一部の操作ができないことがあります。このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。ディスクにより、表示されないこともあります。

禁止マーク



SDカードに関するご注意

本機で使用したSDカードには、次のフォルダーが自動的に作成される場合があります。



USB機器に関するご注意

- USB機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。
- 本機との組み合わせで使用時に携帯デジタルプレーヤーやUSBメモリーのデータなどが消失した場合でも、その補償については責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、USB機器は必ず固定してください。USB機器が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

■本機との接続について

- USBメモリー、USBオーディオプレーヤー以外（USB扇風機やUSB空気清浄機など）は接続しないでください。
- 接続するUSB機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- USBハブを使用しての接続には対応していません。

■保管上のご注意

USB機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

iPod に関するご注意

■取り扱い上のご注意

- iPodを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPodは必ず固定してください。iPodが落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

■著作権について

iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

保証について

保証期間は、お買い上げ日またはお取り付け日から3年です。ただし、その期間内でも走行距離が60 000 kmまでといたします。

電波に関するご注意

● 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。

● 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

— 分解/改造すること。

— 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

● 本機の無線機能は、2.4 GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジなど）が使用していますので、電波の干渉により、本機の無線機能の音声がとぎれたり聞きとりにくくなる場合があります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼす場合があります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。

— 無線LANを利用したAV機器・防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、声かとぎれたり、無線LAN機器の動作に大きな影響を与えることがあります。

● その他、下記の機器でも、2.4 GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。

— 火災報知機・ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）

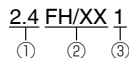
— 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム

— マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー

— 自動ドア・万引き防止システム（書店やCDショップなど）

— 自動制御機器・その他、Bluetooth®対応機器やVICS（道路交通網システム）

— アマチュア無線局など



①「2.4」GHz 帯を使用する無線設備を表します。

②「FH」、「XX」変調方式を表します。

③「1」想定される干渉距離（約 10 m）を表します。

仕様

ナビゲーション本体

共通部

使用電圧：DC14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)

最大消費電流：15 A

使用温度範囲：-10 °C ~ +60 °C

GPS 部

受信方式：72 チャンネルマルチチャンネル受信方式

オーディオ部

最大出力：50 W × 4

負荷インピーダンス：4 Ω (4 Ω ~ 8 Ω 使用可能)

13 バンドグラフィックイコライザー
(車種/車形選択がOFFの場合)：

周波数：50/80/125/200/315/500/800/
1.25 k/2 k/3.15 k/5 k/8 k/12.5 k [Hz]

5バンドグラフィックイコライザー
(車種/車形選択がOFF以外の場合)：

周波数：80/250/800/2.5 k/8 k [Hz]

調整幅：± 12 dB (2 dB/step)

Bass boost：0 dB ~ +12 dB (2 dB/step)

スピーカーセッティング：

調整幅：-24 dB ~ +10 dB (1 dB/step)

カットオフ周波数：

ハイパスフィルター：25/31.5/40/50/
63/80/100/125/160/200/250 [Hz]

カットオフスロープ：

フロント、リア：-6/-12/-18/-24 dB/oct.

タイムアライメント：0 cm ~ 350 cm (2.5 cm/step)

後席モニター出力部

映像出力レベル：

1.0 Vpp ± 10 % (signal: White 100 %)

HDMI入力部 < NSZP-X68D >

1系統 HDMI VER1.4 b

DVD プレーヤー部

リージョンNo.：2

対応メディア：DVD (VIDEO MODE、VR MODE)、
DVD-R (DL)、DVD-RW、CD-ROM、CD-DA、
CD-R/RW

デコーディングフォーマット：

MP3：MPEG-1、2、2.5 AUDIO LAYER-3

WMA：Ver.7、8、9 (2 ch audio)

AAC：MPEG-4 AAC (iTunes でエンコードされたもののみ)

AVI：MPEG-4 Video + MP3、MPEG-4 Video
+ AC3

FM チューナー部

受信周波数帯域：76.0 MHz ~ 99.0 MHz

音声：ステレオ

AM チューナー部

受信周波数帯域：522 kHz ~ 1 629 kHz (9 kHz)

音声：モノラル

地上デジタルテレビチューナー部

放送方式：地上デジタル放送方式 (日本)

受信チャンネル：470 MHz ~ 710 MHz (UHF
13 ch ~ 52 ch)

アンテナ入力：50 Ω × 4

モニター部

画面サイズ：

NSZP-X68D：8V型ワイドXGA

NSZP-W68D：7V型ワイドVGA

画素数：

NSZP-X68D：2 764 800画素 [水平 1280 X 垂直
720 X 3 (RGB)]

NSZP-W68D：1 209 600画素 [水平 840 X 垂直
480 X 3 (RGB)]

方式：TFTアクティブマトリクス方式

タッチパネル：

NSZP-X68D：静電容量方式

NSZP-W68D：抵抗膜方式

SDカード部

ファイルシステム：FAT16/FAT32/exFAT (SDXC
使用時)

デコーディングフォーマット：

MP3：MPEG-1、2、2.5 AUDIO LAYER-3

WMA (ASF)：Ver.7、8、9 (2 ch audio)

AAC：MPEG-4 AAC (Ver.10.01.22 以前の
iTunes でエンコードされたもののみ)

FLAC：Ver1.3.0 (Free Lossless Audio Codec)

MPEG-4 (MP4)：(VIDEO) MPEG-4、H.264
(AUDIO) MP3、AAC

AVI：(VIDEO) MPEG-4、H.264 (AUDIO)

LPCM、MP3、AAC

3GP：(VIDEO)MPEG-4、H.264 (AUDIO)AAC

MKV : (VIDEO)MPEG-4, H.264, VC-1 (AUDIO) MP3, AAC
MOV : (VIDEO)MPEG-4, H.264 (AUDIO)MP3, AAC
F4V : (VIDEO)H.264 (AUDIO)MP3, AAC
FLV : (VIDEO)H.264 (AUDIO)MP3, AAC
VOB : (VIDEO)H.264 (AUDIO)LPCM, MP3, AAC
ASF : (VIDEO)WMV/VC-1 (AUDIO)WMA
WMV : (VIDEO)WMV/VC-1 (AUDIO)WMA
シグナルフォーマット :
WAV : LPCM

USB部

対応メディア : USB2.0 High Speed

最大電流 : 2.1 A

ファイルシステム : FAT16/FAT32

デコーディングフォーマット :

MP3 : MPEG-1, 2, 2.5 AUDIO LAYER-3
WMA (ASF) : Ver.7, 8, 9 (2 ch audio)
AAC : MPEG-4 AAC (Ver.10.01.22 以前の iTunes でエンコードされたもののみ)
FLAC : Ver1.3.0(Free Lossless Audio Codec)
MPEG-4 (MP4) : (VIDEO) MPEG-4, H.264 (AUDIO) MP3, AAC
AVI : (VIDEO) MPEG-4, H.264 (AUDIO) LPCM, MP3, AAC
3GP : (VIDEO)MPEG-4, H.264 (AUDIO)AAC
MKV : (VIDEO)MPEG-4, H.264, VC-1 (AUDIO) MP3, AAC
MOV : (VIDEO)MPEG-4, H.264 (AUDIO)MP3, AAC
F4V : (VIDEO)H.264 (AUDIO)MP3, AAC
FLV : (VIDEO)H.264 (AUDIO)MP3, AAC
VOB : (VIDEO)H.264 (AUDIO)LPCM, MP3, AAC
ASF : (VIDEO)WMV/VC-1 (AUDIO)WMA
WMV : (VIDEO)WMV/VC-1 (AUDIO)WMA
シグナルフォーマット :
WAV : LPCM

Bluetooth部

Bluetooth バージョン : Bluetooth4.1 Class2 (10 m)

Wi-Fi部

対応規格 : IEEE 802.11 b/g/n(2.4 GHzのみ)
対応チャンネル : 1-11ch
セキュリティ方式 : OPEN / WEP / WPA (Personal) / WPA2 (Personal)
出力 : 最大+18 dBm

質量

本体 :

NSZP-X68D : 2.5 kg

NSZP-W68D : 2.3 kg

付属品

ワイピングクロス : 1

SDカード(8 GB) : 1

地図更新用SDカード申込ハガキ : 1

個人情報保護シール : 1

シリアルNo.ラベル : 2

シリアルNo.ラベル用台紙 : 1

取扱説明書 : 1

保証書 : 1

ドライブレコーダー本体

共通部

外形寸法(幅×高さ×奥行き) : 72 mm × 32.2 mm × 56 mm(取付部は除く)

質量 : 約250 g(コード含む)

推奨動作温度 : -10℃~+60℃

電源電圧 : DC12V マイナスアース

消費電流 : 280 mA

消費電力 : 3.4 W

カメラ部

撮像素子 : C-MOS

有効画素数 : 約200万画素

解像度(動画・静止画) :

高画質 : 1 920 × 1 080

標準画質 : 1 280 × 720

フレームレート :

高画質 : 28 fps(駐車録画の場合は14 fps)

標準画質 : 14 fps

画角 :

水平 : 115°

垂直 : 65°

記録メディア : microSDHCメモリーカード(Class6以上の8 GB~32 GB)、microSDXCカード(Class6以上の64 GB~128 GB)

記録形式 :

映像 : H.264

音声 : PCM, モノラル

ファイルフォーマット :

動画 : MP4

静止画 : JPEG

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICS サービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICS サービス契約

当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4) VICS デスクランブラー

FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第4条 VICS サービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICS デスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

(1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

(2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 1 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 1 当センターは、放送設備の保守上又は工事やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。ただし、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表 視聴料金

視聴料金：300円（税抜き）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

Gracenote® について



概要(バージョン 20081121)

音楽認識技術および関連データは Gracenote® によって提供されます。Gracenote は音楽認識技術および関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、www.gracenote.com をご覧ください。

特許及び商標

Copyright (c) 2000-2007 Gracenote. Gracenote Software: Copyright 2000-2007 Gracenote. この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります：#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用に Open Globe, Inc. から提供されました。

Gracenote®エンドユーザー使用許諾契約書

(バージョン 20061005)

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア（以下「Gracenote ソフトウェア」）を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報（以下「Gracenote データ」）などの音楽関連情報をオンライン サーバーから、或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenote サーバー」）から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利目的のみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第3者に対しても、Gracenote ソフトウェアやGracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利をGracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関するGracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のまま提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、

Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたはGracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いはGracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。

Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的でないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様によるGracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote 2006

Gracenoteデータについて

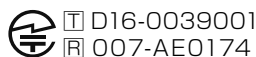
本機内蔵のGracenoteデータ、専用サーバーのGracenoteデータともに、データの内容を100%保証するものではありません。

専用サーバーのGracenoteデータは、メンテナンス等により予告なく停止することがあります。

専用サーバーによるGracenoteデータの通信サービスは、提供するコンテンツが収集できない場合やその他サービスの提供に支障をきたす事由が生じた場合、お客様の承諾なくその提供を中止することがあります。

商標・著作権など

- 本機は、電気通信事業法および電波法に基づく設計認証を取得しています。



- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



- 本機は、ロヴィコーポレーションの米国特許および他の知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。解析や改造は禁止されていますので行わないください。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows MediaおよびInternet Explorerは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、米国Microsoft Corporationが所有する技術を使用しています。また、米国Microsoft Licensing Inc.の許可を得ず使用または頒布できません。
- IntelおよびPentiumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
- MP3とは「MPEG Audio Layer 3」の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送*で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送*で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ<http://www.mp3licensing.com>をご覧ください。*営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送(地上波放

送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア)、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

- Apple、Macintosh、Mac、OS X、Safari、およびiTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- LightningはApple Inc.の商標です。
- iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、およびiPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスのもとで使われています。



- 「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、それぞれiPodあるいはiPhone専用で接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリをiPodあるいはiPhoneと使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- iOSは、USその他の国でシスコが商標権を有する商標です。
- Android、Google Play、Google ChromeはGoogle Inc.の商標です。
- FirefoxはMozilla Foundationの登録商標です。

その他

- 「VICS」および「VICS WIDE」は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。



- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- Bluetooth[®]ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、パイオニア株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。



- HDMIとHDMI High-Definition Multimedia Interfaceという用語、およびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国その他の国々における商標または登録商標です。



- DVDはDVDフォーマットロゴライセンスング(株)の商標です。



- Wi-Fi, Wi-Fi Protected Setup, WPA, WPA2はWi-Fi Allianceの商標です。

- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

- 「マップコード」および「MAPCODE」は(株)デンソーの登録商標です。

- 「FSKAREN」は富士ソフト株式会社の登録商標です。

- NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。

- Gracenote および CDDDB は Gracenote の登録商標です。 Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは Gracenote の商標です。

- 本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、別途規定されている場合を除いて、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。

- この製品に含まれるブラウザの改変及び複製、この製品から分離させる行為は、行ってはいけません。

- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

- Entier (エンティア)は、株式会社日立製作所の日本国及びその他の国における商標です。

1. 最終需要家は、特定の1台の装置にのみ添付ソフト複製物を複製できるものとします。

2. 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を第三者に対し、有償であると無償であるとを問わず、譲渡、使用許諾その他の方法で使用させてはならないものとします。

3. 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を逆アセンブル若しくは逆コンパイル又は改変することはできないものとします。

4. 最終需要家は、第1項に定める場合を除き、添付ソフト複製物の全部若しくは一部を複製し、又は他のプログラムと結合してはならないものとします。

5. 最終需要家が添付ソフト複製物の全部若しくは一部を単独で又は他の製品と組み合わせ、直接又は間接に次の各号のいずれかに該当する取扱いをする場合、最終需要家は、「外国為替及び外国貿易法」の規制及び米国輸出管理規則等外国の輸出関連法規を確認の上、必要な手続をとるものとします。

- (1) 輸出するとき。
- (2) 海外へ持ち出すとき。
- (3) 非居住者へ提供し、又は使用させるとき。
- (4) 前3号に定めるほか、「外国為替及び外国貿易法」又は外国の輸出関連法規に定めがあるとき。

注1：上記の「最終需要家許諾条項に記載すべき事項」の内容については、第5条第3項及び第4項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「本件装置用組込用ランタイム」に、第6条第2項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「結合添付ソフトウェア」にそれぞれ読み替えるものとします。

注2：第6条第1項第3号又は同条第2項第2号の規定に基づき添付ソフト改良版に係る最終需要家許諾条項を本別紙に従い甲が作成する場合、本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「添付ソフト改良版」と読み替えるものとします。

- その他、製品名などの固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
- お客様が録音(録画)したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 弊社は、本製品に収録された地図データなどが完全・正確であること、及び本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用いただけません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。また、取扱説明書の内容と実物が異なることがあります。その場合における本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。

索引

キーワード

あ

アクティブインフォ 51
 アップリンク 261
 アングル 212
 暗証番号 159, 217
 安全運転支援情報 259
 案内音声出力 161
 案内音量 26
 案内開始画面 72
 案内地点 74
 アートワーク 230

い

イコライザー 176, 246
 一時停止地点 121
 一時停止 200, 210, 223,
 225, 238, 243,
 291
 一般道シンプルガイド 127
 イベントリレー設定 195
 イルミネーション 172
 インテリジェントリルート 77

う

右左折専用レーン案内 128

え

営業時間考慮 313
 エコー 295
 エコゲージ 54
 エコ情報表示 45, 53
 エコスコア 53
 エリアプリセット 180, 184

お

音楽CD 197
 音声案内 76
 音声言語 212
 音声出力 213
 音声多重 192
 オンデマンドVICS 103

音場設定(VSC) 247
 音量設定 26
 オーディオブック 239
 オートサウンドレバライザー 248
 オートハイウェイモード 124
 オートパーキングメモリー 79,
 118, 128

オートフリーズーム 127
 オート放送局サーチ設定 195
 オートレベルコントロール 248
 オート録音モード 203
 オープニング音 166
 オープニング画像 165

か

回転速度計 171
 学習したルート 125
 学習ルート 118
 拡張事象規制 99
 画質調整 27
 ガススタ価格情報 67
 カスタム機能 257
 カスタムボタン 257
 カスタムメニューダイレクト 257
 カットオフ 250
 簡易図形 95
 簡易ハイブリッドシステム 311
 冠水注意地点 121
 カード有効期限 172

き

基本音声 216
 基本字幕 216
 距離 171
 緊急情報 97
 禁止マーク 327

く

区間旅行時間 99
 グループ名 113
 グループ 112

け

傾斜計 171

傾斜(3D) 171
 携帯電話 264
 言語コード表 218
 現在時刻 45
 現在地画面 73
 検索履歴 63, 118

こ

高音質 204
 効果音 112
 交差点案内 126
 交差点 78
 高精度3Dハイブリッド
 システム 310
 後席モニター 280
 交通規制データ 318
 交通情報 182
 誤差 311
 コピーコントロールCD 201
 コマ送り再生 209

さ

再生モード 220
 再生 197, 205, 219,
 236, 244
 サウンドレトリバー 248
 残響音 295
 サービスエリア 49
 サービスリスト 193
 サービス 194

し

時間規制 125
 自機検出 133, 141
 自宅 65, 109
 視聴者設定クリア 196
 視聴制限 217
 自動接続 147, 157
 自動着信応答 149
 字幕言語 211
 字幕表示 211
 車載器管理番号 172
 車速信号 312
 車速パルス 172

シャッフル再生.....	238
車両情報.....	134, 162
ジャンル.....	59
住所.....	58
渋滞.....	94, 103
渋滞情報.....	94, 103
渋滞情報点滅表示.....	129
渋滞情報表示.....	129
渋滞末尾情報.....	259
渋滞予測.....	320
周辺施設.....	61
受信感度.....	100
乗降IC(インターチェンジ).....	91
乗降IC.....	92
情報ウィンドウ.....	45
初期化.....	168
自立航法.....	310
信号機ジャスト案内.....	127
進行方向.....	77
振動ジャイロセンサー.....	310
シンプルガイド.....	75

す

図形情報.....	100, 129
スケール.....	52
スケールゲージ.....	52
スケール変更.....	45
ステアリングスイッチ.....	21
ステータスバー.....	43
スピーカー出力レベル.....	249
スポット周辺.....	68
スマートIC.....	125
スライドショー.....	227
スロー再生.....	209, 224
スーパールート探索.....	71, 73

せ

セキュリティLED.....	20
接続状態.....	171
前後G.....	171
センサー学習.....	170, 309
センター情報.....	100
前方障害物情報.....	259
前方状況情報.....	259
専用サーバー.....	103
セーフティインフォメーション.....	76

そ

走行軌跡自動消去.....	124
走行軌跡.....	118
操作音.....	26
測位状態.....	172
速度超過アラーム.....	161
ソースレベルアジャスター.....	249
ゾーン30.....	121

た

タイトル情報.....	233
タイトル表示.....	203
タイムアライメント.....	249
ダイレクトタッチ.....	208, 210
タウンページデータ.....	313
立寄地.....	87, 88, 89, 92
タッチ.....	25
ダブルタップ.....	25
探索条件.....	86

ち

地域設定.....	196
地図色.....	124
地図画面.....	41, 119
地図スケール.....	54
地図データ.....	318
地図表示.....	41
地点.....	109
地点情報.....	114
着信履歴.....	271
チャンネルスキャン.....	184
駐車場ポイントリンク.....	57
駐車場満空.....	66, 120
駐車場満空情報.....	66, 120
駐車場履歴.....	79
チューナー利用設定.....	195

つ

ツインビュー左画面アングル.....	123
通常モード.....	16
通信機器.....	140
通信接続設定.....	138
通話中メニュー.....	265

て

停止.....	203, 211, 225
ディスク.....	325
ディスクメニュー操作キー.....	208
出口情報.....	48
デバイス名.....	148
デモ走行.....	82
テレビアスペクト.....	217
テレビ.....	183
天気予報.....	121
電子番組表.....	186
店頭展示モード.....	16
電話帳.....	266, 268, 269, 271
電話番号.....	59, 112, 266
電話を受ける.....	264
データ放送.....	189, 190

と

到着予想時刻.....	126
登録地.....	63
道路交通情報.....	95, 96, 259
都市高速道路.....	78
ドライブレコーダー.....	172, 282
ドラッグ.....	25
取付位置.....	172
トリップ.....	171

の

ノースアップ.....	54
ノーマルビュー.....	42, 51, 53
ノーマルカメラ.....	276

は

ハイウェイモード.....	46, 318
ハイウェイモードサイド マップアングル.....	123
バスキー.....	148
バスブースト.....	248
バック信号.....	172
発信者番号通知サービス.....	265
発信履歴.....	266
発信履歴.....	266, 268, 271
パノラマモニター.....	278

その他

早送り	210, 224, 291
早戻し	210, 224, 291
バルス数	171
パレンタルロック	217
番組情報	188
番組表表示設定	196
番組表	186
阪神高速道路	317
ハンズフリー通話	264
ハンズフリー	264
バンド	192
パーキングエリア	49
パーキングブレーキ	172
パーキングブレーキ アラーム	161
バージョン情報	173, 193

ひ

ヒヤリハット地点	121
ピンチアウト	25
ピンチイン	25
ビーコン情報	99, 101
ビーコン即時表示時間	129
ビーコン即時表示	129

ふ

フェリー航路	86
フェーダー / バランス	246
不在着信	266
ブックマーク	214
踏切案内	128
プリセットダイヤル	267, 268
フリック	25
フリーワード音声検索	64
フロントリンク	280
プローブ情報送信設定	137

へ

ヘディングアップ	54
----------------	----

ほ

方位	171
方向指定	112
放送局リスト	319
方面案内	127
ポップアップメニュー	30

ま

マイセットアップ	16, 130
マップコード	63
マップマッチング	311
マニュアル接続	149
マルチアングル	216
マルチ音声	212
マルチ言語	216
マルチ言語字幕	216
マルチ字幕	211

み

道塗り	314
ミュート	249

め

名称	57
メニュー言語	216

も

文字情報	100
文字スーパー表示設定	195
文字入力履歴	118
文字の入力	38

ゆ

郵便番号設定	196
有料道合流地点・県境案内	128
有料道料金データ	318
有料道	79
ユーザープリセット	180, 184

よ

よく行く場所	63
よく行くランキング	63
予測変換	118
ヨミ	112

ら

ライト点灯案内	128
ライブインフォ情報	252
ライブインフォ	252
ラウドネス	248
ラジオ	180
ランダム再生	200, 222, 226, 243

り

リアクルーズモード	281
リアセパレート	280
リアルタイムプローブ	104
リアルタイムプローブ渋滞情報	104
リクエスト案内	127
リスニングポジション	247
リピート再生	199, 207, 222, 224, 226, 237, 242
リフレッシュ案内	128
料金案内	127
履歴情報	101

る

ルートアドバイザー	
自動決定ルート	126
ルートアドバイザー	78
ルート案内	71
ルート情報	82
ルート探索条件	72
ルート探索	71
ルート地図	85
ルート編集	86
ルート	71

ろ

録音音質	204
録音情報	228
録音の制限	201
録音	228
ロゴマーク表示スケール	123
ロゴマーク	120

わ

ワイドモード	177
--------------	-----

A

A2DP	240
AAC	322
AVCHD	326
AVCREC	326
AVRCP	240
AVサイドビューアングル	123
AVサイドビュー	45
AV情報	32
AVプロファイル	240

お

お知らせ 34
 音声案内 127
 音声案内・地図表示 127
 音声切換 191
 音声出力設定 281
 音声多重 192
 音声録音 286
 音場設定 (VSC) 247
 オートエンター 217
 オートサウンドレベライザー 248
 オートハイウェイモード 124
 オートパーキングメモリー 118, 128
 オートフリーズーム 127
 オートレベルコントロール 248
 オート録音モード 203
 オープニング音設定 166
 オープニング画像設定 165
 オール 247
 オールリセット 309

か

ガイド線 (固定) 設定 274
 ガイド線 (予測) 設定 274
 回避 86, 124
 買う 61
 学習ルート 118
 学習ルート探索 125
 拡大図 126
 拡張事象規制 99
 画質 286
 ガスタ価格 120
 ガスタ価格情報 33, 67
 カスタム設定 257
 画像 231
 カットオフ 250
 カメラ 45
 カメラガイド線表示設定 274
 カメラ画質調整 274
 カメラ設定 273
 カメラモニター 286
 冠水注意地点 121

き

機器登録 / 消去 145, 146, 147
 起動音 287
 基本音声 216
 基本字幕 216
 逆走注意喚起 128
 急加速・急減速の感知音 286
 急加速・急減速の感度 286
 距離学習リセット 309
 距離順 (立寄地のみ) 88
 距離順 (すべて) 88

く

区間旅行時間 99
 車・交通 61
 グループ 112
 グループなし 113
 グループ名 113

け

検索履歴 33, 63, 118

こ

広域 52, 54
 効果音 112
 交差点案内表示 126
 交通情報 34, 182, 254
 候補切換 83
 考慮しない 125
 ここへ行く 58, 70, 83
 ここを登録する 70, 110
 個別に選択 229

さ

サウンドレトリバー 248
 サービス切換 194
 サービスリスト 193

し

時間規制考慮ルート探索 125
 自機検出 133, 141, 143
 時刻連動 124
 自車位置修正 55
 自宅 109
 自宅登録 131
 自宅付近 124
 視聴制限 217

指定解除 92
 指定方向 112
 自動接続 147, 157
 自動着信応答 149
 絞り込み 57, 64, 289
 字幕切換 190
 車形選択 247
 車種選択 247
 車両重量 135, 163
 車両情報設定 162
 車両寸法：高さ (H) 163
 車両寸法：長さ (L) 163
 ジャンル 33, 59
 住所 33, 58
 渋滞 45, 99, 106
 渋滞考慮のみ 125
 渋滞考慮ルート探索 125
 渋滞情報 (渋滞・混雑) 98
 渋滞情報 (順調) 98
 渋滞情報・渋滞予測 125
 渋滞情報のみ 125
 渋滞情報取得開始設定 105
 渋滞情報点滅表示 129
 渋滞情報表示対象道路 129
 渋滞情報連続取得設定 105
 周辺検索 61
 周辺施設 32
 周辺施設を探す 70
 出発時刻・経過時間 126
 出発地解除 90
 出発地指定 90
 手動設定 227
 手動録画の自動停止 286
 取得時間間隔 105
 取得中止 108
 消去 89, 113
 乗降 IC 指定 91
 詳細 52
 詳細設定 87, 72
 情報ウィンドウ 45
 情報取得 108, 233
 ショートカットメニュー 51
 信号機ジャスト案内 127
 新ルート 78, 126

す

スカイビュー 53
 スキャン 184

図形.....	102
図形情報.....	100
スケール変更.....	45
スピーカー出力レベル.....	249
すべて考慮.....	125
すべて選択.....	230
スポットウォッチャー.....	34, 254
スマートIC考慮ルート探索.....	125
スライドショー設定.....	227
スーパールート探索.....	126

せ

生活.....	61
セキュリティ.....	154
選局.....	100
センサー学習.....	309
センサー学習状況.....	170, 309
全消去.....	113
全選択.....	113, 118, 270, 272
センター情報.....	100
全方向.....	112

そ

走行軌跡.....	118, 120
走行軌跡自動消去.....	124
総排気量.....	136, 164
速度超過アラーム.....	161
その他のネットワークを追加... ..	154
ソースレベルアジャスター... ..	249
ゾーン30.....	121

た

タイムアライメント.....	249
立寄地送り.....	93
立寄地指定.....	87, 88, 89
立寄地(到着時刻・残距離).. ..	126
食べる.....	61

ち

地図色切換.....	124
地図スケール登録.....	54
地図操作.....	83
地図方位設定.....	123
地点書き出し.....	115
地点読み込み.....	115
駐車場情報マーク.....	98

駐車場満空.....	120
駐車制限(車種).....	135, 162
駐車制限(車両寸法).....	135, 162
駐車録画.....	286
駐車録画のお知らせ.....	286
駐車録画の感度.....	287
駐車録画の時間.....	287
駐車録画の無効時間.....	287
昼色固定.....	124

つ

ツインビュー左画面アングル... ..	123
ツインビュー.....	53
通常表示.....	123
通常モード.....	16
通知種別設定.....	254
次の施設.....	48

て

出口IC指定.....	91
デバイス名.....	149
デモ走行.....	82
デモ中.....	82
天気情報.....	34
天気予報.....	121
電源OFF時.....	124
店頭展示モード.....	16
電話.....	32
電話設定.....	269, 270, 271, 272
電話帳.....	269, 270
電話帳/履歴自動転送設定... ..	271
電話番号.....	33, 59, 112

と

到着予想時刻速度(一般道)... ..	126
到着予想時刻速度(有料道)... ..	126
到着予想時刻表示.....	126
登録地.....	33, 115
登録地マーク簡易表示.....	124
登録変更.....	131
時計.....	45
閉じる.....	189
都道府県を指定して探す.....	60
トラフィックスポット.....	120
ドライブレコーダー.....	45
取付調整.....	287
トリップ.....	171

な

ナビ設定.....	33
ナビ設定初期化.....	169
ナビを停止して更新.....	350, 354,
ナビを利用しながら更新.....	350, 354
並べ替え.....	30, 57, 88

ね

ネットワーク名(SSID).....	154
燃料単価.....	136, 164

の

ノーマルビュー.....	53
--------------	----

は

ハイウェイモードサイド マップアングル.....	123
バスキー.....	148
バスブースト.....	248
バックモニター (パノラマモニター).....	274
ON/OFF.....	274
パルス数.....	171
番組情報取得.....	188
番組内容.....	188
番組表.....	186
パンスキャン.....	217
ハンズフリー.....	265
ハンズフリー 1 (電話+通信).....	145, 147
ハンズフリー 2 (電話のみ)... ..	145
パーキングウォッチャー.....	34, 254

パーキングブレーキ アラーム.....	161
バージョン情報.....	193

ひ

ビジュアル.....	280
微調整.....	50
ヒヤリハット地点.....	121
ビュー.....	33, 53
標準.....	86, 124, 204, 286
ビーコン即時表示.....	129
ビーコン即時表示時間.....	129

ふ

フェリー航路使用条件..... 124
 フェーダー / バランス 246
 付近で探す..... 60
 踏切案内..... 128
 プリセット切換..... 184
 フロント..... 247
 フロントAVソース..... 281
 フロントL..... 161, 247
 フロントL+フロントR..... 161
 フロントR..... 161, 247
 プローブ情報送信設定..... 104

へ

別道路切換..... 56
 編集 / 消去..... 228

ほ

方向指定..... 112
 放送局選択..... 101
 方面案内表示..... 127

ま

マイク感度..... 265
 マイセットアップ..... 130
 マイセットアップを始める..... 16,
 130
 マップコード..... 33
 前の施設..... 48
 マニュアル..... 88, 105,
 195, 196
 マニュアル接続..... 150, 152,
 154, 156, 157
 マルチアングル..... 216
 マルチレイヤマップ..... 33

み

道塗り切換..... 83
 ミュート設定..... 249

め

名称..... 112
 名称検索..... 32
 メニュー言語..... 216
 目安線表示..... 274

も

目次..... 100
 目的地の天気予報..... 254
 目的地 (到着時刻・残距離) .. 126
 文字拡大..... 123
 文字拡大表示..... 123
 文字情報..... 100
 文字入力履歴..... 118
 文字・図形..... 129
 文字・図形・音声..... 129
 元ルート..... 78, 126

ゆ

優先..... 86
 有料道合流地点・県境案内... 128
 有料道のみ..... 129
 有料道路使用条件..... 124
 有料道路料金区分..... 134, 162
 有料道・一般道..... 129

よ

よく行く..... 63
 よく行くランキング..... 33,
 118
 ヨミ..... 112
 読み込み..... 269

ら

ライト点灯案内..... 128
 ライブインフォ使用設定..... 254
 ラウドネス..... 248

り

リアAV ソース..... 281
 リアクルーズモード設定..... 281
 リアルタイムプローブ設定... 104
 リクエスト案内..... 127
 リスニングポジション..... 247
 リフレッシュ案内..... 128
 料金案内..... 127
 履歴取得..... 101
 履歴消去..... 272

る

ルート..... 33
 ルートアドバイザー..... 125
 ルートアドバイザー
 自動決定ルート..... 126
 ルート再探索..... 72, 86
 ルート消去..... 81
 ルート地図..... 85

れ

レターボックス..... 217
 連続取得..... 106, 108
 連続取得設定..... 105
 録音設定..... 204

ろ

録画データ全消去..... 287
 ロゴマーク..... 120
 ロゴマーク表示設定..... 123
 ロゴマーク表示スケール..... 123
 路線順で探す..... 60

わ

ワイドモード..... 178

A

AV画面への割り込み設定..... 254
 ACTOR'S STAGE..... 247
 AM..... 180
 ATT..... 249
 AV OFF..... 32
 AV画面への割り込み..... 128
 AVサイドビュー..... 45
 AVサイドビューアングル..... 123
 AV・本体設定..... 32
 AV・本体設定初期化..... 168

B

Bluetooth Audio..... 33, 145,
 241
 BSM..... 181

C	
CD録音音質設定.....	204
Chapter.....	214
Clear.....	246
CLOSE.....	22, 23, 24
Custom1.....	246
Custom2.....	246

D	
d.....	190
Disc.....	32, 197, 205
DVD-Video初期設定.....	215
DVD-VR初期設定.....	215
DYNAMIC THEATER.....	247

E	
EJECT/TILT.....	22, 23, 24, 27
ETC/ETC2.0設定.....	261
ETC/ETC2.0起動時音声案内.....	263
ETC2.0アップリンク機能設定.....	261
ETC利用履歴.....	262
ETCレーン案内表示.....	127
eスタート案内.....	128

F	
Flat.....	246
FM.....	180
FM/AM.....	32

H	
HDMI.....	34, 244
HIGH.....	248
HPF.....	250

I	
iPod.....	236

L	
LOW.....	248

M	
MODE2.....	248
MENU.....	208
MID.....	248
MID - HIGH.....	248
MID - LOW.....	248
MODE1.....	248

MSV/SD.....	33, 219
MSV/SD・USB設定.....	203, 227
Music.....	220
MUSIC STUDIO.....	247
Mute.....	249

N	
Natural.....	246
NaviCon連携.....	145

P	
Photo.....	220
Playlist.....	206
Powerful.....	246

R	
Rear Cruise.....	280
RELAX LIVING.....	247
Return.....	212
ROM-Video初期設定.....	215

S	
S.Bass.....	246
SA/PA 送り.....	48
SDカード情報.....	173

T	
Title.....	206, 214
TOP MENU.....	208
TV.....	32, 183
TV1⇔TV2.....	192
TVアスペクト.....	217
TV設定.....	194

U	
USB/iPod.....	33

V	
VICS規制情報.....	98
Video.....	220
Vocal.....	246

W	
WPA/WPA2.....	154
WPS.....	133, 156
WPS接続.....	133, 155
WPS (PIN).....	133, 156

数字	
100mスケール方通行.....	120
10キー.....	214
16:9.....	217
2Dマーク.....	112
200mスケール信号機.....	120
6ルート地図.....	72, 83
6ルートリスト.....	72

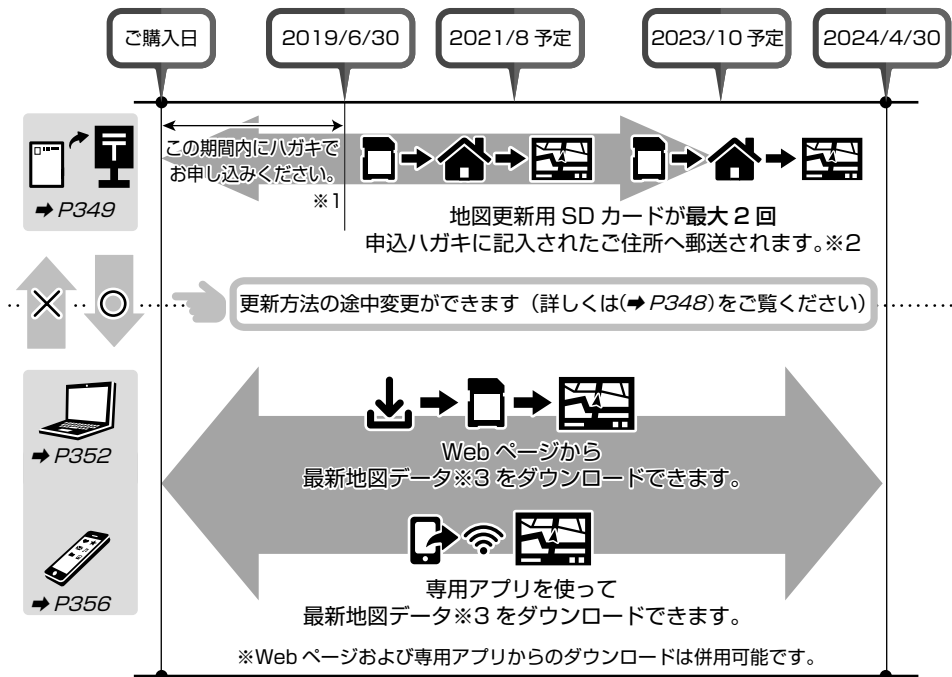
地図更新

地図更新について	347	専用アプリを使って地図更新を行う	356
地図更新の流れ.....	347	携帯端末に専用アプリ「モバイルナビオフィ	
地図更新に必要な手続きや機器.....	348	ス」をインストールする.....	356
更新方法の途中変更について	348	専用アプリを使って最新地図データを	
ハガキによる申込みで地図更新を行う ...	349	ダウンロードする.....	356
申込ハガキを準備する	349	本機に最新地図データを転送する.....	357
SD カードを本機に挿入する	350	地図更新に関する注意事項	359
Web ページから地図更新を行う	352	個人情報のお取り扱いについて.....	359
必要なものを準備する	352	地図更新後に初期化される内容.....	359
最新地図データを SD カードへ		こんなときは	360
ダウンロードする.....	352		
SD カードを本機に挿入する	354		

地図更新について

本機の地図データを最大6年間無償で更新できます。地図更新の方法は、ハガキによる申込み、Webページからのダウンロード、専用アプリからのダウンロードの3通りから選べます。

地図更新の流れ



- ※1 本機を新品購入されたお客様のみを対象としています。申込期限は**2019年6月30日(当日消印有効)**です。申込期限を過ぎると、ハガキによる申込みはご利用いただけません。Webページおよび専用アプリからのダウンロードをご利用ください。
- ※2 地図更新用SDカード発送時期は、**2021年8月と2023年10月の計2回**を予定していますが、諸般の事情で発送時期が多少遅れることがあります。
- ※3 更新方法ごとの配信内容は以下のとおりです。更新データは2・4・6・8・10・12月の配信を予定していますが、道路の開通状況等によって配信月が変動することがあります。最終データは、2023年10月の配信データとなります。

更新方法	データの内容
ハガキによる申込み/ Webページからのダウンロード	道路データ、渋滞予測データ、固有音声データ、イラストデータ、ランドマークデータ、通常地図、詳細市街地図、検索データ、本機の更新プログラム
専用アプリからのダウンロード	道路差分データ、地点情報差分データ、通常地図差分データ、固有音声データ、イラストデータ、本機の更新プログラム

地図更新に必要な手続きや機器

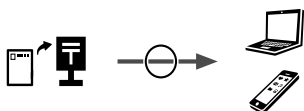
更新方法によって、必要な手続きや機器、更新できるデータの内容が異なります。

更新方法	申込み 手続き	必要な通信機器	更新できる 回数	本機への 地図データ転送時間 ^{*1}	
				ナビを停止 して更新	ナビを利用 しながら 更新 ^{*2}
ハガキによる申込み 	必要	—	最大2回	約45分	約60分
ダウンロード 	Webページから  専用アプリから 	インターネット環境に 接続できる パソコン	最大35回 ^{*4}		
	—	Wi-Fi接続できる 携帯端末 (専用アプリのインス トールが必要です)	最大35回 ^{*4}	約100分 ^{*3} (携帯端末から本機への データ転送時間：約20分、 本機での更新時間：約80分)	

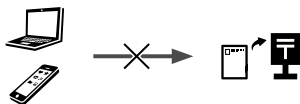
—：不要または対象外

- ※1 Webページや専用アプリからデータをダウンロードする時間は含んでいません。
また、データ転送中に本機の電源をOFFにした(エンジンを切った)場合、電源をONにしたときに
続きから更新を再開します。その場合、記載されている所要時間よりも時間がかかることがあります。
- ※2 データ転送中に利用しているナビゲーションの機能によって、記載している時間から変動することがあります。
- ※3 半年に一度、更新をした場合にかかる時間です。長期間更新を行わないと、所要時間は記載している
時間より長くなります。
- ※4 道路の開通状況等によって、配信回数が変動することがあります。

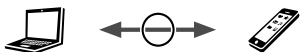
更新方法の途中変更について



ハガキで申し込んだあとでも、Webページや専用アプリからの地図データダウンロードに変更でき
ます。変更すると、ハガキによる申込みは自動的にキャンセルされます。



Webページや専用アプリから地図データをダウンロードすると、ハガキでのお申込みには変更できません。



Webページや専用アプリからの地図データダウンロードは併用できます。

ハガキによる申込みで地図更新を行う



申込受付期限: 2019年6月30日(当日消印有効)
発送予定時期: 2021年8月・2023年10月

申込ハガキを準備する



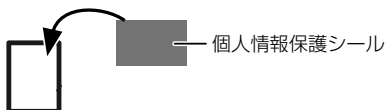
申込ハガキを記入する前に (➡P359の「個人情報のお取り扱いについて」) をお読みください。申込ハガキの到着をもって、ご同意いただいたものとみなします。

- 1 必要事項を記入します
- 2 必要事項に記入漏れが無いか確認します
- 3 個人情報保護シールを貼り付けます
- 4 シリアル No. ラベルを貼り付けます
- 5 シールやラベルの貼り忘れが無いか確認します
- 6 ポストに投函します
- 7 SDカードが申込ハガキに記入されたご住所に届きます (2021年8月・2023年10月の発送を予定しています)

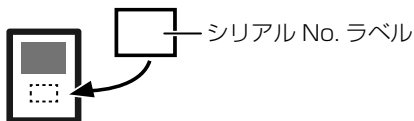
△注意

- 申込ハガキに必要事項がすべて記入されていないか、シリアル No. ラベルが貼られていないと、SDカードが郵送されません。
- 申込ハガキは再発行できません。
- 本機を新品購入されたお客様のみを対象としています。

3 個人情報保護シールを貼り付けます



4 シリアル No. ラベルを貼り付けます



1 必要事項を記入します



2 必要事項に記入漏れがないか確認します



- お名前 (フリガナ)
- ご住所
- 電話番号
- 生年月日
- 販売ディーラー名

5 シールやラベルの貼り忘れがないか確認します



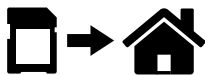
- 個人情報保護シールを必要事項の上に貼り付けていますか?
- シリアル No. ラベルを規定の位置に貼り付けていますか?

6 ポストに投函します



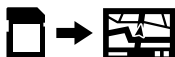
登録情報や更新方法を変更したいときは (➡P360の「こんなときは」) をご覧ください。お申込み状況の照会サービスは行っておりません。

7 SDカードが申込ハガキに記入されたご住所に届きます



発送時期は2021年8月と2023年10月の最大2回を予定しています。

SDカードを本機に挿入する



SDカードを本機に挿入する前に、(➡P359の「地図更新後に初期化される内容」) をご確認ください。

メモ

- 地図SDカードスロット保護カバーは外さないでください。
- 画面モニターを開いたまま走行しないでください。

8 郵送されたSDカードをSDカードスロットに挿入します

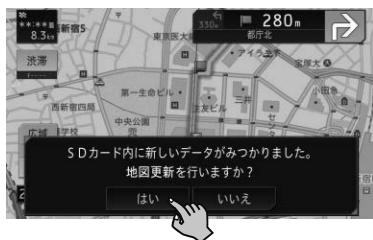
SDカードの入れかたについては、(➡P23の「SDカードの入れかた」) をご覧ください。



9 CLOSE にタッチします



10 はい にタッチします



11 地図更新の方法を選択します



ナビを停止して更新➡更新方法①

所要時間：約45分

地図更新中は、ナビゲーションとAVの機能が使えません。

ナビを利用しながら更新➡更新方法②

所要時間：約60分

地図更新中は、ナビゲーションとAV機能の一部 (Disc、FM/AM、TV、Bluetooth Audio、HDMI、交通情報、ドライブレコーダー) が使用できません。

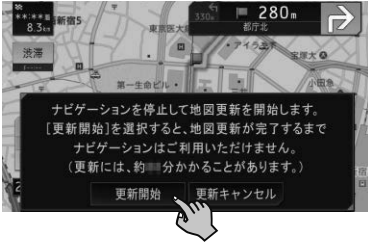
メモ

地図更新中は、CDの録音はできません。

更新方法①

ナビを停止して更新する方法

12 更新開始にタッチします



地図更新を開始します。地図更新が終了すると、更新完了メッセージが表示されます。

13 確認にタッチします



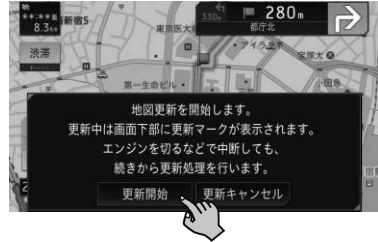
14 SDカードスロットからSDカードを取り外します

SDカードの取り出しかたについては、(➡P24の「SDカードの取り出しかた」) をご覧ください。

更新方法②

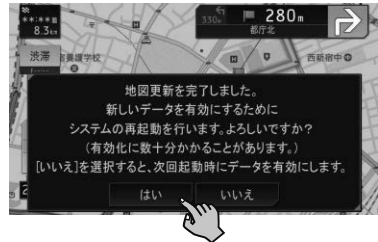
ナビを利用しながら更新する方法

12 更新開始にタッチします



地図更新を開始します。

13 画面のメッセージを確認して、はいまたはいいえにタッチします



更新データが反映されると、ライブインフォ機能による通知が行われます。

△注意

更新データの反映が終わるまで、SDカードは取り外さないでください。

14 SDカードスロットからSDカードを取り外します

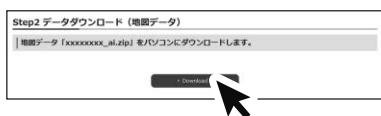
SDカードの取り出しかたについては、(➡P24の「SDカードの取り出しかた」) をご覧ください。

- 3 シリアルNo.とCWコードを入力し、**[確認して次へ]** をクリックします



- 4 注意や約款、更新内容を確認し、問題が無ければ次のページへ進みます

- 5 **[Download]** をクリックします



最新地図データをパソコンにダウンロードします

ファイル名は「XXXXXXXX_all.zip」です。XXXXXXXXにはデータのバージョンが表記されます。



[次へ] をクリックします。

- 6 **[Download]** をクリックします



ライセンスデータ「PCLINK.DAT」をパソコンにダウンロードします



[次へ] をクリックします。

- 7 ダウンロードした最新地図データを解凍します



- 8 解凍した更新データ(「UPDATE」フォルダー)とプログラム更新用データ(「NVF****」フォルダー)とライセンスデータ(PCLINK.DAT)を、市販のSDカードに保存します

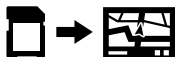


- ※1 更新データ(フォルダー)
- ※2 プログラム更新用データ(フォルダー)
- ※3 ライセンスデータ(ファイル)

SDカードには、地図更新に必要なデータ以外は保存しないでください。

- 9 **[閉じる]** をクリックします

SDカードを本機に挿入する



SDカードを本機に挿入する前に、(→P359の「地図更新後に初期化される内容」)をご確認ください。

メモ

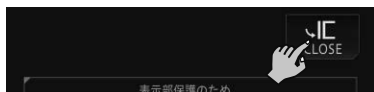
- 地図SDカードスロット保護カバーは外さないでください。
- 画面モニターを開いたまま走行しないでください。

10 パソコンから取り出したSDカードをSDカードスロットに挿入します

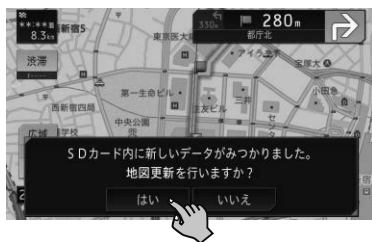
SDカードの入れかたについては、(→P23の「SDカードの入れかた」)をご覧ください。



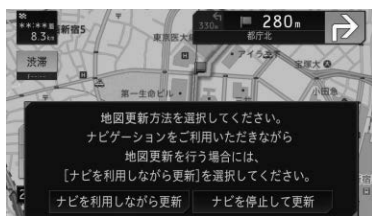
11 CLOSEにタッチします



12 はいにタッチします



13 地図更新の方法を選択します



ナビを停止して更新 → 更新方法①

所要時間：約45分

地図更新中は、ナビゲーションとAVの機能が使えません。

ナビを利用しながら更新 → 更新方法②

所要時間：約60分

地図更新中は、ナビゲーションとAV機能の一部(Disc、FM/AM、TV、Bluetooth Audio、HDMI、交通情報、ドライブレコーダー)が使用できません。

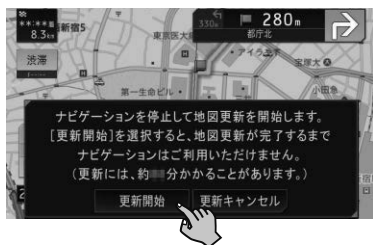
メモ

地図更新中は、CDの録音はできません。

更新方法①

ナビを停止して更新する方法

14 更新開始にタッチします



地図更新を開始します。地図更新が終了すると、更新完了メッセージが表示されます。

15 確認にタッチします



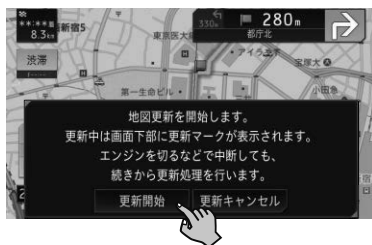
16 SDカードスロットからSDカードを取り外します

SDカードの取り出しかたについては、(➡P24の「SDカードの取り出しかた」) をご覧ください。

更新方法②

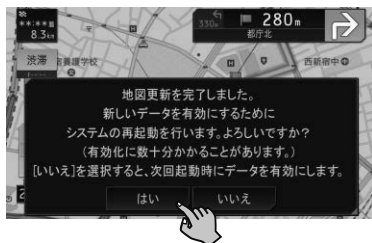
ナビを利用しながら更新する方法

14 更新開始にタッチします



地図更新を開始します。

15 画面のメッセージを確認して、はいまたはいいえにタッチします



更新データが反映されると、ライブインフォ機能による通知が行われます。

△注意

更新データの反映が終わるまで、SDカードは取り外さないでください。

16 SDカードスロットからSDカードを取り外します

SDカードの取り出しかたについては、(➡P24の「SDカードの取り出しかた」) をご覧ください。

専用アプリを使って地図更新を行う



データダウンロード期限: 2024年4月30日

※更新時期と配信時期については(➡P347)をご覧ください。

携帯端末に専用アプリ「モバイルナビ
オフィス」をインストールする

専用アプリを使って最新地図データを
ダウンロードする

1 インターネットに接続されている iPhoneまたはスマートフォンを準備 します

対応するOSは次のとおりです。

	iPhone	スマートフォン
対応 OS	iOS9.0 以降	Android OS 4.4 以降

最新地図データの容量は最大で2 GB程度 になるため、Wi-Fiに接続することをお勧め いたします。

2 App StoreまたはGoogle playにア クセスして「モバイルナビオフィス」と 入力して検索します

3 専用アプリ「モバイルナビオフィス」を インストールします

▲注意

- 最新の動作確認機種については、次のホーム ページをご覧ください。
< [http://pioneer.jp/support/soft/app_ mobile_navioffice/jp.html](http://pioneer.jp/support/soft/app_mobile_navioffice/jp.html) >
- 2 GB以上の空き容量が必要です。
- インターネット共有 (iPhone) またはデザ リング機能 (スマートフォン) が必要です。 お使いの通信キャリアによってはインター ネット共有の契約またはデザリング契約が 必要です。



ナビゲーションの機器情報を持ったQRコードを 専用アプリで読み込んで、最新地図データをダウ ンロードします。

QRコードはシリアルNo.ラベルに記載されていま す。また、本機でもQRコードを表示することがで きます。その場合は、次の手順を行ってください。

メモ

- 初期状態ではWi-Fi 環境でのみダウンロー ドできます。LTE や3G 通信でダウンロード する場合は[設定] の[データダウンロード 通信設定] から「Wi-Fi+モバイルデータ 通信を使用」を選択してください。
- 最新地図データの容量は最大で2 GB 程度 になります。LTE もしくは3G 回線でダウ ンロードする場合、大容量のデータ通信が発 生するため、ご契約プランや使用状況等に十 分ご注意ください。
- お客様の地図データのご利用状況に合わせ て最新地図データをダウンロードします。 そのため、データ利用状況や時期によりダウ ンロードするデータの容量は異なります。

4 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

5 AV・本体設定にタッチします



6 ①→地図更新情報にタッチします



QRコード画面が表示されます。

ここからはiPhoneまたはスマートフォンを操作します

7 専用アプリを使ってQRコードを読み込み、地図データをダウンロードします

詳しくは、アプリ内の「ヘルプ」→「地図更新方法」をご覧ください。

本機に最新地図データを転送する



本機に最新地図データを転送する前に、(➡P359の「地図更新後に初期化される内容」) をご確認ください。

メモ

- ナビゲーション本体を地図更新中は、MSV/SD、USB、iPod ソースは使用できません。
- Wi-Fi の通信速度によっては、最新地図データの転送に時間がかかります。
- 地図更新中は、更新画面が英語で表示される場合があります。

8 iPhoneまたはスマートフォンを本機とWi-Fi接続します

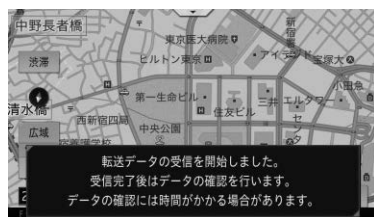
iPhoneまたはスマートフォンを本機に登録するときは、(➡P149の「Wi-Fi対応端末を登録する」) をご覧ください。

9 専用アプリにダウンロードしたデータを本機に転送します

詳しくは、アプリ内の「ヘルプ」→「地図更新方法」をご覧ください。

ここからはナビゲーション本体を操作します

地図データの受信が始まると、本機の画面にデータ受信開始メッセージが表示されます。



データの受信および確認が完了すると、本機の画面に地図更新開始確認メッセージが表示されます。

10 メッセージを確認し、はいまたはいいえにタッチします



はいにタッチすると地図更新を行い、**いいえ**にタッチすると地図更新を行わず、次回起動時に再度確認します。

11 メッセージを確認し、**確認**にタッチします



12 地図データをすぐ使うか (**はい**にタッチ)、あとで使うか (**いいえ**にタッチ) を選択します



はい

本機がすぐに再起動し、更新された地図が使えます。

いいえ

本機の次回起動時に更新された地図が使えます。

地図更新が完了すると、ライブインフォ機能による通知が行われます。

△注意

専用アプリを使ってお使いの端末へダウンロードした地図データは、他の端末へ移行することができません。

地図データをダウンロードした後にiPhoneもしくはスマートフォンの機種を変更された場合は、再度地図データをダウンロードしてください。

メモ

対応端末にダウンロードした各種データを消去する場合は、専用アプリの[設定] ➔ [データ管理] で消去できます。地図更新が完了したあとは、端末にダウンロードした地図データを削除することをお勧めします。

地図更新に関する注意事項

メモ

- 地図更新中に本機の電源をOFFにした（エンジンを切った）場合、電源をONにしたときに続きから更新を再開します。
- 更新データによっては、メッセージが表示されます。画面に従って操作してください。
- 地図更新中は、更新中アイコン➡P43の「ステータスバーに表示される情報」が表示される場合があります。更新中は一部のAVソースが使用できません。更新が完了するまでお待ちください。

個人情報のお取り扱いについて

ハガキによる申込みを行う場合は、以下に記載する個人情報のお取り扱いについてご確認・同意いただいた上で申込ハガキをご送付ください。

(1) 個人情報保護方針

お客様から収集する個人情報は、パイオニア株式会社が定める個人情報保護方針に則って厳重に管理します。

個人情報保護方針

(<http://pioneer.jp/privacy/>)

(2) 個人情報の利用目的

お客様の個人情報は地図SDカード送付業務対応のみに利用させていただきます。

(3) 個人情報の第三者提供について

個人情報のデータ処理を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示、提供いたしません。

(4) 個人情報の取り扱いの委託について

取得した個人情報につきましてはユーザーデータ登録処理業務を協力会社へ委託する場合があります。

(5) 開示対象個人情報の開示等及び問合せについて
ご本人からのお申し出により、申込ハガキにより取得した個人情報の利用の停止に応じます。お申し出いただいたお客様がご本人であることを確認させていただいた上で、合理的な期間及び範囲で対応させていただきます。利用停止に応じる窓口につきましては「パイオニア地図SDカード送付窓口」をご参照ください。

地図更新後に初期化される内容

地図更新後は、次の内容が初期化されます。必要に応じて再設定または再取得してください。

■再設定または再取得が可能なもの

- キーボードの入力方式および入力文字の種類
- 渋滞情報
- USBソース、MSV/SDソースの再生状態

■データを失うもの

- 周辺検索結果、および周辺検索により表示されたロゴマーク
- 走行軌跡
- 案内中のルート
- ライブインフォの履歴情報

メモ


地図更新全般について不明な点がございましたら販売店までご相談ください。

こんなときは

■登録情報を変更したい

ハガキによる申込みをしたあと、引越し等をして登録情報を変更したいときは、郵便ハガキに以下の情報をすべてご記入いただき、弊社指定の送付先住所までお送りください。（ハガキ送付費用はお客様のご負担になります。）

表面


〒350-8555
埼玉県川越市山田 25-1 バイオニア株式会社 OEM 事業部 2018 年モデル 純正カーナビゲーション 地図更新用 SD カード送付窓口 行

裏面

1 「登録情報変更希望」
2 お名前（フリガナ） ※名字に変更がある場合は旧姓、新姓の両方の名字をご記入ください。
3 お届け先 郵便番号
4 お届け先 住所 ※郵便番号、住所に変更がある場合は旧⇒新の両方の住所をご記入ください。
5 電話番号 ※平日の昼間に連絡がつきやすい番号をご記入ください。
6 生年月日
7 製品型番と製造番号 ※シリアル No. ラベルをご確認いただき、転記してください。

△注意

- 登録情報の変更でハガキを送付するときは、シリアルNo.ラベルを貼る必要はありません。同梱されている2枚のうち1枚は大切に保管してください。
- お電話、メールなどのご変更のご依頼は承っておりません。
- お申込み状況の照会サービスは行っておりません。
- 登録情報の変更は本機を新品購入されたお客様のみを対象としています。

記号・マーク一覧

※記号やマークは、ビューやスケールによって表示されない場合があります。
 ※実際の色と異なる場合があります。

地図関連

■ 高速・有料道

■ 国道

■ 主要地方道

■ 都道府県道

■ 一般道

■ 細街路

■ 鉄道

— 県境

① 国道番号

① 県道番号

C1 有料道路番号

➡ 一方通行

■ 海・川・湖沼

■ 公園・緑地・芝生など

■ 施設敷地

■ 施設

■ 駅舎

■ ゾーン30

■ 緊急情報

■ 拡張事象規制

■ インターチェンジ/ランプ名

■ 交差点名

■ ランプ入口

■ ランプ出口

■ 信号機

■ 指示点

■ 山岳

■ 公園

■ 工場

■ トンネル出入口

■ マンション

■ サービスエリア

■ パーキングエリア

■ インターチェンジ

■ 料金所・スマートICゲート

■ 駐車場

■ 一時停止

■ 冠水注意地点マーク

■ ヒヤリハット地点マーク

■ 道の駅

■ 空港

■ ヘリポート

■ フェリー乗り場

■ 観光船乗り場

■ タワー

■ 灯台

■ 墓地

■ 公共施設

■ 警察署

■ 消防署

■ 病院

■ 郵便局

■ NTT

■ 文 高校

■ 小 小学校

■ 中 中学校

■ 大 大学

■ 高専

■ 自動車関連施設

■ 温泉

■ 遊園地・その他

■ 乗馬クラブ

■ キャンプ場

■ ボウリング場

■ スポーツ施設

■ ゴルフ場

■ その他スポーツ施設

■ 野球場・スタジアム

■ 体育館

■ スキー場

■ 海水浴場

■ ヨットハーバー

■ モータースポーツ

■ テニスコート

■ 美術館・博物館

■ 動物園

■ 植物園

■ 水族館

■ ホール・劇場

■ 神社

■ 寺

■ 教会

■ 城

■ 牧場

■ 競馬場

■ デパート

■ DIYショップ

■ ホテル

検索・ルート関連

■ 有料道路施設の誘導ポイント

■ 目的地

■ 立寄地

■ 出発地

■ 案内地

■ 案内中ルート(有料道)

■ 案内中ルート(一般道)

■ 案内中ルート(細街路)

駐車場入口案内ポイント

■ オートパーキングメモリー

■ 地図収録案内ポイント

■ フロップ案内ポイント

渋滞情報関連

VICS渋滞情報(現況)

一般道 有料道

■ 渋滞 ■ 渋滞

■ 混雑 ■ 混雑

■ 順調 ■ 順調

VICS WIDE渋滞情報(統計)

一般道 有料道

■ 渋滞 ■ 渋滞

■ 混雑 ■ 混雑

■ 順調 ■ 順調

リアルタイムフロップ渋滞情報

一般道 有料道

■ 渋滞 ■ 渋滞

■ 混雑 ■ 混雑

■ 順調 ■ 順調

規制・原因情報

■ 規制区間

■ 入口閉鎖・通行止

50 速度規制

■ 進入禁止

■ 通行止め・閉鎖

■ 大型通行止め

■ 対面通行

■ 片側交互通行

▽ 徐行

■ 車線規制

■ チェーン規制

■ 凍結

■ 故障車

■ 作業

■ 障害物・路上障害

■ 入口制限

■ 入口閉鎖

■ 気象

■ 災害

■ 原因/事象なし

■ 気象・災害速報

■ 行事

その他

P ■ 駐車場(空車)*

PP ■ 駐車場(混雑)*

PPP ■ 駐車場(満車)*

PP■ ■ 駐車場(閉鎖)*

P■ ■ 駐車場(不明)*

■ 区間旅行時間

特別警報 特別警報(緊急情報)

※:右側は臨時駐車場

情報マーク

■ ダイハツ

販売元

ダイハツ工業株式会社

< NVF-0178ZY/NVF-0078ZY >

< KFWZ171 > < CRA5177-A >

